

あま市  
高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定  
に関する実態調査

調査結果報告書



令和8年3月

あま市



# 目次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査方法 .....	1
3 調査票の対象者及び回収状況 .....	1
4 報告書の見方 .....	2
<b>II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】</b> .....	<b>3</b>
1) 回答者の属性 .....	3
2) あなたのご家族や生活状況について .....	5
3) からだを動かすことについて .....	10
4) 食べることについて .....	15
5) 毎日の生活について .....	20
6) 地域での活動について .....	31
7) 就労について .....	34
8) たすけあいについて .....	37
9) 健康について .....	46
10) 認知症について .....	56
11) ACPについて .....	64
12) 介護予防施策および高齢者福祉施策について .....	66
13) 生活機能の低下 .....	73
<b>III 調査結果【在宅介護実態調査】</b> .....	<b>83</b>
1) 調査票対象者様ご本人について .....	83
2) 主な介護者の方について .....	101
<b>IV 調査結果【介護支援専門員調査】</b> .....	<b>111</b>
1) 調査回答者について .....	111
2) ケアプランの作成について .....	114
3) 介護認定調査について .....	121
4) 8050問題について .....	124
5) 高齢者虐待について .....	126
6) 高齢者施策について .....	128
<b>V 調査票</b> .....	<b>133</b>
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 .....	133
2 在宅介護実態調査 .....	141
3 介護支援専門員調査 .....	146



# I 調查概要



## I 調査概要

### 1 調査の目的

本調査は、令和8年度に見直しを予定している「あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の改定に向け、市民の皆様のお考えやご意見をお伺いし、計画への反映に役立てるために実施するものです。

### 2 調査方法

①調査地域

あま市全域

②調査期間

令和7年12月20日～令和8年1月9日

③調査方法

層化無作為抽出による郵送配布、無記名郵送回収

### 3 調査票の対象者及び回収状況

	介護予防・日常生活 圏域二一ズ調査	在宅介護実態調査	介護支援専門員調査
対象	65歳以上の市民 (要介護認定者を除く)	要介護認定を受けており、 在宅で生活している市民	市内及び近隣の居宅介護 支援事業所に従事する 介護支援専門員
配布数	3,000件	1,000件	100件
抽出方法	住民基本台帳等による層化無作為抽出		市内及び近隣の 居宅介護支援事業
回収数	1,904件	524件	88件
有効回収数	1,904件	524件	88件
回収率	63.5%	52.4%	88.0%

## 4 報告書の見方

---

- グラフ・表中の「n」はアンケートの回答数を示している。
- 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%にならない場合もある。
- 複数回答の場合、回答の合計比率が100%を超える場合がある。
- グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略している。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もある。
- クロス集計の分析軸は、各項目で無回答であったサンプルを集計対象から除外している。そのため、分析軸の項目全体の合計サンプル数は、全体サンプル数とは一致しない。
- 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と「在宅介護実態調査」について、国が示す必須設問には「◎」、オプション設問には「○」を表示している。

## Ⅱ 調査結果

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査



## Ⅱ 調査結果【介護予防・日常生活圏域二一ズ調査】

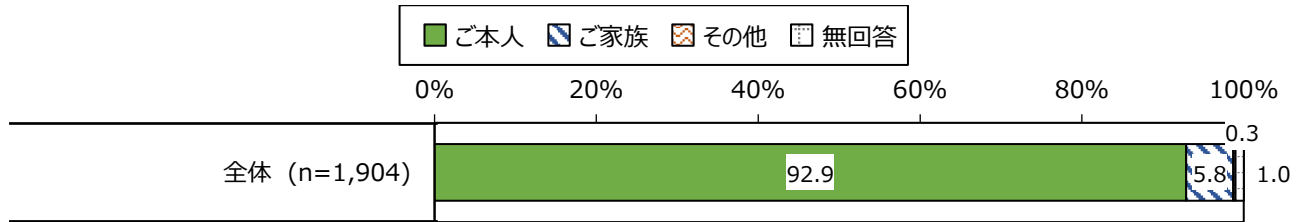
### 1) 回答者の属性

#### 1-1 調査票の記入者 ◎

問1 調査票をご記入いただくのはどなたですか。(○は1つ)

##### ◆ 「ご本人が記入」が約9割

調査票の記入者は、「ご本人が記入」が92.9%、「ご家族が記入」が5.8%となっています。

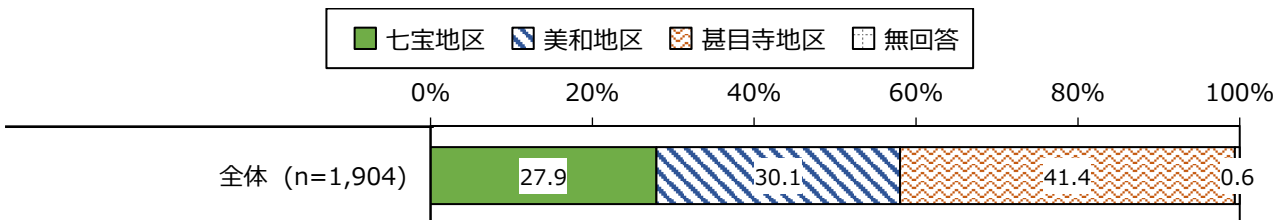


#### 1-2 居住地区

問2 お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

##### ◆ 「七宝地区」、「美和地区」が約3割、「甚目寺地区」が約4割

回答者の居住地区は、「七宝地区」が27.9%、「美和地区」が30.1%、「甚目寺地区」が41.4%となっています。



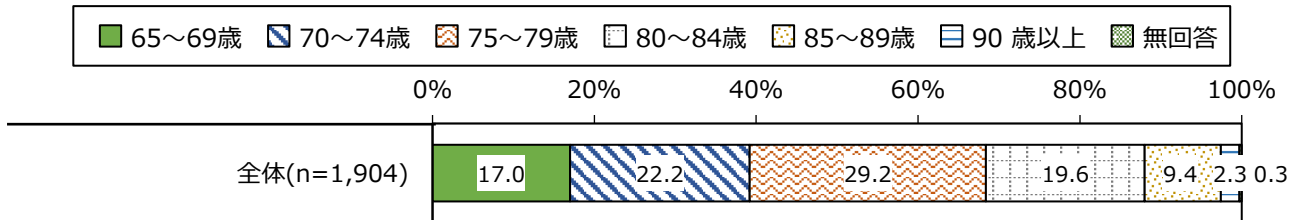
### 1-3 年齢

問3 ご本人の年齢は何歳ですか。(〇は1つ)

◆ “前期高齢者” が約4割、“後期高齢者” が約6割

回答者の年齢は、「75～79歳」が29.2%と最も多くなっています。

「65～69歳」の17.0%と「70～74歳」の22.2%を合わせた“前期高齢者”は39.2%、「75～79歳」の29.2%、「80～84歳」の19.6%、「85～89歳」の9.4%、「90歳以上」の2.3%を合わせた“後期高齢者”は60.5%となっています。

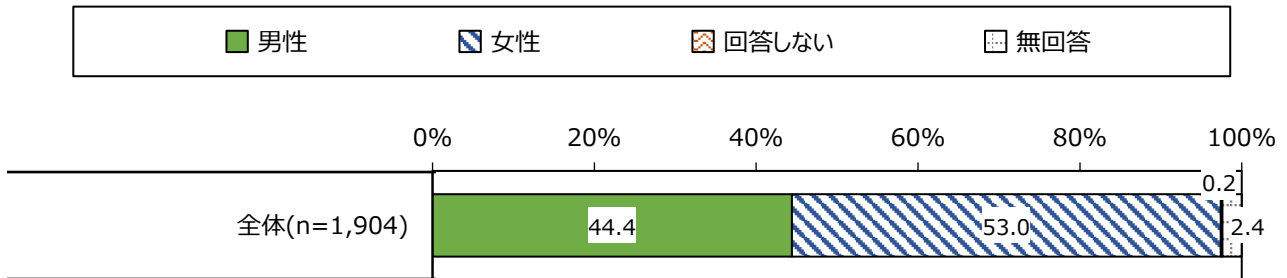


### 1-4 性別

問4 ご本人の性別について教えてください。(〇は1つ)

◆ 「男性」が44.4%、「女性」が53.0%

回答者の性別は、「男性」が44.4%、「女性」が53.0%、「回答しない」が0.2%となっています。



## 2) あなたのご家族や生活状況について

### 2-1 家族構成 ◎

問5 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

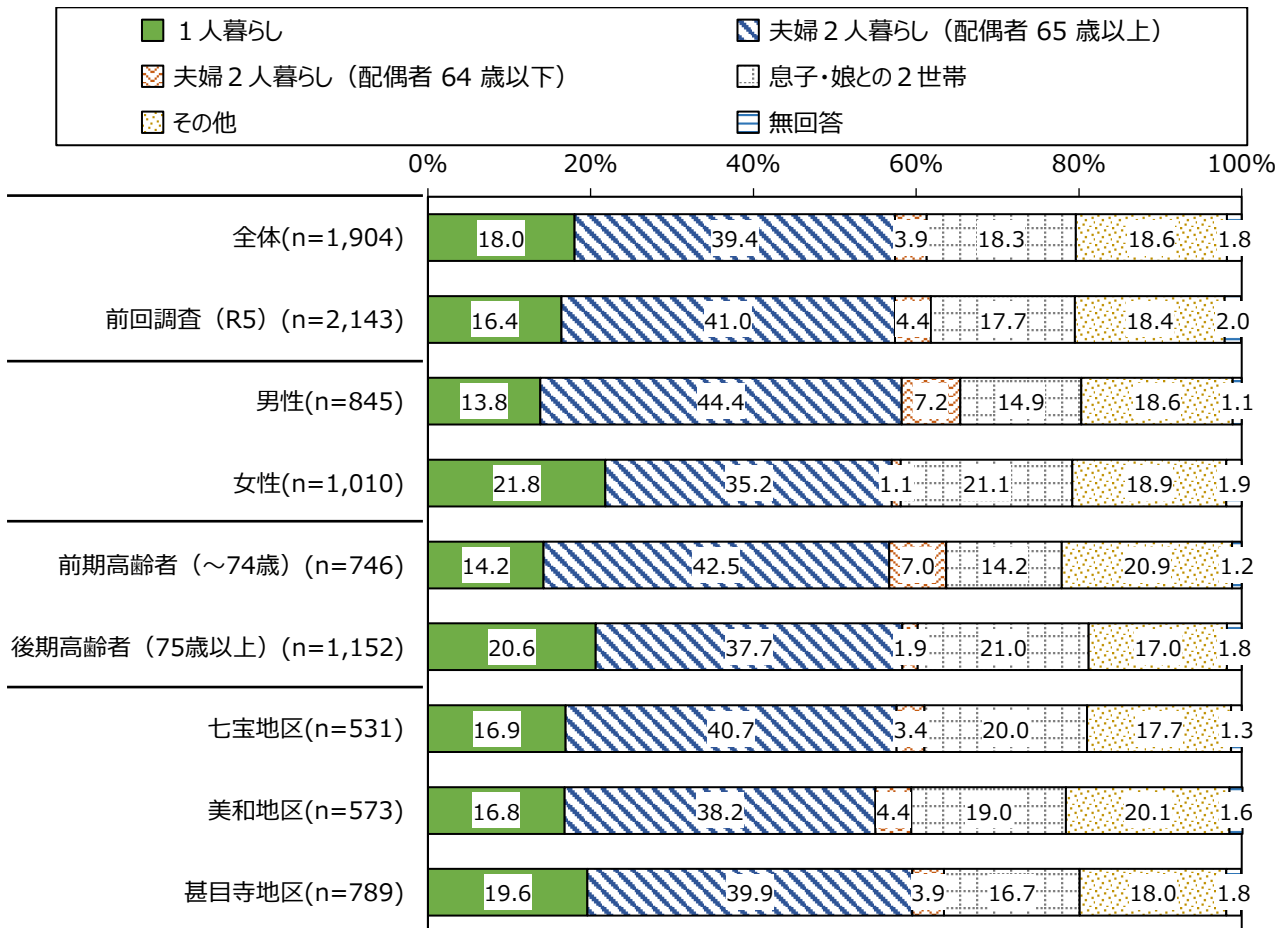
#### ◆ 「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が約4割

回答者の家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が39.4%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が18.3%、「1人暮らし」が18.0%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が3.9%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が多くなっています。また、女性では「1人暮らし」が男性より多くなっています。

年代別で見ると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「一人暮らし」が前期高齢者（～74歳）より多くなっています。

地区別で見ると、甚目寺地区は他の地区に比べて「一人暮らし」が多くなっています。



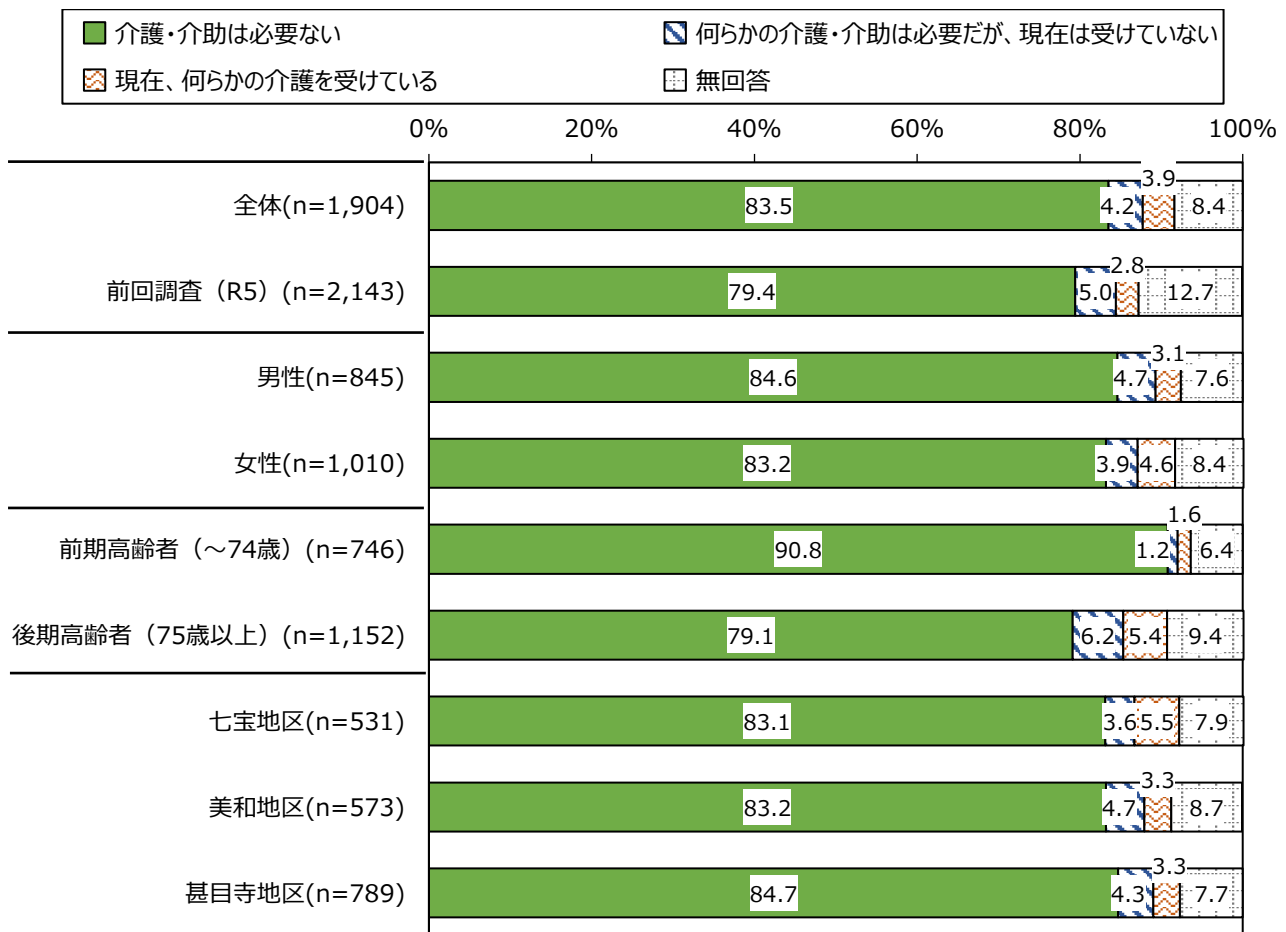
## 2-2 介護・介助の要否 ◎

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

### ◆ “介護の必要がある” が約1割

介護・介助の要否について、「介護・介助は必要ない」が83.5%となっています。また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の4.2%、「現在、何らかの介護を受けている」の3.9%を合わせた“介護の必要がある”人は8.1%となっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「介護・介助は必要ない」が10ポイント以上多くなっています。また、後期高齢者（75歳以上）では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.2%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.4%となっています。



### 2-3 介護・介助が必要になった原因 ○

問6で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方にお聞きします。

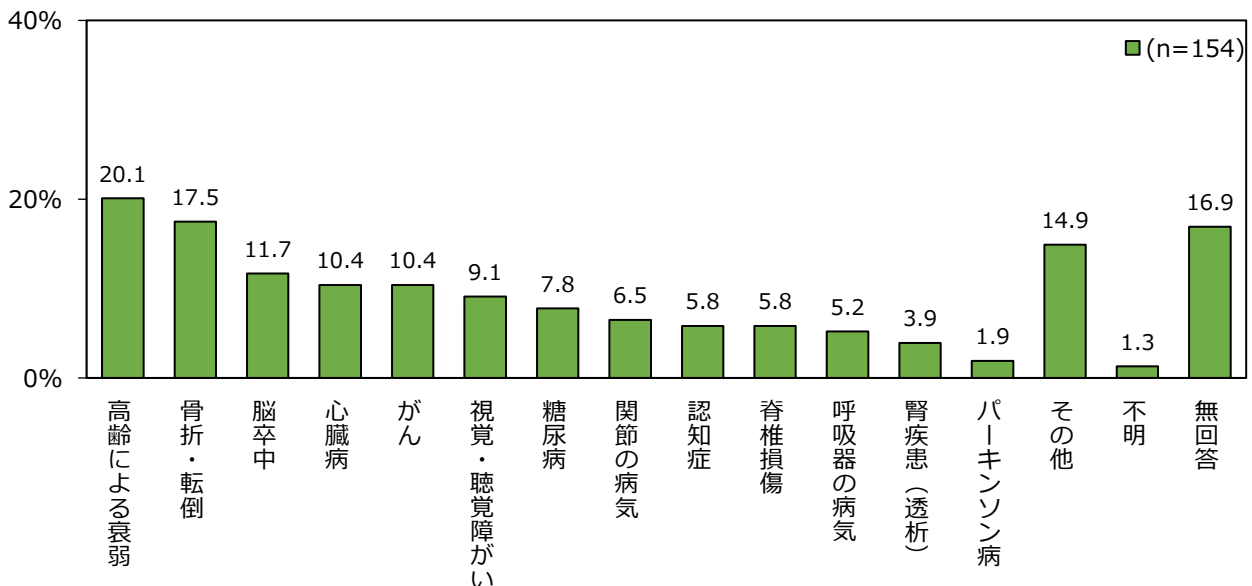
問6-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（○はいくつでも）

#### ◆ 「高齢による衰弱」が約2割

介護・介助が必要になった原因について、「高齢による衰弱」が20.1%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が17.5%、「脳卒中」が11.7%、「心臓病」が10.4%、「がん」が10.4%となっています。

性別でみると、男性のほうが「心臓病」、「がん」、「糖尿病」、「呼吸器の病気」が多く、女性のほうが「骨折・転倒」、「認知症」が多くなっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「高齢による衰弱」、「心臓病」が10ポイント以上多くなっています。



	高齢による衰弱	骨折・転倒	脳卒中	心臓病	がん	視覚・聴覚障がい	糖尿病	関節の病気	認知症	脊椎損傷	呼吸器の病気	腎疾患（透析）	パーキンソン病	その他	不明	無回答
全体 (n=154)	20.1	17.5	11.7	10.4	10.4	9.1	7.8	6.5	5.8	5.8	5.2	3.9	1.9	14.9	1.3	16.9
前回調査 (R5) (n=168)	16.7	22.0	10.7	14.3	4.2	6.5	8.9	9.5	8.3	4.2	10.1	3.0	2.4	10.7	0.6	19.6
男性 (n=66)	21.2	13.6	12.1	16.7	16.7	9.1	13.6	6.1	3.0	7.6	10.6	3.0	4.5	12.1	1.5	16.7
女性 (n=85)	20.0	18.8	10.6	4.7	4.7	9.4	3.5	7.1	8.2	4.7	1.2	4.7	0.0	17.6	1.2	17.6
前期高齢者（～74歳） (n=21)	9.5	9.5	9.5	0.0	9.5	4.8	14.3	4.8	9.5	0.0	9.5	0.0	0.0	23.8	0.0	23.8
後期高齢者（75歳以上） (n=133)	21.8	18.8	12.0	12.0	10.5	9.8	6.8	6.8	5.3	6.8	4.5	4.5	2.3	13.5	1.5	15.8
七宝地区 (n=48)	18.8	22.9	16.7	8.3	8.3	4.2	10.4	6.3	6.3	4.2	2.1	4.2	0.0	18.8	0.0	16.7
美和地区 (n=46)	21.7	19.6	8.7	8.7	15.2	10.9	6.5	6.5	8.7	2.2	2.2	2.2	4.3	13.0	0.0	15.2
甚目寺地区 (n=60)	20.0	11.7	10.0	13.3	8.3	11.7	6.7	6.7	3.3	10.0	10.0	5.0	1.7	13.3	3.3	18.3

## 2-4 主な介護・介助者 ○

問6で「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方にお聞きます。

問6-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。（○はいくつでも）

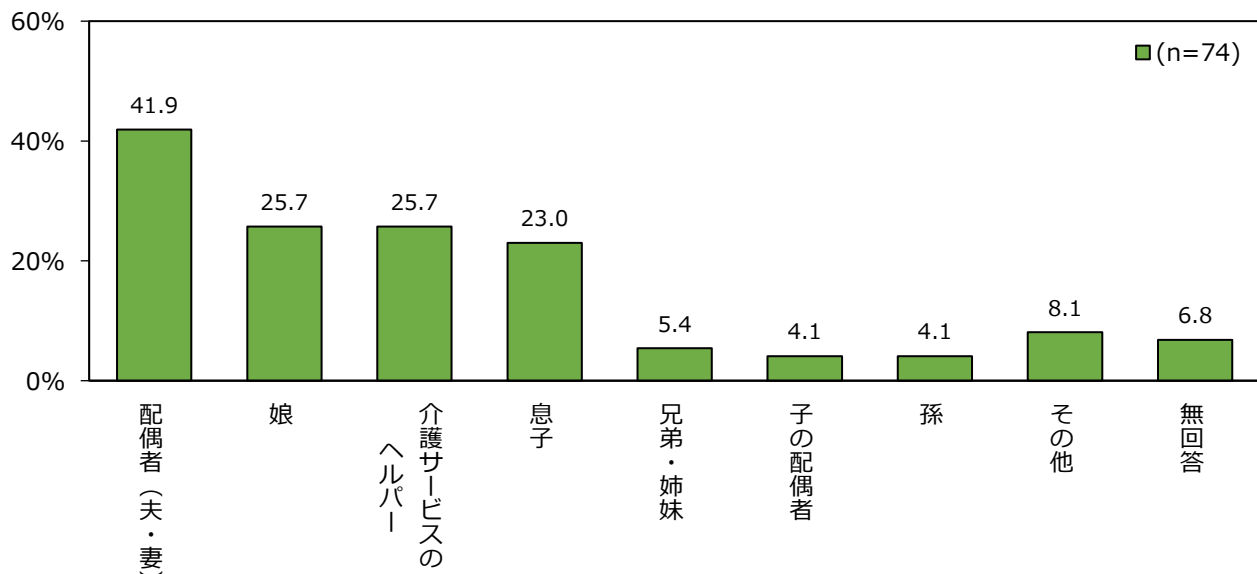
### ◆ 「配偶者（夫・妻）」に介助を受けている人が約4割

主な介護・介助者について、「配偶者（夫・妻）」が41.9%で最も多く、次いで「娘」が25.7%、「介護サービスのヘルパー」が25.7%、「息子」が23.0%、「兄弟・姉妹」が5.4%となっています。

性別でみると、男性のほうが「配偶者（夫・妻）」が多く、女性のほうが「娘」、「息子」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）、後期高齢者（75歳以上）ともに「配偶者（夫・妻）」が多くなっています。

地区別でみると、美和地区は他の地区に比べて「配偶者（夫・妻）」が多くなっています。



		配偶者（夫・妻）	娘	介護サービスのヘルパー	息子	兄弟・姉妹	子の配偶者	孫	その他	無回答
全体	(n=74)	41.9	25.7	25.7	23.0	5.4	4.1	4.1	8.1	6.8
前回調査 (R5)	(n=60)	35.0	25.0	23.3	30.0	1.7	10.0	5.0	10.0	1.7
男性	(n=26)	50.0	15.4	23.1	15.4	7.7	7.7	0.0	3.8	7.7
女性	(n=46)	39.1	32.6	26.1	23.9	4.3	2.2	6.5	10.9	6.5
前期高齢者（～74歳）	(n=12)	75.0	25.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0
後期高齢者（75歳以上）	(n=62)	35.5	25.8	27.4	27.4	6.5	3.2	4.8	6.5	8.1
七宝地区	(n=29)	37.9	37.9	17.2	27.6	3.4	3.4	6.9	13.8	3.4
美和地区	(n=19)	57.9	21.1	36.8	31.6	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0
甚目寺地区	(n=26)	34.6	15.4	26.9	11.5	3.8	7.7	0.0	7.7	15.4

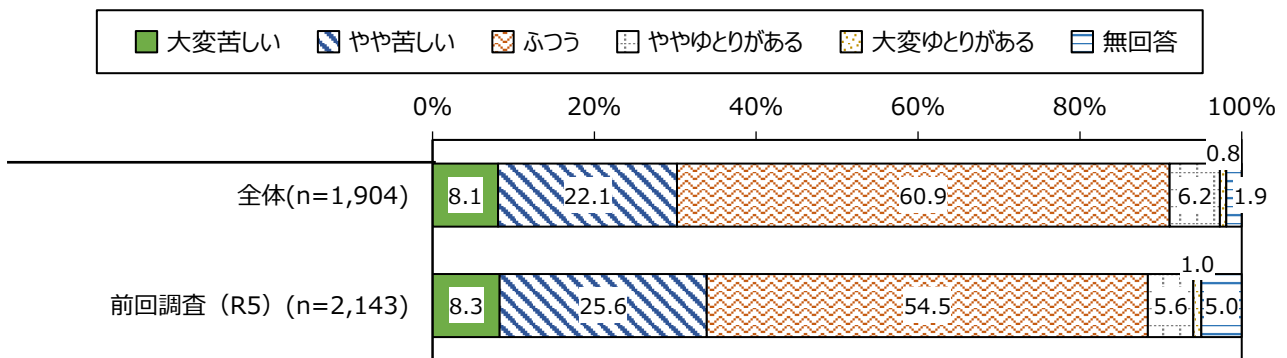
### 2-5 現在の経済状況 ◎

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

◆ “苦しい” が約3割

現在の経済状況について、「ふつう」が60.9%で最も多く、次いで「やや苦しい」が22.1%、「大変苦しい」が8.1%、「ややゆとりがある」が6.2%、「大変ゆとりがある」が0.8%となっています。

「ややゆとりがある」の6.2%と「大変ゆとりがある」の0.8%を合わせた“ゆとりがある”は7.0%、「大変苦しい」の8.1%と「やや苦しい」の22.1%を合わせた“苦しい”は30.2%となっています。

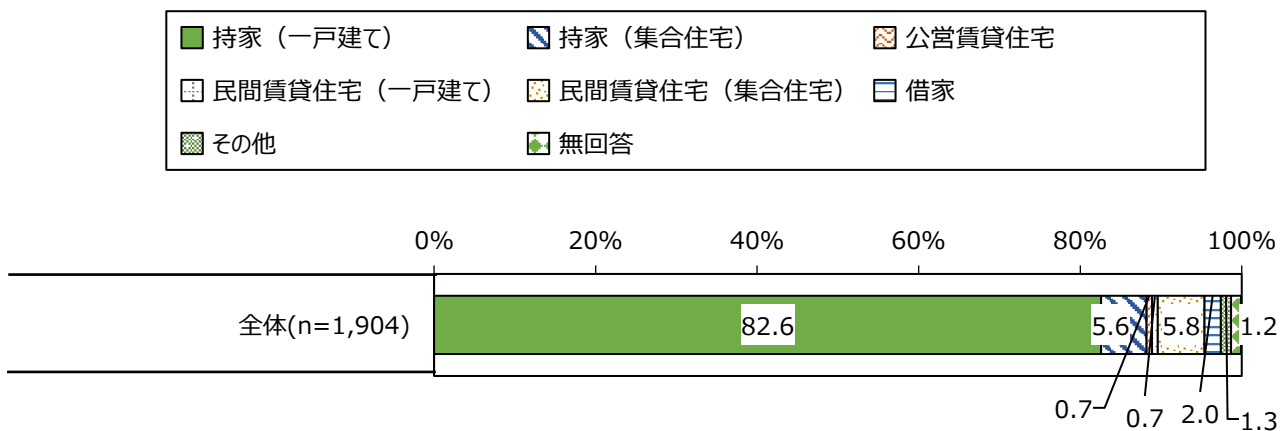


### 2-6 住まいについて ○

問8 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

◆ 「持家（一戸建て）」が約8割

住まいについて、「持家（一戸建て）」が82.6%で最も多く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が5.8%、「持家（集合住宅）」が5.6%、「借家」が2.0%となっています。



### 3) からだを動かすことについて

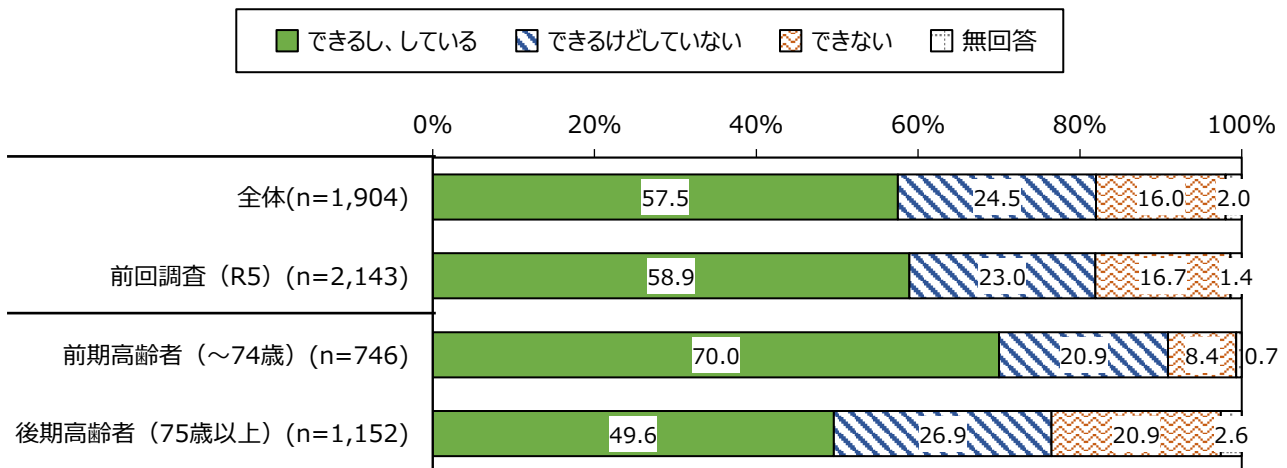
#### 3-1 階段昇降 ◎

問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が約2割

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が57.5%で、「できるけどしていない」が24.5%、「できない」が16.0%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「できない」が12.5ポイント多くなっています。



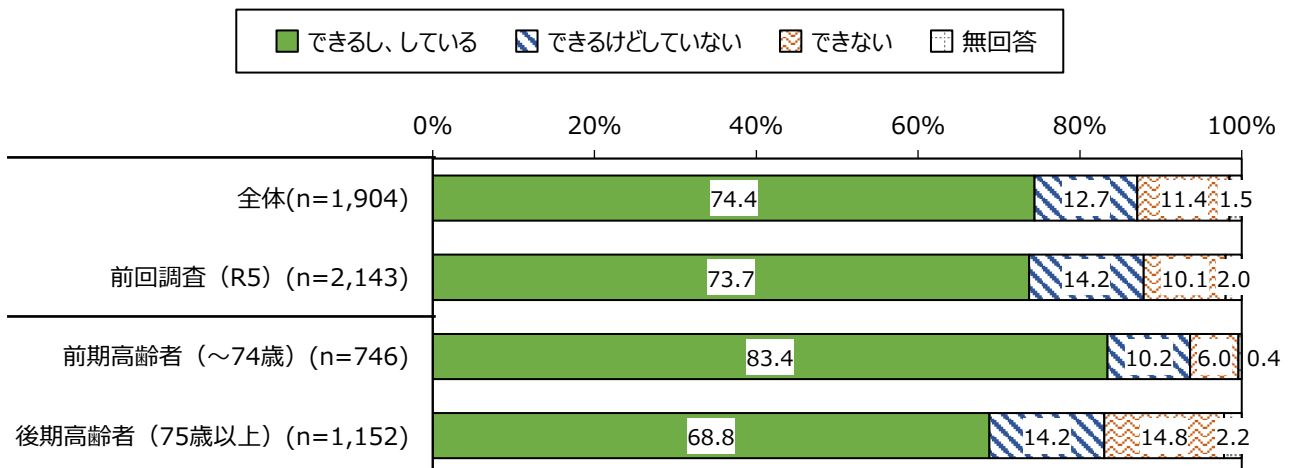
#### 3-2 椅子からの立ち上がり ◎

問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が約1割

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについて、「できるし、している」が74.4%、「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が11.4%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「できない」が8.8ポイント多くなっています。



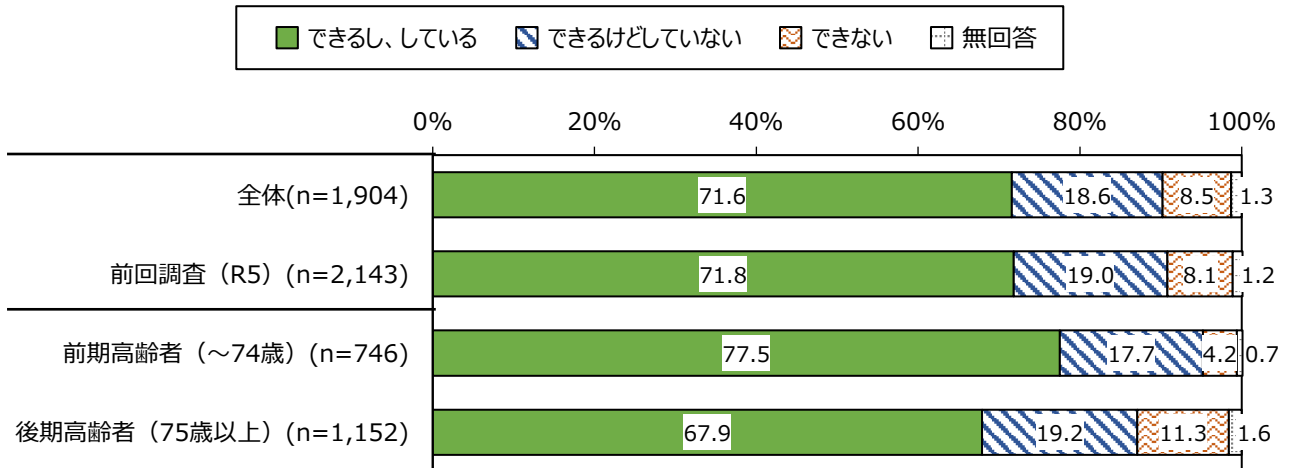
### 3-3 15分位続けて歩くこと ◎

問11 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が約1割

15分位続けて歩くことについて、「できるし、している」が71.6%、「できるけどしていない」が18.6%、「できない」が8.5%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「できない」が7.1ポイント多くなっています。



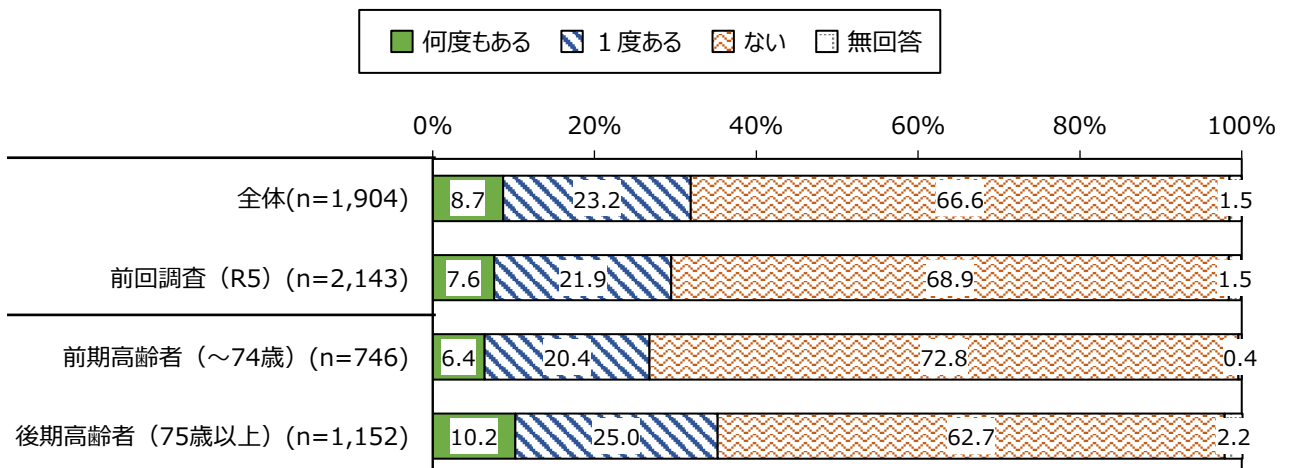
### 3-4 過去1年間の転倒経験 ◎

問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

◆ “転倒経験がある”が約3割

過去1年間の転倒経験について、「ない」が66.6%と最も多くなっています。一方で「何度もある」の8.7%と「1度ある」の23.2%を合わせた“転倒経験がある”人は31.9%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが“転倒経験がある”が8.4ポイント多くなっています。



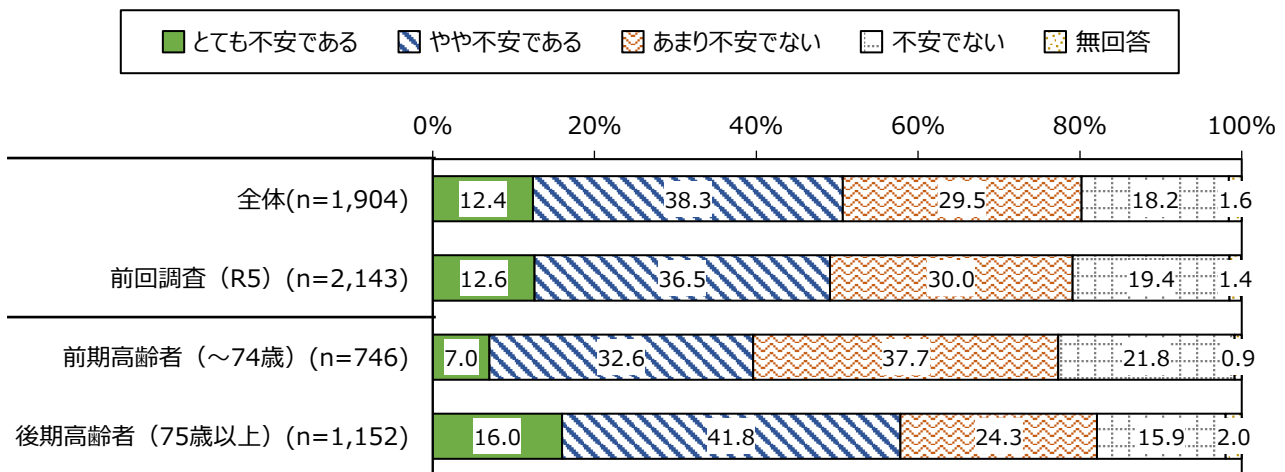
### 3-5 転倒に対する不安 ㊦

問13 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

◆ “不安を感じている” が約5割

転倒に対する不安について、「とても不安である」の12.4%と「やや不安である」の38.3%を合わせた“不安を感じている”は50.7%となっています。一方で、「あまり不安でない」の29.5%と「不安でない」の18.2%を合わせた“不安は感じていない”人は47.7%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者(75歳以上)のほうが“不安を感じている”が18.2ポイント多くなっています。



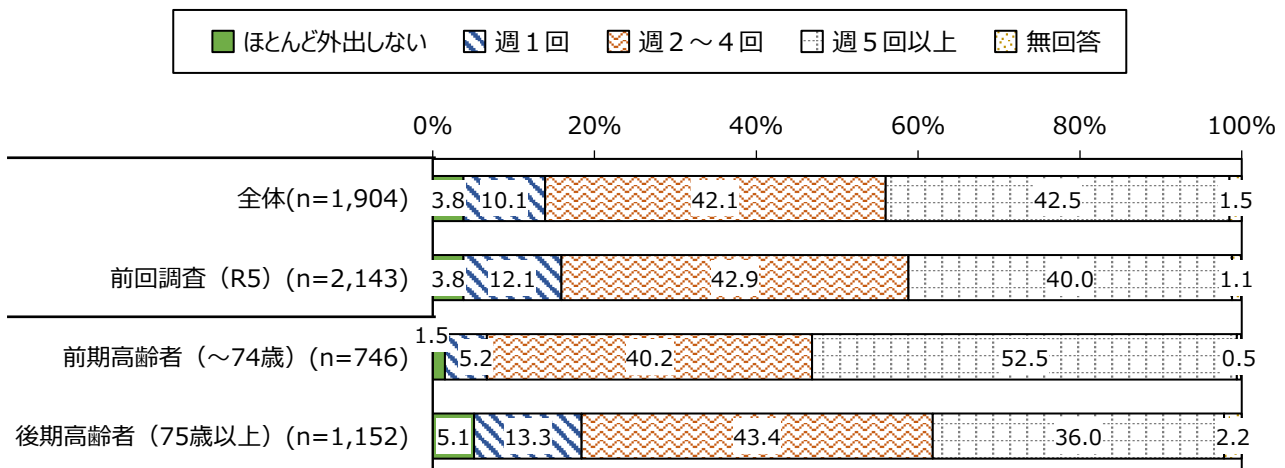
### 3-6 外出頻度 ㊦

問14 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

◆ 「ほとんど外出しない」は少数

外出頻度について、「週5回以上」が42.5%で最も多く、次いで「週2～4回」が42.1%、「週1回」が10.1%となっており、これらを合わせた94.7%が“週1回以上外出している”ことになります。一方で、「ほとんど外出しない」は3.8%となっています。

年代別でみると、前期高齢者(～74歳)のほうが「週5回以上」が16.5ポイント多くなっています。



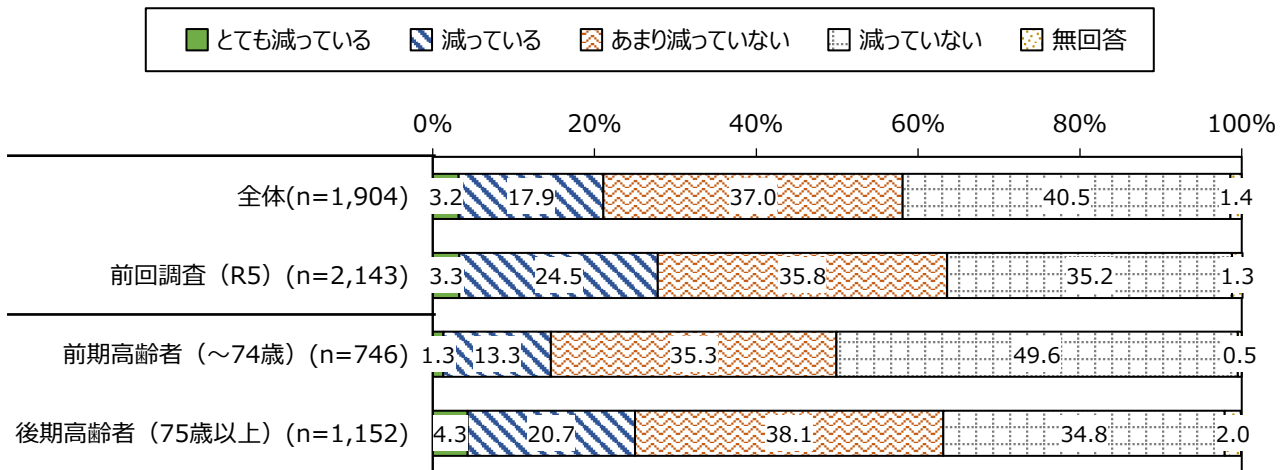
### 3-7 外出回数の減少 ◎

問15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

◆ “外出回数が減っている” が約2割

外出回数について、「減っていない」が40.5%と最も多く、「あまり減っていない」の37.0%と合わせた“外出回数は減っていない”は77.5%となっています。一方で、「とても減っている」の3.2%、「減っている」の17.9%を合わせた“外出回数が減っている”人は21.1%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが“外出回数が減っている”が10.4ポイント多くなっています。



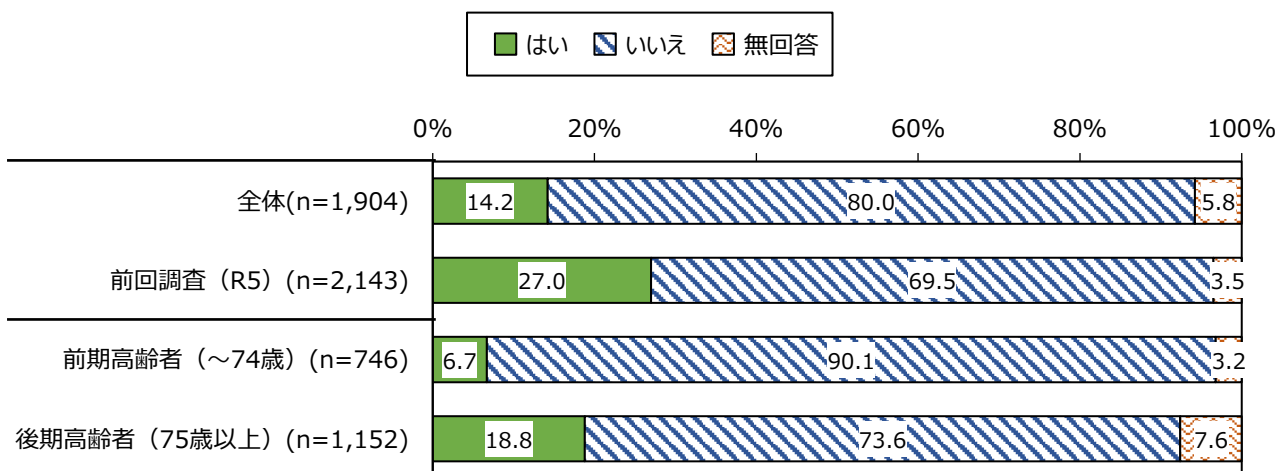
### 3-8 外出を控えているか ○

問16 外出を控えていますか。(○は1つ)

◆ 外出を控えている人が約1割

外出を控えているかについて、「はい」が14.2%、「いいえ」が80.0%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が12.1ポイント多くなっています。



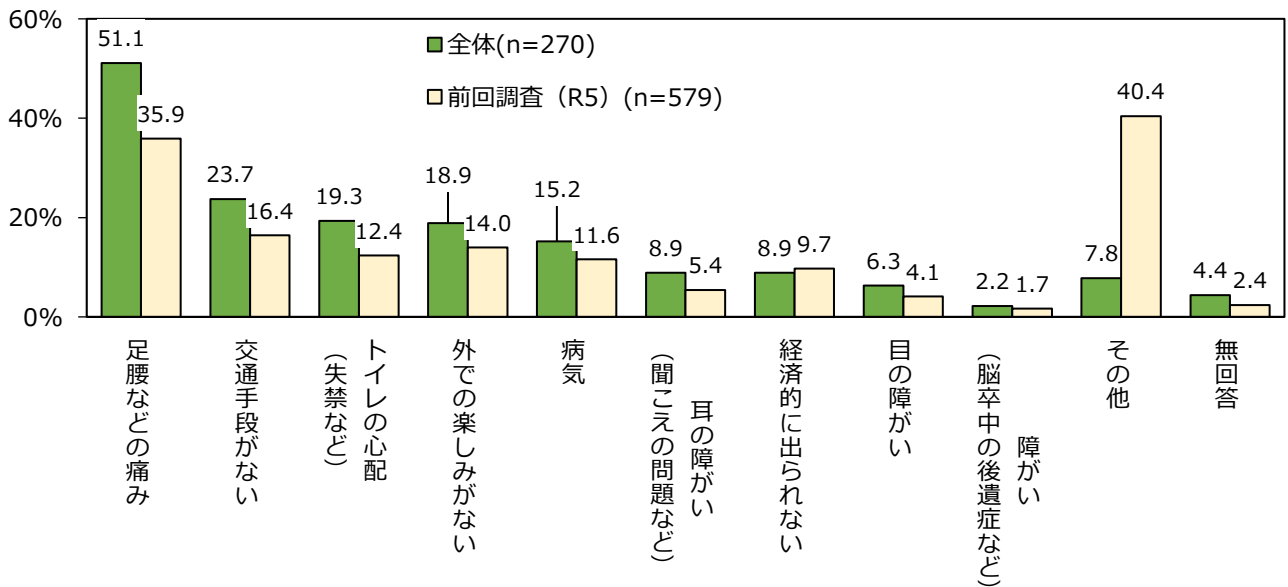
### 3-9 外出を控えている理由 ○

問16で「はい」とお答えの方にお聞きします。

問16-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

◆ 「足腰などの痛み」が約5割

外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が51.1%で最も多く、次いで「交通手段がない」が23.7%、「トイレの心配(失禁など)」が19.3%、「外での楽しみがない」が18.9%、「病気」が15.2%となっています。

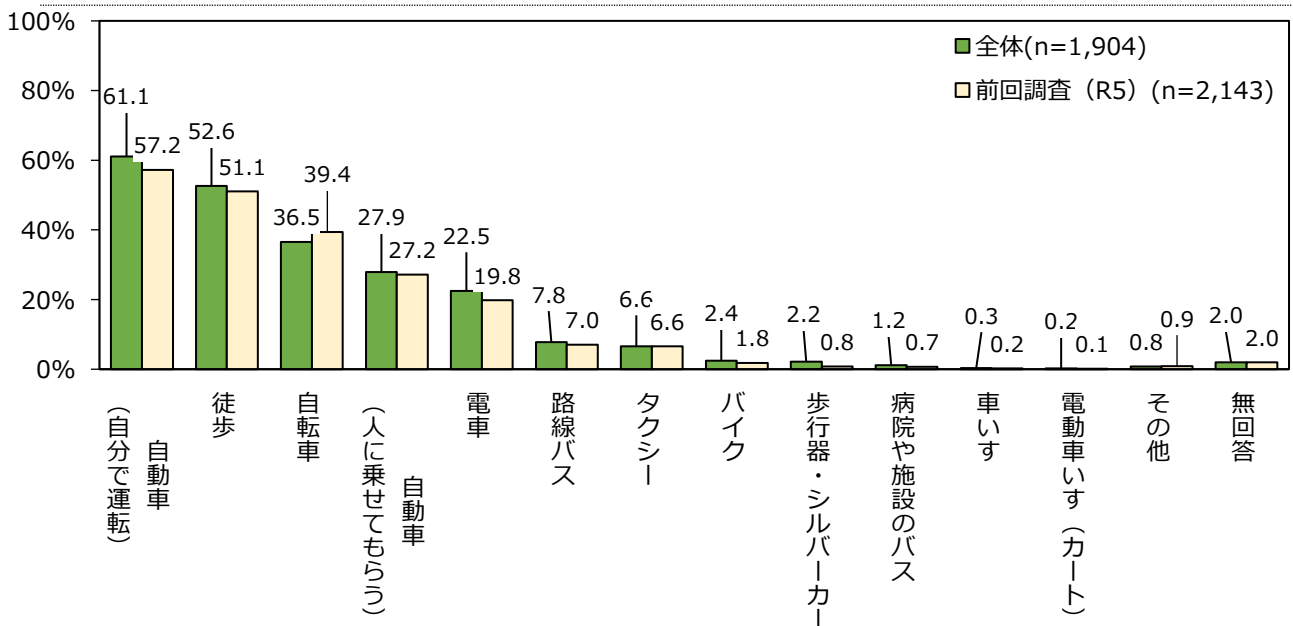


### 3-10 移動手段 ○

問17 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

◆ 「自動車(自分で運転)」が約6割

外出する際の移動手段について、「自動車(自分で運転)」が61.1%で最も多く、次いで「徒歩」が52.6%、「自転車」が36.5%、「自動車(人に乗せてもらう)」が27.9%、「電車」が22.5%となっています。



## 4) 食べることについて

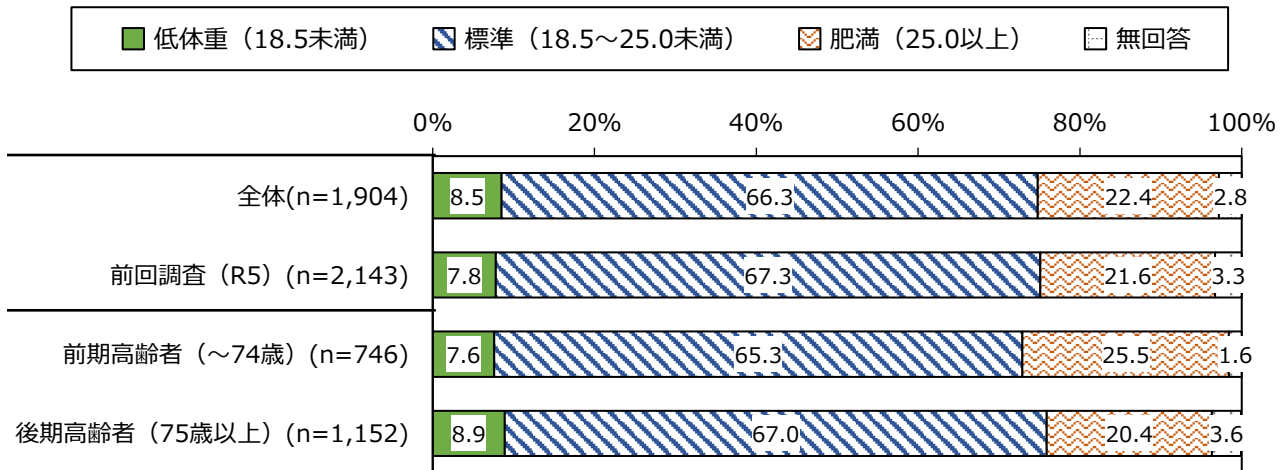
### 4-1 BMI ◎

問18 身長と体重をお書きください。

#### ◆ 「肥満」が約2割、「低体重」が約1割

身長、体重を基にBMIを計算したところ、「低体重（18.5未満）」が8.5%、「標準（18.5～25.0未満）」が66.3%、「肥満（25.0以上）」が22.4%となっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。



※BMI : 成人の肥満度を表す体格指数。体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m)) で算出される。

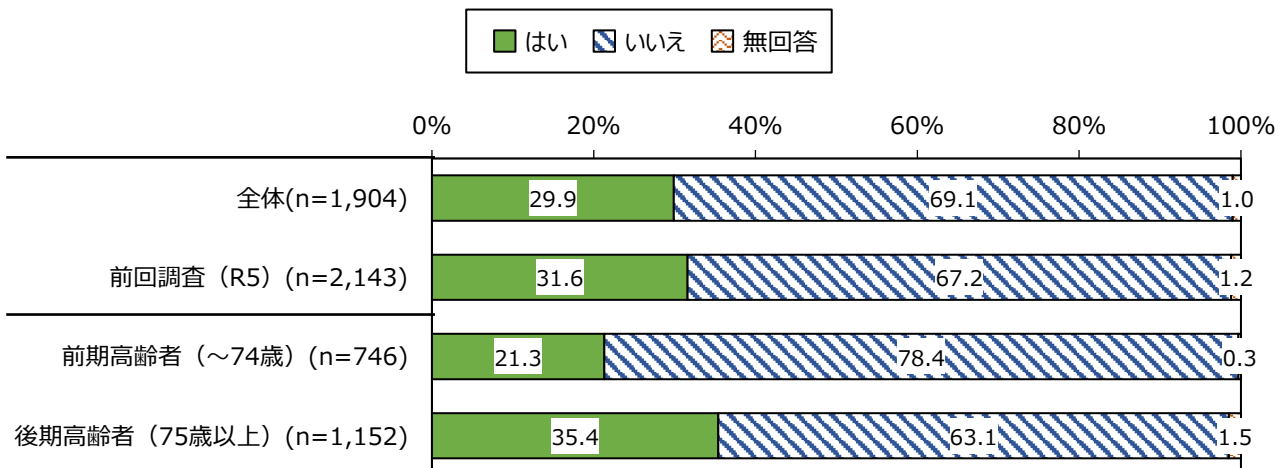
### 4-2 固いものの食べにくさ ◎

問19 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

#### ◆ 半年前に比べて固いものが食べにくくなった人が約3割

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が29.9%、「いいえ」が69.1%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が14.1ポイント多くなっています。



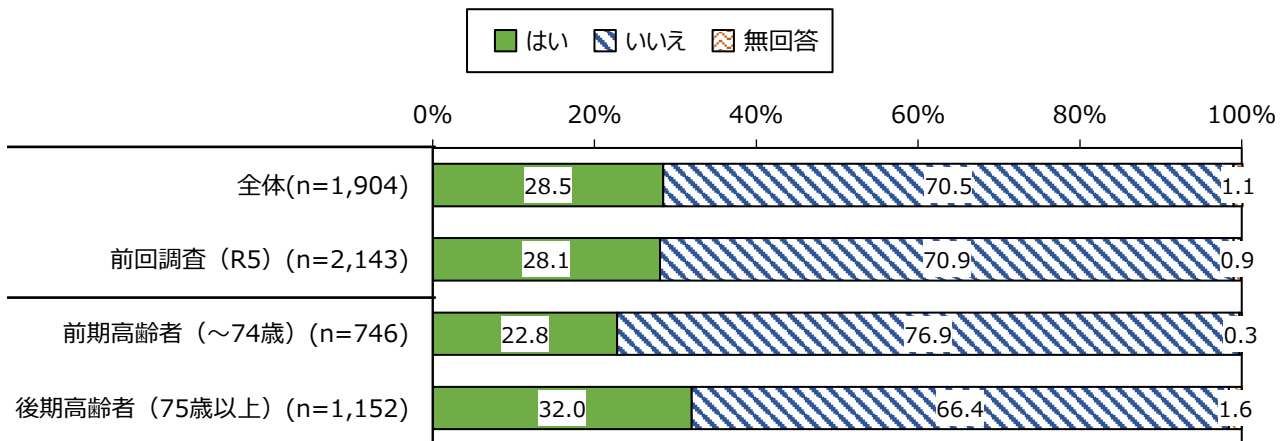
### 4-3 お茶や汁物等でむせること ○

問20 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

◆ お茶や汁物等でむせることがある人が約3割

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が28.5%、「いいえ」が70.5%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が9.2ポイント多くなっています。



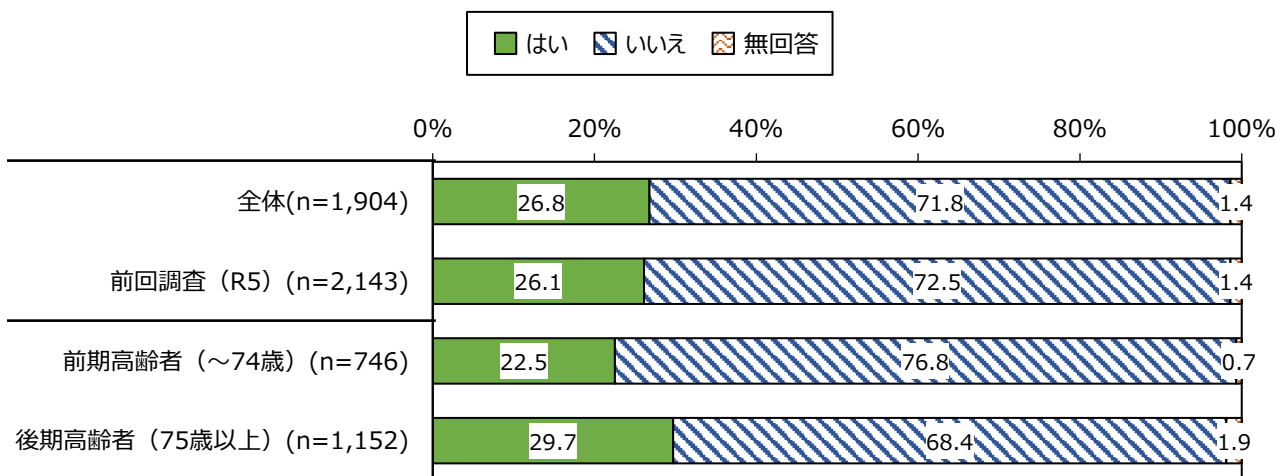
### 4-4 口の渇き ○

問21 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

◆ 口の渇きが気になる人が約3割

口の渇きが気になるかについて、「はい」が26.8%、「いいえ」が71.8%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が7.2ポイント多くなっています。

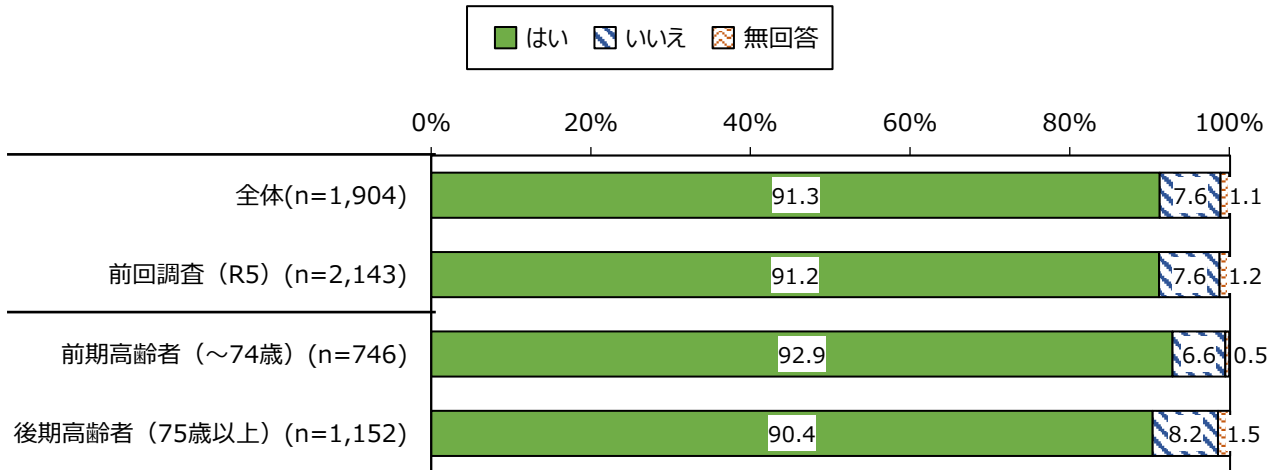


### 4-5 歯磨き習慣 ○

問22 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

◆ 歯磨きを毎日していない人が約1割

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が91.3%、「いいえ」が7.6%となっています。年代別で比較しても大きな差はみられません。



### 4-6 歯の数および入れ歯の利用状況 ◎

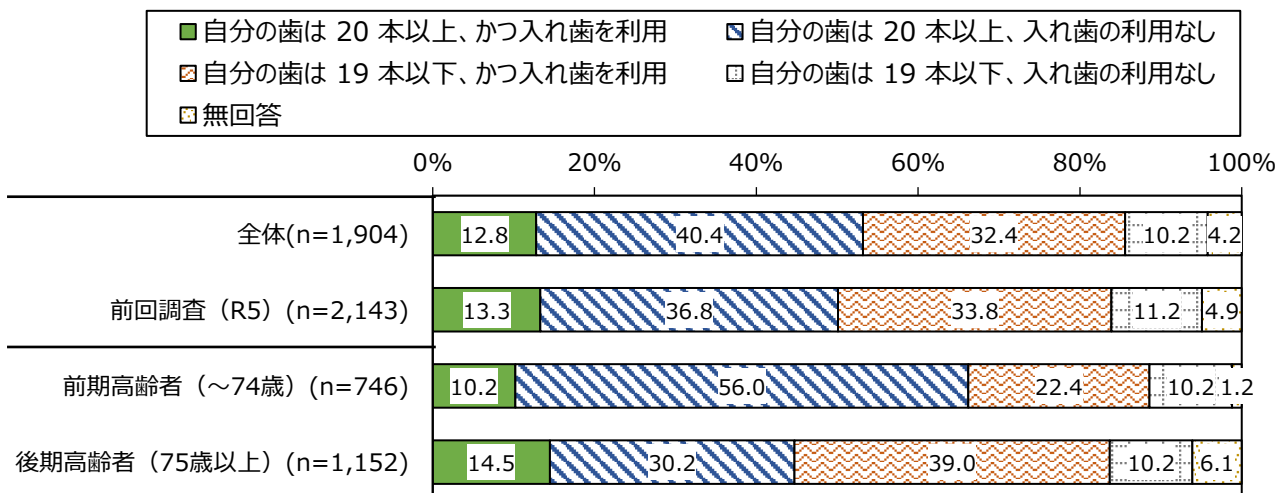
問23 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。（○は1つ）

◆ “入れ歯を利用” は約4割

歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.4%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が32.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が12.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が10.2%となっています。

また、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の12.8%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の32.4%を合わせた“入れ歯を利用”は45.2%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが“入れ歯を利用”が20.9ポイント多くなっています。

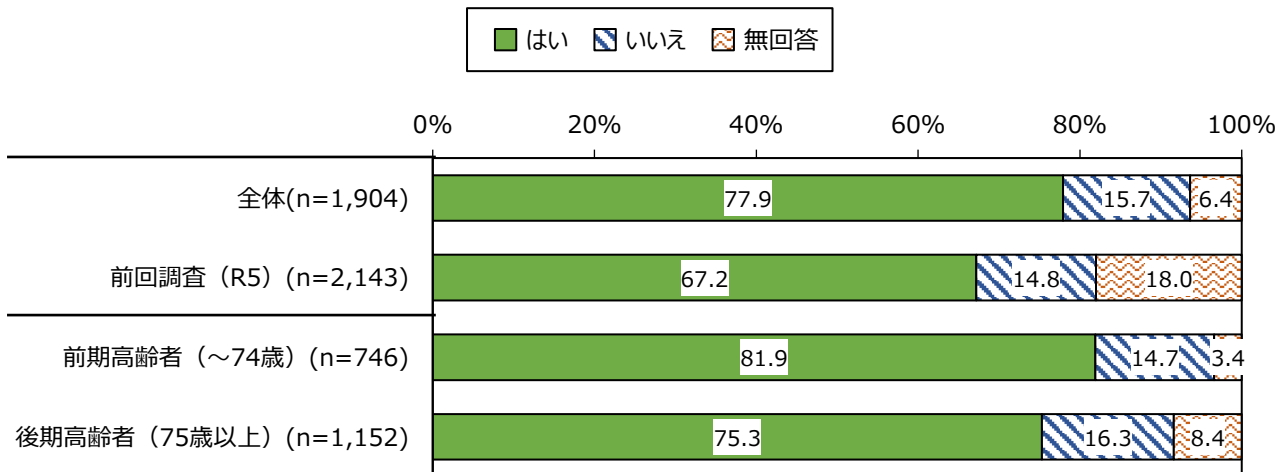


### 4-7 歯の噛み合わせ ○

問23-1 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

◆ 噛み合わせが悪い人が約1割

歯の噛み合わせが良いかについて、「はい」が77.9%、「いいえ」が15.7%となっています。年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が6.6ポイント多くなっています。



### 4-8 入れ歯のお手入れ ○

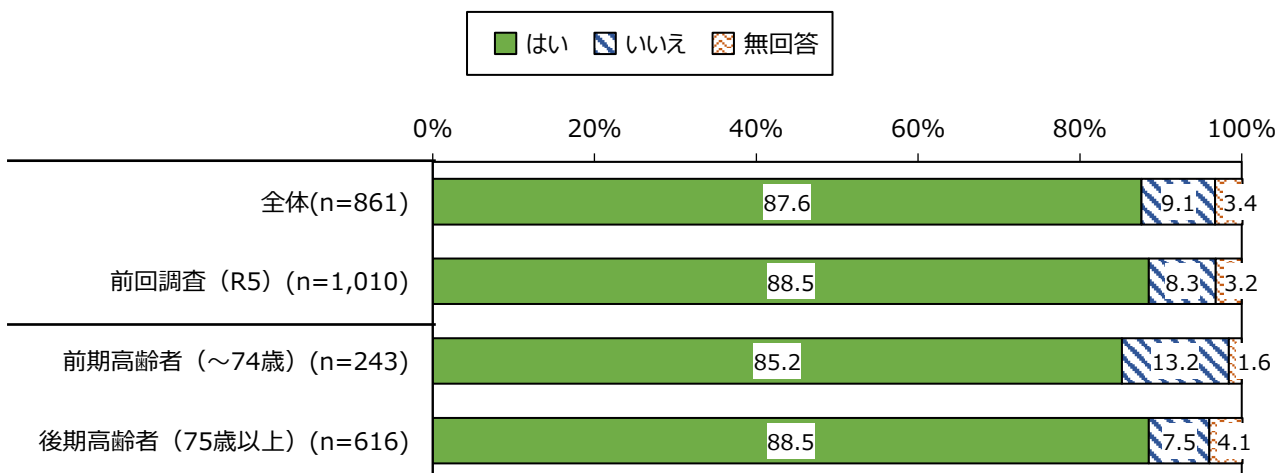
問23で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方にお聞きします。

問23-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

◆ 毎日入れ歯の手入れをしていない人が約1割

毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が87.6%、「いいえ」が9.1%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「いいえ」が5.7ポイント多くなっています。



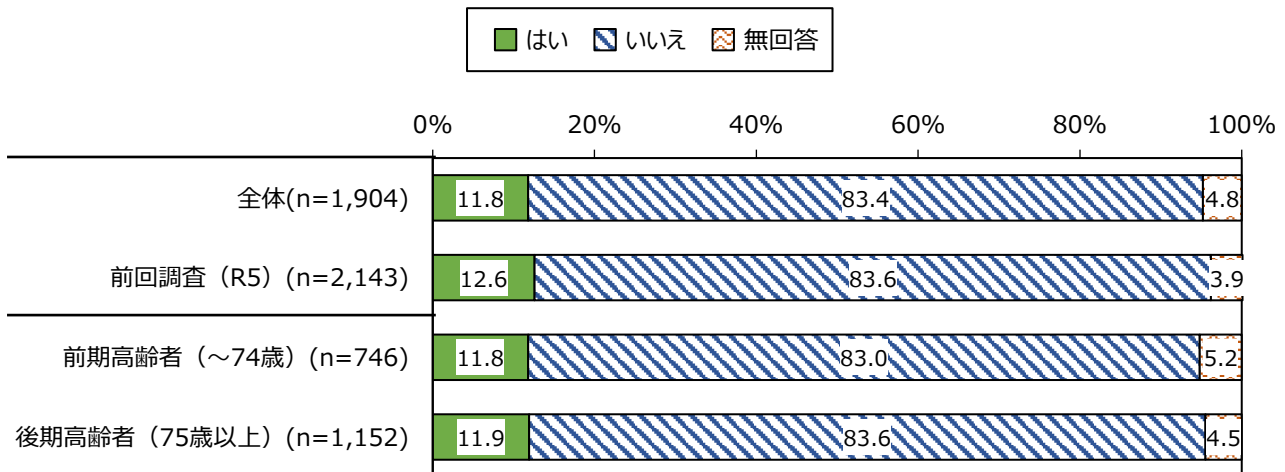
#### 4-9 体重減少の有無 ○

問24 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

◆ 6か月間で2～3kgの体重減少があった人が約1割

6か月間で体重減少があったかについて、「はい」が11.8%、「いいえ」が83.4%となっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。



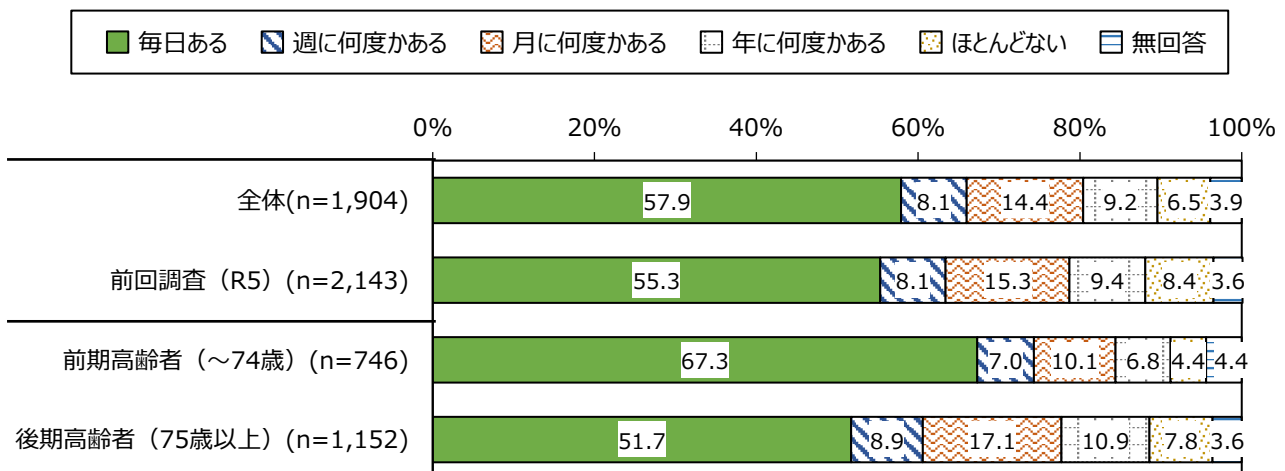
#### 4-10 食事をとにもする機会 ◎

問25 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

◆ 食事をとにもする機会がほとんどない人が約1割

食事をとにもする機会について、「毎日ある」が57.9%と最も多く、「週に何度かある」の8.1%、「月に何度かある」の14.4%、「年に何度かある」の9.2%を合わせた“食事をとにもする機会がある”と回答した人は89.6%となっています。一方で、「ほとんどない」は6.5%となっています。

年代別でみると、前期高齢者 (~74歳) のほうが“食事をとにもする機会がある”が2.6ポイント多くなっています。



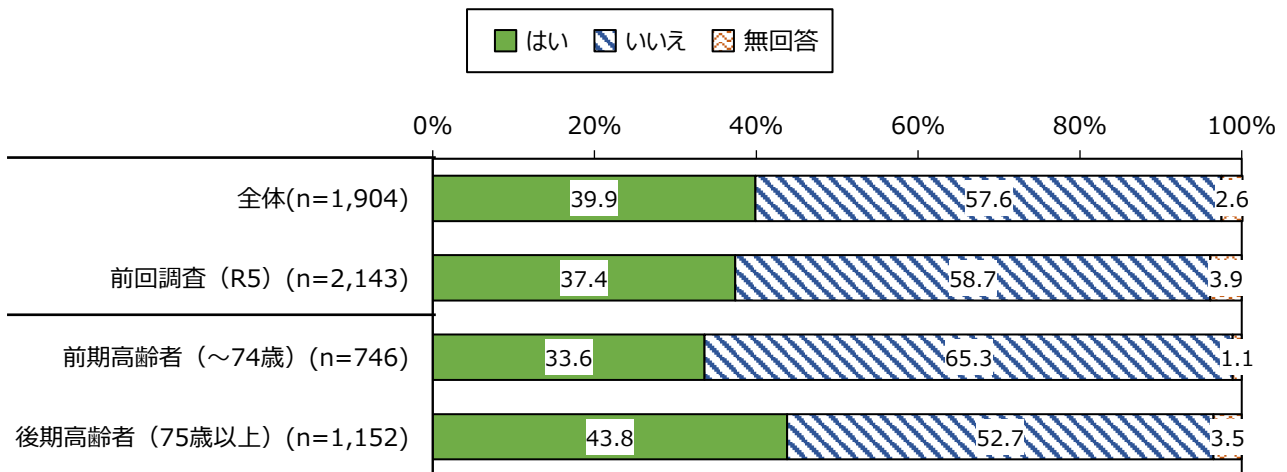
## 5) 毎日の生活について

### 5-1 物忘れの頻度 ◎

問26 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

#### ◆ 物忘れが多いと感じる人が約4割

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が39.9%、「いいえ」が57.6%となっています。年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が10.2ポイント多くなっています。



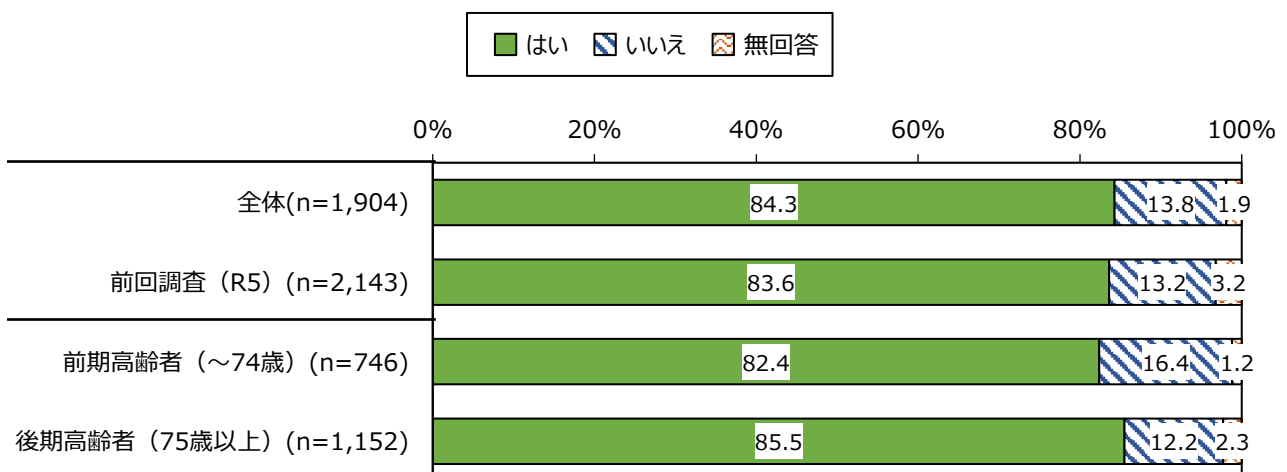
### 5-2 電話番号を調べてかけること ○

問27 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

#### ◆ 自分で電話をかけることをしない人が約1割

自分で電話番号を調べてかけることをしているかについて、「はい」が84.3%、「いいえ」が13.8%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「いいえ」が4.2ポイント多くなっています。



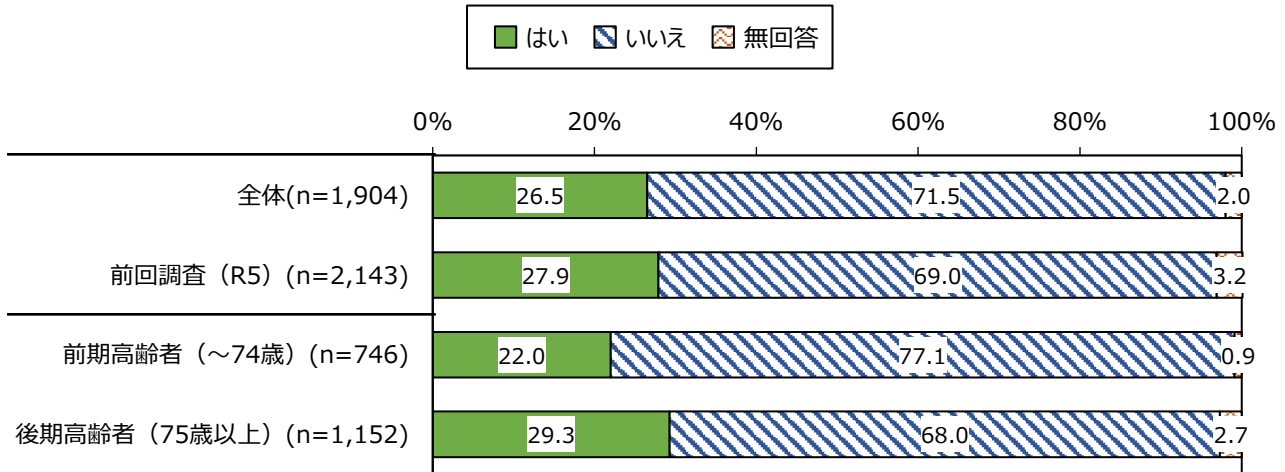
### 5-3 今日の日付がわからなくなること ○

問28 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

◆ 今日が何月何日かわからない時がある人が約3割

今日の日付がわからない時があるかについて、「はい」が26.5%、「いいえ」が71.5%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が7.3ポイント多くなっています。



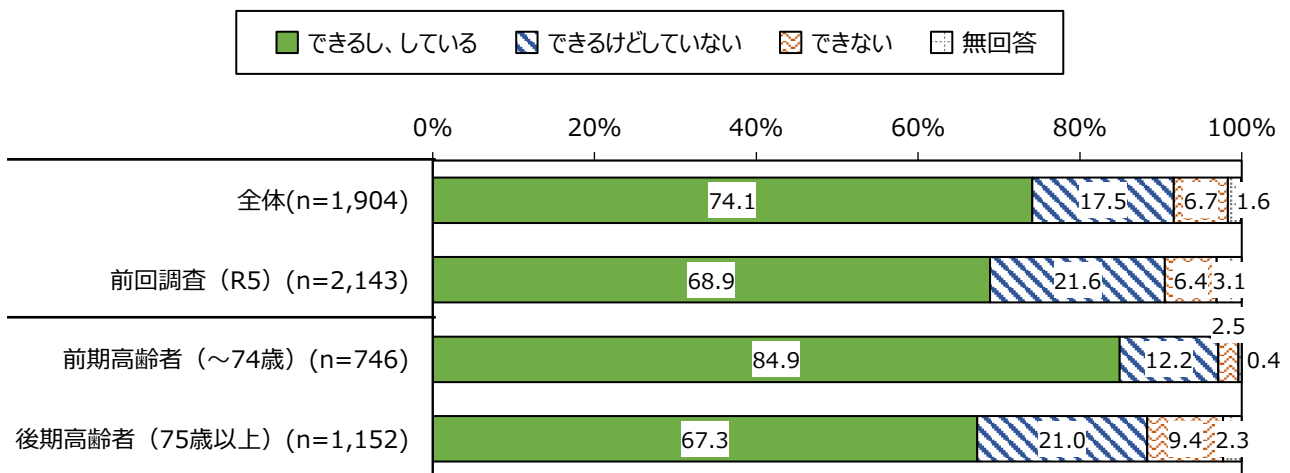
### 5-4 一人での外出 ◎

問29 バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

◆ 「できない」が約1割

一人で外出しているかについて、「できるし、している」が74.1%、「できるけどしていない」が17.5%、「できない」が6.7%となっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「できるし、している」が17.6ポイント多くなっています。



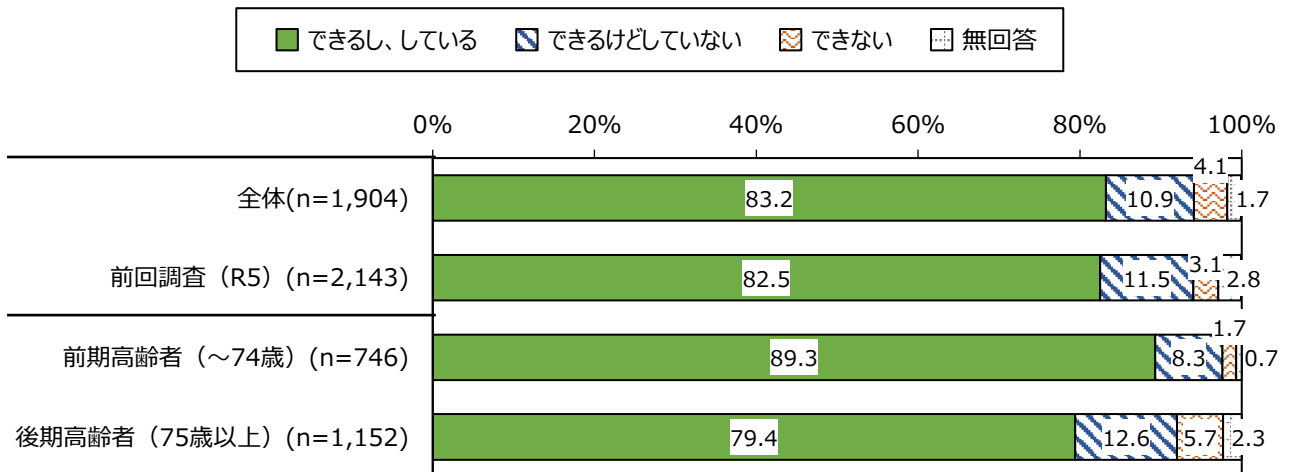
### 5-5 買物習慣 ◎

問30 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」は少数

自分で買物をしているかについて、「できるし、している」が83.2%、「できるけどしていない」が10.9%、「できない」が4.1%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「できるし、している」が9.9ポイント多くなっています。



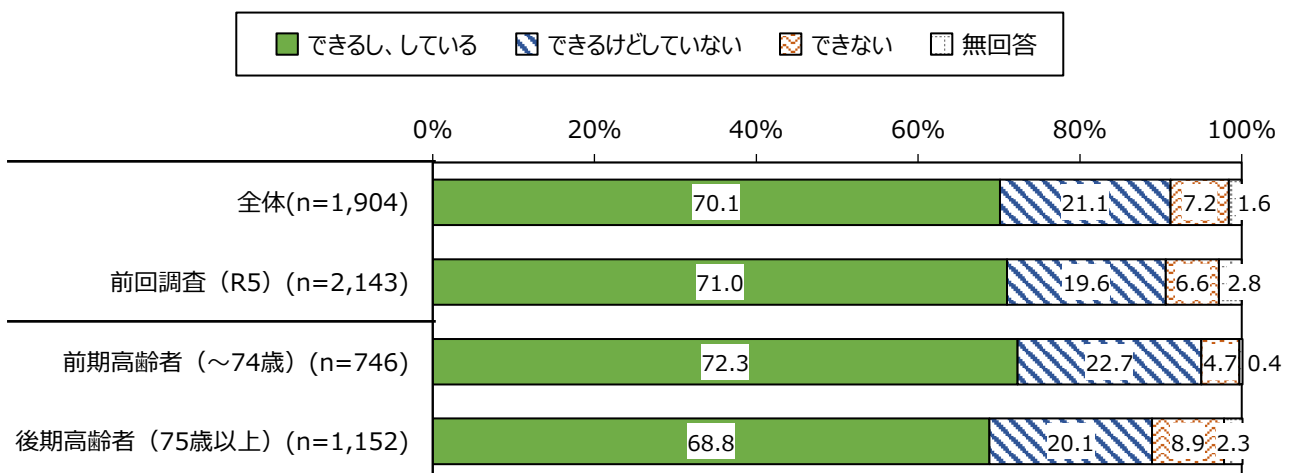
### 5-6 食事の用意 ◎

問31 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が約1割

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が70.1%、「できるけどしていない」が21.1%、「できない」が7.2%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「できるし、している」が3.5ポイント多くなっています。



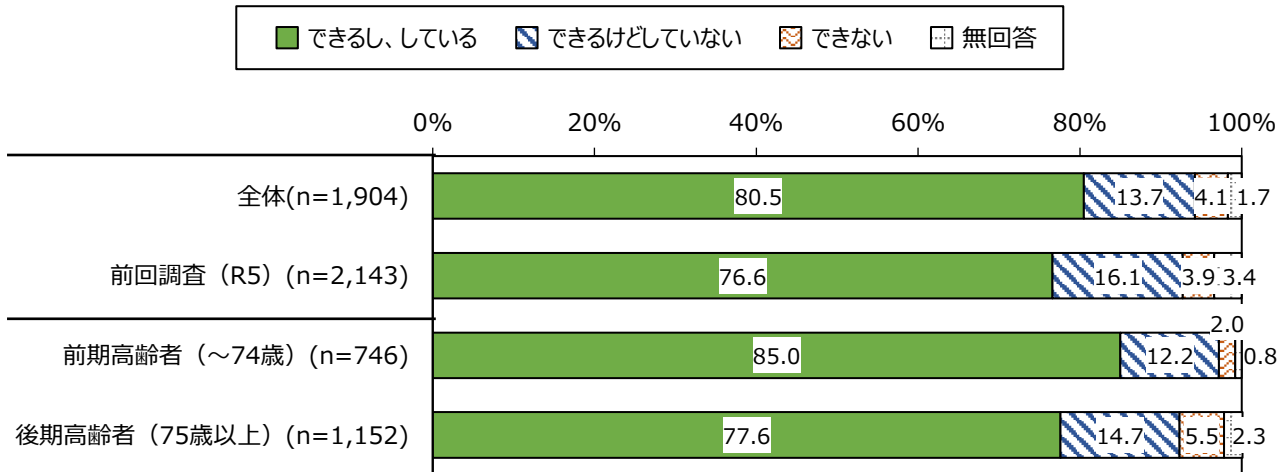
### 5-7 請求書の支払い ◎

問32 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」は少数

請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が80.5%、「できるけどしていない」が13.7%、「できない」が4.1%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「できるし、している」が7.4ポイント多くなっています。



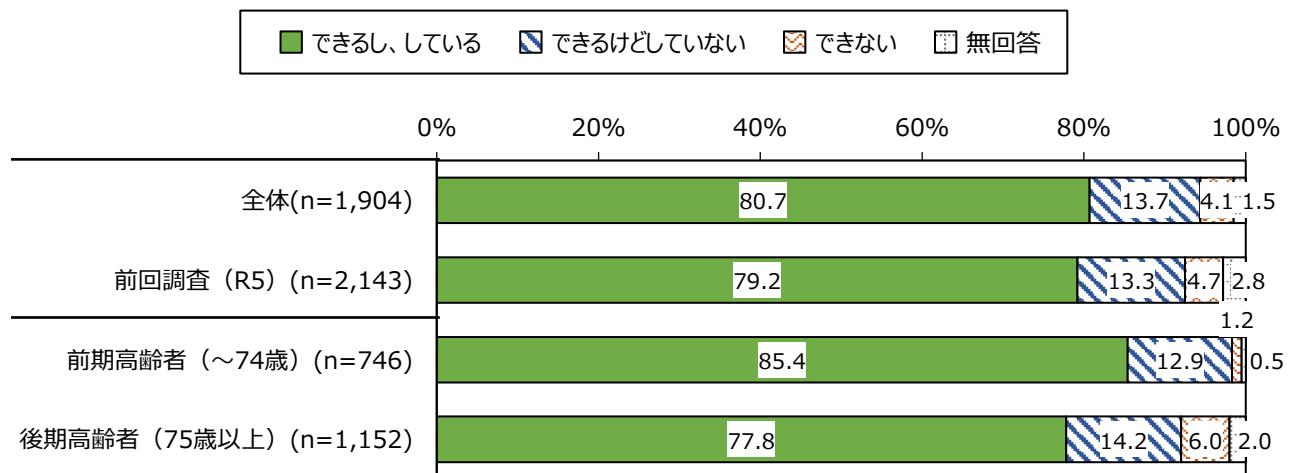
### 5-8 預貯金の出し入れ ◎

問33 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」は少数

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が80.7%、「できるけどしていない」が13.7%、「できない」が4.1%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「できるし、している」が7.6ポイント多くなっています。

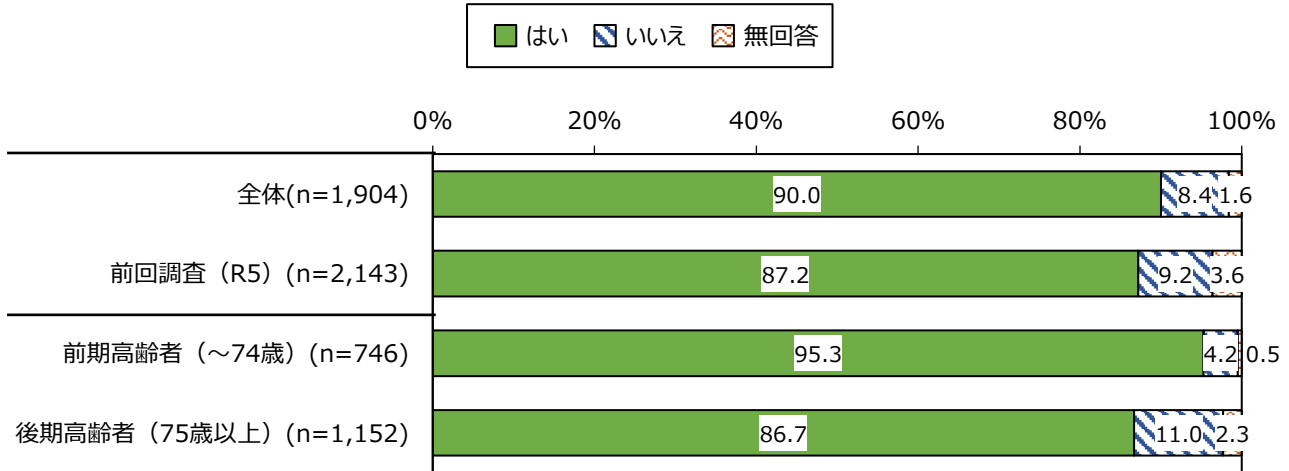


### 5-9 年金などの書類を書くこと ○

問34 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ）

◆ 年金などの書類が書けない人が約1割

年金などの書類が書けるかについて、「はい」が90.0%、「いいえ」が8.4%となっています。  
年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が8.6ポイント多くなっています。

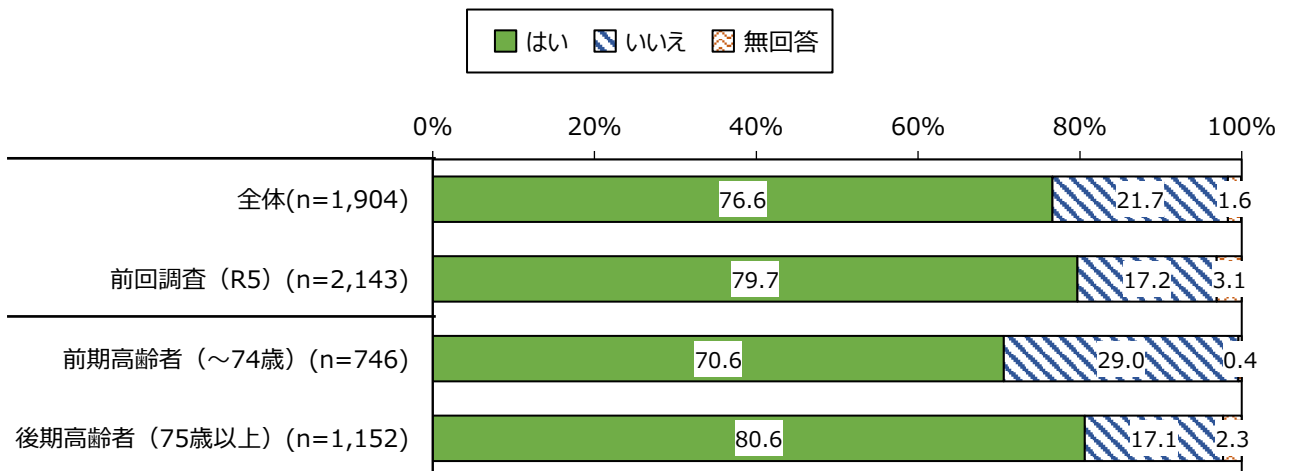


### 5-10 新聞を読むこと ○

問35 新聞を読んでいますか。（○は1つ）

◆ 新聞を読んでいない人が約2割

新聞を読んでいるかについて、「はい」が76.6%、「いいえ」が21.7%となっています。  
年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が10ポイント多くなっています。

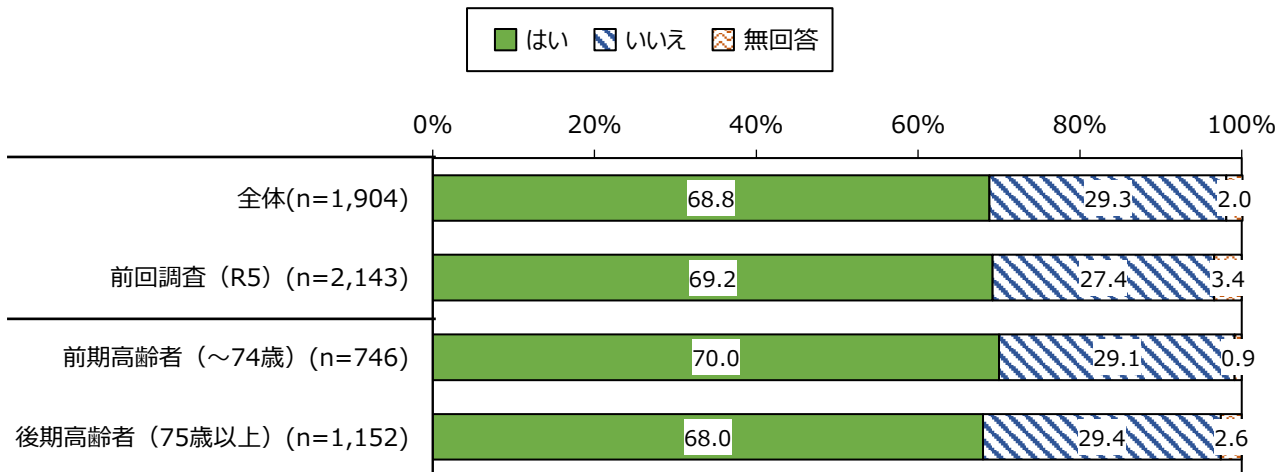


### 5-11 本や雑誌を読むこと ○

問36 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

◆ 本や雑誌を読んでいない人が約3割

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が68.8%、「いいえ」が29.3%となっています。年代別で比較しても大きな差はみられません。



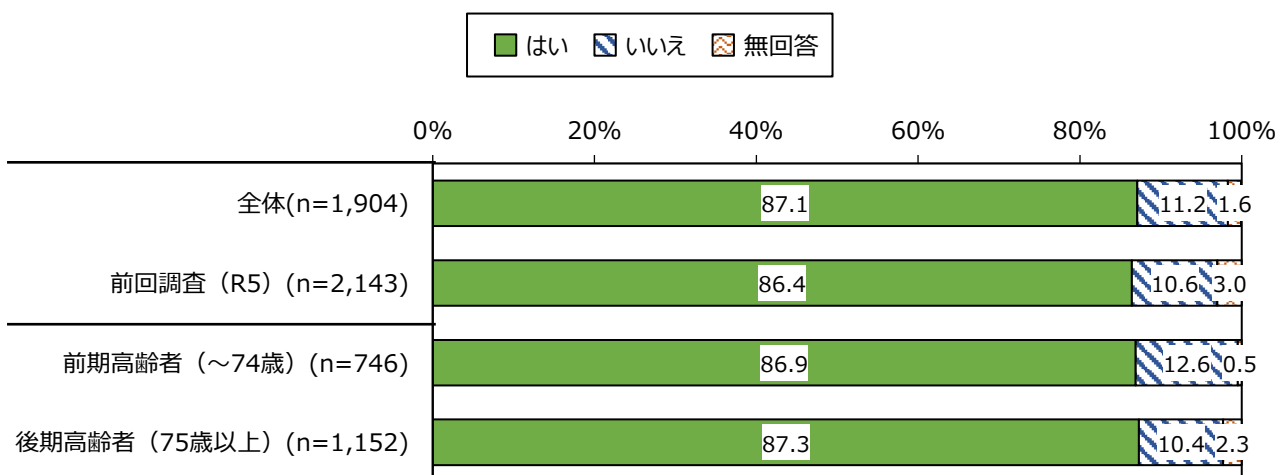
### 5-12 健康についての記事や番組への関心

問37 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

◆ 健康についての記事や番組に関心がある人が約9割

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が87.1%、「いいえ」が11.2%となっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。

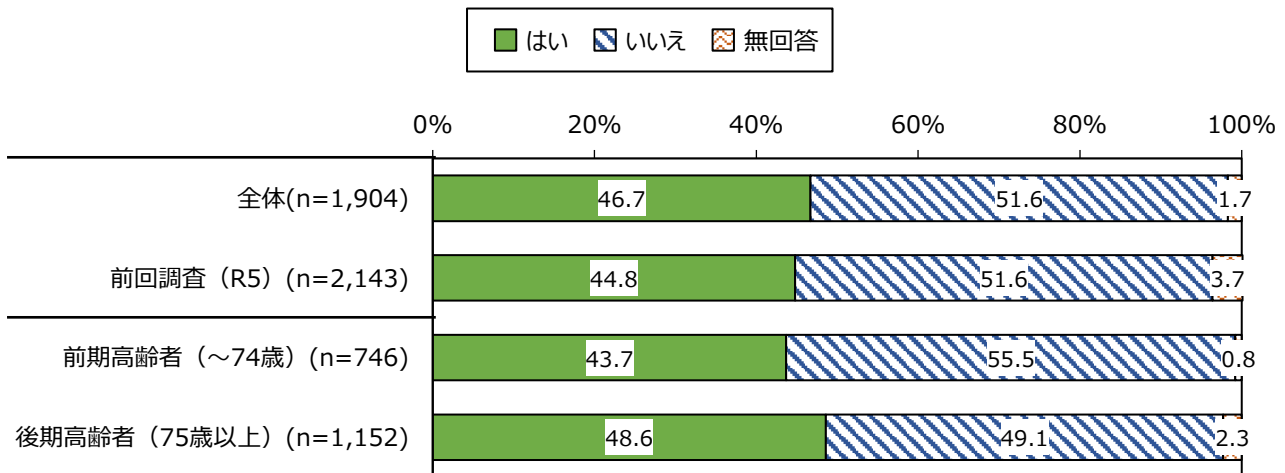


### 5-13 友人の家を訪ねること ○

問38 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

◆ 友人の家を訪ねていない人が約5割

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が46.7%、「いいえ」が51.6%となっています。年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が4.9ポイント多くなっています。



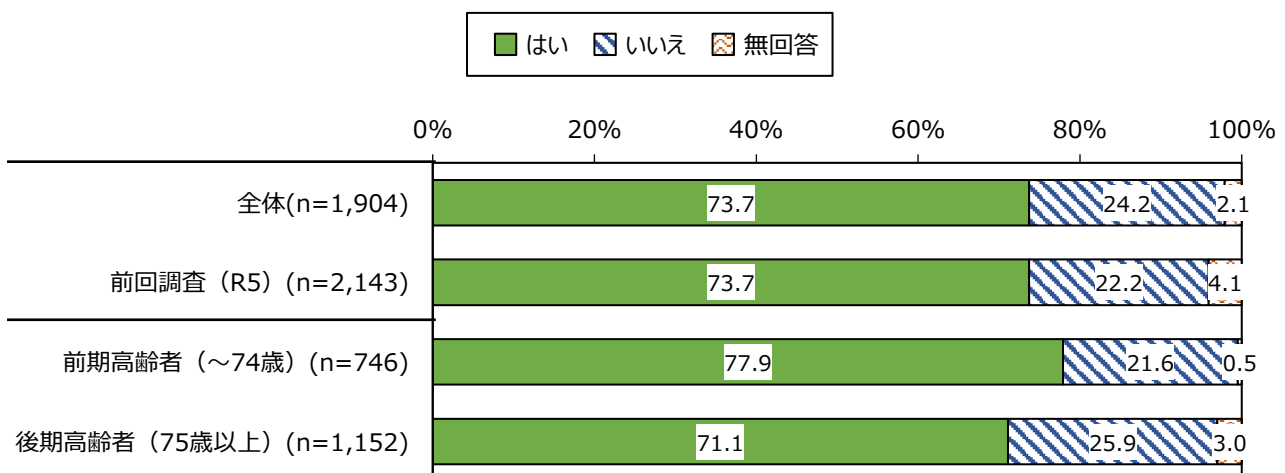
### 5-14 相談にのること ○

問39 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

◆ 家族や友人の相談にのっている人が約7割

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が73.7%、「いいえ」が24.2%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が6.8ポイント多くなっています。



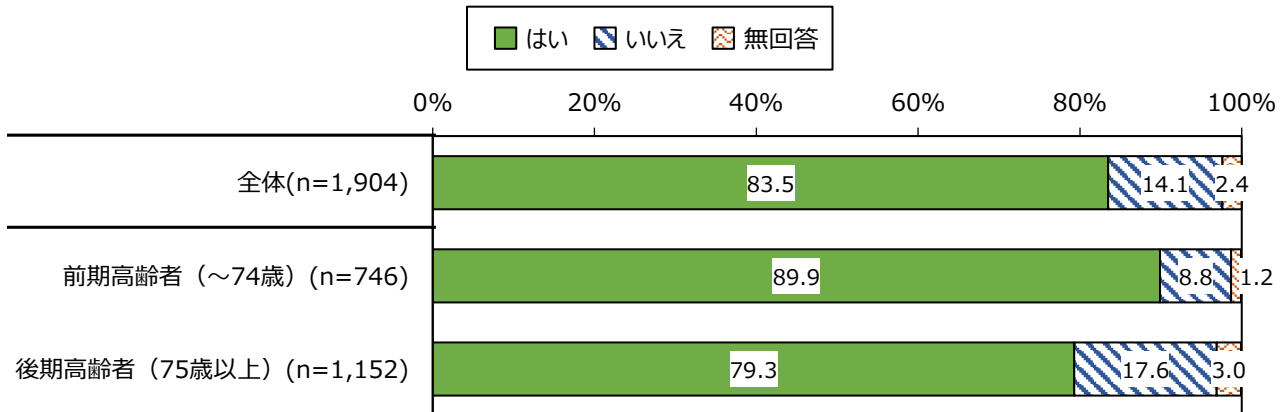
### 5-15 病人への見舞い ○

問40 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

◆ 病人を見舞うことができない人が約1割

病人を見舞うことができるかについて、「はい」が83.5%、「いいえ」が14.1%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が10.6ポイント多くなっています。



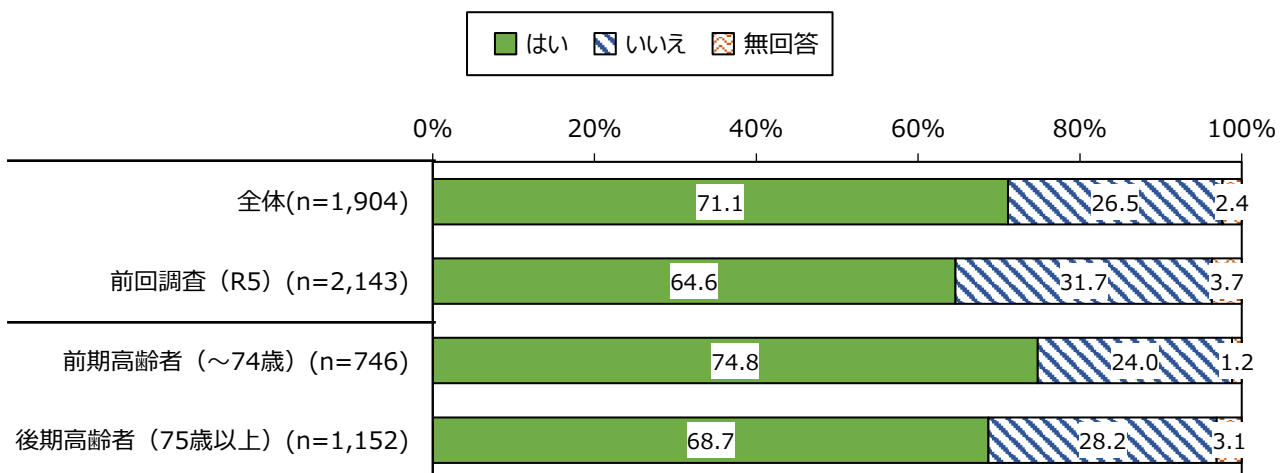
### 5-16 若い人に話しかけること ○

問41 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

◆ 若い人に自分から話しかけることがない人が約3割

若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が71.1%、「いいえ」が26.5%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が6.1ポイント多くなっています。



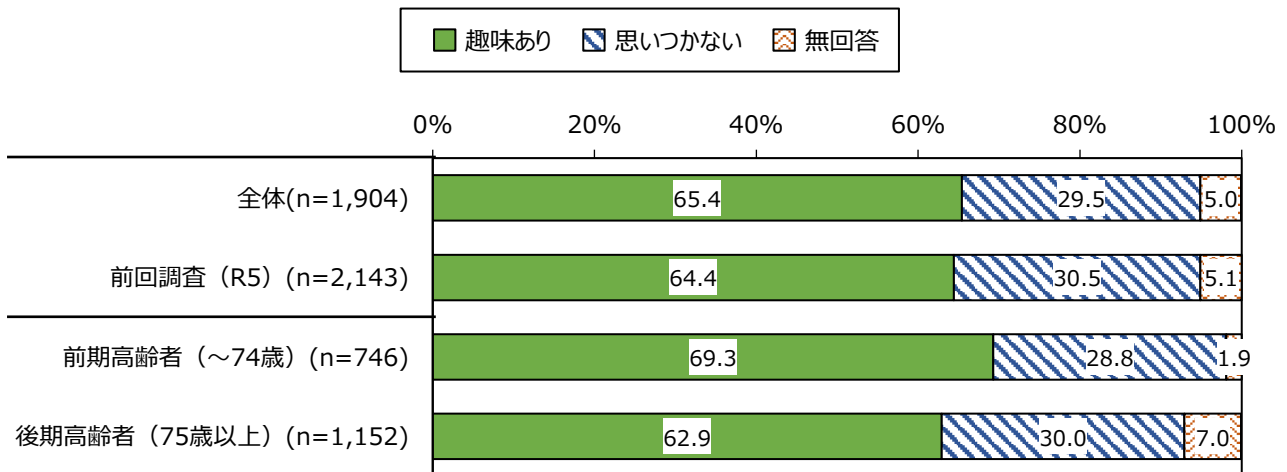
### 5-17 趣味の有無 ○

問42 趣味はありますか。「1. 趣味あり」の方は( )内に趣味を具体的に記入してください  
(○は1つ)

◆ 趣味が「思いつかない」人が約3割

趣味の有無について、「趣味あり」が65.4%、「思いつかない」が29.5%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「趣味あり」が6.4ポイント多くなっています。



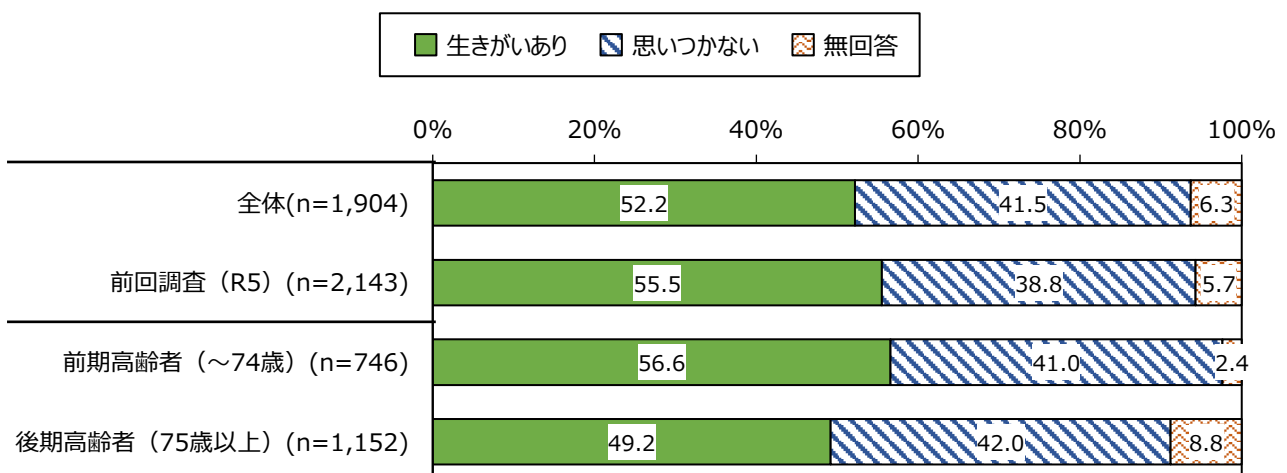
### 5-18 生きがいの有無 ○

問43 生きがいはありますか。「1. 生きがいあり」の方は( )内に生きがいを具体的に記入してください (○は1つ)

◆ 生きがいが「思いつかない」人が約4割

生きがいの有無について、「生きがいあり」が52.2%、「思いつかない」が41.5%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「生きがいあり」が7.4ポイント多くなっています。



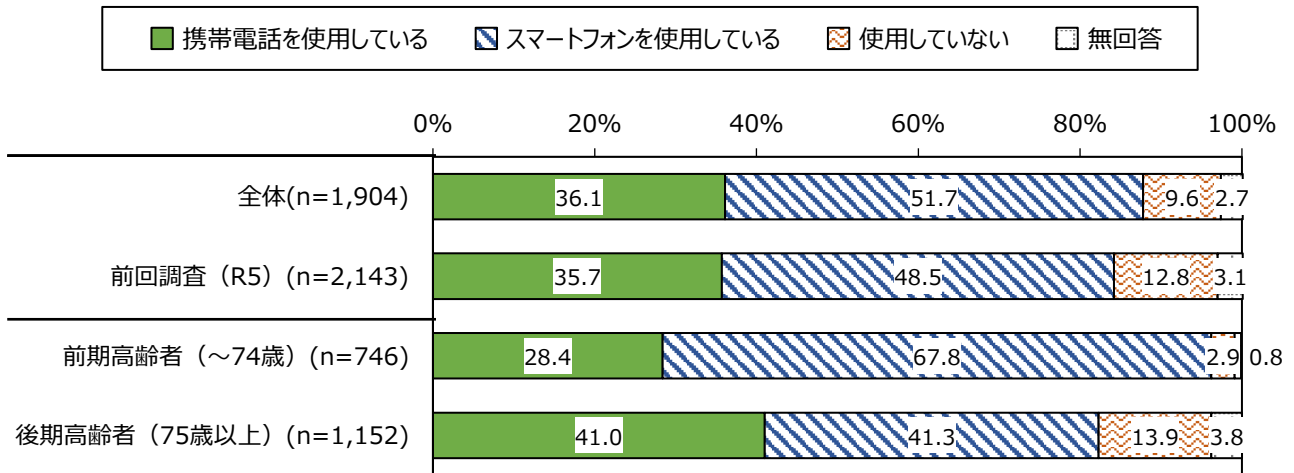
### 5-19 携帯電話やスマートフォンを利用すること

問44 携帯電話やスマートフォンを使用していますか。(○は1つ)

◆ 携帯電話やスマートフォンを利用している人が約9割

携帯電話やスマートフォンを利用しているかについて、「携帯電話を使用している」が36.1%、「スマートフォンを使用している」が51.7%、「使用していない」が9.6%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「携帯電話を使用している」が12.6ポイント多くなっています。



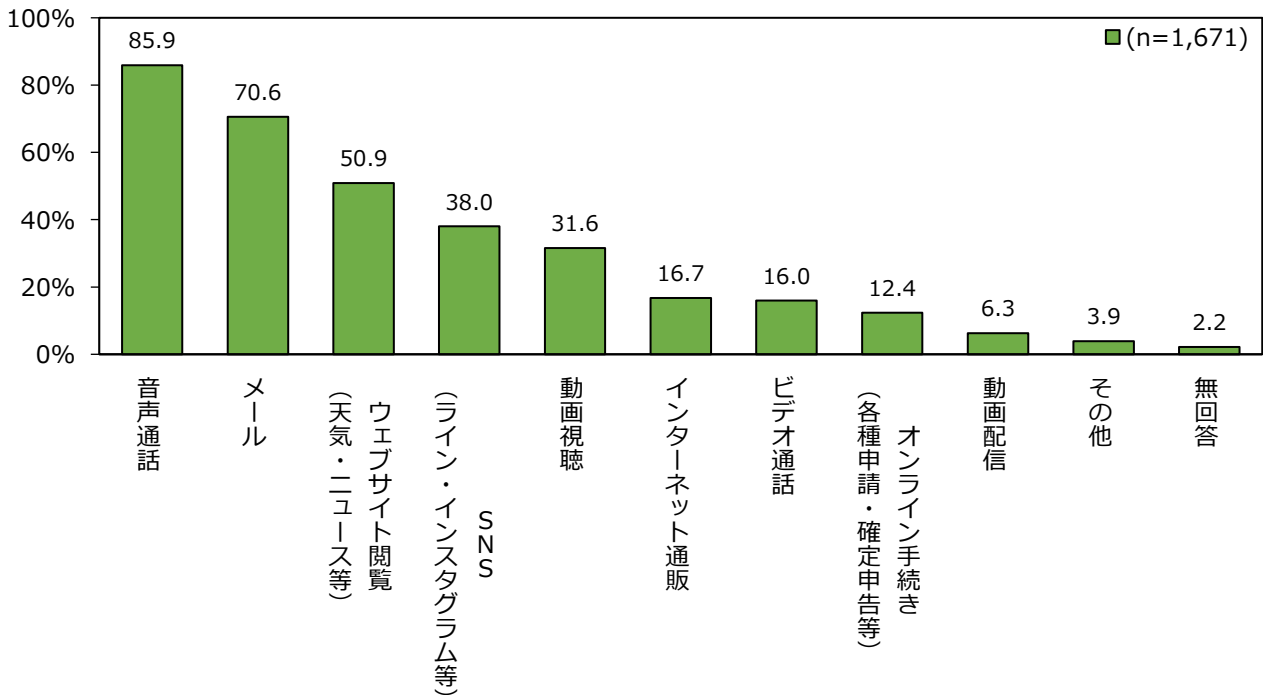
### 5-20 携帯電話やスマートフォンの使用用途

問44で「1. 携帯電話を使用している」または「2. スマートフォンを使用している」とお答えの方にお聞きします。

問44-1 携帯電話やスマートフォンはどのように使用していますか。(〇はいくつでも)

◆ 「音声通話」が約9割、「メール」が約7割

携帯電話やスマートフォンの使用用途について、「音声通話」が85.9%で最も多く、次いで「メール」が70.6%、「ウェブサイト閲覧(天気・ニュース等)」が50.9%、「SNS(ライン・インスタグラム等)」が38.0%、「動画視聴」が31.6%となっています。



## 6) 地域での活動について

## 6-1 活動への参加頻度 ◎

問45 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※(1)～(8)それぞれに回答してください。

## ◆ 地域での活動に参加していない人が約5割

地域での活動への参加について、「参加している」は「(8) 収入のある仕事」が24.0%で最も多く、次いで「(3) 趣味関係のグループ」と「(7) 町内会・自治体」が21.4%、「(2) スポーツ関係のグループやクラブ」が17.7%となっています。

また、「参加していない」は「(5) 介護予防のための通いの場」が61.2%で最も多く、次いで「(4) 学習・教養サークル」が61.1%、「(6) 老人クラブ」が59.9%、「(1) ボランティアのグループ」が58.0%となっています。

参加頻度については、(1) ボランティアのグループ、(3) 趣味関係のグループ、(4) 学習・教養サークル、(5) 介護予防のための通いの場は「月1～3回」、(2) スポーツ関係のグループやクラブは「週2～3回」、(6) 老人クラブ、(7) 町内会・自治会は「年に数回」、(8) 収入のある仕事は「週4回以上」がそれぞれ最も多くなっています。

	参加している	参加している					参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
(1) ボランティアのグループ (n=1,904)	10.7	1.1	0.9	1.3	4.0	3.4	58.0	31.3
前回調査 (R5) (n=2,143)	9.7	1.0	1.2	1.1	3.4	3.0	60.4	29.8
(2) スポーツ関係のグループやクラブ (n=1,904)	17.7	2.6	4.9	4.0	4.6	1.6	53.6	28.7
前回調査 (R5) (n=2,143)	16.7	2.6	5.3	3.3	4.0	1.5	55.9	27.5
(3) 趣味関係のグループ (n=1,904)	21.4	1.2	2.9	4.0	9.3	4.0	50.4	28.2
前回調査 (R5) (n=2,143)	20.0	1.3	2.8	3.8	8.4	3.7	53.1	27.0
(4) 学習・教養サークル (n=1,904)	5.6	0.2	0.6	1.1	2.3	1.4	61.1	33.4
前回調査 (R5) (n=2,143)	5.1	0.2	0.4	0.9	2.2	1.4	62.8	32.1
(5) 介護予防のための通いの場 (n=1,904)	6.4	0.3	0.8	1.1	3.0	1.2	61.2	32.5
前回調査 (R5) (n=2,143)	2.6	0.1	0.6	0.3	1.0	0.6	65.0	32.3
(6) 老人クラブ (n=1,904)	8.9	0.4	0.3	0.5	2.3	5.4	59.9	31.3
前回調査 (R5) (n=2,143)	8.1	0.3	0.5	0.6	2.4	4.3	61.7	30.1
(7) 町内会・自治会 (n=1,904)	21.4	0.4	0.3	0.6	3.4	16.7	47.7	31.0
前回調査 (R5) (n=2,143)	17.9	0.2	0.3	0.7	2.4	14.3	51.8	30.2
(8) 収入のある仕事 (n=1,904)	24.0	13.5	6.8	1.5	1.4	0.8	47.0	29.1
前回調査 (R5) (n=2,143)	22.7	13.2	5.8	1.4	0.9	1.4	50.1	27.1

## 6-2 地域づくりへの参加意向（参加者） ◎

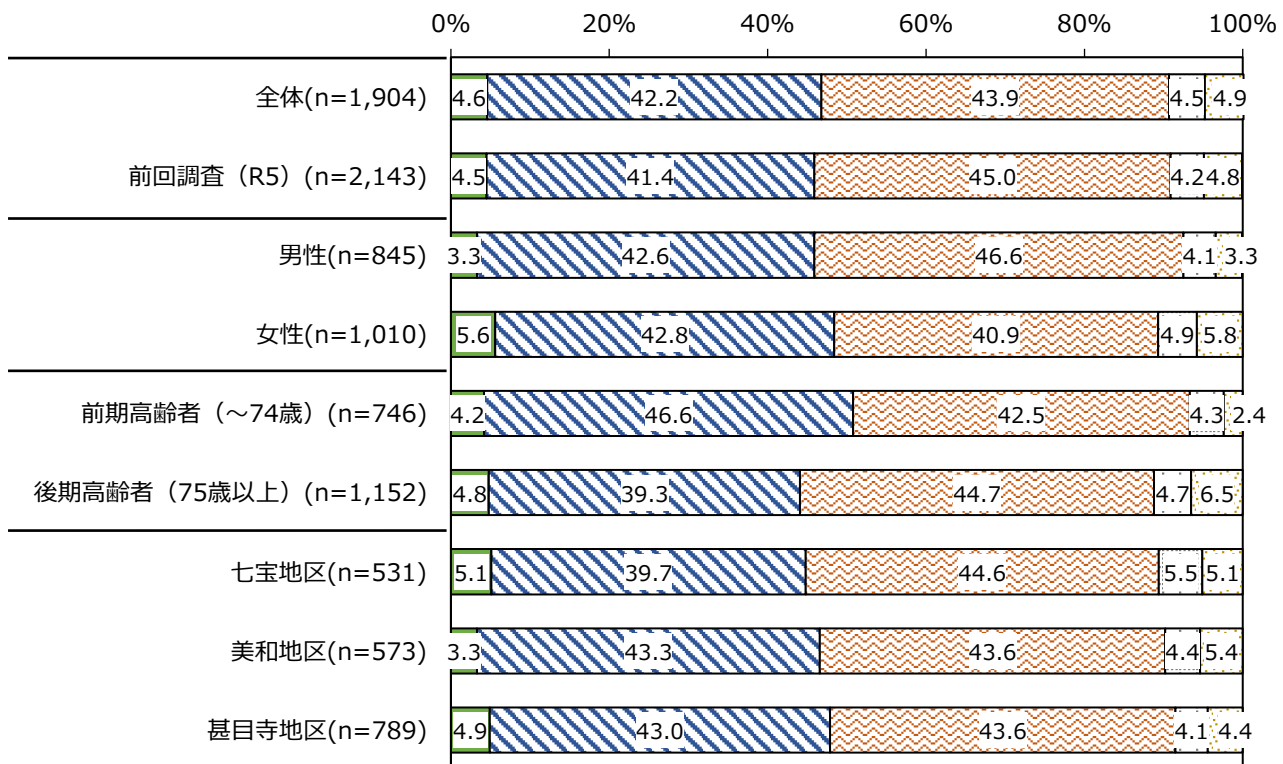
問46 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（〇は1つ）

### ◆ “参加意向がある” が約5割

地域づくり活動への参加について、「参加したくない」が43.9%で最も多くなっています。一方で、「是非参加したい」の4.6%、「参加してもよい」の42.2%、「既に参加している」の4.5%を合わせた“参加意向がある”は51.3%となっています。

性別でみると、男性のほうが「参加したくない」が5.7ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが“参加意向がある”が6.3ポイント多くなっています。



### 6-3 地域づくりへの参加意向（企画・運営（お世話役）） ◎

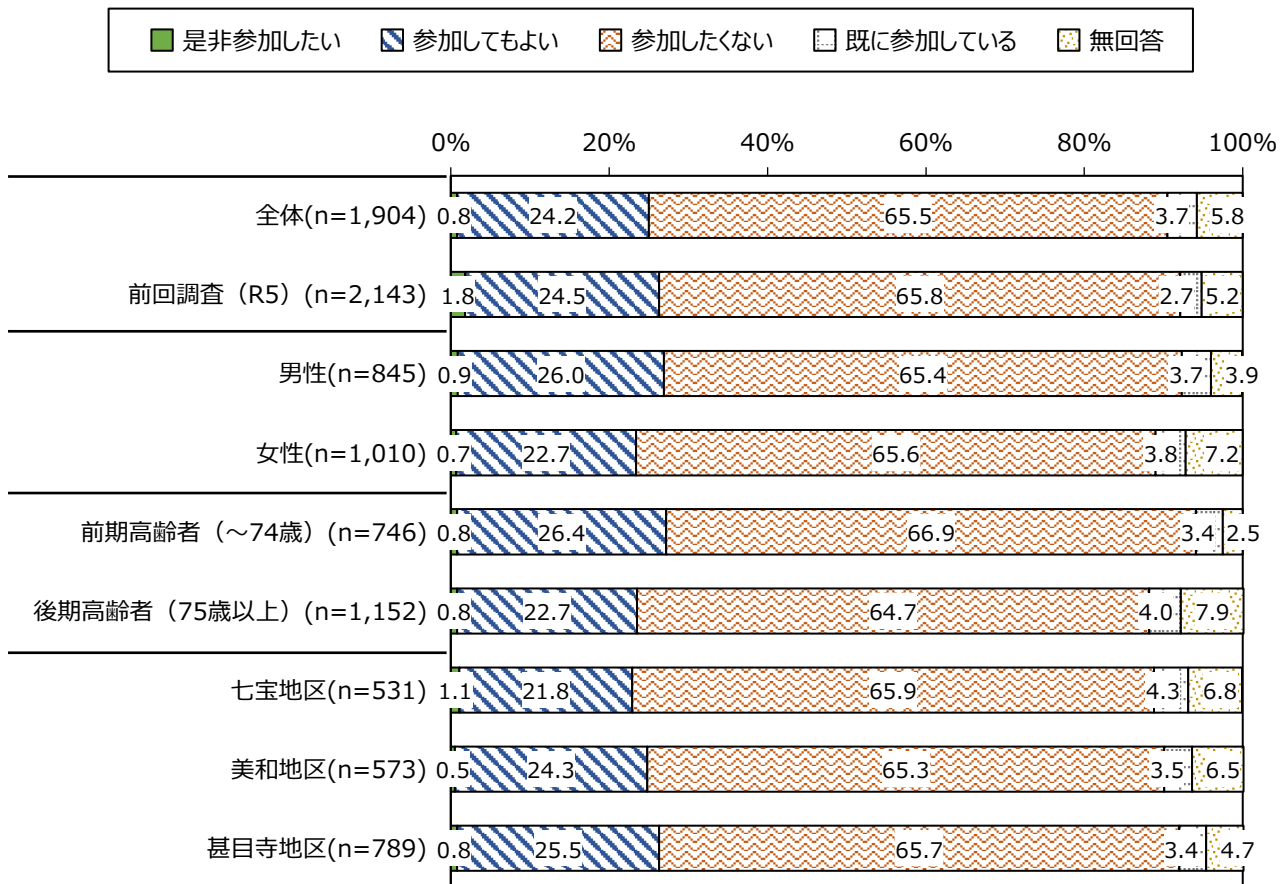
問47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

◆ 「参加したい」が約3割

地域づくり活動の企画・運営（お世話役）への参加について、「参加したくない」が65.5%と最も多くなっています。一方で、「是非参加したい」の0.8%、「参加してもよい」の24.2%、「既に参加している」の3.7%を合わせた“参加意向がある”は28.7%となっています。

性別でみると、男性のほうが“参加意向がある”が3.4ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが“参加意向がある”が3.1ポイント多くなっています。



## 7) 就労について

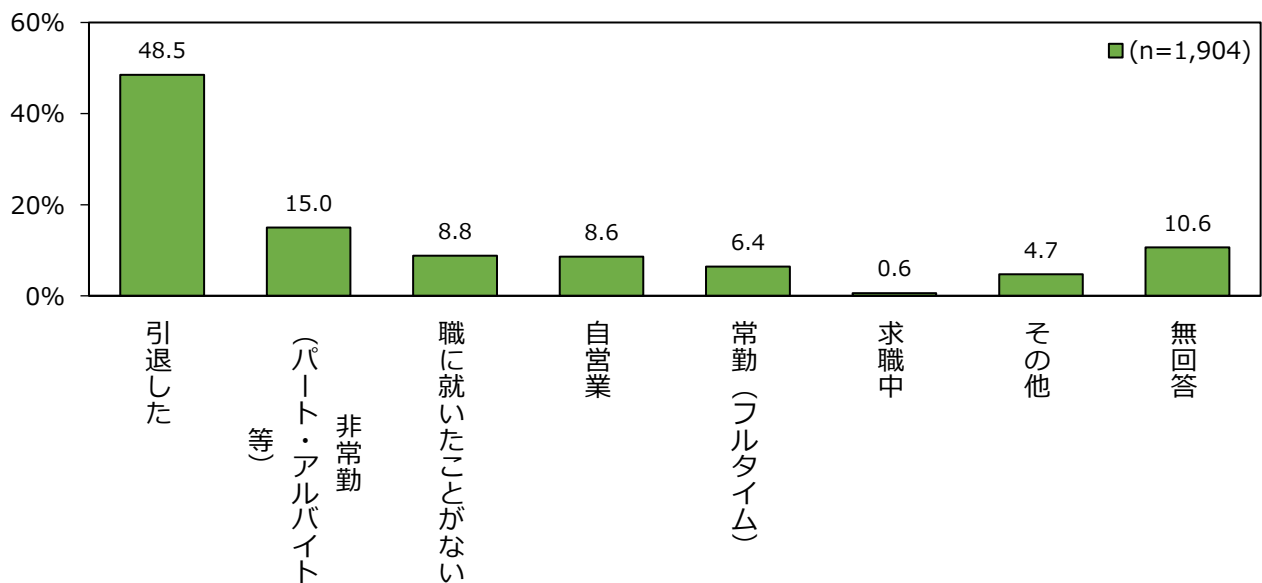
### 7-1 就労状態 ○

問48 現在のあなたの就労状態はどれですか。(○はいくつでも)

#### ◆ 「引退した」が約5割

現在の就労状態について、「引退した」が48.5%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が15.0%、「職に就いたことがない」が8.8%、「自営業」が8.6%、「常勤（フルタイム）」が6.4%となっています。

性別でみると、女性のほうが「職に就いたことがない」が7.0ポイント多くなっています。



		引退した	(パート・アルバイト等) 非常勤	職に就いたことがない	自営業	常勤 (フルタイム)	求職中	その他	無回答
全体	(n=1,904)	48.5	15.0	8.8	8.6	6.4	0.6	4.7	10.6
男性	(n=845)	50.1	15.3	5.1	12.0	10.1	0.7	3.6	6.9
女性	(n=1,010)	47.4	15.0	12.1	5.8	3.2	0.5	5.3	13.5
前期高齢者 (~74歳)	(n=746)	41.7	25.3	6.6	10.7	11.7	0.9	3.8	3.2
後期高齢者 (75歳以上)	(n=1,152)	52.9	8.3	10.2	7.2	3.0	0.3	5.2	15.4
七宝地区	(n=531)	48.4	11.9	9.2	9.2	6.4	0.8	4.7	12.2
美和地区	(n=573)	48.7	15.2	9.2	7.7	4.9	0.5	4.4	12.0
甚目寺地区	(n=789)	48.5	17.1	8.1	8.9	7.5	0.5	4.8	8.2

## 7-2 引退した時期 ○

問48で「引退した」とお答えの方にお聞きします。

問48-1 あなたはいつ引退しましたか。(○は1つ、数値を記入)

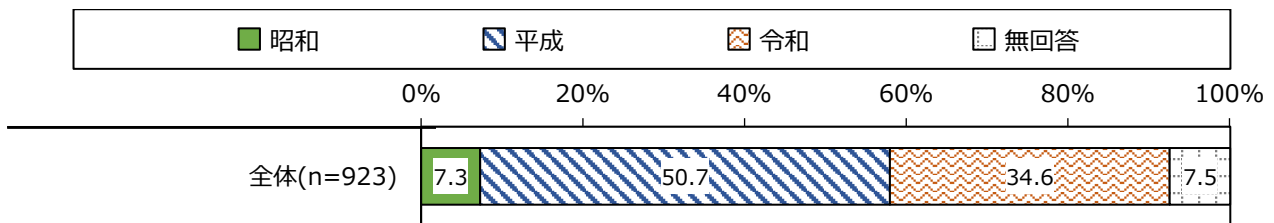
### ◆ 「平成」が約5割

引退した時期について、「昭和」が7.3%、「平成」が50.7%、「令和」が34.6%となっています。

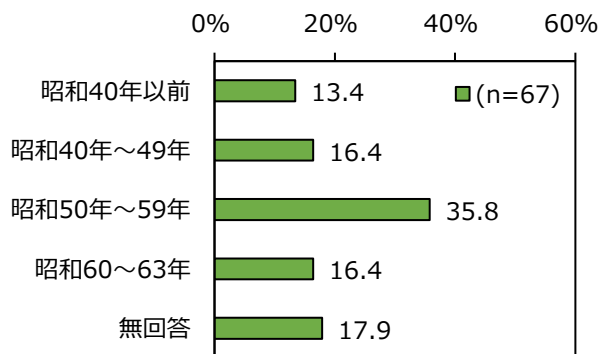
「昭和」について、「昭和50年～59年」が35.8%で最も多く、次いで「昭和40年～49年」が16.4%、「昭和60～63年」が16.4%、「昭和40年以前」が13.4%となっています。

平成について、「平成20年～29年」が43.8%で最も多く、次いで「平成10年～19年」が30.1%、「平成30年～31年」が8.5%、「平成元年～9年」が6.0%となっています。

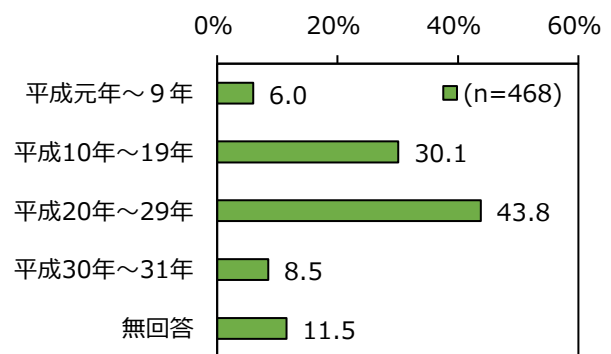
令和について、「令和7年」が16.0%で最も多く、次いで「令和2年」が15.0%、「令和元年」が14.7%、「令和3年」が13.5%となっています。



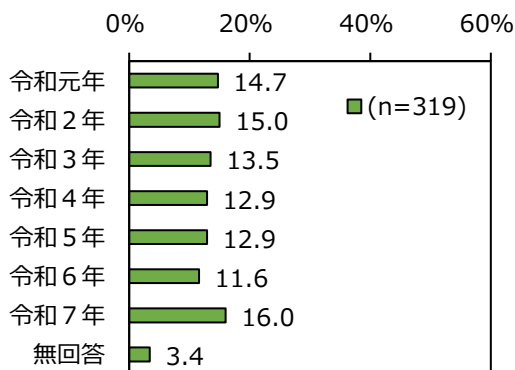
### 【昭和】



### 【平成】



### 【令和】



### 7-3 今後の就労の機会について

問48で「引退した」とお答えの方にお聞きします。

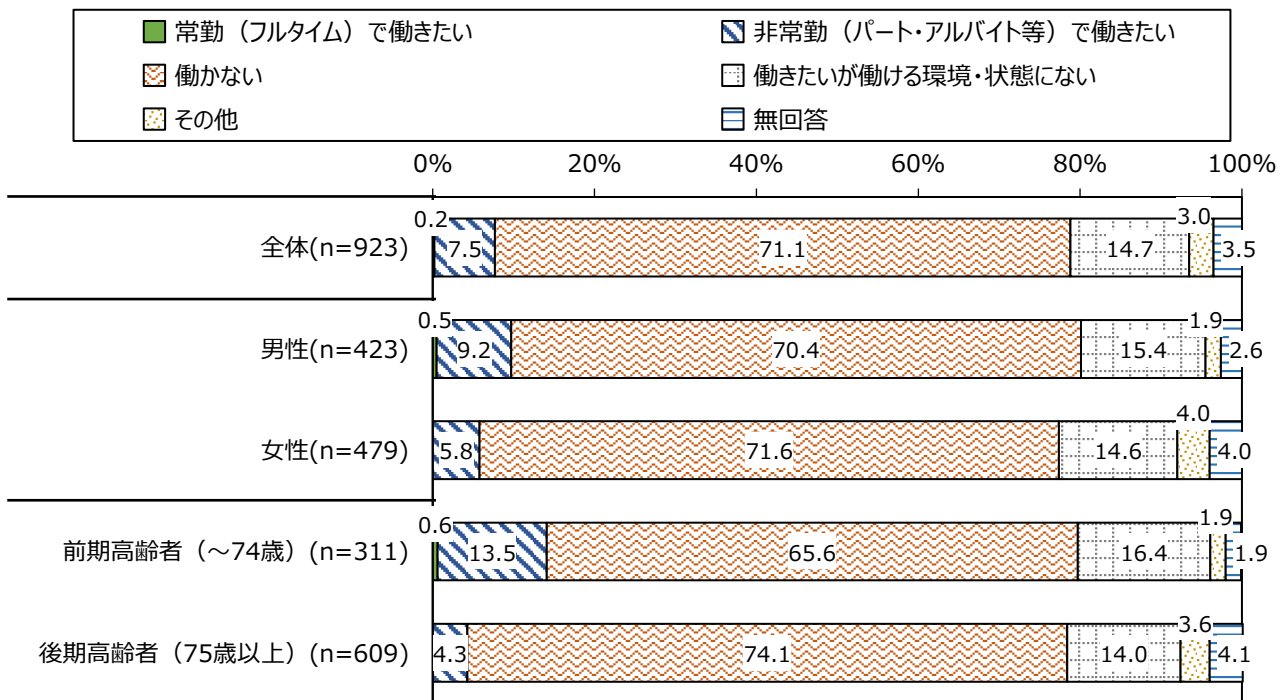
問48-2 今後、就労の機会があったらどうしたいですか。(〇はひとつ)

◆ 「働かない」が約7割

今後の就労の機会について、「働かない」が71.1%で最も多く、次いで「働きたいが働ける環境・状態にない」が14.7%、「非常勤（パート・アルバイト等）で働きたい」が7.5%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「常勤（フルタイム）で働きたい」と「非常勤（パート・アルバイト等）で働きたい」を合わせた“働きたい”が3.9ポイント多くなっています。

年代別で見ると、前期高齢者（～74歳）のほうが“働きたい”が9.8ポイント多くなっています。



## 8) たすけあいについて

### 8-1 「たすけあい」について ◎

問49 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまる人すべてに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。(それぞれ○はいくつでも)

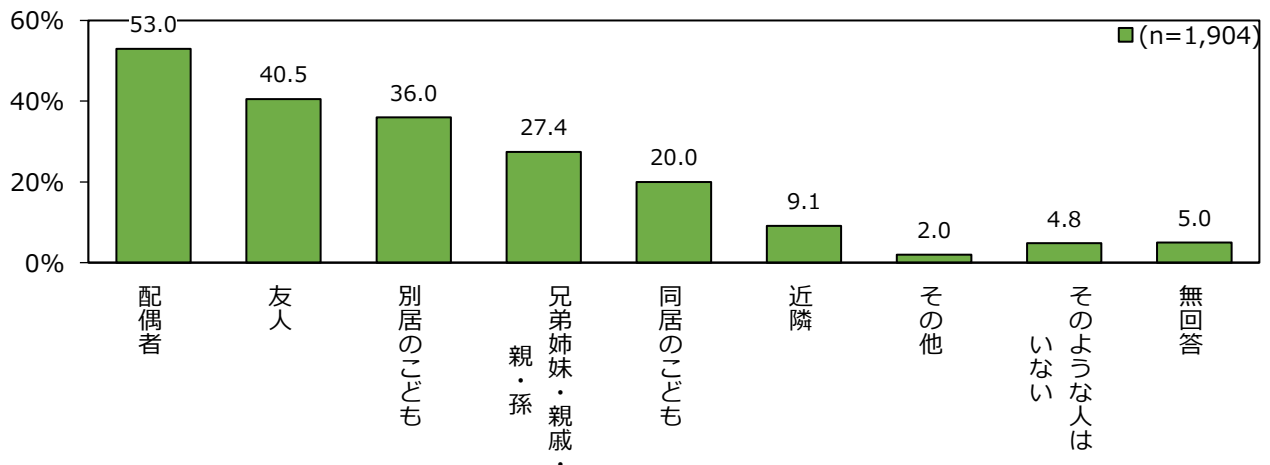
#### (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(○はいくつでも)

「配偶者」が約5割

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が53.0%で最も多く、次いで「友人」が40.5%、「別居のこども」が36.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.4%、「同居のこども」が20.0%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「配偶者」が26.9ポイント多くなっています。女性では「友人」が男性より22.3ポイント多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者(～74歳)のほうが「配偶者」が16.5ポイント多くなっています。



	配偶者	友人	別居のこども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居のこども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 (n=1,904)	53.0	40.5	36.0	27.4	20.0	9.1	2.0	4.8	5.0
前回調査 (R5) (n=2,143)	55.9	40.6	40.8	33.0	23.6	13.8	1.7	4.5	2.3
男性 (n=845)	67.5	28.5	25.6	19.8	15.5	4.1	1.9	7.6	4.4
女性 (n=1,010)	40.6	50.8	44.9	34.5	24.1	13.3	2.2	2.6	5.2
前期高齢者(～74歳) (n=746)	63.1	46.2	38.7	32.2	18.5	8.6	2.5	4.2	1.7
後期高齢者(75歳以上) (n=1,152)	46.6	36.7	34.3	24.5	20.8	9.5	1.7	5.2	7.0
七宝地区 (n=531)	52.5	41.4	36.9	29.4	20.9	9.2	0.6	5.3	5.5
美和地区 (n=573)	56.2	40.0	36.0	26.9	21.5	10.6	2.4	4.4	5.4
甚目寺地区 (n=789)	51.2	40.6	35.7	26.7	18.3	8.0	2.8	4.7	4.2

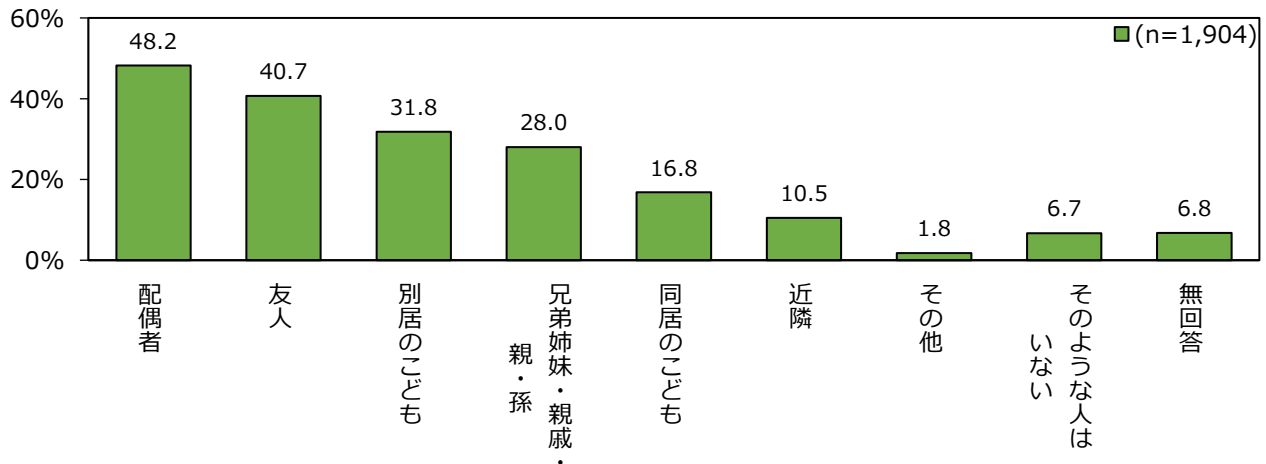
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

◆ 「配偶者」が約5割

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が48.2%で最も多く、次いで「友人」が40.7%、「別居のこども」が31.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.0%、「同居のこども」が16.8%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「配偶者」が28.7ポイント多くなっています。女性では「友人」が男性より23.9ポイント多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「配偶者」が19.3ポイント多くなっています。



	配偶者	友人	別居のこども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居のこども	近隣	その他	そのような人は いない	無回答
全体 (n=1,904)	48.2	40.7	31.8	28.0	16.8	10.5	1.8	6.7	6.8
前回調査 (R5) (n=2,143)	52.2	40.9	37.0	34.0	19.7	13.9	1.7	6.3	3.1
男性 (n=845)	63.6	27.6	24.9	22.7	14.4	5.0	1.9	9.0	6.0
女性 (n=1,010)	34.9	51.5	38.3	33.1	18.8	15.0	1.9	4.8	7.3
前期高齢者（～74歳） (n=746)	59.9	46.0	38.1	34.7	17.2	10.5	2.5	5.4	2.0
後期高齢者（75歳以上） (n=1,152)	40.6	37.2	27.9	23.9	16.4	10.6	1.4	7.6	9.9
七宝地区 (n=531)	45.6	41.4	31.3	28.1	16.0	10.5	0.6	7.9	8.9
美和地区 (n=573)	49.6	40.8	33.5	27.9	19.7	11.9	2.4	4.5	7.3
甚目寺地区 (n=789)	48.9	40.4	31.2	28.3	15.1	9.5	2.3	7.4	5.1

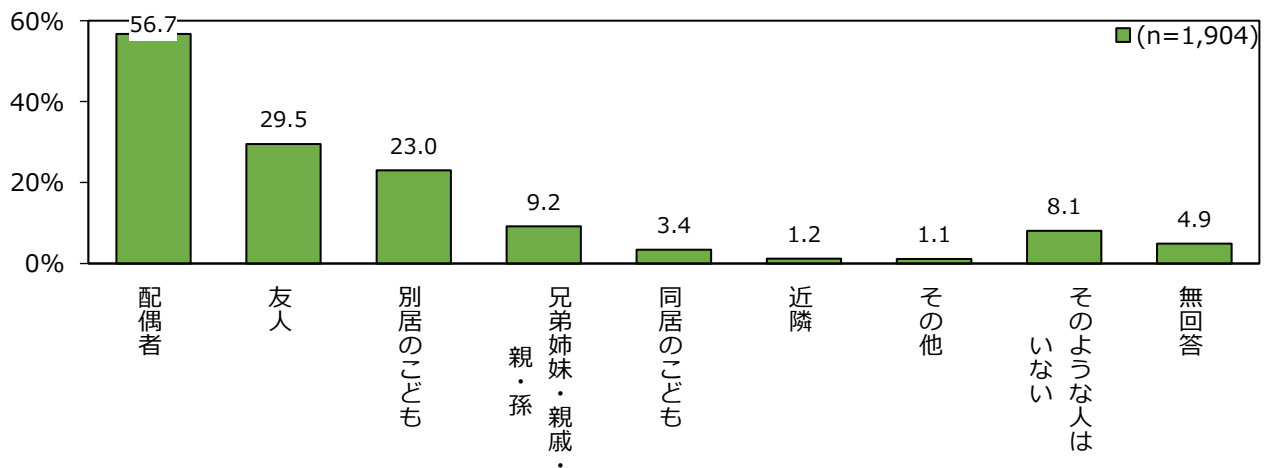
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

◆ 「配偶者」が約6割

病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 56.7%で最も多く、次いで「友人」が 29.5%、「別居のこども」が 23.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 9.2%、「そのような人はいない」が 8.1%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「配偶者」が 27.3 ポイント多くなっています。女性では「友人」が 14.0 ポイント、「別居のこども」が 13.5 ポイント、それぞれ男性より多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「配偶者」が 19.8 ポイント多くなっています。



		配偶者	友人	別居のこども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居のこども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	(n=1,904)	56.7	29.5	23.0	9.2	3.4	1.2	1.1	8.1	4.9
前回調査 (R5)	(n=2,143)	60.1	35.4	27.3	12.2	4.7	1.4	2.2	6.1	2.8
男性	(n=845)	71.2	21.9	16.0	8.2	2.0	1.2	0.2	8.6	4.0
女性	(n=1,010)	43.9	35.9	29.5	10.5	4.6	1.2	1.8	7.8	5.5
前期高齢者 (～74歳)	(n=746)	68.8	27.9	19.3	9.1	4.0	0.4	0.3	8.2	2.1
後期高齢者 (75歳以上)	(n=1,152)	49.0	30.6	25.3	9.4	3.0	1.7	1.6	8.1	6.7
七宝地区	(n=531)	55.7	30.1	23.7	9.4	4.3	0.9	1.9	7.7	5.8
美和地区	(n=573)	59.0	29.0	24.3	8.7	2.6	1.2	0.5	8.0	4.9
甚目寺地区	(n=789)	55.8	29.7	21.5	9.5	3.3	1.4	0.9	8.2	4.3

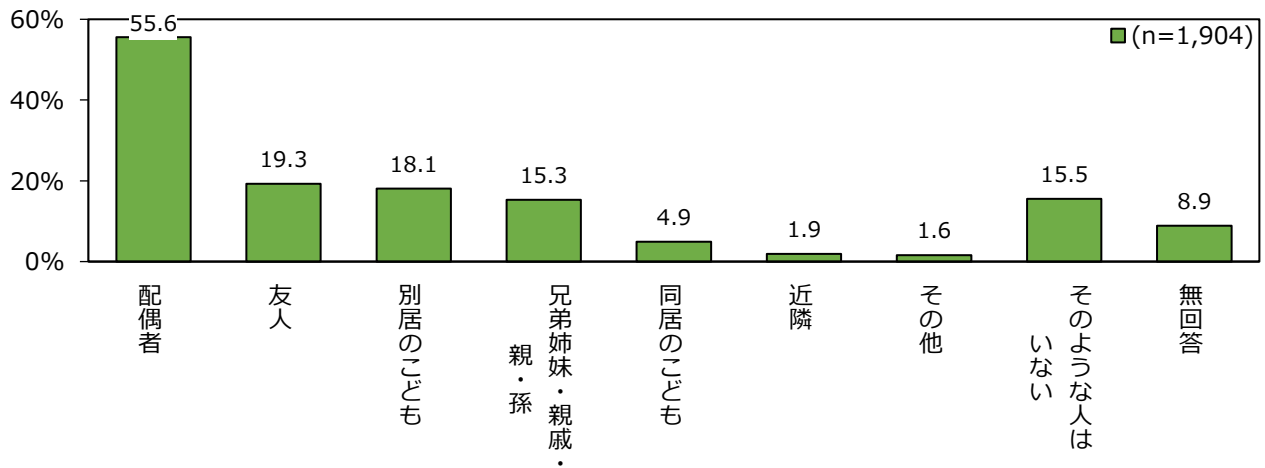
(4) 反対に、看病や世話をしあける人 (○はいくつでも)

◆ 「配偶者」が約6割

看病や世話をしあける人について、「配偶者」が 55.6%で最も多く、次いで「友人」が 19.3%、「別居のこども」が 18.1%、「そのような人はいない」が 15.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 15.3%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「配偶者」が 20.2 ポイント多くなっています。女性では「友人」が男性より 11.4 ポイント多く、「別居のこども」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」も多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「配偶者」が 21.4 ポイント多くなっています。



		配偶者	友人	別居のこども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居のこども	近隣	その他	そのような人は いない	無回答
全体	(n=1,904)	55.6	19.3	18.1	15.3	4.9	1.9	1.6	15.5	8.9
前回調査 (R5)	(n=2,143)	61.5	26.4	22.9	18.5	6.3	2.7	1.1	12.4	4.8
男性	(n=845)	66.2	13.4	14.4	12.1	3.4	0.6	1.8	14.0	7.6
女性	(n=1,010)	46.0	24.8	21.5	18.3	6.1	3.1	1.4	16.8	10.1
前期高齢者 (～74歳)	(n=746)	68.6	24.3	17.8	21.8	6.0	1.9	1.2	11.8	2.8
後期高齢者 (75歳以上)	(n=1,152)	47.2	16.1	18.1	11.2	4.2	1.9	1.8	17.9	12.8
七宝地区	(n=531)	53.9	18.5	17.9	13.4	4.9	2.1	0.9	14.9	11.5
美和地区	(n=573)	57.8	19.2	19.2	14.7	4.0	1.6	2.1	14.8	9.6
菟目寺地区	(n=789)	55.3	20.2	17.5	17.1	5.6	2.0	1.6	16.3	6.6

## 8-2 家族や友人・知人以外の相談相手 ○

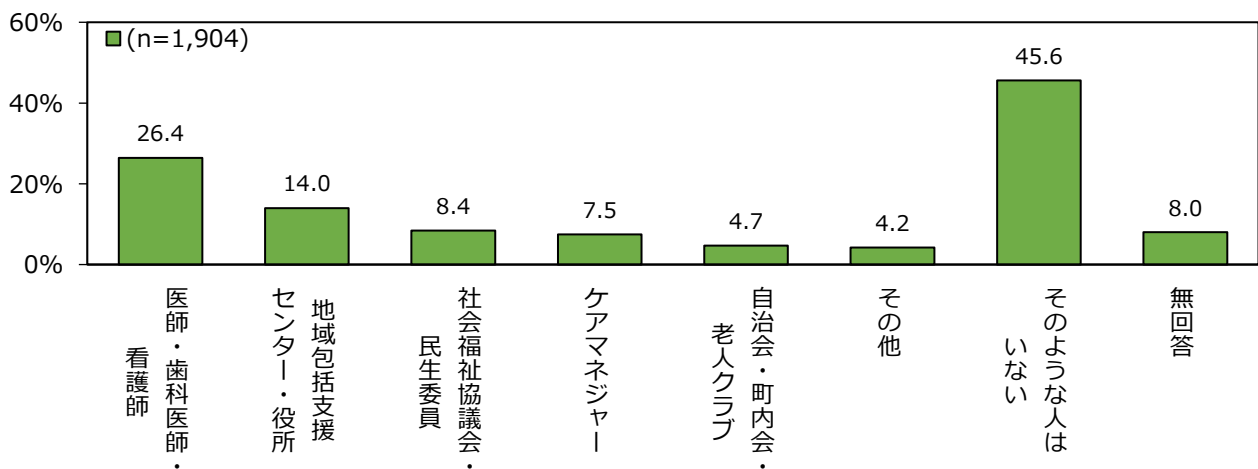
問50 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(○はいくつでも)

### ◆ 「そのような人はいない」が約5割

何かあったときに相談する相手について、「そのような人はいない」が45.6%と最も多くなっています。相談相手がいる人では、「医師・歯科医師・看護師」が26.4%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所」が14.0%、「社会福祉協議会・民生委員」が8.4%、「ケアマネジャー」が7.5%、「自治会・町内会・老人クラブ」が4.7%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「そのような人はいない」が9.9ポイント多くなっています。

家族構成でみると、1人暮らしは他の家族構成より「社会福祉協議会・民生委員」が多くなっています。



	医師・歯科医師・看護師	センター・役所 地域包括支援	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	自治会・町内会・老人クラブ	その他	そのような人はいない	無回答
全体 (n=1,904)	26.4	14.0	8.4	7.5	4.7	4.2	45.6	8.0
前回調査 (R5) (n=2,143)	26.0	11.8	9.8	4.9	5.1	4.2	46.4	7.5
男性 (n=845)	25.8	10.9	8.3	5.6	6.4	4.5	49.5	6.3
女性 (n=1,010)	27.2	16.4	8.3	8.9	3.6	4.1	42.5	9.4
前期高齢者 (～74歳) (n=746)	27.7	12.7	6.4	5.5	3.5	4.0	51.7	4.8
後期高齢者 (75歳以上) (n=1,152)	25.5	14.8	9.5	8.8	5.6	4.3	41.8	10.2
七宝地区 (n=531)	23.5	15.6	6.6	7.3	6.8	3.6	44.4	11.3
美和地区 (n=573)	26.9	12.6	8.7	8.0	4.7	4.0	46.2	8.6
甚目寺地区 (n=789)	28.0	13.8	9.1	6.8	3.4	4.8	46.4	5.6
1人暮らし (n=343)	21.0	15.7	13.7	6.4	4.4	4.4	43.7	8.5
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=751)	27.4	15.8	10.1	6.8	5.5	3.9	45.1	7.7
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=74)	21.6	8.1	4.1	4.1	1.4	6.8	56.8	6.8
息子・娘との2世帯 (n=348)	28.4	9.8	4.3	8.6	4.6	3.7	46.8	7.5

### 8-3 友人関係について ○

問51 友人関係についておうかがいします。

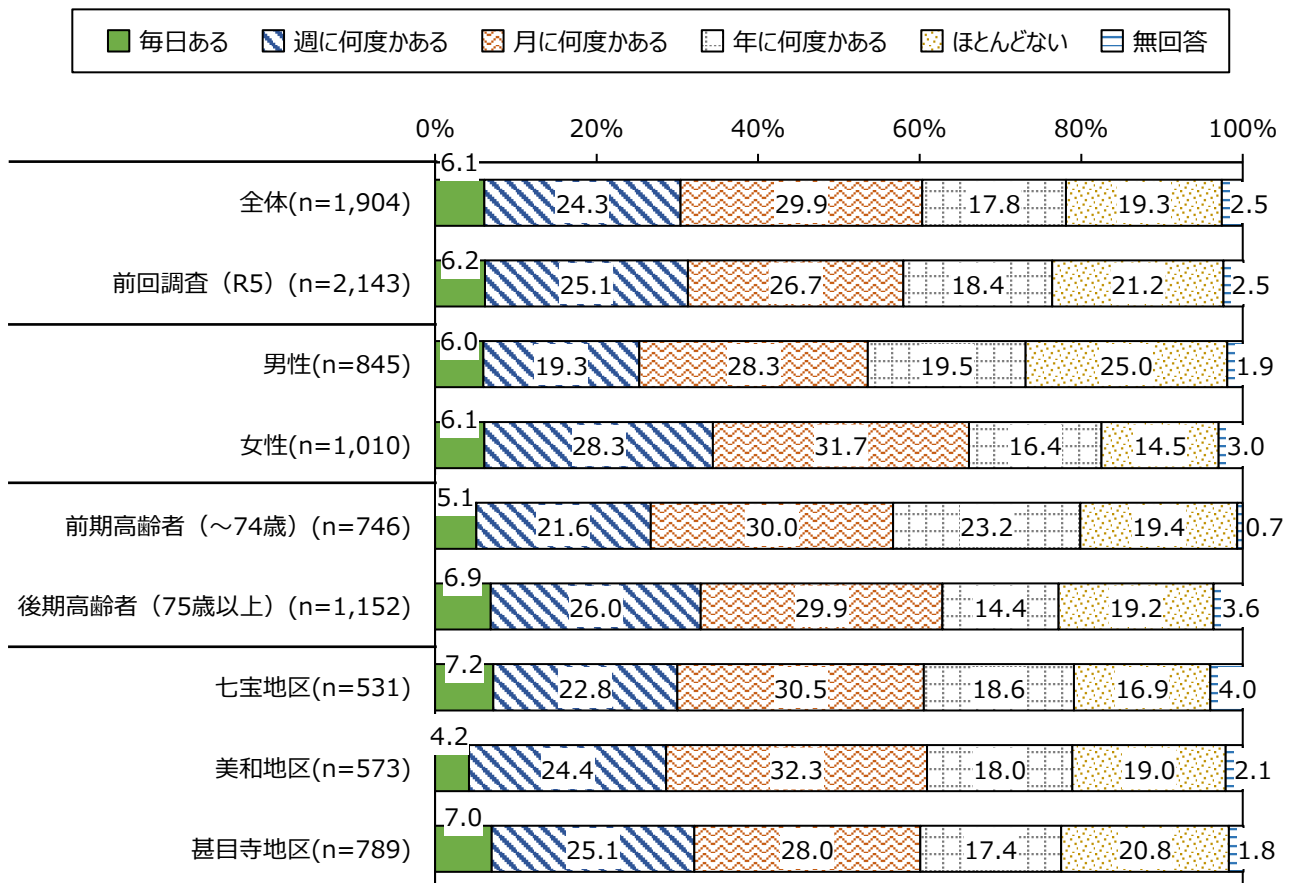
#### (1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

◆ 「ほとんどない」が約2割

友人・知人と会う頻度について、「毎日ある」が6.1%、「週に何度かある」が24.3%、「月に何度かある」が29.9%、「年に何度かある」が17.8%、「ほとんどない」が19.3%となっています。

性別でみると、女性のほうが「毎日ある」、「週に何度かある」、「月に何度かある」、「年に何度かある」を合わせた“友人・知人と会う機会がある”が9.4ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが“友人・知人と会う機会がある”が2.7ポイント多くなっています。



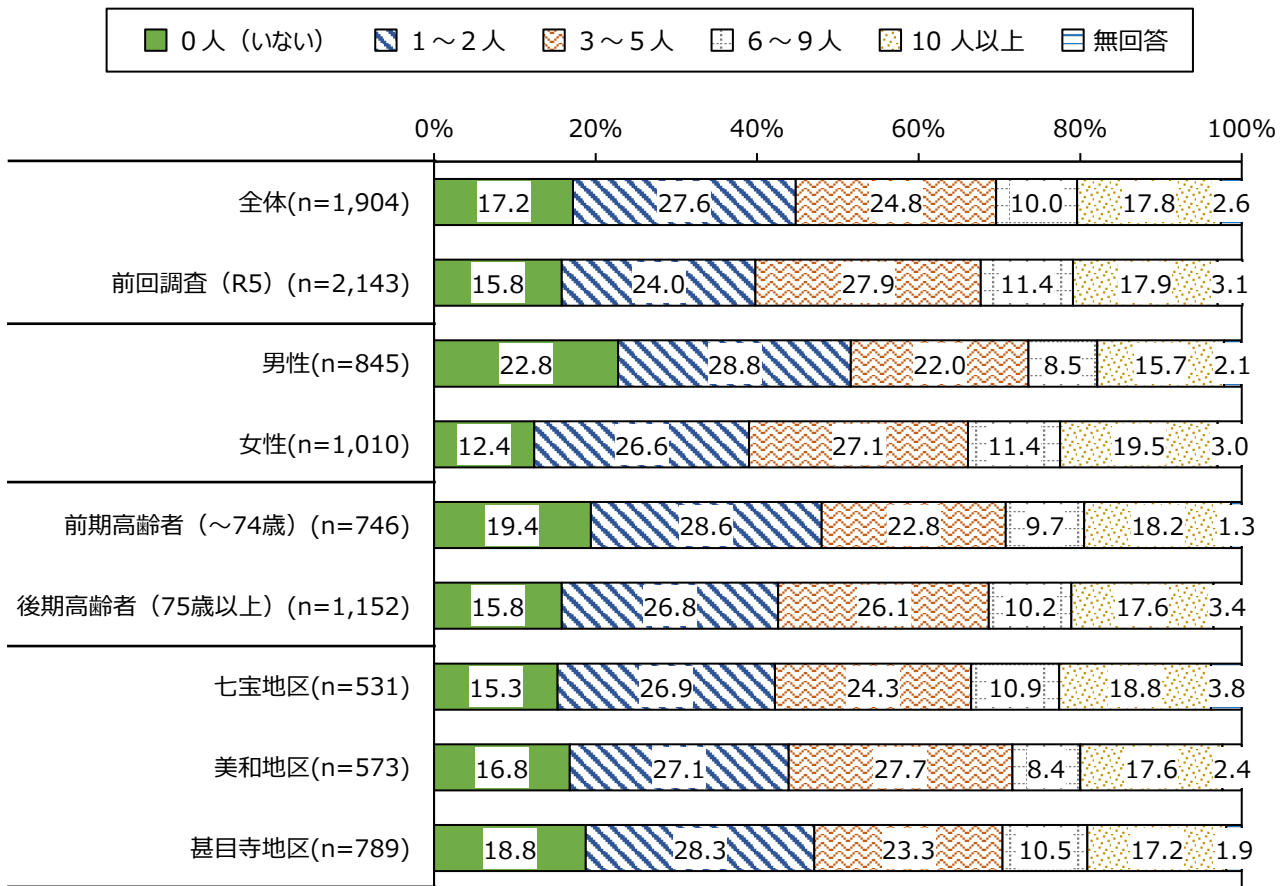
(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇は1つ)

◆ 「0人(いない)」が約2割

1か月間に会った友人・知人の数について、「1～2人」が27.6%で最も多く、次いで「3～5人」が24.8%、「10人以上」が17.8%、「0人(いない)」が17.2%、「6～9人」が10.0%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「0人(いない)」が10.4ポイント多くなっています。また、女性では「3～5人」が男性より5.1ポイント多くなっています。

年代別で見ると、前期高齢者(～74歳)のほうが「0人(いない)」が3.6ポイント多くなっています。



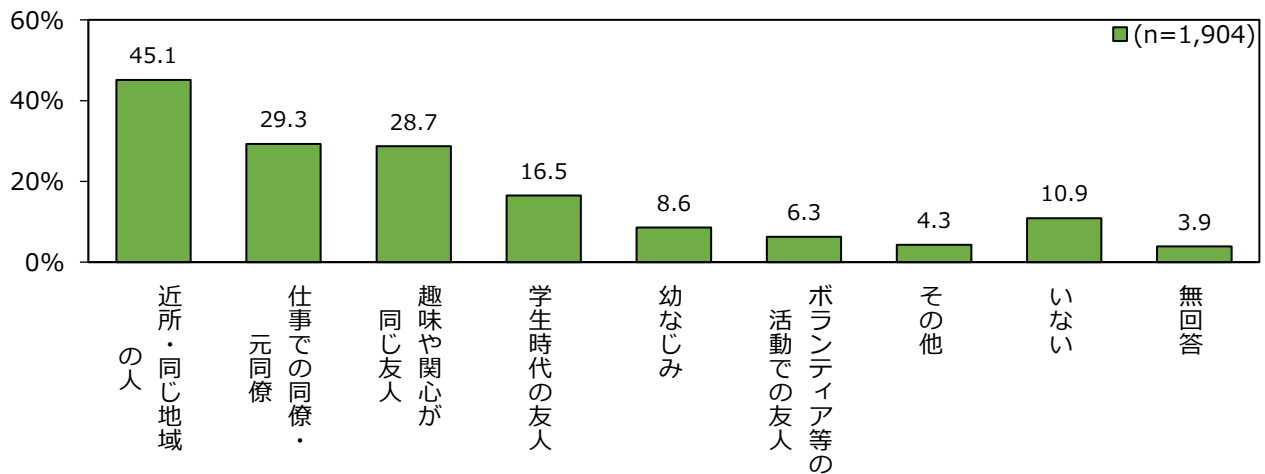
(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

◆ 「近所・同じ地域の人」が約5割

よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が45.1%で最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が29.3%、「趣味や関心が同じ友人」が28.7%、「学生時代の友人」が16.5%、「いない」が10.9%となっています。

性別で比較すると、女性のほうが「近所・同じ地域の人」が20.6ポイント多くなっています。また、「趣味や関心が同じ友人」も多くなっています。男性では「仕事での同僚・元同僚」が女性より9.4ポイント多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）では「仕事での同僚・元同僚」14.7ポイント多くなっています。後期高齢者（75歳以上）のほうが「近所・同じ地域の人」が13.4ポイント多くなっています。



		近所・同じ地域の人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体	(n=1,904)	45.1	29.3	28.7	16.5	8.6	6.3	4.3	10.9	3.9
前回調査 (R5)	(n=2,143)	47.3	26.6	28.7	11.9	6.1	6.2	4.4	11.8	3.8
男性	(n=845)	34.1	34.6	25.4	16.9	10.3	5.7	4.5	14.6	3.9
女性	(n=1,010)	54.7	25.2	31.5	16.2	7.4	6.7	3.5	7.6	3.8
前期高齢者 (～74歳)	(n=746)	36.9	38.3	30.3	21.2	11.9	5.4	4.7	11.7	1.3
後期高齢者 (75歳以上)	(n=1,152)	50.3	23.6	27.7	13.6	6.5	6.9	4.1	10.3	5.6
七宝地区	(n=531)	51.6	27.1	26.2	16.6	9.8	8.5	4.1	8.9	5.1
美和地区	(n=573)	45.5	27.9	29.8	17.6	7.3	6.8	4.5	10.3	3.5
甚目寺地区	(n=789)	40.6	32.1	29.5	15.8	8.9	4.4	3.9	12.5	3.4

### 8-4 手伝ってもらったらたすかること

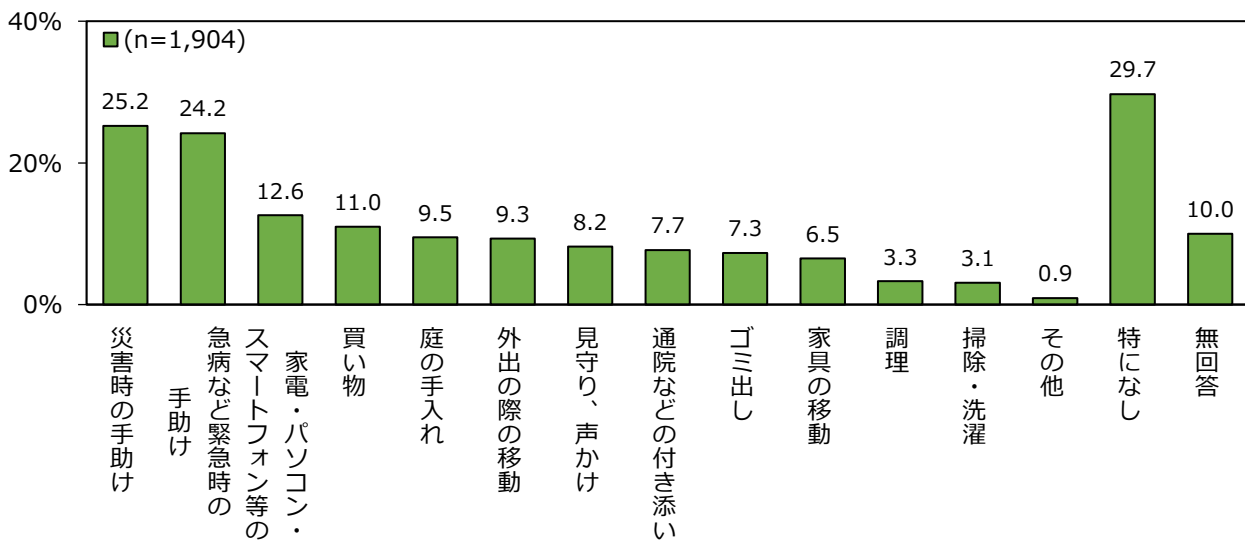
問5 2 家族や友人・知人など、地域で手伝ってもらったら、たすかると思うことはありますか。  
(○は3つまで)

◆ 「災害時の手助け」が約3割

手伝ってもらったらたすかることについて、「特になし」が29.7%で最も多くなっています。たすかることがある人では、「災害時の手助け」が25.2%で最も多く、次いで「急病など緊急時の手助け」が24.2%、「家電・パソコン・スマートフォン等の扱い」が12.6%、「買い物」が11.0%、「庭の手入れ」が9.5%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）では「災害時の手助け」が多く、後期高齢者（75歳以上）では「急病など緊急時の手助け」が多くなっています。

居住地区別でみると、七宝地区、美和地区では「災害時の手助け」が多く、甚目寺地区では「急病など緊急時の手助け」が多くなっています。



	災害時の手助け	急病など緊急時の手助け	家電・パソコン・スマートフォン等の扱い	買い物	庭の手入れ	外出の際の移動	見守り、声かけ	通院などの付き添い	ゴミ出し	家具の移動	調理	掃除・洗濯	その他	特になし	無回答
全体 (n=1,904)	25.2	24.2	12.6	11.0	9.5	9.3	8.2	7.7	7.3	6.5	3.3	3.1	0.9	29.7	10.0
男性 (n=845)	24.5	20.0	11.4	7.9	6.7	6.2	7.9	6.5	5.6	4.4	4.1	3.2	1.4	38.7	7.7
女性 (n=1,010)	25.4	27.5	13.6	13.6	11.7	11.9	8.6	8.9	8.4	8.2	2.4	3.0	0.6	22.3	12.0
前期高齢者（～74歳） (n=746)	29.1	25.1	14.9	8.0	9.0	6.7	10.1	4.3	5.5	7.1	3.2	2.7	1.1	34.0	5.8
後期高齢者（75歳以上） (n=1,152)	22.6	23.6	11.0	13.0	9.8	10.9	7.0	9.9	8.3	6.2	3.3	3.4	0.9	26.9	12.8
七宝地区 (n=531)	21.7	20.9	12.2	13.6	8.9	10.2	7.0	8.3	10.4	6.0	2.8	3.2	1.3	29.2	11.3
美和地区 (n=573)	27.6	23.6	12.7	9.8	11.2	9.4	8.7	6.3	5.9	6.6	2.6	2.6	0.9	30.0	10.5
甚目寺地区 (n=789)	25.7	26.9	12.8	10.4	8.6	8.6	8.7	8.2	6.2	6.8	4.1	3.4	0.6	30.0	8.6

## 9) 健康について

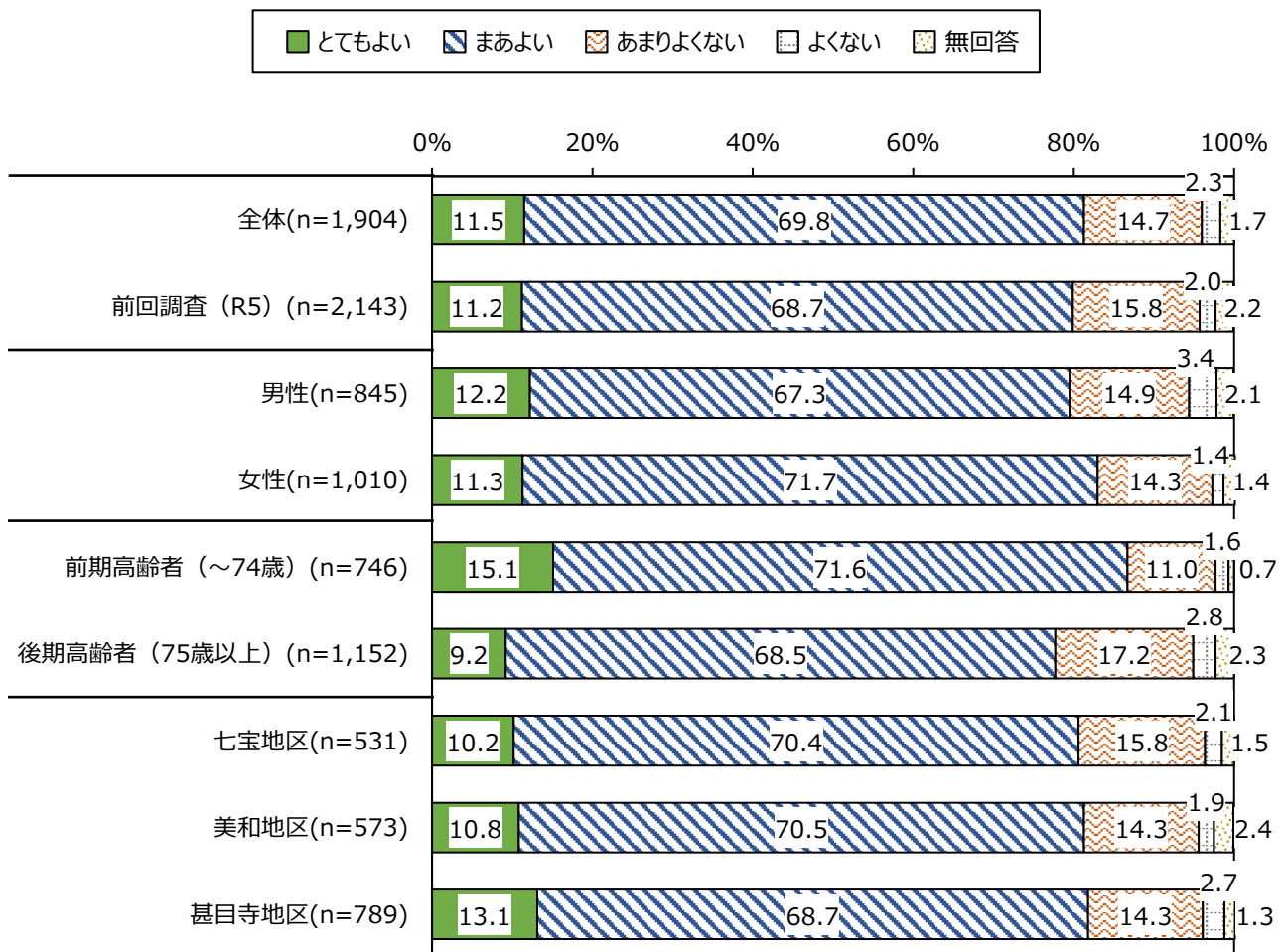
### 9-1 現在の健康状態 ◎

問53 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

#### ◆ “健康状態はよくない” 人が約2割

現在の健康状態について、「まあよい」が69.8%と最も多く、「とてもよい」の11.5%と合わせた“健康状態がよい”と回答した人は81.3%となっています。一方で、「あまりよくない」の14.7%と「よくない」の2.3%を合わせた“健康状態はよくない”人は17.0%となっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが“健康状態がよい”が9.0ポイント多くなっています。



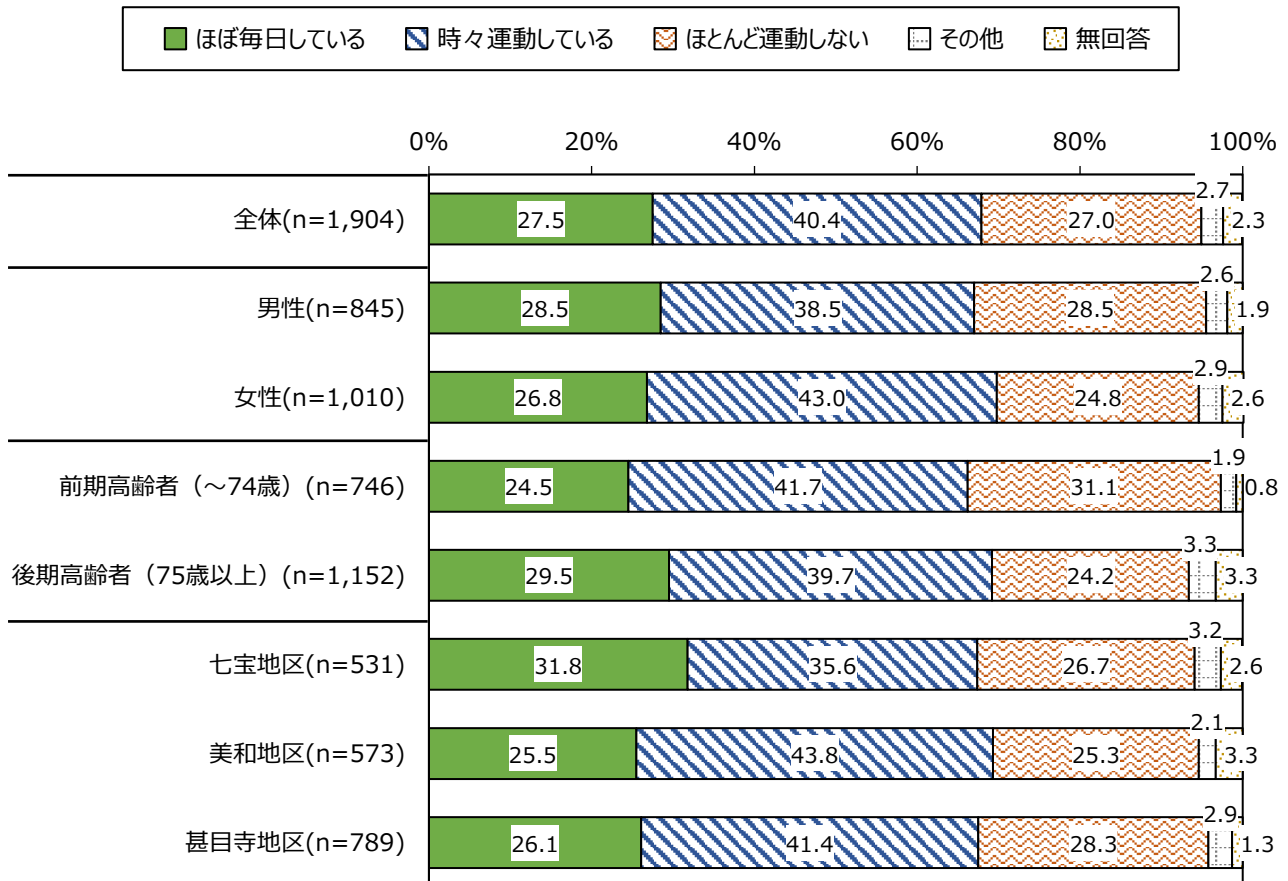
## 9-2 健康維持のための運動

問54 健康を維持するために運動はしていますか。(○は1つ)

### ◆ “運動している” が約7割

健康を維持するために運動しているかについて、「ほぼ毎日している」が27.5%、「時々運動している」が40.4%、「ほとんど運動しない」が27.0%となっており、「ほぼ毎日している」と「時々運動している」を合わせた“運動している”が67.9%となっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「ほとんど運動しない」が6.9ポイント多くなっています。



### 9-3 現在の幸福度 ◎

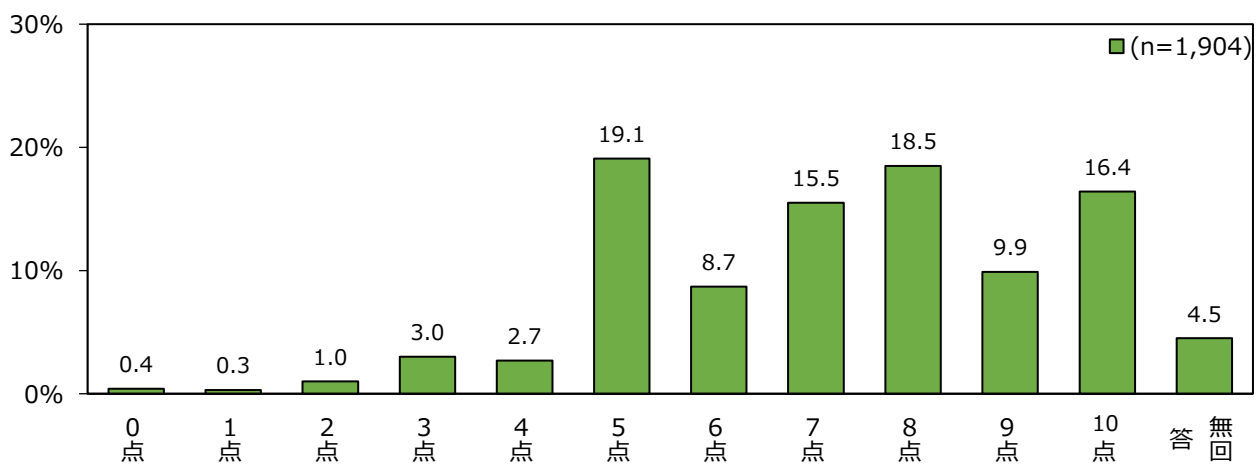
問55 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。(○は1つ)

◆ 10点満点中、「5点」以上が約9割

現在の幸福度について、「0点（とても不幸）」から「10点（とても幸せ）」の中でどの程度幸せか採点をしていただいたところ、「5点」が19.1%で最も多く、次いで「8点」が18.5%、「10点」が16.4%、「7点」が15.5%、となっています。また、「5点」以上の点数を回答した人が88.1%となっています。

性別でみると、男性は女性より「5点」が多く、女性は男性より「10点」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「7～9点」が多く、後期高齢者（75歳以上）のほうが「10点」が多くなっています。



	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体 (n=1,904)	0.4	0.3	1.0	3.0	2.7	19.1	8.7	15.5	18.5	9.9	16.4	4.5
前回調査 (R5) (n=2,143)	0.1	0.3	1.0	3.3	3.4	20.0	7.2	14.7	23.1	9.6	13.3	4.0
男性 (n=845)	0.6	0.4	1.1	3.8	3.8	21.1	10.4	16.0	16.8	8.2	14.3	3.7
女性 (n=1,010)	0.2	0.2	1.0	2.3	1.6	17.7	7.2	14.5	20.4	11.4	18.4	5.1
前期高齢者（～74歳） (n=746)	0.4	0.4	1.1	3.4	3.8	18.5	7.8	18.6	20.2	10.2	14.3	1.3
後期高齢者（75歳以上） (n=1,152)	0.3	0.2	1.0	2.8	1.9	19.6	9.4	13.5	17.5	9.6	17.8	6.4
七宝地区 (n=531)	0.6	0.0	1.1	2.8	2.8	20.2	8.1	13.7	16.4	10.4	18.1	5.8
美和地区 (n=573)	0.0	0.2	1.0	3.3	2.1	17.1	10.8	15.2	19.5	8.7	17.6	4.4
甚目寺地区 (n=789)	0.5	0.5	0.9	2.9	2.9	20.0	7.7	16.6	19.5	10.5	14.6	3.3

9-4 精神状態について ◎

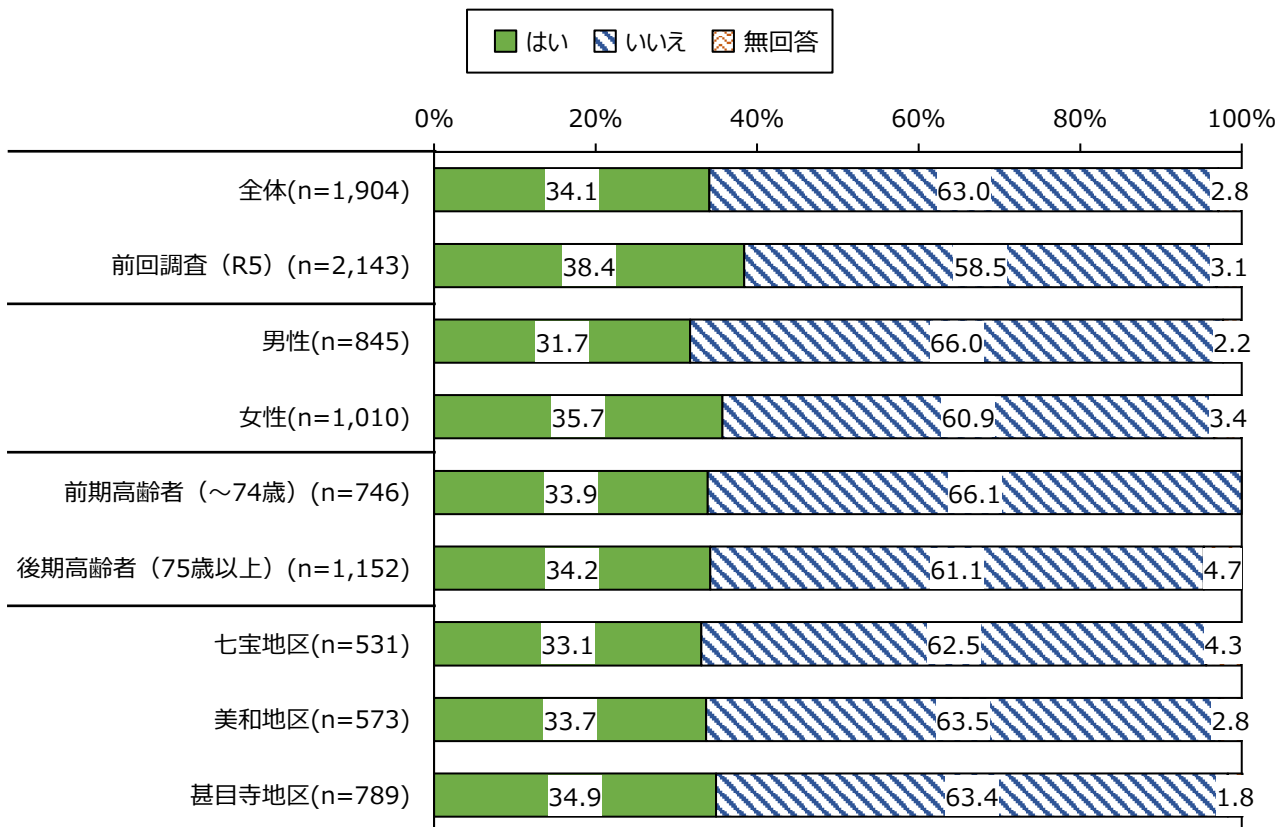
問56 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
(○は1つ)

◆ 気分が沈んだりすることがあった人が約4割

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が34.1%、「いいえ」が63.0%となっています。

性別でみると、女性のほうが「はい」が4.0ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「いいえ」が5.0ポイント多くなっています。



### 9-5 物事への興味等について ◎

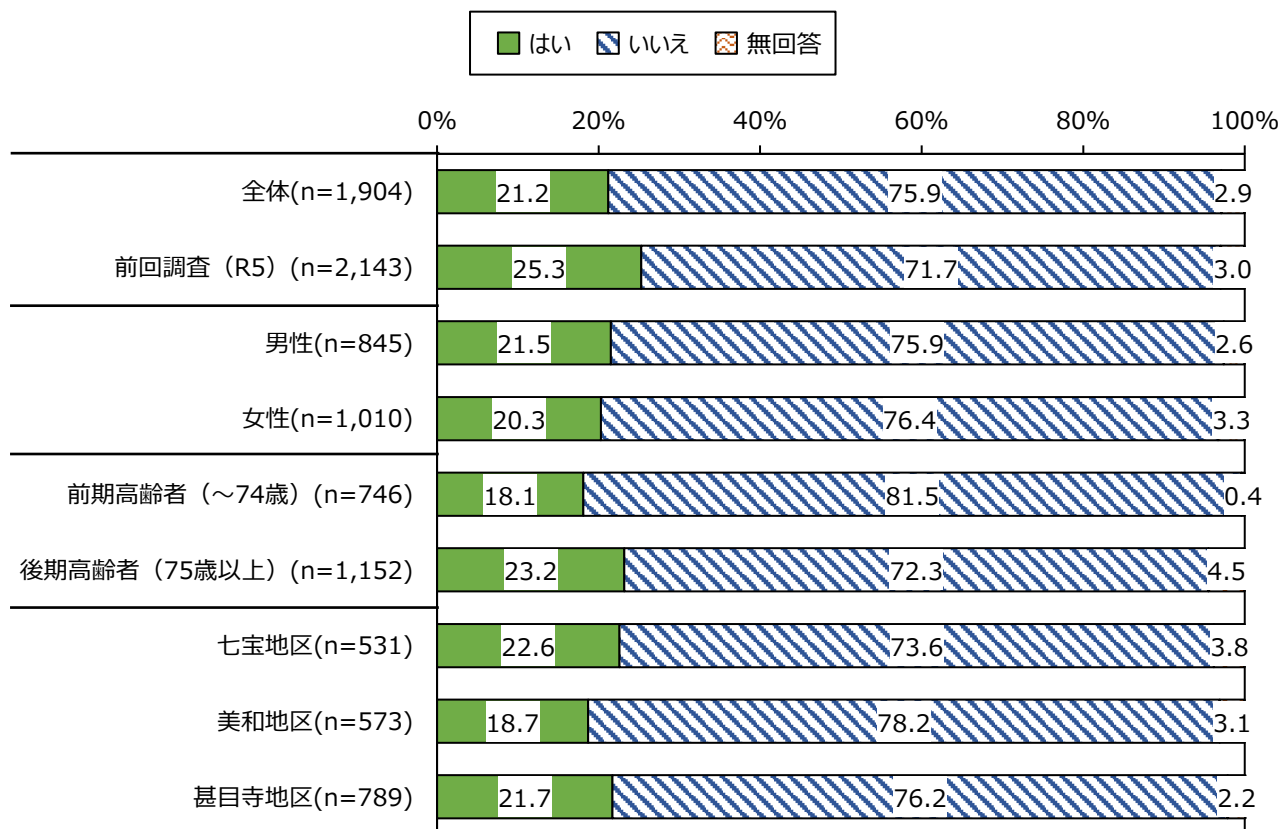
問57 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

◆ 物事への興味がわからないことがあった人が約2割

物事に対する興味がわからなかったり、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が21.2%、「いいえ」が75.9%となっています。

性別で比較しても大きな差は見られません。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が5.1ポイント多くなっています。



9-6 飲酒習慣の有無 ○

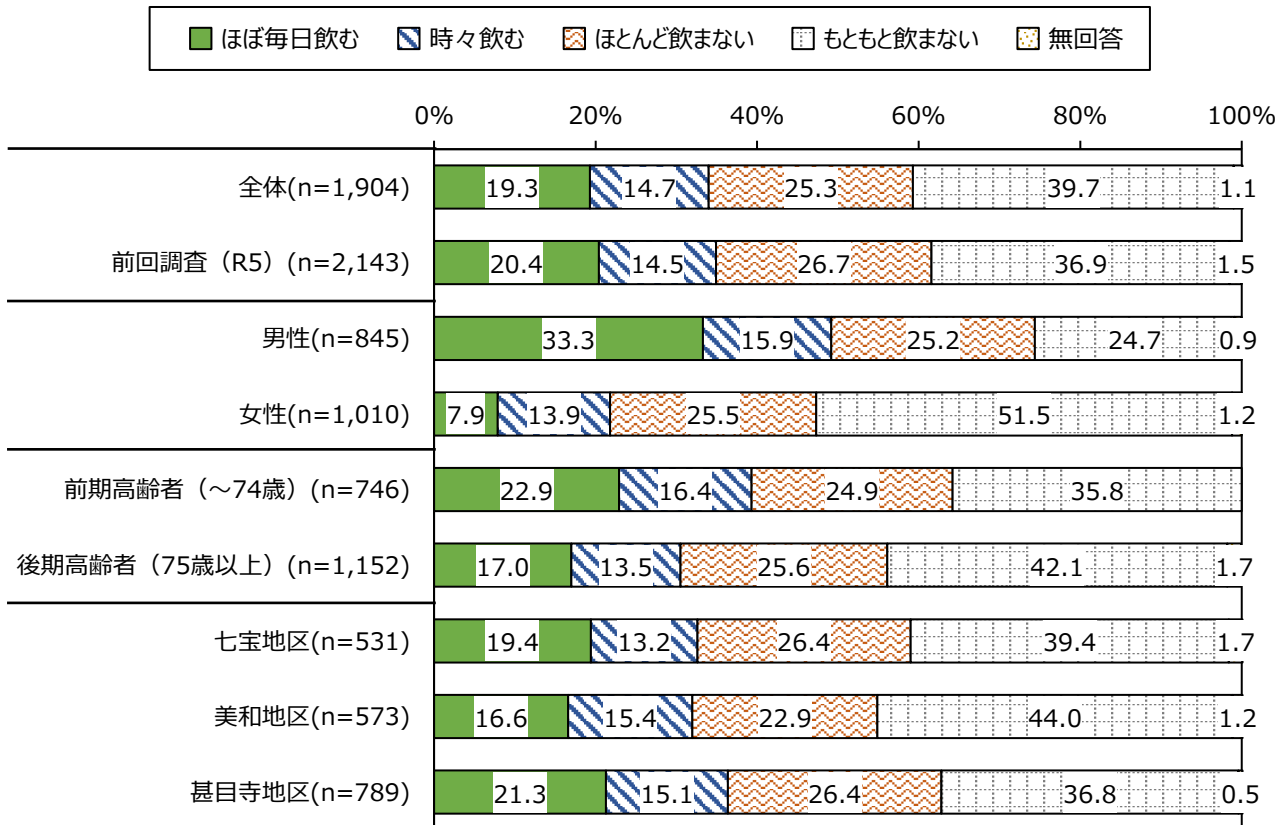
問58 お酒は飲みますか。(○は1つ)

◆ “飲酒習慣がある” が約3割

飲酒の習慣について、「もともと飲まない」が39.7%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が25.3%、「ほぼ毎日飲む」が19.3%、「時々飲む」が14.7%となっており、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた“飲酒習慣がある”が34.0%となっています。

性別でみると、男性の“飲酒習慣がある”は49.2%となっており、女性の“飲酒習慣がある”21.8%に比べ27.4ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「ほぼ毎日飲む」が5.9ポイント多くなっています。



9-7 喫煙習慣の有無 ◎

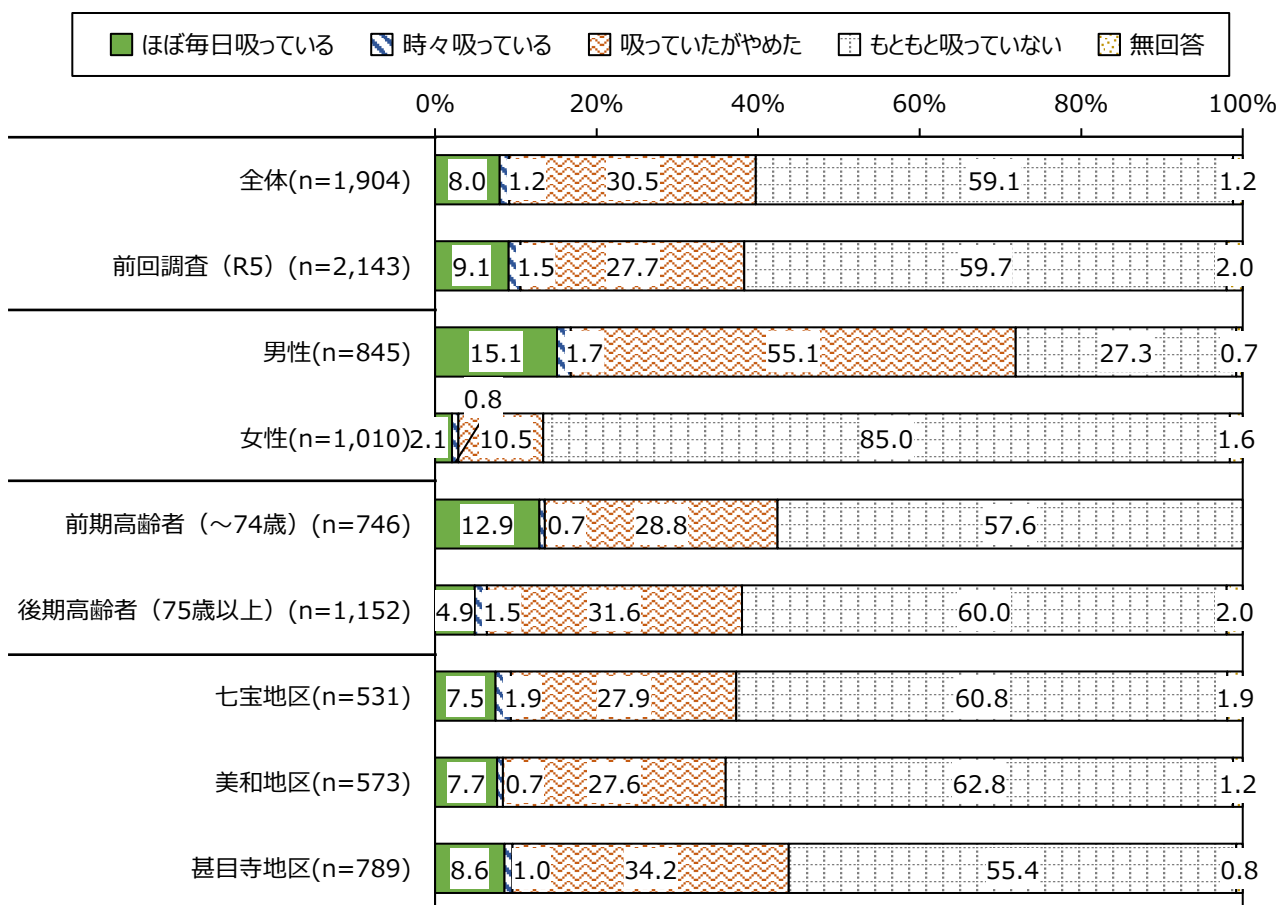
問59 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

◆ “喫煙習慣がある” が約1割

喫煙の習慣について、「もともと吸っていない」が59.1%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が30.5%、「ほぼ毎日吸っている」が8.0%、「時々吸っている」が1.2%となっており、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた“喫煙習慣がある”は9.2%となっています。

性別でみると、男性の“喫煙習慣がある”は16.8%となっており、女性の“喫煙習慣がある”2.9%に比べ13.9ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「ほぼ毎日吸っている」が8.0ポイント多くなっています。



9-8 治療中または後遺症のある病気について ◎

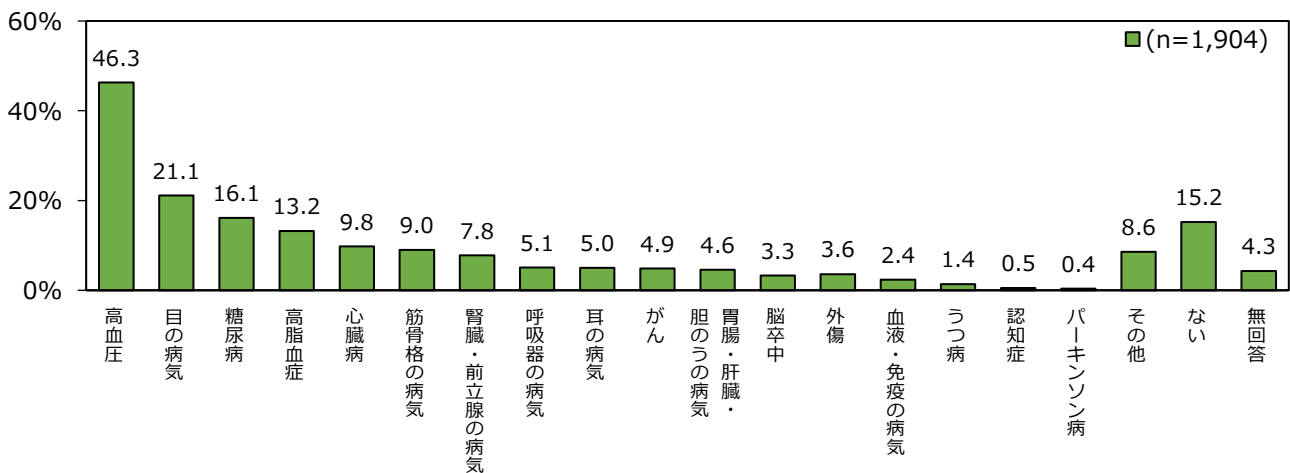
問60 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

◆ 「高血圧」が約5割、「目の病気」が約2割

治療中または後遺症のある病気について「高血圧」が46.3%で最も多く、次いで「目の病気」が21.1%、「糖尿病」が16.1%、「高脂血症（脂質異常）」が13.2%、「心臓病」が9.8%となっています。また、治療中または後遺症のある病気は「ない」が15.2%となっています。

性別でみると、男性では「高血圧」、「糖尿病」が多く、女性では「高血圧」、「目の病気」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）では「高血圧」が多く、後期高齢者（75歳以上）では「高血圧」、「目の病気」が多くなっています。



	高血圧	目の病気	糖尿病	高脂血症	心臓病	筋骨格の病気	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気	耳の病気	がん
全体 (n=1,904)	46.3	21.1	16.1	13.2	9.8	9.0	7.8	5.1	5.0	4.9
前回調査 (R5) (n=2,143)	42.5	20.7	14.3	13.1	9.7	9.0	6.2	4.9	4.6	3.5
男性 (n=845)	45.8	18.1	21.5	10.7	12.2	2.6	14.9	6.2	5.0	6.4
女性 (n=1,010)	46.6	23.7	11.3	15.1	7.7	14.1	1.9	4.3	5.2	3.8
前期高齢者（～74歳） (n=746)	41.2	16.8	15.0	13.9	7.4	6.8	5.4	4.6	3.9	4.8
後期高齢者（75歳以上） (n=1,152)	49.4	24.0	16.7	12.8	11.4	10.4	9.5	5.6	5.8	5.0
七宝地区 (n=531)	51.4	18.8	16.9	13.6	7.9	8.7	8.1	4.3	6.0	4.9
美和地区 (n=573)	45.0	20.9	14.8	11.9	9.1	7.9	8.7	6.3	4.2	5.6
碓氷寺地区 (n=789)	43.3	22.9	16.3	14.1	11.7	10.0	6.8	4.9	5.1	4.6
	胆のう・膵臓の病気	脳卒中	外傷	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	その他	ない	無回答
全体 (n=1,904)	4.6	3.3	3.6	2.4	1.4	0.5	0.4	8.6	15.2	4.3
前回調査 (R5) (n=2,143)	4.9	2.9	1.5	1.6	1.3	0.6	0.5	8.4	15.8	5.7
男性 (n=845)	5.6	4.4	2.5	2.1	0.9	0.6	0.7	9.2	12.9	4.0
女性 (n=1,010)	3.8	2.4	4.5	2.6	1.7	0.5	0.1	8.1	16.7	4.5
前期高齢者（～74歳） (n=746)	4.4	1.6	2.0	1.9	2.0	0.3	0.0	9.8	22.1	2.9
後期高齢者（75歳以上） (n=1,152)	4.7	4.3	4.6	2.7	1.0	0.7	0.6	7.9	10.8	5.2
七宝地区 (n=531)	4.5	2.6	3.8	2.1	1.3	0.6	0.2	8.5	12.1	5.5
美和地区 (n=573)	4.2	3.3	3.3	2.3	1.2	0.7	0.5	7.9	16.4	3.8
碓氷寺地区 (n=789)	5.1	3.5	3.7	2.7	1.6	0.4	0.4	9.3	16.6	3.8

### 9-9 フレイルの認知度

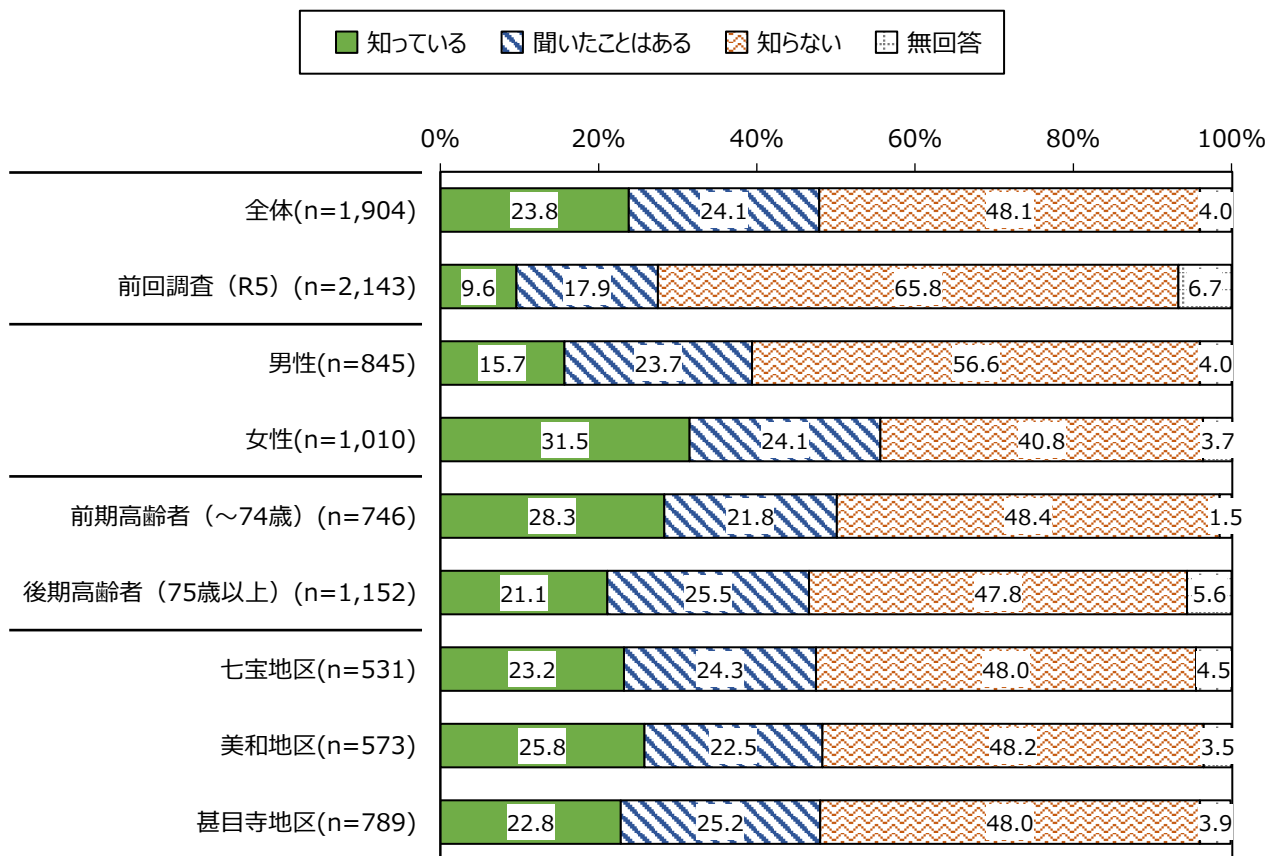
問61 フレイル（健康な状態から要介護へ移行する中間の段階を意味する）を知っていますか。  
（○は1つ）

◆ 「知らない」が約5割

フレイルを知っているかについて、「知っている」が23.8%、「聞いたことはある」が24.1%、「知らない」が48.1%となっています。

性別でみると、男性のほうが「知らない」が15.8ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「知っている」が7.2ポイント多くなっています。



9-10 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師について

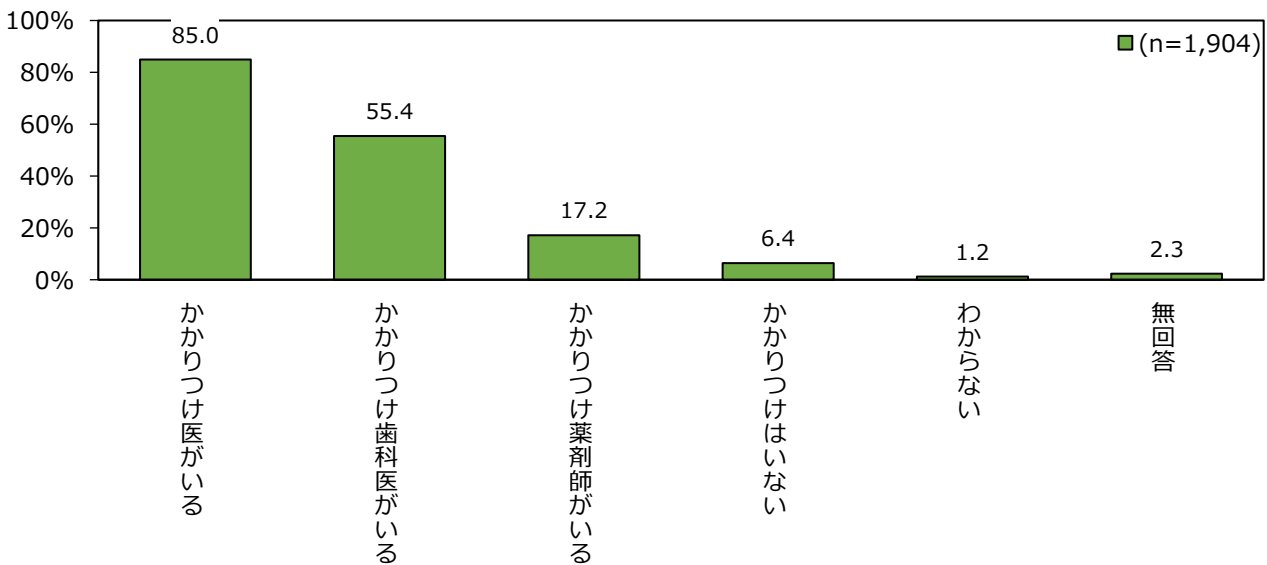
問62 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(〇はいくつでも)

◆ 「かかりつけ医がいる」が約8割

かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師について、「かかりつけ医がいる」が85.0%で最も多く、次いで「かかりつけ歯科医がいる」が55.4%、「かかりつけ薬剤師がいる」が17.2%、「かかりつけはいない」が6.4%となっています。

性別でみると、女性のほうが「かかりつけ医がいる」、「かかりつけ歯科医がいる」、「かかりつけ薬剤師がいる」のいずれも多くなっています。

年代でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「かかりつけ医がいる」、「かかりつけ薬剤師がいる」が多くなっています。



	かかりつけ医がいる	かかりつけ歯科医がいる	かかりつけ薬剤師がいる	かかりつけはいない	わからない	無回答
全体 (n=1,904)	85.0	55.4	17.2	6.4	1.2	2.3
前回調査 (R5) (n=2,143)	83.9	58.1	19.1	6.4	1.4	2.1
男性 (n=845)	83.6	48.6	14.1	7.6	1.7	2.7
女性 (n=1,010)	86.0	61.3	19.3	5.5	0.8	1.9
前期高齢者 (~74歳) (n=746)	81.9	55.8	14.7	8.0	1.6	1.3
後期高齢者 (75歳以上) (n=1,152)	87.0	55.2	18.9	5.4	1.0	3.0
七宝地区 (n=531)	87.6	53.7	18.5	5.5	0.6	2.6
美和地区 (n=573)	85.5	58.8	14.8	5.6	1.2	2.1
甚目寺地区 (n=789)	82.8	54.2	18.1	7.7	1.5	2.3

## 10) 認知症について

### 10-1 認知症の症状や家族に認知症の症状がある人 ◎

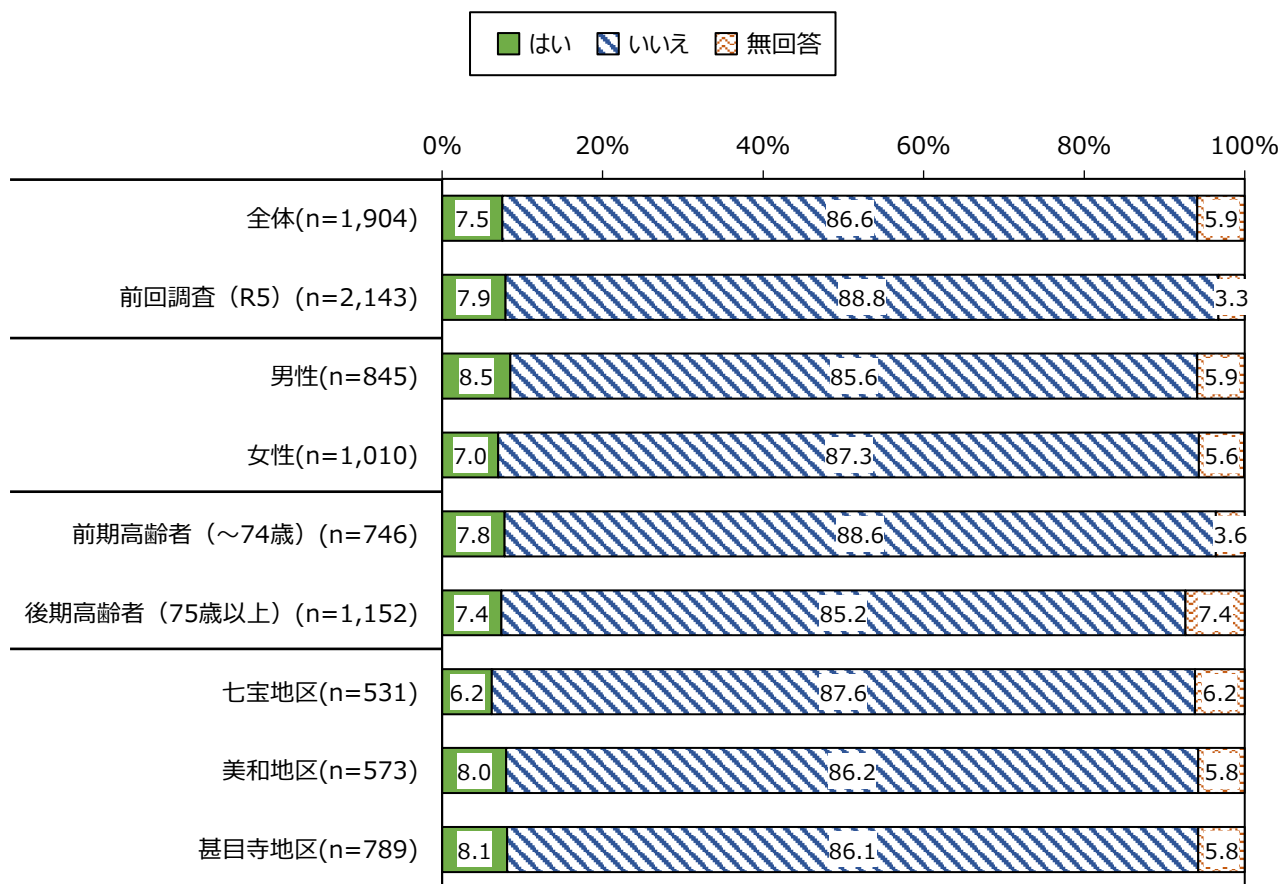
問63 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

◆ 認知症の症状や家族に認知症の症状がある人が約1割

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人について、「はい」が7.5%、「いいえ」が86.6%となっています。

性別で比較しても大きな差は見られません。

年代別で比較しても大きな差は見られません。



## 10-2 医療機関への受診

問63で「はい」とお答えの方にお聞きします。

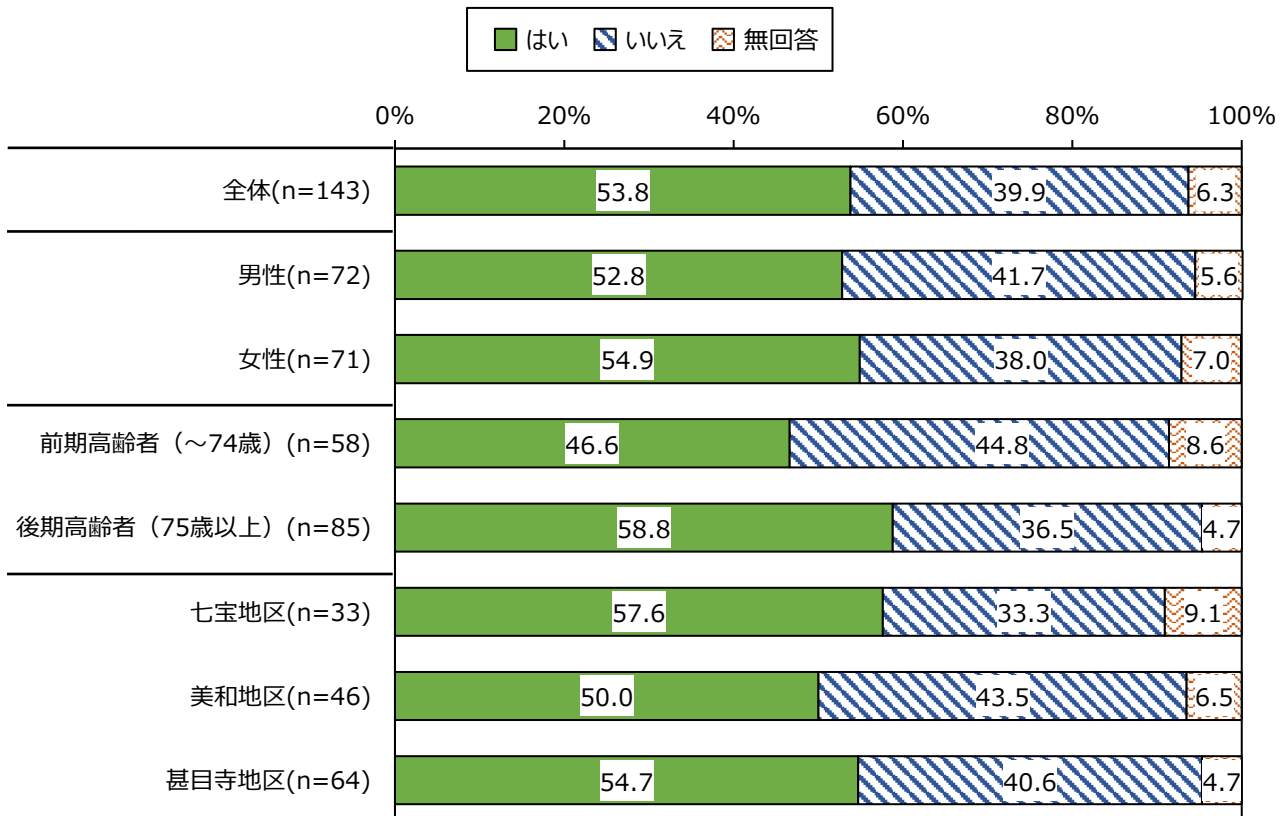
問63-1 認知症専門医のいる医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

### ◆ 認知症専門医のいる医療機関を受診した人が約5割

認知症専門医のいる医療機関への受診について、「はい」が53.8%、「いいえ」が39.9%となっています。

性別で比較しても大きな差は見られません。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が12.2ポイント多くなっています。



### 10-3 医療機関を受診するまでにかかった期間

問63-1で「はい」とお答えの方にお聞きします。

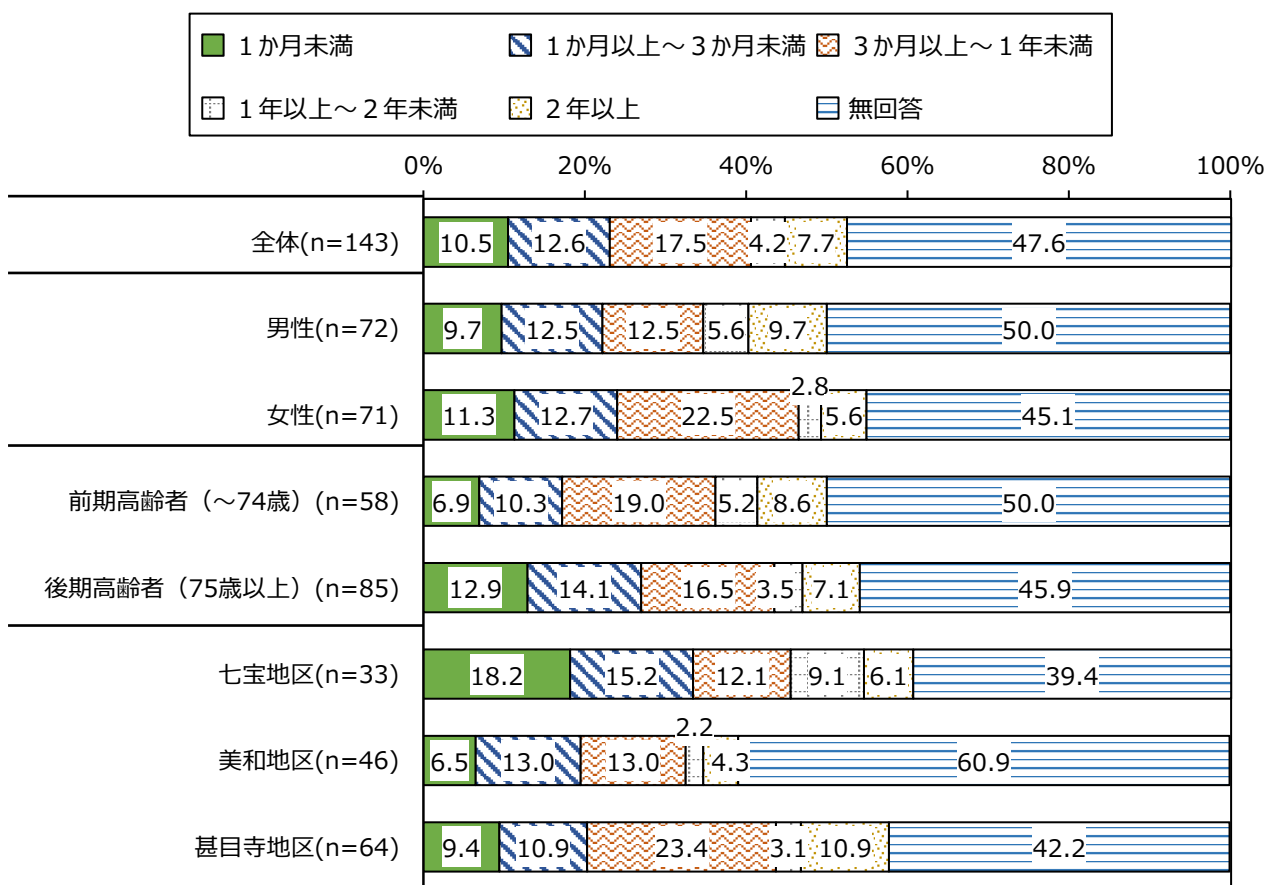
問63-2 認知症を疑ってから、認知症専門医のいる医療機関を受診するまでに、どのくらいの期間がかかりましたか（○は1つ）

◆ “1年未満”が約4割

認知症専門医のいる医療機関を受診するまでにかかった期間について、「1か月未満」が10.5%、「1か月以上～3か月未満」が12.6%、「3か月以上～1年未満」が17.5%、「1年以上～2年未満」が4.2%、「2年以上」が7.7%となっています。

性別みると、女性のほうが「1か月未満」、「1か月以上～3か月未満」、「3か月以上～1年未満」を合わせた“1年未満”が11.8ポイント多くなっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが“1年未満”が7.3ポイント多くなっています。



10-4 認知症に関する相談窓口について ◎

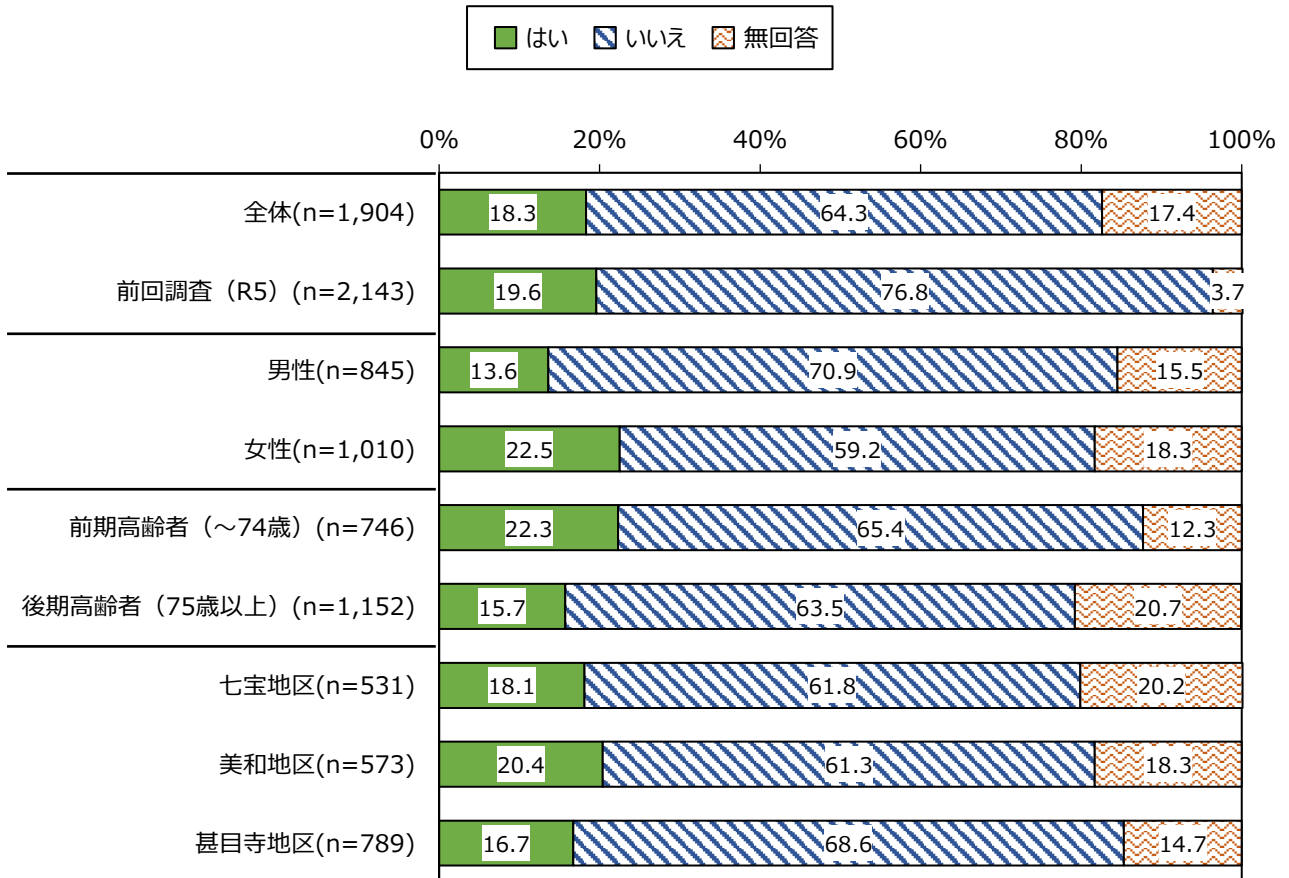
問64 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

◆ 認知症に関する相談窓口を知らない人が約6割

認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が18.3%、「いいえ」が64.3%となっています。

性別みると、女性のほうが「はい」が8.9ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が6.6ポイント多くなっています。



### 10-5 知っている相談窓口

問64で「はい」とお答えの方にお聞きします。

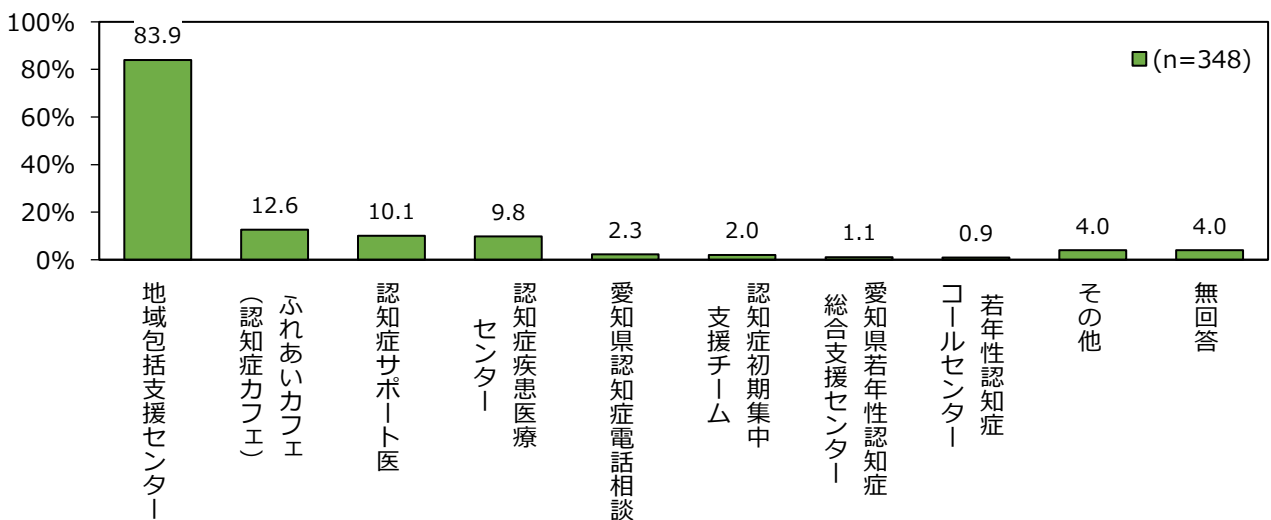
問64-1 知っている相談窓口はどれですか（○はいくつでも）

◆ 「地域包括支援センター」が約8割

知っている相談窓口について、「地域包括支援センター」が83.9%で最も多く、次いで「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」が12.6%、「認知症サポート医」が10.1%、「認知症疾患医療センター」が9.8%、「愛知県認知症電話相談」が2.3%となっています。

性別でみると、男性では「地域包括支援センター」が最も多く、また、「認知症疾患医療センター」が女性より5.1ポイント多くなっています。女性では「地域包括支援センター」が最も多く、また、「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」が男性より15.0ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「地域包括支援センター」が13.7ポイント多くなっています。



	地域包括支援センター	ふれあいカフェ (認知症カフェ)	認知症サポート医	認知症疾患医療センター	愛知県認知症電話相談	認知症初期集中支援チーム	愛知県若年性認知症総合支援センター	若年性認知症コールセンター	その他	無回答
全体 (n=348)	83.9	12.6	10.1	9.8	2.3	2.0	1.1	0.9	4.0	4.0
男性 (n=115)	79.1	2.6	8.7	13.0	0.9	1.7	1.7	0.9	7.8	2.6
女性 (n=227)	86.3	17.6	11.0	7.9	3.1	2.2	0.9	0.9	2.2	4.8
前期高齢者 (～74歳) (n=166)	91.0	12.0	9.6	8.4	1.8	1.2	1.8	1.2	1.8	0.6
後期高齢者 (75歳以上) (n=181)	77.3	13.3	10.5	11.0	2.8	2.8	0.6	0.6	6.1	7.2
七宝地区 (n=96)	79.2	17.7	9.4	14.6	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1	5.2
美和地区 (n=117)	88.0	11.1	12.8	9.4	1.7	2.6	0.9	0.0	3.4	2.6
甚目寺地区 (n=132)	84.1	9.8	7.6	6.8	2.3	3.0	2.3	2.3	5.3	4.5

### 10-6 利用したことがある相談窓口

問64で「はい」とお答えの方にお聞きします。

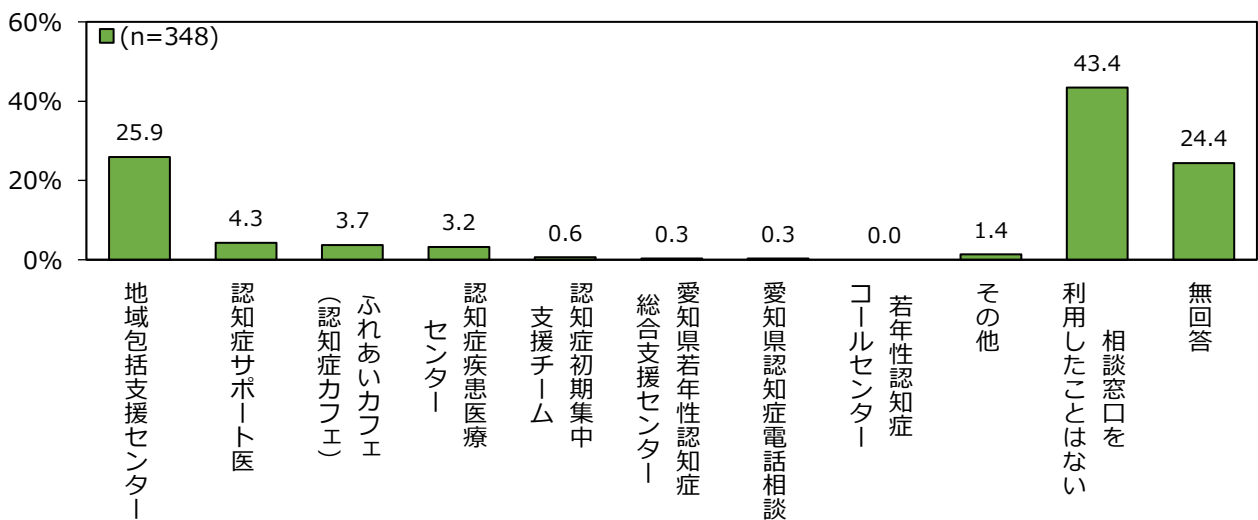
問64-2 利用したことがある相談窓口はどれですか。(○はいくつでも)

◆ 「相談窓口を利用したことがない」が約4割

利用したことがある相談窓口について、「相談窓口を利用したことがない」が43.4%となっています。相談窓口を利用したことがある人では、「地域包括支援センター」が25.9%で最も多く、次いで「認知症サポート医」が4.3%、「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」が3.7%、「認知症疾患医療センター」が3.2%、「認知症初期集中支援チーム」が0.6%となっています。

性別でみると、男性のほうが「相談窓口を利用したことがない」が8.2ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「相談窓口を利用したことがない」が5.5ポイント多くなっています。



		地域包括支援センター	認知症サポート医	ふれあいカフェ (認知症カフェ)	認知症疾患医療センター	認知症初期集中支援チーム	愛知県若年性認知症総合支援センター	愛知県認知症電話相談	若年性認知症コールセンター	その他	利用したことはない	無回答
全体	(n=348)	25.9	4.3	3.7	3.2	0.6	0.3	0.3	0.0	1.4	43.4	24.4
男性	(n=115)	26.1	6.1	0.9	3.5	1.7	0.9	0.0	0.0	2.6	48.7	17.4
女性	(n=227)	26.0	3.5	5.3	2.6	0.0	0.0	0.4	0.0	0.9	40.5	27.8
前期高齢者 (～74歳)	(n=166)	31.3	2.4	3.0	2.4	0.0	0.0	0.6	0.0	2.4	46.4	18.1
後期高齢者 (75歳以上)	(n=181)	21.0	6.1	4.4	3.9	1.1	0.6	0.0	0.0	0.6	40.9	29.8
七宝地区	(n=96)	27.1	8.3	7.3	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	41.7	16.7
美和地区	(n=117)	23.1	4.3	3.4	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	41.0	30.8
甚目寺地区	(n=132)	28.0	1.5	1.5	2.3	1.5	0.8	0.8	0.0	1.5	47.0	23.5

### 10-7 市の取組の認知度

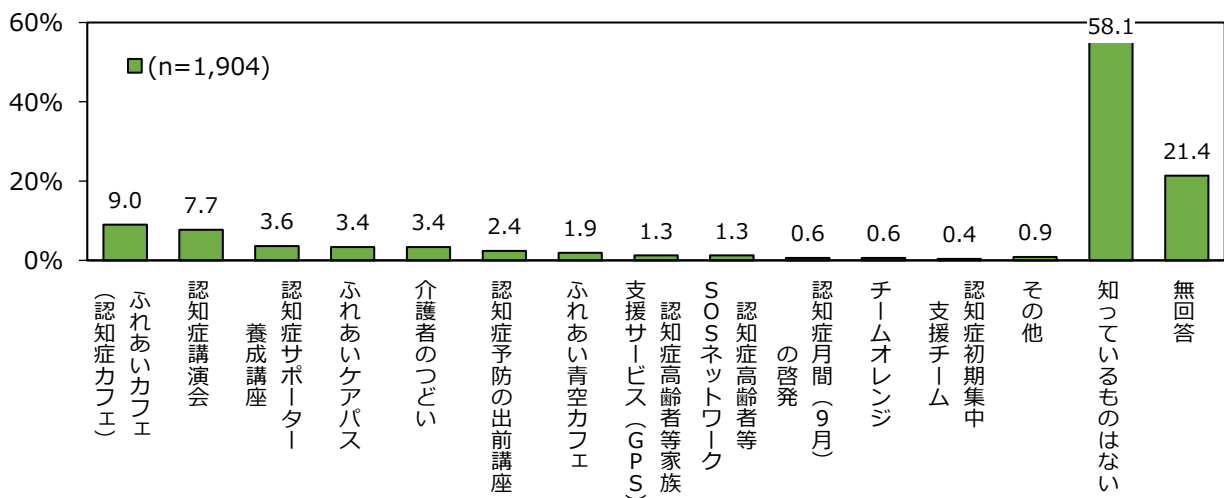
問65 市では認知症に関する様々な取組を行っています。市が行っている取組の中で知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

◆ 「知っているものはない」が約6割

市が行っている認知症に関する取組の中で知っているものについて、「知っているものはない」が58.1%で最も多くなっています。知っている取組では、「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」が9.0%で最も多く、次いで「認知症講演会」が7.7%、「認知症サポーター養成講座」が3.6%、「ふれあいケアパス」と「介護者のつどい」が3.4%となっています。

性別でみると、男性のほうが「知っているものはない」が9.0ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「知っているものはない」が17.6ポイント多くなっています。



	ふれあいカフェ (認知症カフェ)	認知症講演会	認知症サポーター養成講座	ふれあいケアパス	介護者のつどい	認知症予防の出前講座	ふれあい青空カフェ	支援サービス (GPS)	SOSネットワーク	認知症高齢者等家族の啓発	認知症月間 (9月)	チームオレンジ	認知症初期集中支援チーム	その他	知っているものはない	無回答
全体 (n=1,904)	9.0	7.7	3.6	3.4	3.4	2.4	1.9	1.3	1.3	0.6	0.6	0.4	0.9	58.1	21.4	
男性 (n=845)	6.5	5.7	1.2	4.1	2.0	2.4	1.3	1.1	1.4	0.5	0.5	0.5	1.1	63.2	18.8	
女性 (n=1,010)	11.1	9.3	5.3	2.7	4.7	2.5	2.3	1.6	1.2	0.7	0.7	0.3	0.8	54.2	23.5	
前期高齢者 (～74歳) (n=746)	11.1	7.6	5.8	3.4	4.3	2.3	2.5	1.3	2.0	0.4	1.1	0.3	0.3	68.9	9.0	
後期高齢者 (75歳以上) (n=1,152)	7.7	7.6	2.2	3.4	2.9	2.5	1.4	1.3	0.8	0.8	0.3	0.4	1.3	51.3	29.3	
七宝地区 (n=531)	9.2	7.9	4.0	4.0	3.4	2.6	2.1	1.7	0.9	0.9	0.8	0.4	1.1	53.5	25.4	
美和地区 (n=573)	8.4	9.6	4.0	2.8	3.7	2.6	2.6	1.4	1.7	0.5	0.7	0.2	0.7	58.1	20.4	
甚目寺地区 (n=789)	9.1	6.0	2.9	3.4	3.3	2.2	1.1	1.0	1.1	0.5	0.4	0.5	0.9	62.0	19.0	

### 10-8 参加（利用）したことがある市の取組

問65で「知っているものはない」とお答えの方以外の方にお聞きします。

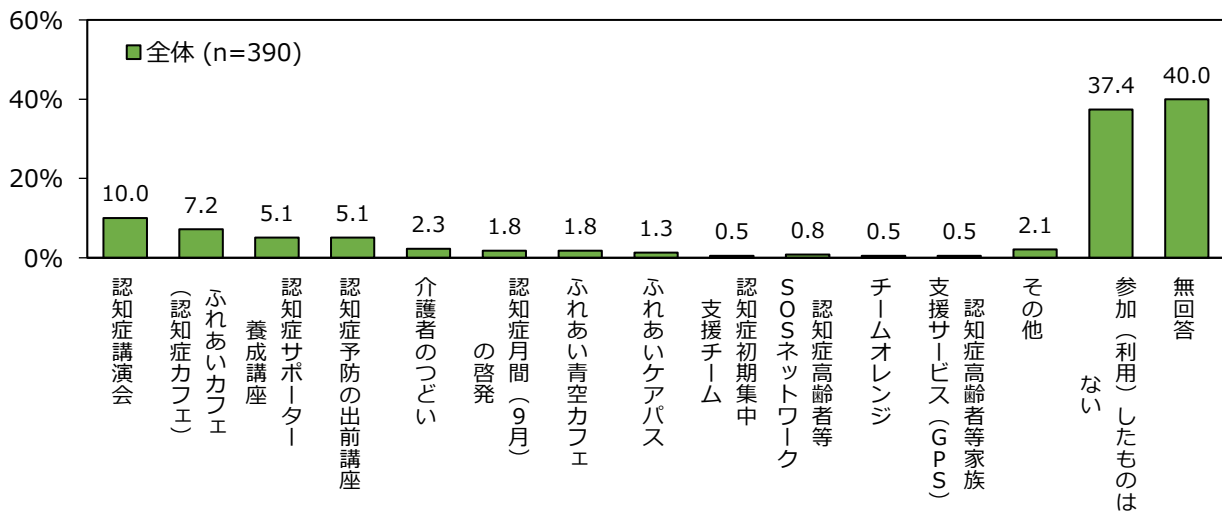
問65-1 市が行っている取組の中で参加（利用）したことがあるものは何ですか。  
（〇はいくつでも）

◆ 「参加（利用）したものはない」が約4割

参加（利用）したことがある市の取組について、「参加（利用）したものはない」が37.4%で最も多くなっています。参加（利用）したものでは、「認知症講演会」が10.0%で最も多く、次いで「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」が7.2%、「認知症サポーター養成講座」と「認知症予防の出前講座」が5.1%、「介護者のつどい」が2.3%となっています。

性別でみると、女性のほうが「認知症講演会」が5.2ポイント多くなっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「認知症講演会」が4.8ポイント多くなっています。



	認知症講演会	ふれあいカフェ（認知症カフェ）	認知症サポーター養成講座	認知症予防の出前講座	介護者のつどい	認知症月間（9月）の啓発	ふれあい青空カフェ	ふれあいケアパス	認知症初期集中支援チーム	SOSネットワーク	チームオレンジ	認知症高齢者等支援サービス（GPS）	その他	参加（利用）したものはない	無回答
全体 (n=390)	10.0	7.2	5.1	5.1	2.3	1.8	1.8	1.3	0.5	0.8	0.5	0.5	2.1	37.4	40.0
男性 (n=152)	7.2	2.6	1.3	3.9	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	2.6	40.1	44.1
女性 (n=226)	12.4	10.2	7.1	6.2	3.1	2.2	3.1	2.2	0.9	0.9	0.9	0.4	1.8	35.8	36.7
前期高齢者（～74歳） (n=165)	7.3	7.9	4.8	2.4	3.0	0.6	1.8	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0	1.8	38.2	43.6
後期高齢者（75歳以上） (n=223)	12.1	6.7	5.4	7.2	1.8	2.7	1.8	2.2	0.9	0.9	0.4	0.9	2.2	36.3	37.7
七宝地区 (n=112)	9.8	4.5	6.3	5.4	1.8	3.6	3.6	2.7	0.9	1.8	1.8	0.9	2.7	40.2	40.2
美和地区 (n=123)	15.4	6.5	6.5	6.5	0.8	1.6	2.4	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	1.6	36.6	35.0
甚目寺地区 (n=150)	6.0	9.3	2.7	4.0	4.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	2.0	35.3	44.7

## 11) ACPについて

### 11-1 ACPの認知度

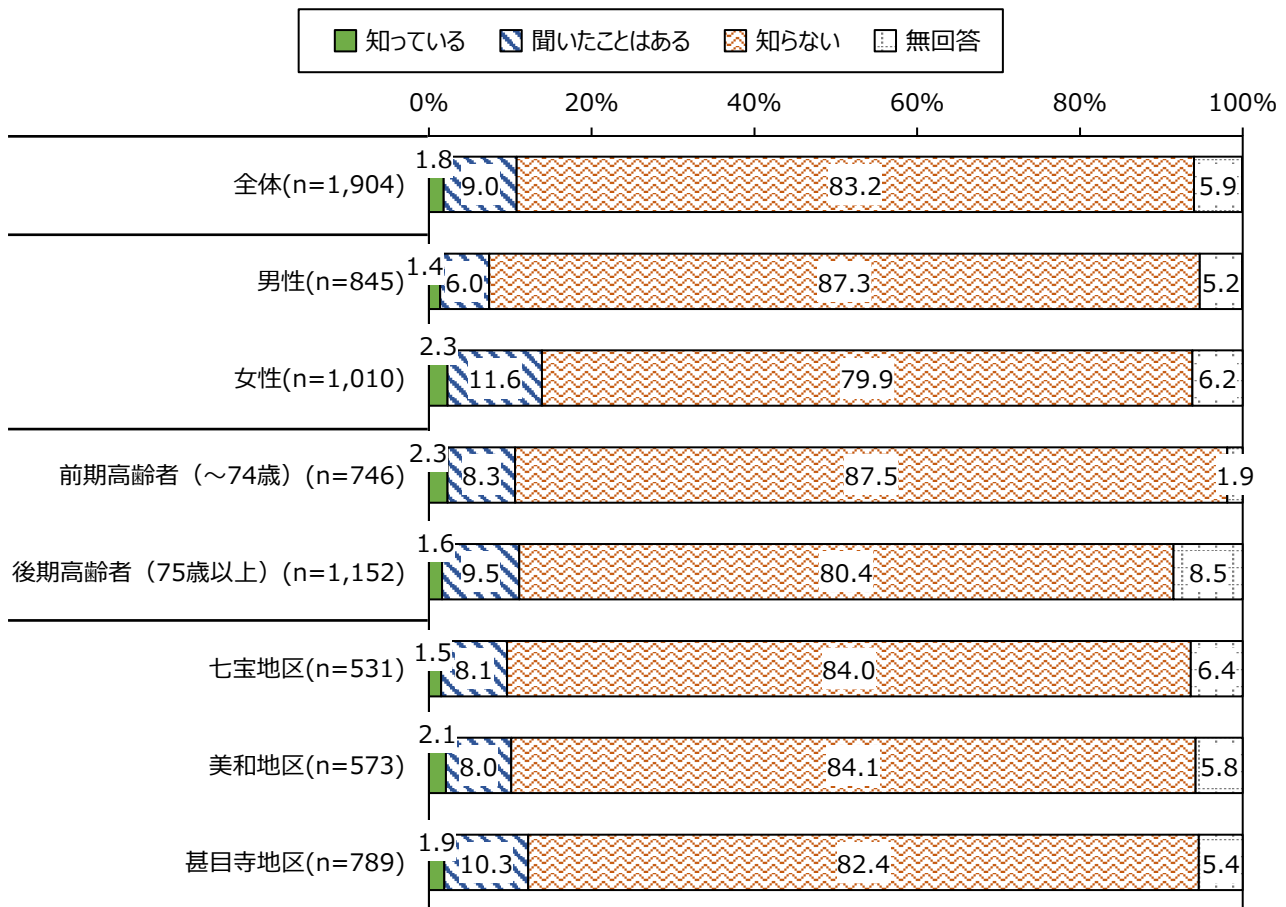
問66 ACP（アドバンスド・ケア・プランニング）を知っていますか。（○は1つ）

◆ 「知らない」が約8割

ACPを知っているかについて、「知っている」が1.8%、「聞いたことはある」が9.0%、「知らない」が83.2%となっています。

性別でみると、女性のほうが「聞いたことはある」が5.6ポイント多くなっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。



## 11-2 終末期を迎える場所について

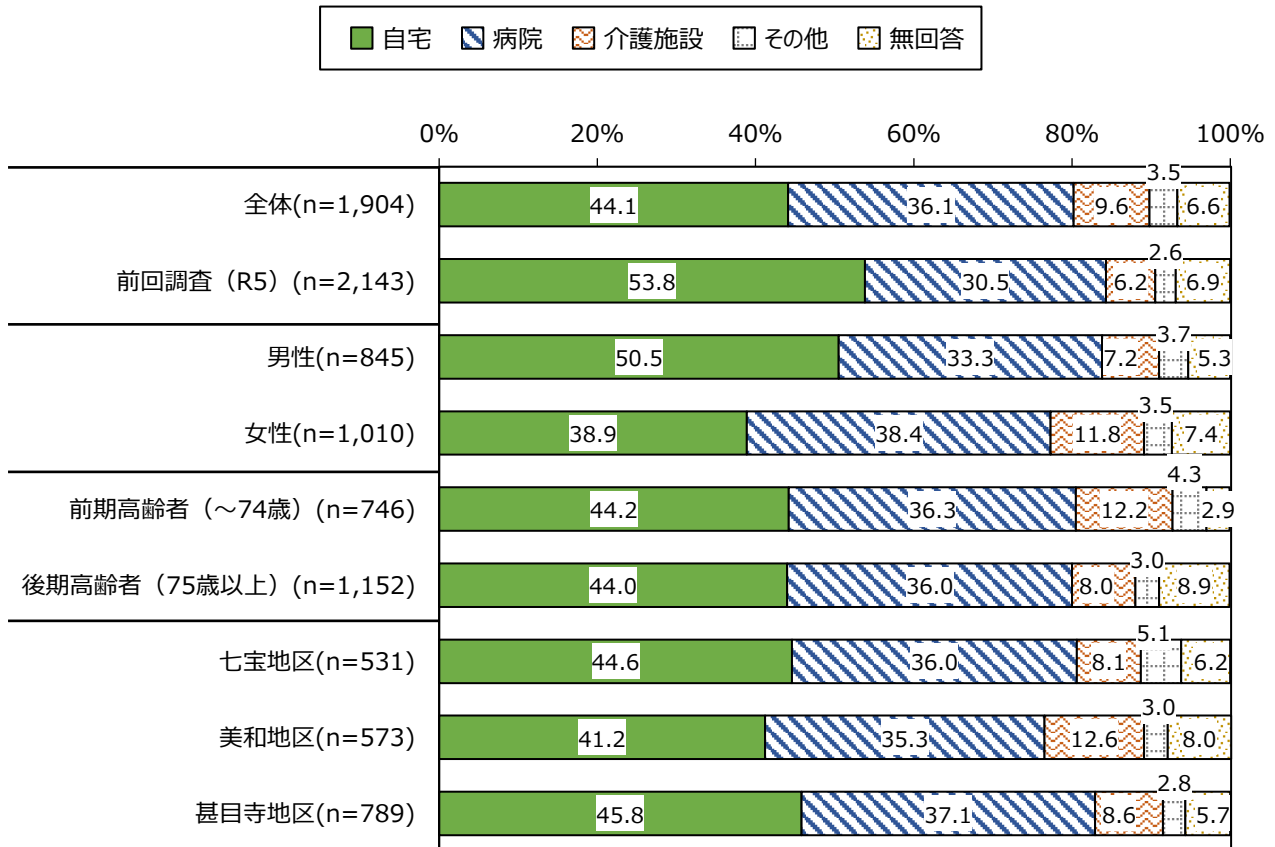
問67 人生の最期を迎える場所について、お考えに最も近いものはどこですか。(〇は1つ)

### ◆ 「自宅」が約4割

終末期を迎える場所について、「自宅」が44.1%で最も多く、次いで「病院」が36.1%、「介護施設」が9.6%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「自宅」が11.6ポイント多くなっています。

年代別で見ると、前期高齢者（～74歳）のほうが「介護施設」が4.2ポイント多くなっています。



## 12) 介護予防施策および高齢者福祉施策について

### 12-1 地域包括支援センターの認知度

問68 地域包括支援センターを知っていますか。(○は1つ)

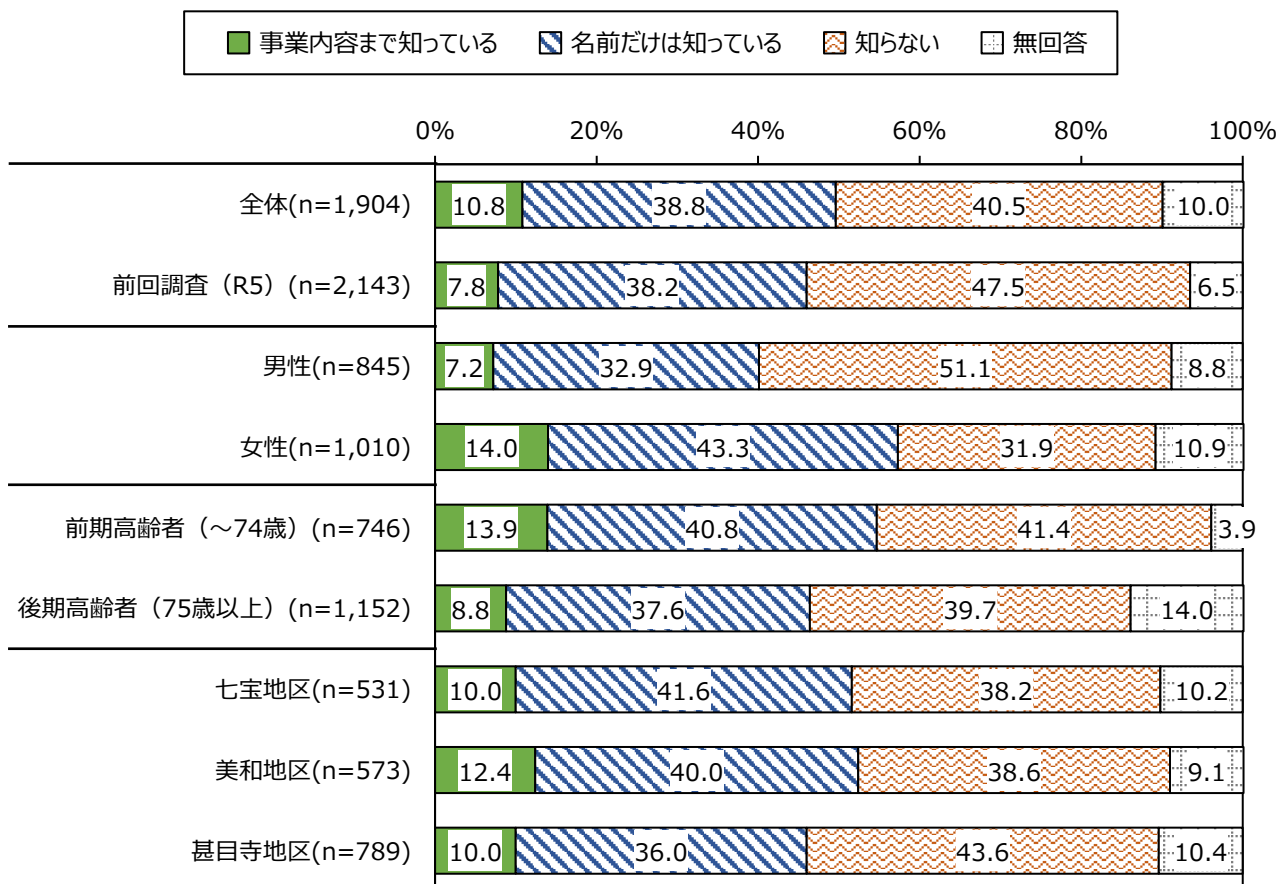
◆ “地域包括支援センターを知っている” が約5割

地域包括支援センターについて、「事業内容まで知っている」が10.8%、「名前だけは知っている」が38.8%、「知らない」が40.5%となっており、「事業内容まで知っている」と「名前だけは知っている」を合わせた“地域包括支援センターを知っている”人は49.6%となっています。

性別でみると、男性のほうが「知らない」が19.2ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが“地域包括支援センターを知っている”が7.6ポイント多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが“地域包括支援センターを知っている”が3.6ポイント多くなっています。



## 12-2 地域包括支援センターの事業について

問68で「事業内容まで知っている」とお答えの方にお聞きします。

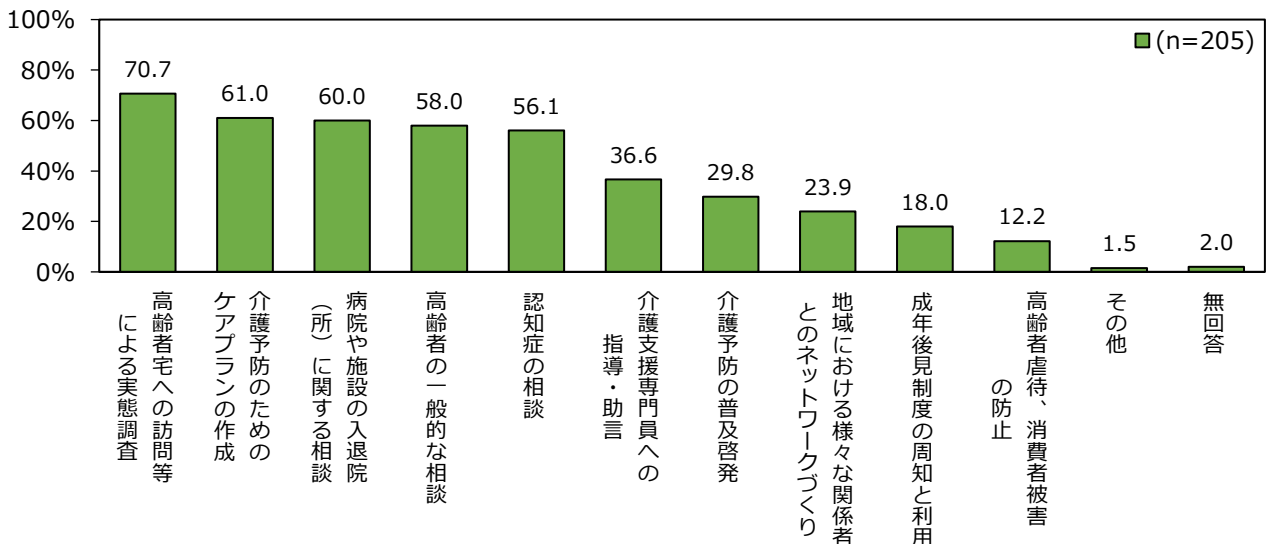
問68-1 地域包括支援センターでは、様々な事業を行っています。地域包括支援センターが行っている事業の中で、知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「高齢者宅への訪問等による実態調査」が約7割

地域包括支援センターの事業で知っているものについて、「高齢者宅への訪問等による実態調査」が70.7%で最も多く、次いで「介護予防のためのケアプランの作成」が61.0%、「病院や施設の入退院(所)に関する相談」が60.0%、「高齢者の一般的な相談」が58.0%、「認知症の相談」が56.1%となっています。

性別でみると、女性のほうが「高齢者宅への訪問等による実態調査」が9.9ポイント、「介護予防のためのケアプランの作成」が19.9ポイント、「高齢者の一般的な相談」が12.5ポイント、それぞれ男性より多くなっています。

年代別でみると、後期高齢者(75歳以上)のほうが「高齢者の一般的な相談」が6.6ポイント多くなっています。



		高齢者宅への訪問等による実態調査	介護予防のためのケアプランの作成	病院や施設の入退院(所)に関する相談	高齢者の一般的な相談	認知症の相談	介護支援専門員への指導・助言	介護予防の普及啓発	地域における様々な関係者とのネットワークづくり	成年後見制度の周知と利用	高齢者虐待、消費者被害の防止	その他	無回答
全体	(n=205)	70.7	61.0	60.0	58.0	56.1	36.6	29.8	23.9	18.0	12.2	1.5	2.0
前回調査 (R5)	(n=168)	74.4	51.2	56.5	57.7	46.4	33.3	25.0	23.8	13.1	12.5	1.2	0.6
男性	(n=61)	63.9	47.5	59.0	49.2	54.1	39.3	23.0	19.7	14.8	4.9	1.6	4.9
女性	(n=141)	73.8	67.4	60.3	61.7	57.4	34.8	32.6	26.2	18.4	15.6	1.4	0.7
前期高齢者(～74歳)	(n=104)	75.0	64.4	61.5	54.8	62.5	44.2	33.7	28.8	24.0	16.3	1.0	1.0
後期高齢者(75歳以上)	(n=101)	66.3	57.4	58.4	61.4	49.5	28.7	25.7	18.8	11.9	7.9	2.0	3.0
七宝地区	(n=53)	73.6	62.3	49.1	69.8	64.2	32.1	26.4	22.6	17.0	5.7	3.8	1.9
美和地区	(n=71)	69.0	60.6	60.6	56.3	54.9	31.0	32.4	23.9	18.3	16.9	1.4	1.4
甚目寺地区	(n=79)	69.6	62.0	65.8	51.9	53.2	43.0	29.1	25.3	17.7	12.7	0.0	2.5

### 12-3 介護予防への関心

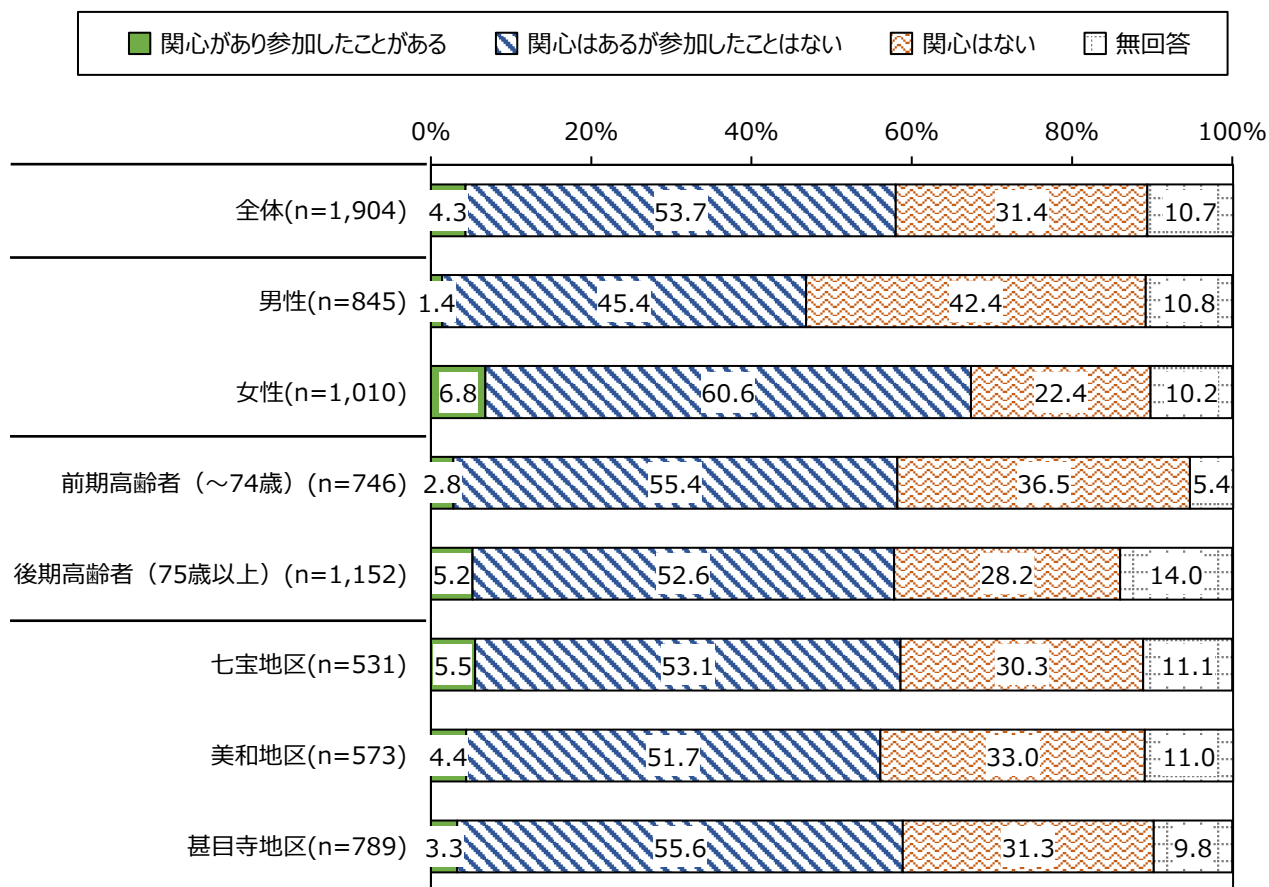
問69 介護予防（できるだけ介護が必要な状態にならないようにする）のための教室等に関心がありますか。（○は1つ）

◆ 介護予防教室等に関心がある人が約6割

介護予防教室等への関心について、「関心があり参加したことがある」が4.3%、「関心はあるが参加したことはない」が53.7%、「関心はない」が31.4%となっています。

性別でみると、男性のほうが「関心はない」が20.0ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「関心はない」が8.3ポイント多くなっています。



### 12-4 介護予防のための講習会等に参加したくない理由

問69で「関心はあるが参加したことはない」または「関心はない」とお答えの方にお聞きます。

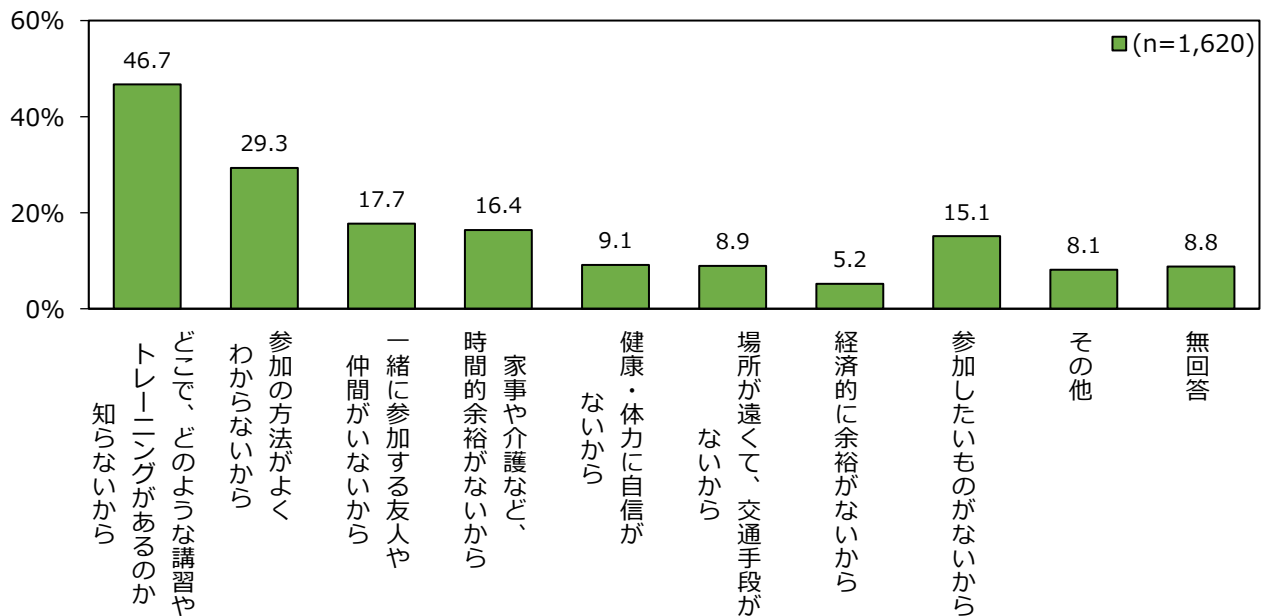
問69-1 それはなぜですか。(〇はいくつでも)

◆ 「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」が約5割

参加したくない理由について、「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」が46.7%で最も多く、次いで「参加の方法がよくわからないから」が29.3%、「一緒に参加する友人や仲間がいないから」が17.7%、「家事や介護など、時間的余裕がないから」が16.4%、「参加したいものがないから」が15.1%となっています。

性別でみると、女性のほうが「場所が遠くて、交通手段がないから」が10.9ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」、「参加の方法がよくわからないから」、「家事や介護など、時間的余裕がないから」、「経済的に余裕がないから」、「参加したいものがないから」が多くなっています。



	どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから	参加の方法がよくわからないから	一緒に参加する友人や仲間がいないから	家事や介護など、時間的余裕がないから	健康・体力に自信がないから	場所が遠くて、交通手段がないから	経済的に余裕がないから	参加したいものがないから	その他	無回答
全体 (n=1,620)	46.7	29.3	17.7	16.4	9.1	8.9	5.2	15.1	8.1	8.8
前回調査 (R5) (n=1,242)	41.1	21.7	20.0	9.6	15.1	11.3	9.7	18.3	9.8	6.1
男性 (n=742)	46.5	29.8	15.5	13.6	6.3	3.2	5.8	17.8	8.2	10.8
女性 (n=838)	47.4	28.8	19.3	18.5	10.9	14.1	4.3	12.5	8.0	7.3
前期高齢者（～74歳） (n=685)	48.0	29.2	17.2	21.3	6.3	5.1	5.8	17.2	9.9	6.7
後期高齢者（75歳以上） (n=931)	45.9	29.1	18.2	12.8	11.1	11.5	4.8	13.5	6.8	10.4
七宝地区 (n=443)	47.4	28.9	15.8	14.4	9.9	9.5	5.4	13.8	8.6	7.9
美和地区 (n=485)	45.6	28.7	18.6	15.3	8.7	6.8	4.1	16.7	9.1	8.9
甚目寺地区 (n=686)	47.2	29.9	18.2	18.4	8.9	9.9	5.8	14.9	7.1	9.5

### 12-5 積極的に参加したい介護予防事業

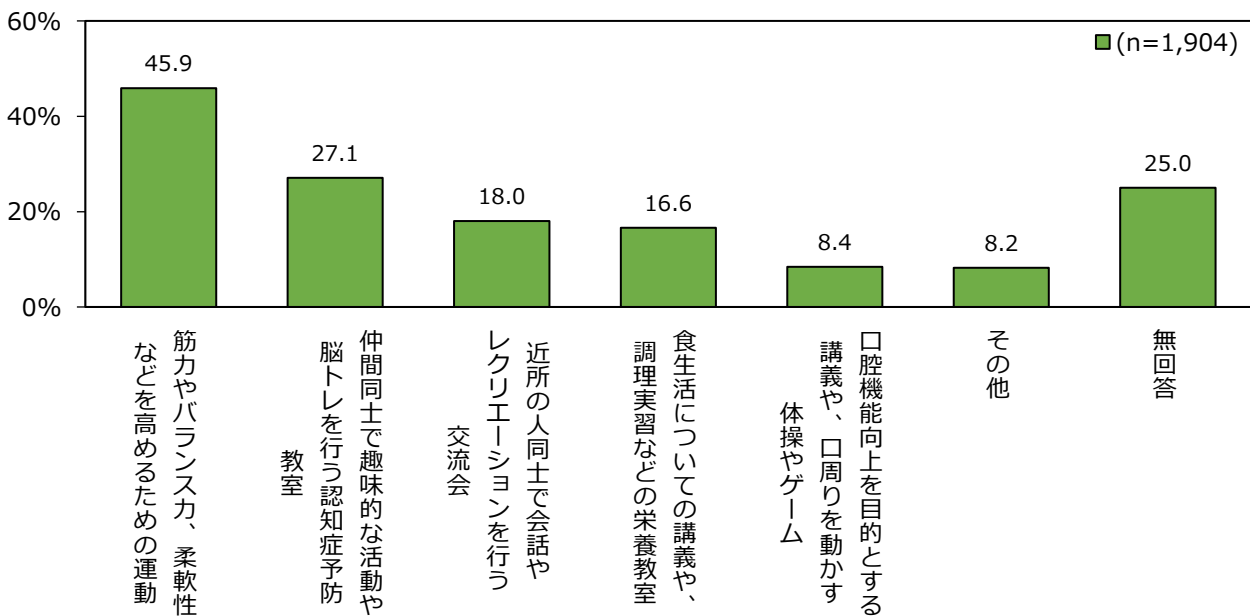
問70 どのような介護予防の事業であれば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

◆ 「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための運動」が約5割

参加したい介護予防事業について、「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための運動」が45.9%で最も多く、次いで「仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室」が27.1%、「近所の人同士で会話やレクリエーションを行う交流会」が18.0%、「食生活についての講義や、調理実習などの栄養教室」が16.6%、「口腔機能向上を目的とする講義や、口周りを動かす体操やゲーム」が8.4%となっています。

性別で見ると、女性のほうが「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための運動」が1.6ポイント、「仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室」が6.3ポイント、「近所の人同士で会話やレクリエーションを行う交流会」と「食生活についての講義や、調理実習などの栄養教室」が7.1ポイント、「口腔機能向上を目的とする講義や、口周りを動かす体操やゲーム」が8.1ポイント、それぞれ男性より多くなっています。

年代別で見ると、前期高齢者（～74歳）のほうが「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための運動」が17.3ポイント多くなっています。



	筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための運動	仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室	近所の人同士で会話やレクリエーションを行う交流会	食生活についての講義や、調理実習などの栄養教室	口腔機能向上を目的とする講義や、口周りを動かす体操やゲーム	その他	無回答
全体 (n=1,904)	45.9	27.1	18.0	16.6	8.4	8.2	25.0
男性 (n=845)	45.1	23.8	14.1	12.9	4.0	9.1	26.2
女性 (n=1,010)	46.7	30.1	21.2	20.0	12.1	7.1	24.0
前期高齢者（～74歳） (n=746)	56.4	30.3	14.1	18.4	9.1	8.0	17.0
後期高齢者（75歳以上） (n=1,152)	39.1	25.2	20.6	15.4	7.9	8.3	30.1
七宝地区 (n=531)	41.8	24.9	20.5	14.7	8.3	8.3	26.7
美和地区 (n=573)	46.4	29.8	17.6	17.5	9.4	8.6	24.6
甚目寺地区 (n=789)	48.2	26.7	16.7	17.0	7.6	8.0	24.1

## 12-6 あま市の高齢者施策に望むこと

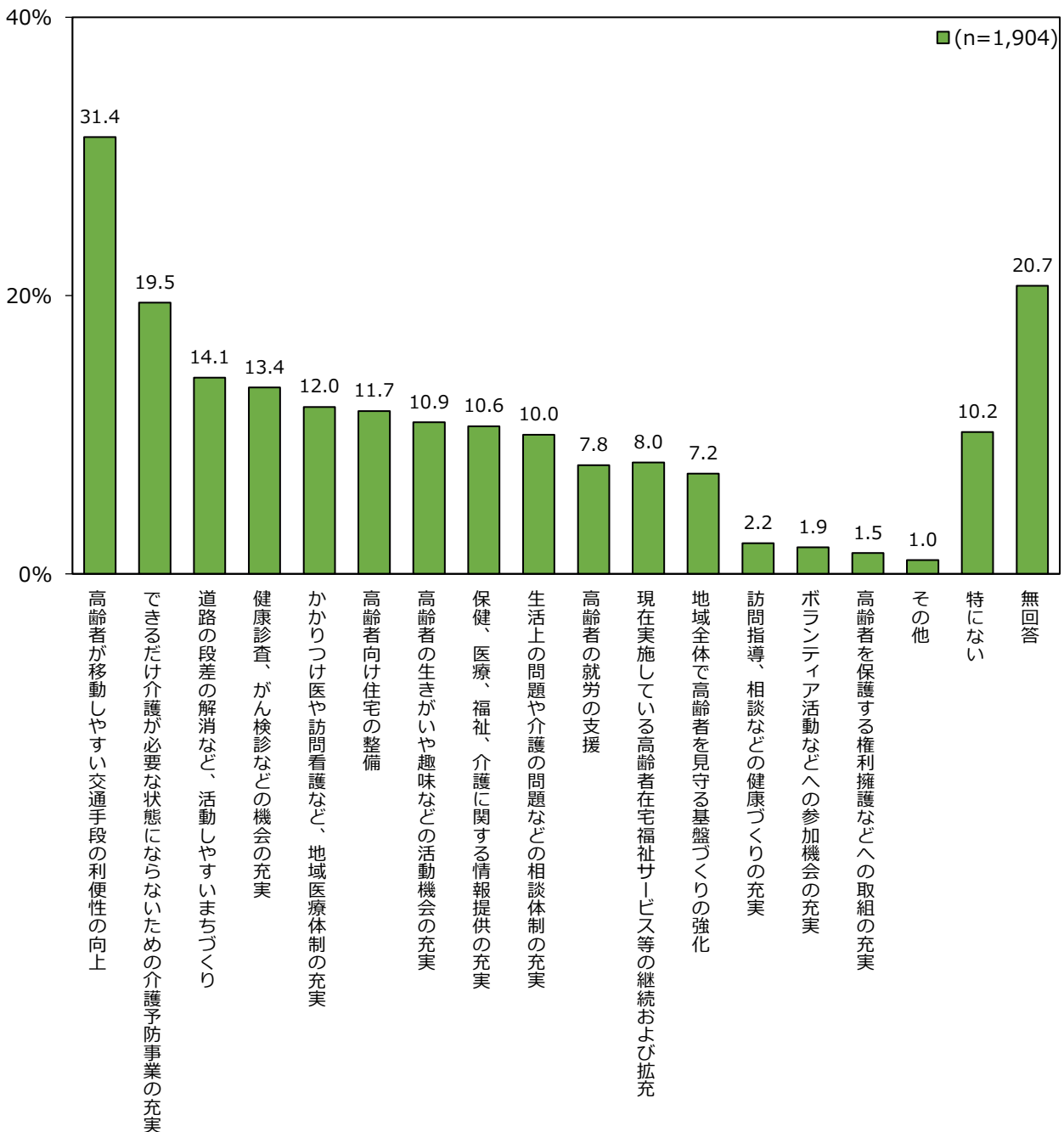
問71 あま市の高齢者施策に関して、どのようなことを望みますか。(〇は3つまで)

### ◆ 「高齢者が移動しやすい交通手段の利便性の向上」が約3割

あま市の高齢者施策に望むことについて、「高齢者が移動しやすい交通手段の利便性の向上」が31.4%で最も多く、次いで「できるだけ介護が必要な状態にならないための介護予防事業の充実」が19.5%、「道路の段差の解消など、活動しやすいまちづくり」が14.1%、「健康診査、がん検診などの機会の充実」が13.4%、「かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制の充実」が12.0%となっています。

性別でみると、女性では「高齢者が移動しやすい交通手段の利便性の向上」が男性より14.0ポイント多く、男性は「健康診査、がん検診などの機会の充実」が女性より7.2ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）では「高齢者向け住宅の整備」が7.2ポイント、「高齢者の就労の支援」が9.9ポイント、それぞれ後期高齢者（75歳以上）より多くなっています。



## Ⅱ 調査結果【介護予防・日常生活圏域二一ズ調査】

### 調査結果報告書

		高齢者が移動しやすい交通手段の利便性の向上	できるだけ介護が必要な状態にならないための介護予防事業の充実	道路の段差の解消など、活動しやすいまちづくり	健康診査、がん検診などの機会の充実	かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制の充実	高齢者向け住宅の整備	高齢者の生きがいや趣味などの活動機会の充実	保健、医療、福祉、介護に関する情報提供の充実	生活上の問題や介護の問題などの相談体制の充実	高齢者の就労の支援	現在実施している高齢者在宅福祉サービス等の継続および拡充	地域全体で高齢者を見守る基盤づくりの強化	訪問指導、相談などの健康づくりの充実	ボランティア活動などへの参加機会の充実	高齢者を保護する権利擁護などへの取組の充実	その他	特になし	無回答
全体 (n=1,904)	31.4	19.5	14.1	13.4	12.0	11.7	10.9	10.6	10.0	7.8	8.0	7.2	2.2	1.9	1.5	1.0	10.2	20.7	
男性 (n=845)	23.8	20.1	11.6	17.3	12.5	10.8	11.5	11.8	9.5	10.5	7.2	6.7	2.2	2.2	1.8	1.2	13.4	18.5	
女性 (n=1,010)	37.8	19.4	16.3	10.1	11.2	12.2	10.7	9.6	10.7	5.1	8.8	7.4	2.3	1.7	1.3	0.8	7.7	22.3	
前期高齢者（～74歳） (n=746)	30.7	19.0	13.1	14.5	12.9	16.1	14.3	11.3	13.3	13.7	7.0	7.1	1.9	2.4	1.3	0.9	9.7	15.5	
後期高齢者（75歳以上） (n=1,152)	31.6	19.7	14.8	12.8	11.5	8.9	8.7	10.2	7.9	3.8	8.7	7.2	2.4	1.6	1.6	1.0	10.6	24.2	
七宝地区 (n=531)	33.5	20.3	14.3	13.4	12.8	8.7	9.0	10.9	9.8	6.4	7.7	6.2	2.3	2.4	1.7	1.7	11.9	19.8	
美和地区 (n=573)	28.1	20.1	15.4	14.5	11.7	11.7	12.6	11.9	10.1	5.8	8.6	7.5	2.1	2.1	2.1	0.9	8.7	22.2	
碓目寺地区 (n=789)	32.1	18.4	13.3	12.8	11.7	13.8	11.2	9.5	10.0	10.0	7.7	7.6	2.3	1.5	1.0	0.6	10.3	20.3	

### 13) 生活機能の低下

生活機能について、「運動器機能」、「閉じこもり」、「低栄養」、「口腔機能」、「認知機能」、「IADL」の6項目について評価し、各機能の低下やリスクの該当状況を分析しました。

各リスクの把握のための設問項目は、以下のとおりです。

項目	設問	質問事項	回答（配点）		
			0	1	
生活全般	運動器機能	問9	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問10	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問11	15分位続けて歩いていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問12	過去1年間に転んだ経験がありますか	ない	何度もある 1度ある
		問13	転倒に対する不安は大きいですか	あまり不安でない 不安でない	とても不安である やや不安である
	閉じこもり	問14	週に1回以上は外出していますか	週1回 週2～4回 週5回以上	ほとんど外出しない
	低栄養	問18	身長 cm 体重 kg(※BMI = ) ※体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))	18.5 以上	18.5 未満
		問24	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	いいえ	はい
	口腔機能	問19	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	いいえ	はい
		問20	お茶や汁物等でむせることがありますか	いいえ	はい
		問21	口の渇きが気になりますか	いいえ	はい
	認知機能	問26	物忘れが多いと感じますか	いいえ	はい
	IADL	問29	バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している できるけどしていない	できない
		問30	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問31	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問32	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問33	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している できるけどしていない	できない

上記の設問で1がついた数を集計し、以下の基準に該当した場合、リスクありとしました。

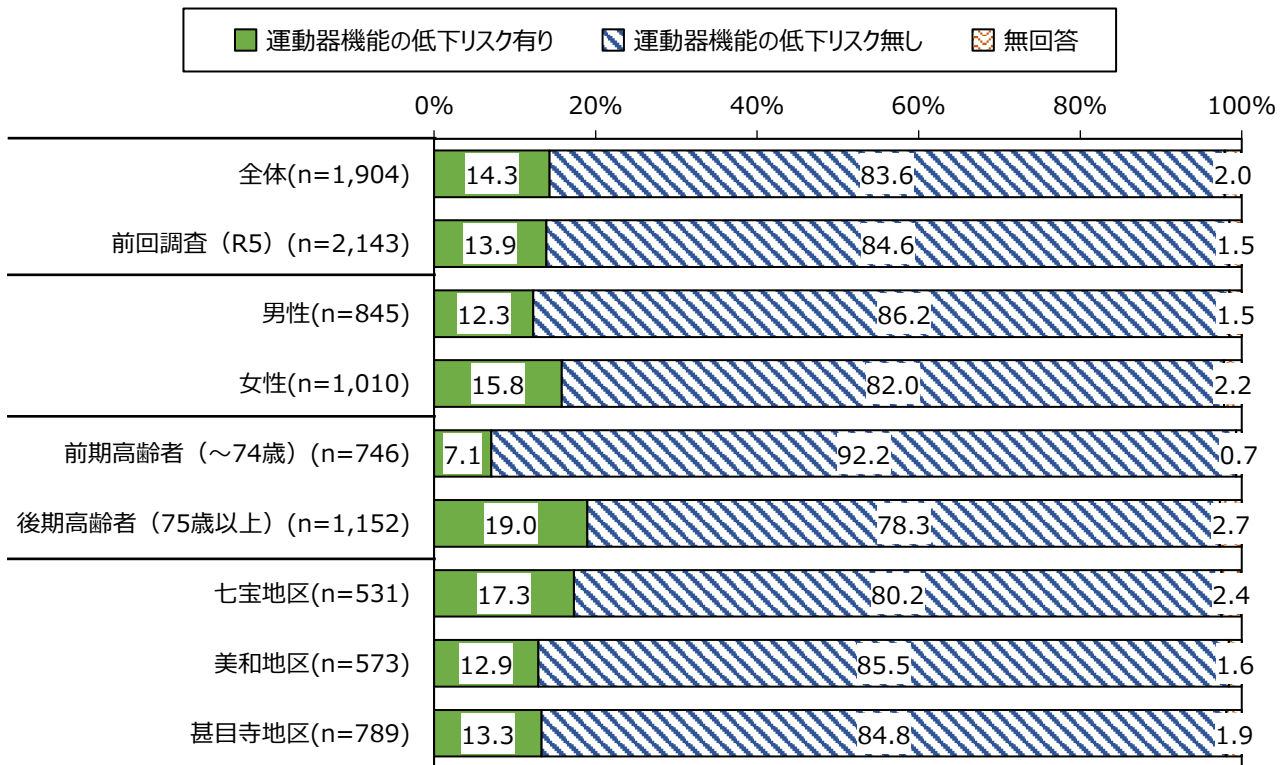
項目	運動器機能	閉じこもり	低栄養	口腔機能	認知機能	IADL
該当基準	3/5以上	ほとんど外出しない	2/2以上	2/3以上	はい	4/5でやや低下 3/5以下で低下

【運動器機能】

運動器機能の低下リスクについて、「運動器機能の低下リスク有り」が 14.3%、「運動器機能の低下リスク無し」が 83.6%となっています。

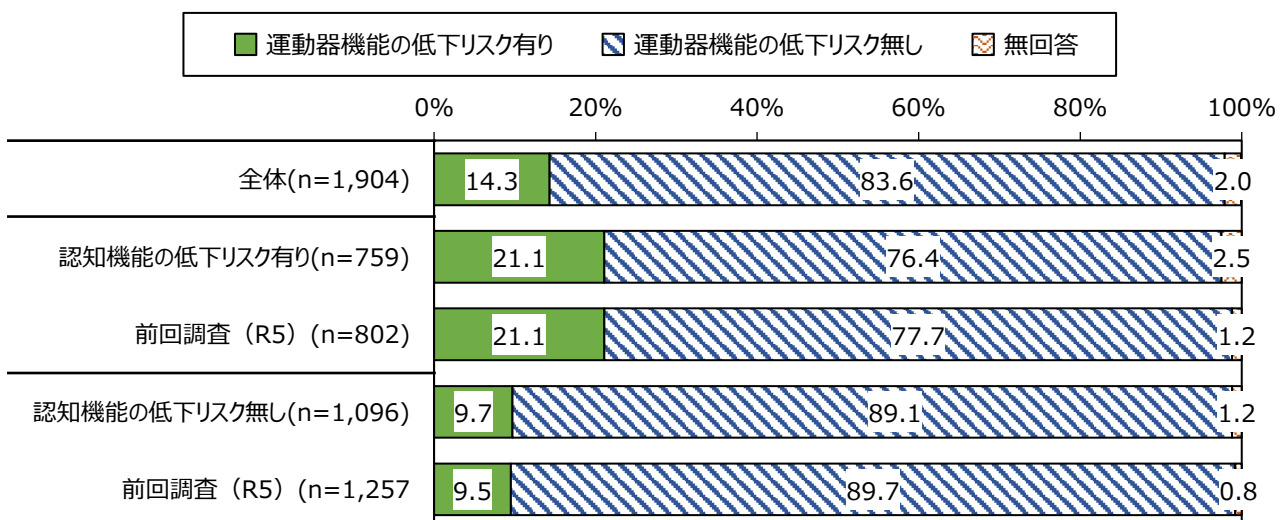
性別でみると、女性のほうが「運動器機能の低下リスク有り」が 3.5 ポイント多くなっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「運動器機能の低下リスク有り」が 11.9 ポイント多くなっています。



【認知機能 × 運動器機能】

「認知機能の低下リスク有り」の中では、「運動器機能リスクあり」が 21.1%となっており、「認知機能の低下リスク無し」の 9.7%より 11.4 ポイント多くなっています。

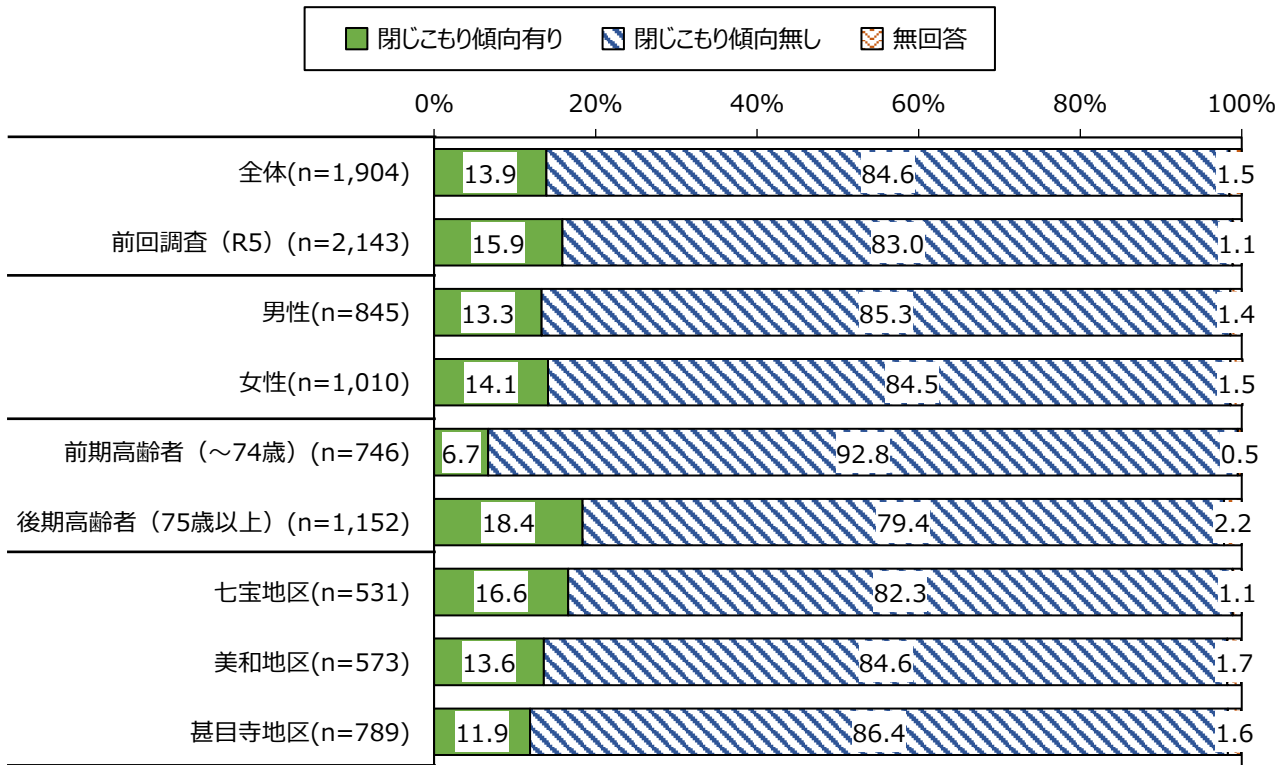


【閉じこもり】

閉じこもり傾向について、「閉じこもり傾向有り」が13.9%、「閉じこもり傾向無し」が84.6%となっています。

性別で比較しても大きな差は見られません。

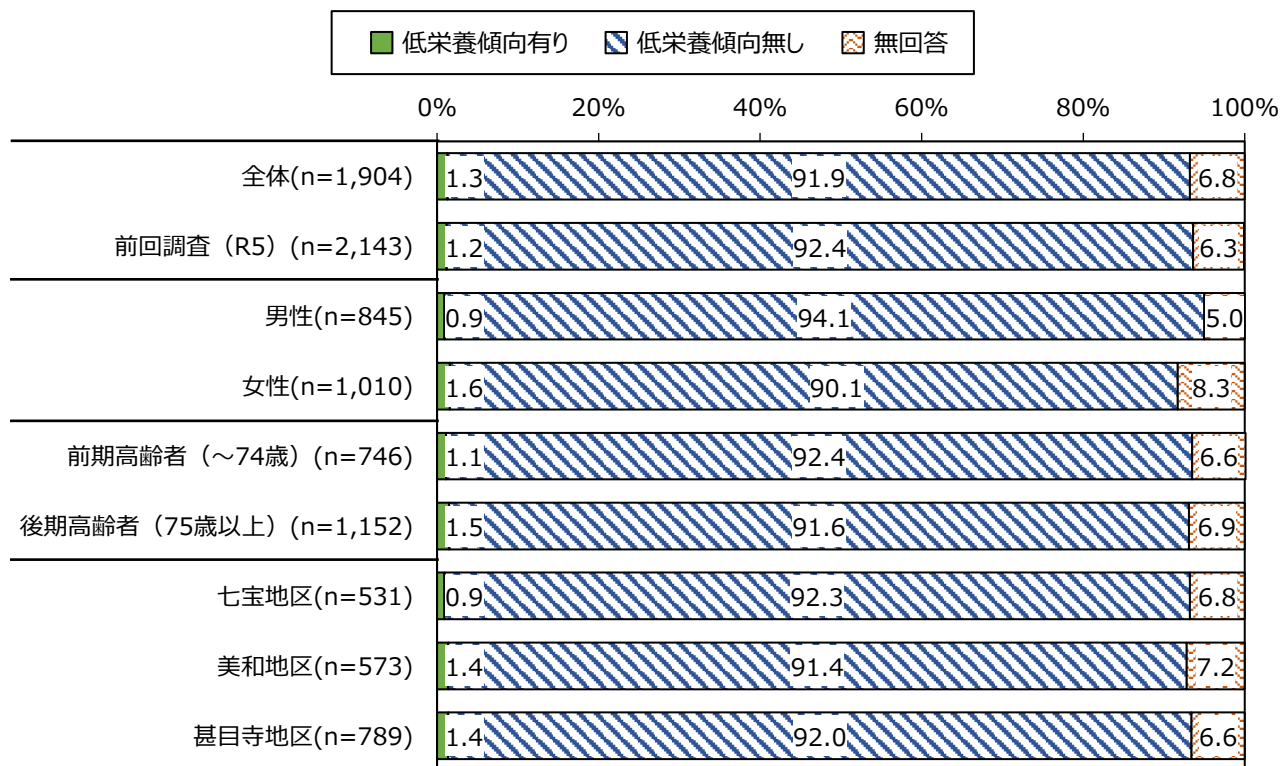
年代別で見ると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「閉じこもり傾向有り」が11.7ポイント多くなっています。



【低栄養】

低栄養傾向について、「低栄養傾向有り」が 1.3%、「低栄養傾向無し」が 91.9%となっています。

性別、年齢別ともに大きな差はみられません。

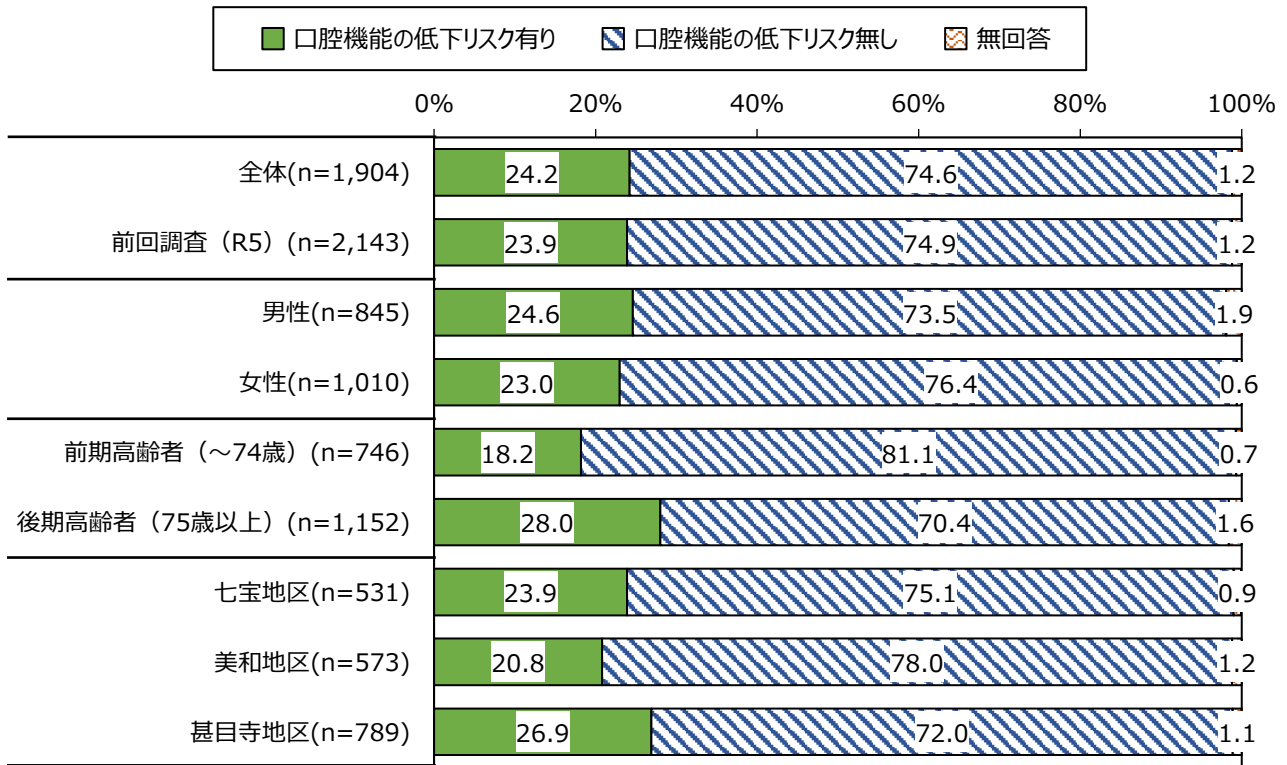


【口腔機能】

口腔機能の低下リスクについて、「口腔機能の低下リスク有り」が 24.2%、「口腔機能の低下リスク無し」が 74.6%となっています。

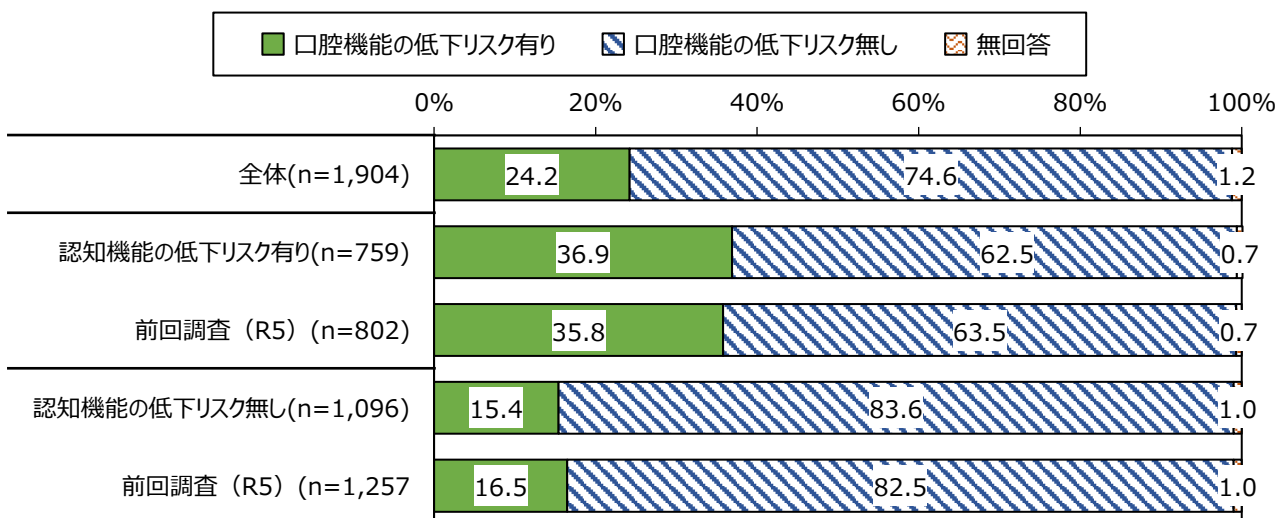
性別で比較しても大きな差は見られません。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「口腔機能の低下リスク有り」が 9.8 ポイント多くなっています。



【認知機能 × 口腔機能】

「認知機能の低下リスク有り」の中では、「口腔機能の低下リスク有り」が 36.9%となっており、「口腔機能の低下リスク無し」の 15.4%より 21.5 ポイント多くなっています。

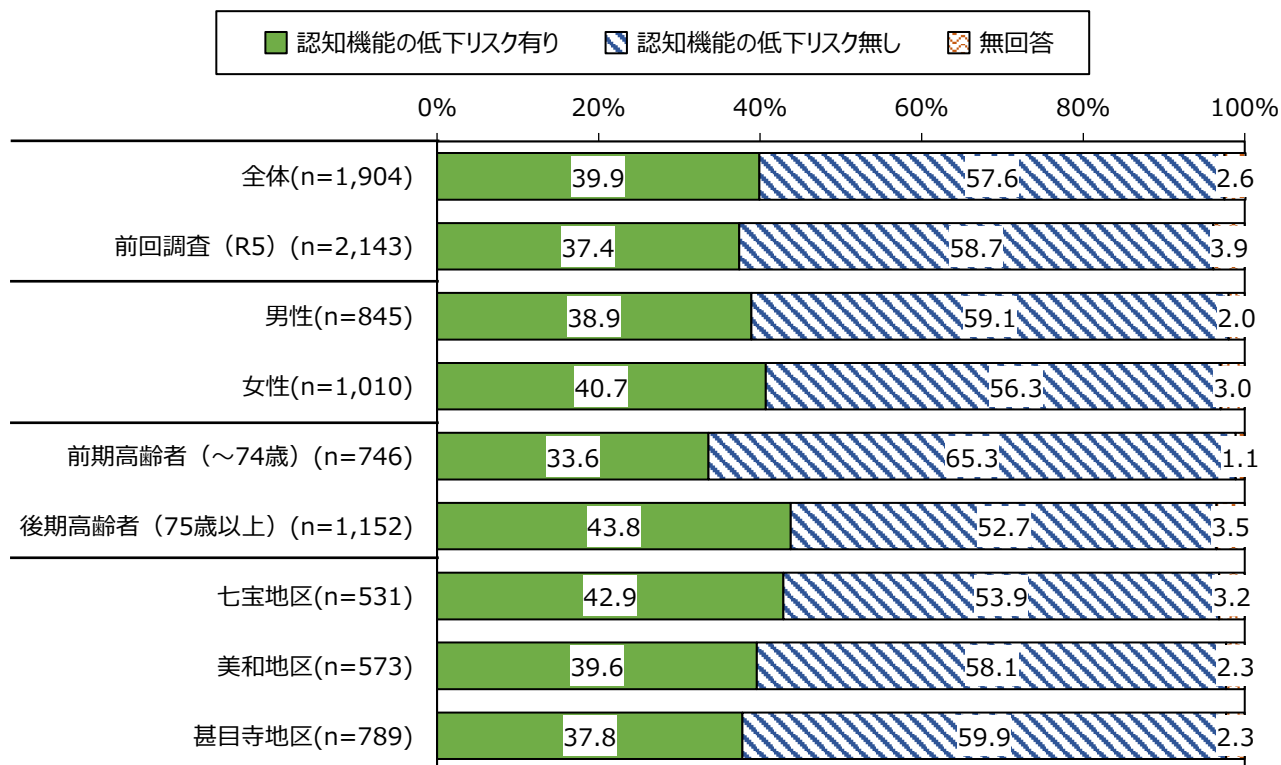


【認知機能】

認知機能の低下リスクについて、「認知機能の低下リスク有り」が 39.9%で、「認知機能の低下リスク無し」が 57.6%となっています。

性別で比較しても大きな差は見られません。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「認知機能の低下リスク有り」が 10.2ポイント多くなっています。

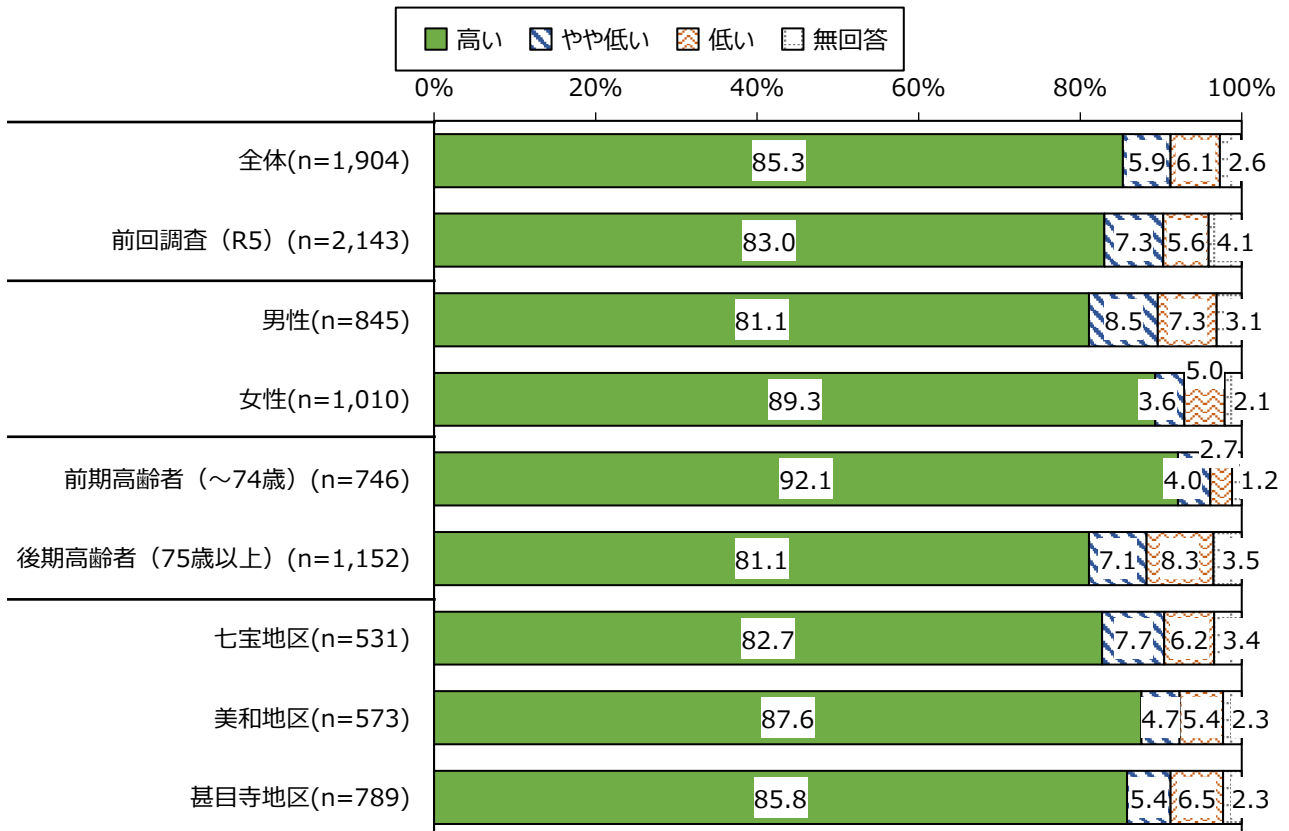


【IADL】

IADL<sup>1</sup>について、「低下リスク無し（「高い」）」が 85.3%、「低下リスク有り（「やや低い」+「低い」）」が 12.0%となっています。

性別で見ると、男性のほうが“低下リスク有り”が 7.2 ポイント多くなっています。

年代別で見ると、後期高齢者（75 歳以上）のほうが“低下リスク有り”が 8.7 ポイント多くなっています。



1 IADL：「Instrumental Activities of Daily Living」の略で、手段的日常生活動作のこと。食事、排泄、更衣、入浴、移動などの「ADL（日常生活動作）」と異なり、買い物、料理、選択、電話、薬やお金の管理、交通機関の利用といったADLよりもより複雑な動作の事を指す。



# Ⅲ 調査結果

在宅介護実態調査



### Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

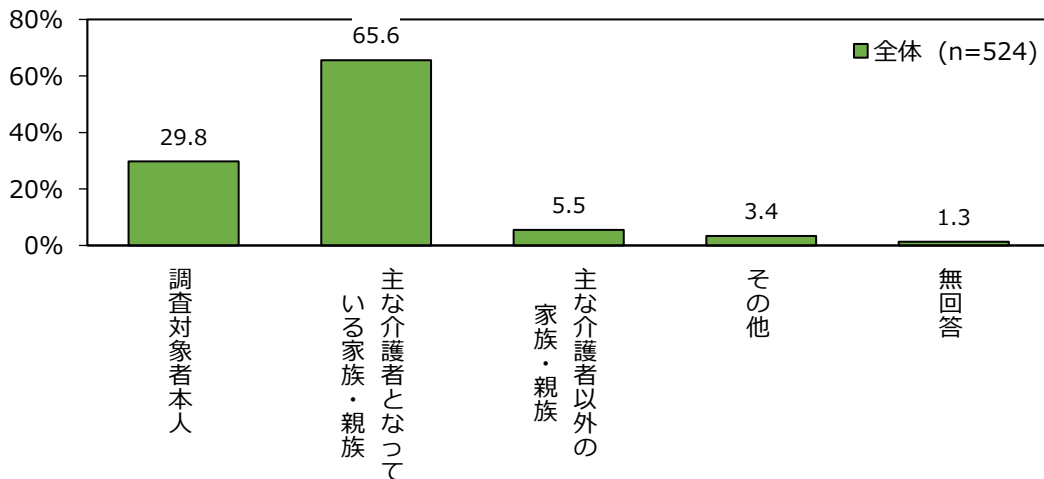
#### 1) 調査票対象者様ご本人について

##### 1-1 調査票の回答者 ◎

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○はいくつでも)

◆ 「主な介護者となっている家族・親族」が約7割

調査票の回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が65.6%で最も多く、次いで「調査対象者本人」が29.8%、「主な介護者以外の家族・親族」が5.5%となっています。

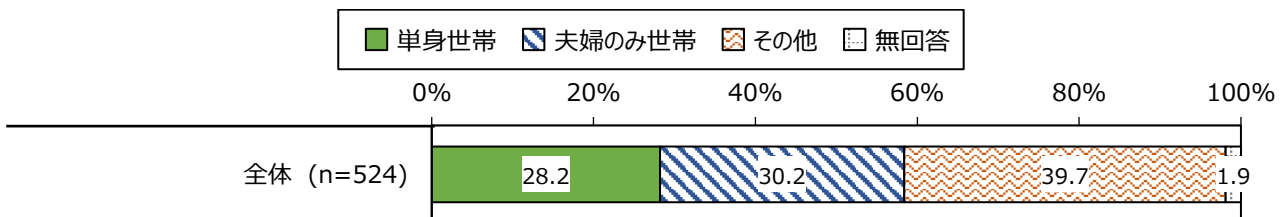


##### 1-2 世帯類型 ◎

問2 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ 「単身世帯」が約3割

対象者の世帯類型は、「単身世帯」が28.2%、「夫婦のみ世帯」が30.2%、「その他」が39.7%となっています。

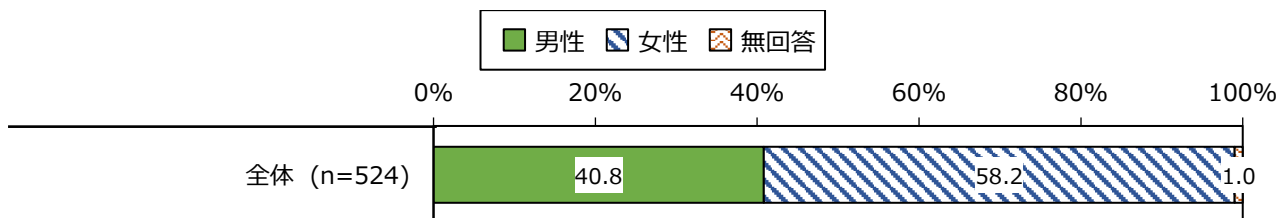


### 1-3 性別 ◎

問3 本人の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ 「男性」が約4割、「女性」が約6割

対象者の性別は、「男性」が40.8%、「女性」が58.2%となっています。

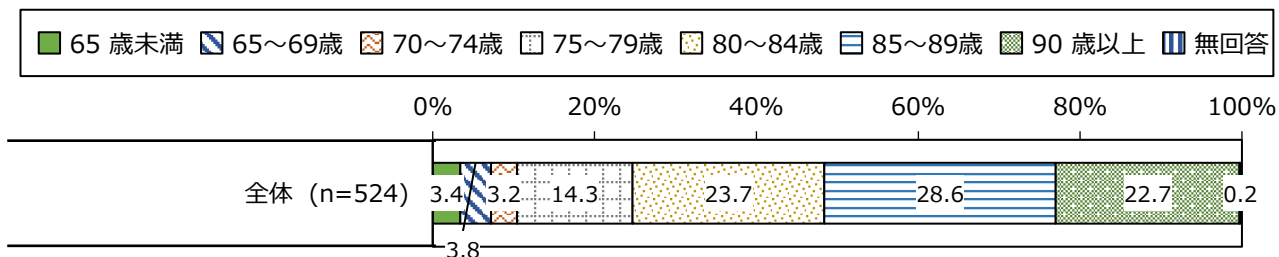


### 1-4 年齢 ◎

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ “前期高齢者（～74歳）”が約1割、“後期高齢者（75歳以上）”が約9割

対象者の年齢は、「85～89歳」が28.6%で最も多く、次いで「80～84歳」が23.7%、「90歳以上」が22.7%、「75～79歳」が14.3%、「65～69歳」が3.8%となっており、「前期高齢者（65歳～74歳）」は7.0%、「後期高齢者（75歳以上）」は89.3%となっています。

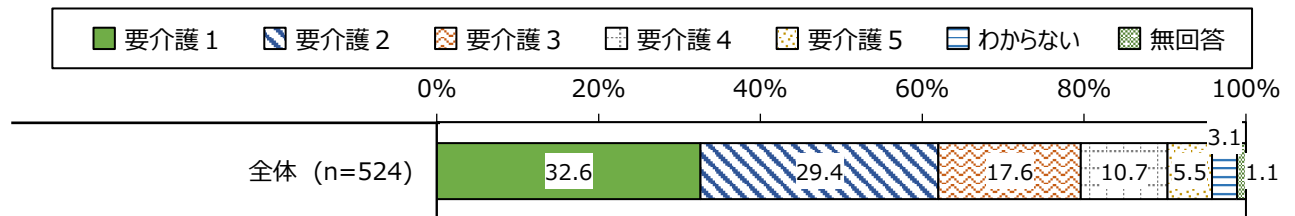


### 1-5 要介護度 ◎

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ 「要介護1」、「要介護2」がそれぞれ約3割

対象者の要介護度は、「要介護1」が32.6%で最も多く、次いで「要介護2」が29.4%、「要介護3」が17.6%、「要介護4」が10.7%、「要介護5」が5.5%となっています。

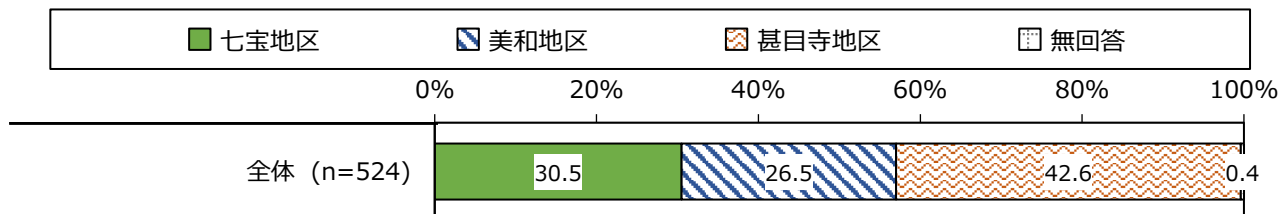


### 1-6 居住地区

問6 お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

◆ 「七宝地区」、「美和地区」が約3割、「甚目寺地区」が約4割

対象者の居住地区は、「七宝地区」が30.5%、「美和地区」が26.5%、「甚目寺地区」が42.6%となっています。



1-7 施設等への入所・入居の検討状況 ◎

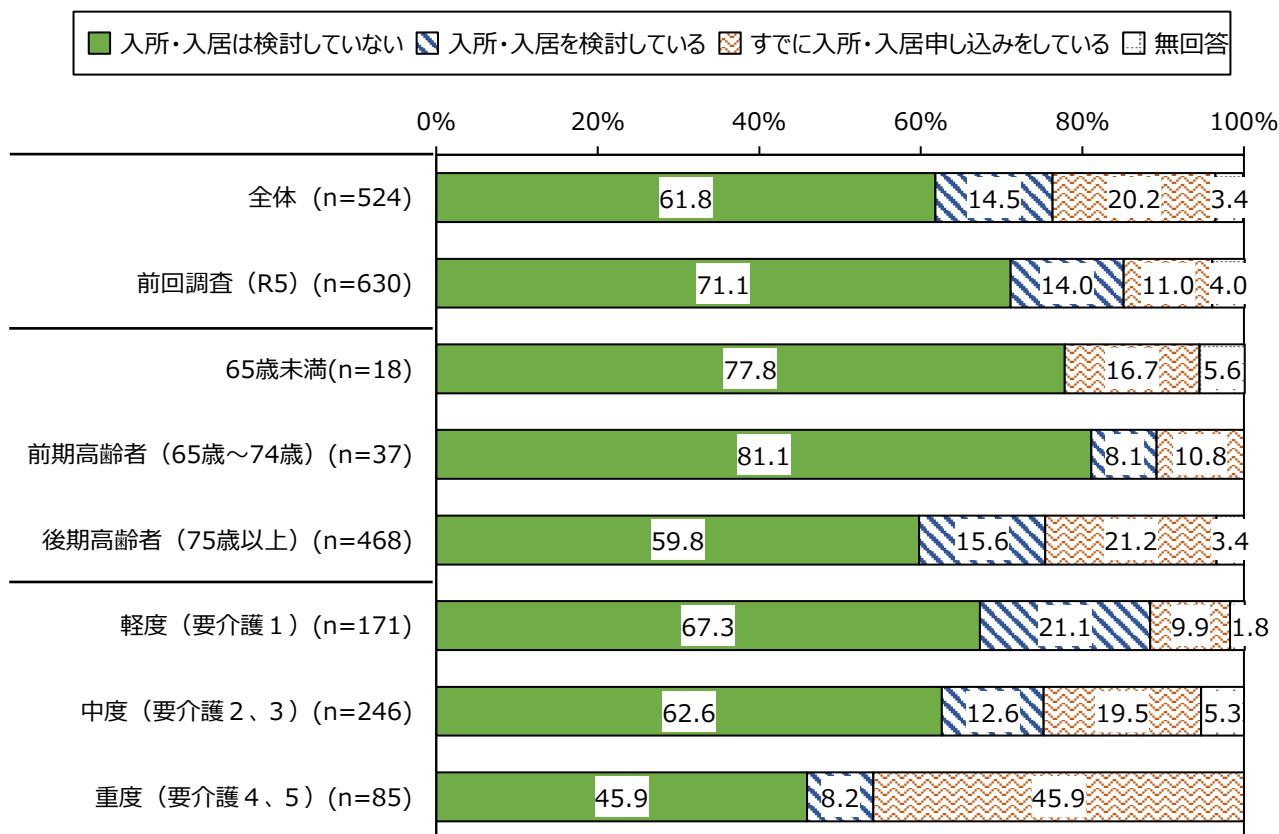
問7 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ “入所・入居を検討又は申し込みをしている” が約3割

施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が61.8%と最も多くなっています。「入所・入居を検討している」は14.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は20.2%となっており、これらを合わせた“入所・入居を検討又は申し込みをしている”人の割合は34.7%となっています。

年代別でみると、後期高齢者(75歳以上)では“入所・入居を検討又は申し込みをしている”が65歳未満より20.1ポイント、前期高齢者(65歳~74歳)より17.9ポイント多くなっています。

要介護度別でみると、重度(要介護4、5)は「すでに入所・入居申し込みをしている」が軽度(要介護1)より36.0ポイント、中度(要介護2、3)より26.4ポイント多くなっています。



## 1-8 現在抱えている傷病 ○

問8 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。  
（○はいくつでも）

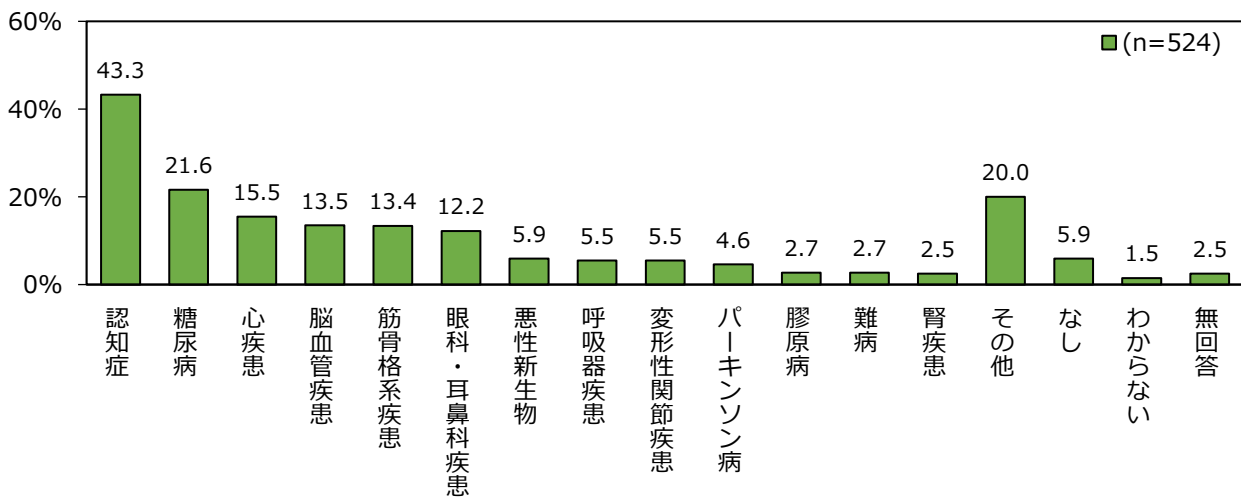
### ◆ 「認知症」が約4割

対象者が現在抱えている傷病について、「認知症」が43.3%で最も多く、次いで「糖尿病」が21.6%、「心疾患」が15.5%、「脳血管疾患」が13.5%、「筋骨格系疾患」が13.4%となっています。

性別でみると、男性は「糖尿病」が8.2ポイント、「脳血管疾患」が7.7ポイント女性より多く、女性は「認知症」が20.5ポイント、「筋骨格系疾患」が6.8ポイント男性より多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（65歳～74歳）は「糖尿病」が20.2ポイント、「脳血管疾患」が30.5ポイント後期高齢者（75歳以上）より多く、後期高齢者（75歳以上）は「認知症」が前期高齢者（65歳～74歳）より27.5ポイント以上多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「認知症」が14.4ポイント多くなっています。



		認知症	糖尿病	心疾患	脳血管疾患	筋骨格系疾患	眼科・耳鼻科疾患	悪性新生物	呼吸器疾患	変形性関節疾患	パーキンソン病	膠原病	難病	腎疾患	その他	なし	わからない	無回答
全体 (n=524)		43.3	21.6	15.5	13.5	13.4	12.2	5.9	5.5	5.5	4.6	2.7	2.7	2.5	20.0	5.9	1.5	2.5
前回調査 (R5) (n=630)		28.9	19.7	20.5	14.1	22.1	20.3	6.5	8.9	9.7	4.1	3.2	2.4	4.4	21.6	2.7	1.4	1.9
男性 (n=214)		31.3	26.6	17.8	18.2	9.3	11.2	7.9	7.0	2.3	6.1	1.4	3.7	3.7	21.0	3.7	1.4	2.3
女性 (n=305)		51.8	18.4	13.8	10.5	16.1	13.1	4.6	4.6	7.9	3.6	3.6	2.0	1.6	19.7	7.2	1.6	2.3
65歳未満 (n=18)		16.7	16.7	0.0	38.9	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	11.1	0.0	16.7	5.6	0.0	11.1
前期高齢者 (65歳～74歳) (n=37)		18.9	40.5	18.9	40.5	13.5	10.8	2.7	5.4	2.7	0.0	5.4	5.4	8.1	18.9	0.0	2.7	0.0
後期高齢者 (75歳以上) (n=468)		46.4	20.3	15.8	10.5	13.7	12.8	6.4	5.8	6.0	4.5	2.6	2.1	2.1	20.3	6.4	1.5	2.1

### 1-9 介護保険サービスの利用の有無 ㊟

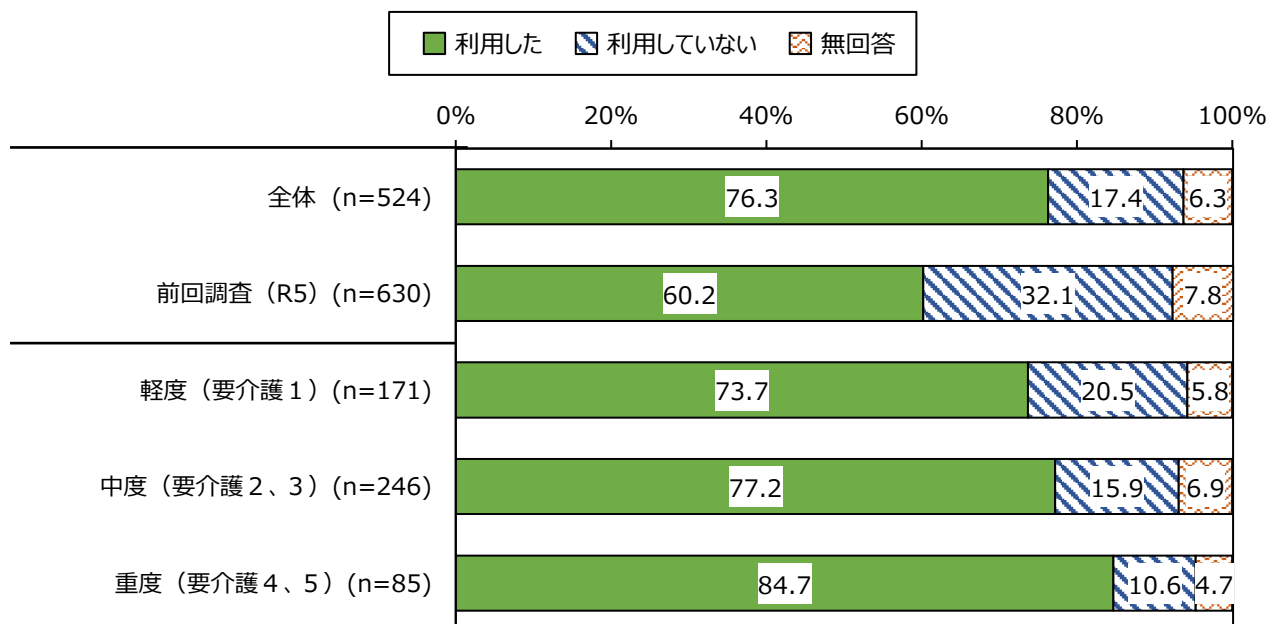
問9 令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか。(〇は1つ)

#### ◆ サービスを「利用した」が約8割

介護保険サービス利用の有無について、「利用した」は76.3%、「利用していない」は17.4%となっています。

要介護度別でみると、重度(要介護4、5)は「利用した」が軽度(要介護1)より11.0ポイント、中度(要介護2、3)より7.5ポイント多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「利用した」が16.1ポイント多くなっています。



## 1-10 介護保険サービスの利用状況 ◎

問9で「利用した」と回答した方にお伺いします。

問9-1 以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください。（それぞれ1つに○）

### ◆ 利用したサービスで多いのは「通所介護」で約6割

介護保険サービスの利用状況について、利用したサービスで最も多いのは「通所介護」で61.9%となっています。次いで「訪問介護」が24.8%、「訪問看護」が17.2%となっています。

サービスの利用頻度について最も多かったのはそれぞれ、訪問介護と夜間対応型訪問介護は「週5回以上」、訪問入浴介護と訪問リハビリテーションと通所リハビリテーションは「週2回程度」、訪問看護は「週1回程度」、通所介護は「週3回程度」、ショートステイは「月1～7日程度」、居宅療養管理指導は「月1回程度」となっています。

上段；人  
下段；%

	全体	利用していない	利用した	利用した					無回答
				1回	2回	3回	4回	5回以上	
A. 訪問介護	400	96	99	14	21	14	6	44	205
	100.0	24.0	24.8	3.5	5.3	3.5	1.5	11.0	51.3
	前回調査 (R5)	379	105	83	22	27	10	2	22
	100.0	27.7	21.8	5.8	7.1	2.6	0.5	5.8	50.4
B. 訪問入浴介護	400	121	42	15	19	4	2	2	237
	100.0	30.3	10.6	3.8	4.8	1.0	0.5	0.5	59.3
	前回調査 (R5)	379	132	27	8	13	3	2	1
	100.0	34.8	7.1	2.1	3.4	0.8	0.5	0.3	58.0
C. 訪問看護	400	102	68	37	15	3	3	10	230
	100.0	25.5	17.2	9.3	3.8	0.8	0.8	2.5	57.5
	前回調査 (R5)	379	119	50	31	13	0	2	4
	100.0	31.4	13.2	8.2	3.4	0.0	0.5	1.1	55.4
D. 訪問リハビリテーション	400	118	39	9	18	8	2	2	243
	100.0	29.5	9.8	2.3	4.5	2.0	0.5	0.5	60.8
	前回調査 (R5)	379	125	46	16	17	9	1	3
	100.0	33.0	12.2	4.2	4.5	2.4	0.3	0.8	54.9
E. 通所介護	400	41	247	30	71	75	29	42	112
	100.0	10.3	61.9	7.5	17.8	18.8	7.3	10.5	28.0
	前回調査 (R5)	379	59	231	34	98	49	20	30
	100.0	15.6	61.0	9.0	25.9	12.9	5.3	7.9	23.5
F. 通所リハビリテーション	400	111	60	12	28	8	0	12	229
	100.0	27.8	15.0	3.0	7.0	2.0	0.0	3.0	57.3
	前回調査 (R5)	379	153	101	25	44	16	7	9
	100.0	40.4	26.6	6.6	11.6	4.2	1.8	2.4	33.0
G. 夜間対応型訪問介護	400	133	11	3	1	0	0	7	256
	100.0	33.3	2.9	0.8	0.3	0.0	0.0	1.8	64.0
	前回調査 (R5)	379	186	4	3	1	0	0	189
	100.0	49.1	1.1	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	49.9

### Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

#### 調査結果報告書

上段；人  
下段；%

	全体	利用していない	利用した	無回答
H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	400	269	43	88
	100.0	67.3	10.8	22.0
前回調査 (R5)	379	240	26	113
	100.0	63.3	6.9	29.8
I. 小規模多機能型居宅介護	400	266	17	117
	100.0	66.5	4.3	29.3
前回調査 (R5)	379	234	16	129
	100.0	61.7	4.2	34.0
J. 看護小規模多機能型居宅介護	400	273	13	114
	100.0	68.3	3.3	28.5
前回調査 (R5)	379	242	3	134
	100.0	63.9	0.8	35.4

上段；人  
下段；%

	全体	利用していない	利用した	利用した				無回答
				1～7日	8～14日	15～21日	22日以上	
K. ショートステイ	400	262	60	37	16	2	5	78
	100.0	65.5	15.1	9.3	4.0	0.5	1.3	19.5
前回調査 (R5)	379.0	247.0	44.0	28.0	7.0	4.0	5.0	88.0
	100.0	65.2	11.6	7.4	1.8	1.1	1.3	23.2

上段；人  
下段；%

	全体	利用していない	利用した	利用した				無回答
				1回	2回	3回	4回	
L. 居宅療養管理指導	400	265	45	21	18	1	5	90
	100.0	66.3	11.4	5.3	4.5	0.3	1.3	22.5
前回調査 (R5)	379.0	244.0	25.0	15.0	6.0	0.0	4.0	110.0
	100.0	64.4	6.7	4.0	1.6	0.0	1.1	29.0

### 1-11 介護保険サービスを利用していない理由 ○

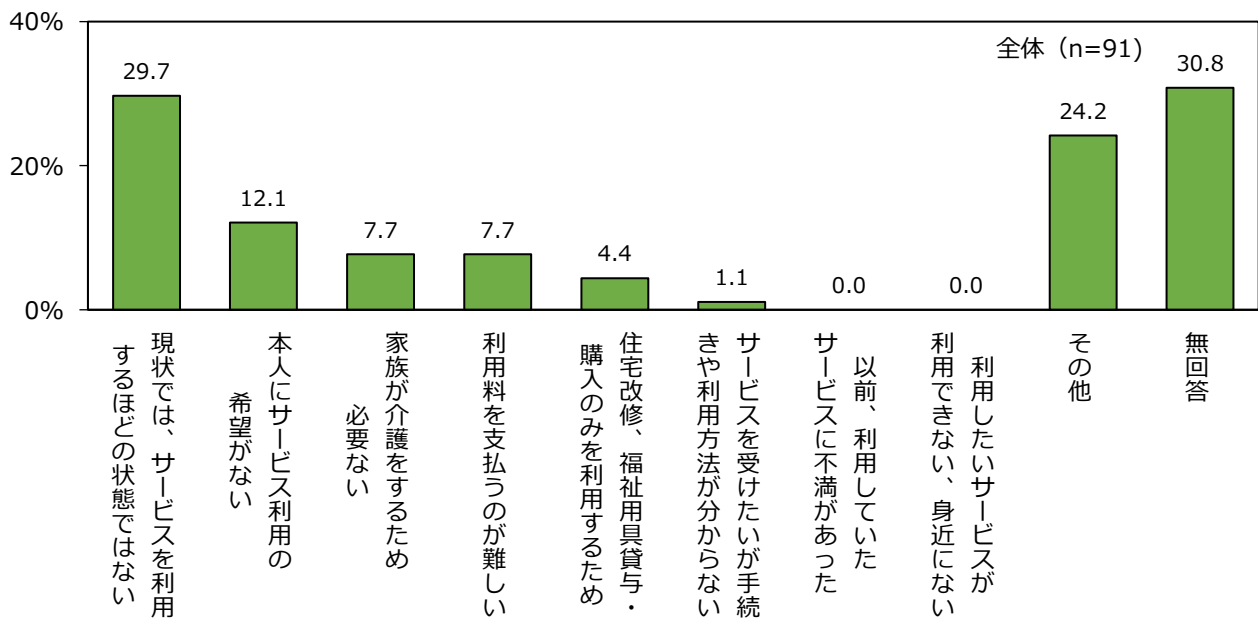
問9で「利用していない」と回答した方にお伺いします。

問9-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

◆ 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が約3割

介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が29.7%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が12.1%、「家族が介護をするため必要ない」と「利用料を支払うのが難しい」が7.7%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が4.4%となっています。

要介護度別でみると、軽度（要介護1）は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が中度（要介護2、3）より19.2ポイント、重度（要介護4、5）より37.1ポイント多くなっています。



	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	利用料を支払うのが難しい	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用したいサービスが利用できない、身近にない	その他	無回答
全体 (n=91)	29.7	12.1	7.7	7.7	4.4	1.1	0.0	0.0	24.2	30.8
前回調査 (R5) (n=202)	35.1	26.7	13.9	6.9	8.9	0.5	1.5	2.0	14.9	23.3
軽度 (要介護1) (n=35)	37.1	11.4	5.7	8.6	5.7	2.9	0.0	0.0	11.4	34.3
中度 (要介護2、3) (n=39)	17.9	10.3	10.3	10.3	5.1	0.0	0.0	0.0	25.6	35.9
重度 (要介護4、5) (n=9)	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	22.2

### 1-12 新たに利用したいと思う介護保険サービス

問10 今後、新たに利用できたら良いと思う介護保険サービスはありますか。(〇は3つまで)

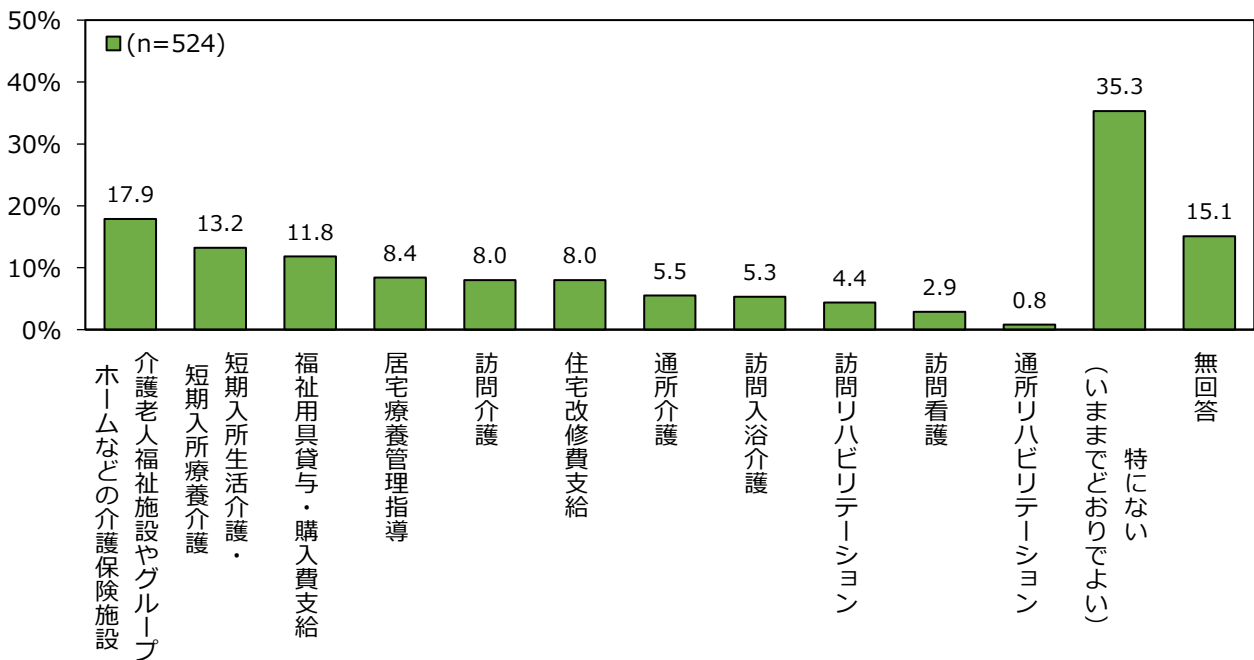
◆ 「特にない (いままでどおりでよい)」が約4割

新たに利用したいと思う介護保険サービスについて、「特にない (いままでどおりでよい)」が35.3%と最も多くなっています。サービスの利用を希望している人では、「介護老人福祉施設やグループホームなどの介護保険施設」が17.9%で最も多く、次いで「短期入所生活介護・短期入所療養介護 (ショートステイ)」が13.2%、「福祉用具貸与・購入費支給」が11.8%、「居宅療養管理指導」が8.4%となっています。

要介護度別でみると、中度 (要介護2、3) は「介護老人福祉施設やグループホームなどの介護保険施設」が軽度 (要介護1) より1.0ポイント、重度 (要介護4、5) より8.5ポイント多くなっています。

介護者の有無で比較すると、介護者がいる人のほうが「短期入所生活介護・短期入所療養介護」が11.9ポイント多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「居宅療養管理指導」が7.1ポイント多くなっています。



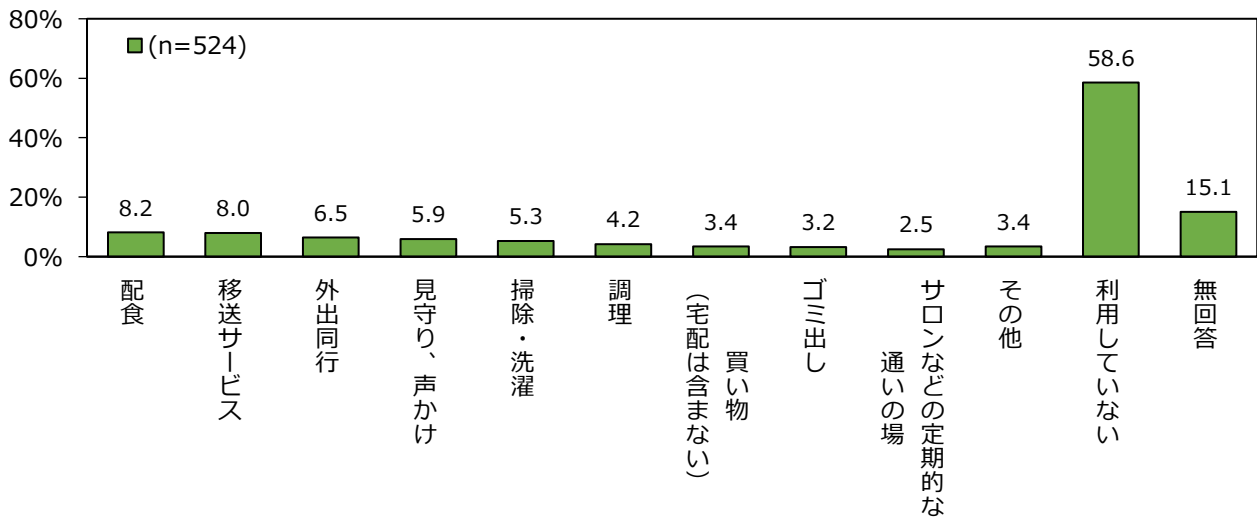
	介護老人福祉施設やグループホームなどの介護保険施設	短期入所療養介護・短期入所生活介護	福祉用具貸与・購入費支給	居宅療養管理指導	訪問介護	住宅改修費支給	通所介護	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	通所リハビリテーション	特にない (いままでどおりでよい)	無回答
全体 (n=524)	17.9	13.2	11.8	8.4	8.0	8.0	5.5	5.3	4.4	2.9	0.8	35.3	15.1
前回調査 (R5) (n=630)	15.1	15.1	13.3	1.3	8.3	8.6	8.7	2.9	3.8	4.0	7.6	38.3	11.1
軽度 (要介護1) (n=171)	19.3	17.5	11.7	11.7	11.1	9.4	7.0	3.5	4.1	3.5	1.2	34.5	11.1
中度 (要介護2、3) (n=246)	20.3	13.0	12.2	7.3	6.5	7.3	4.5	6.1	4.1	3.3	0.4	32.1	17.5
重度 (要介護4、5) (n=85)	11.8	5.9	11.8	3.5	7.1	8.2	5.9	5.9	7.1	0.0	1.2	44.7	15.3
介護者なし (n=94)	11.7	5.3	14.9	7.4	7.4	3.2	2.1	1.1	5.3	4.3	1.1	52.1	12.8
介護者あり (n=344)	19.5	17.2	12.2	9.3	9.0	10.2	5.8	6.4	4.7	2.6	0.9	33.7	9.9

1-13 「介護保険サービス以外」の支援・サービス ○

問11 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。  
(○はいくつでも)

◆ 「利用していない」が約6割、最も利用しているサービスは「配食」で約1割

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、「利用していない」が58.6%と最も多くなっています。利用しているサービスとしては、「配食」が8.2%で最も多く、次いで「移送サービス」が8.0%、「外出同行」が6.5%、「見守り、声かけ」が5.9%、「掃除・洗濯」が5.3%、「調理」が4.2%、「買い物（宅配は含まない）」が3.4%、「ゴミ出し」が3.2%、「サロンなどの定期的な通いの場」が2.5%、「その他」が3.4%、「利用していない」が58.6%、「無回答」が15.1%となっています。



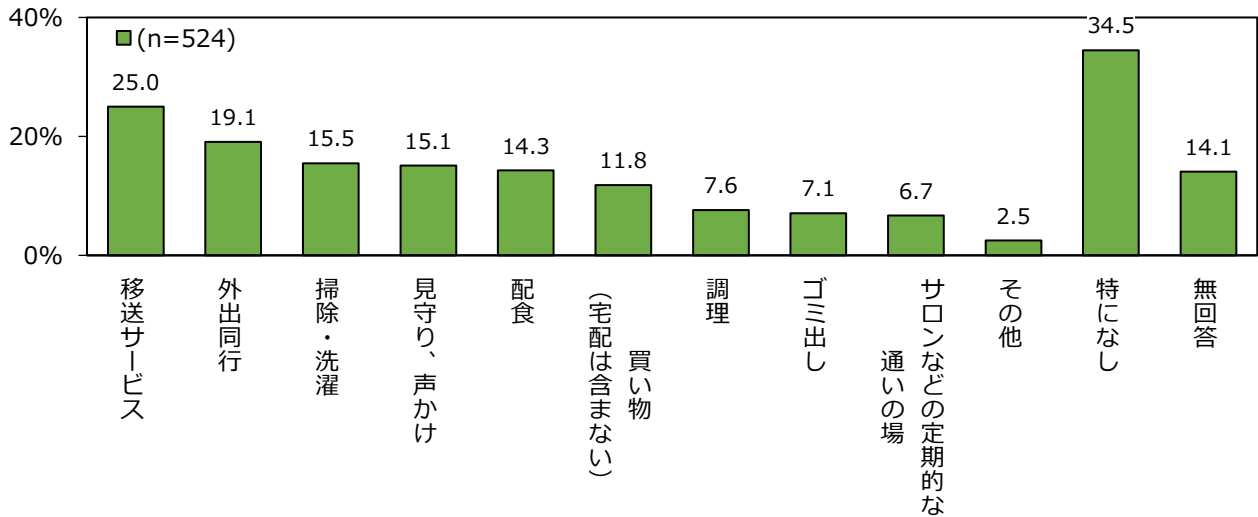
		配食	移送サービス	外出同行	見守り、声かけ	掃除・洗濯	調理	（宅配は含まない） 買い物	ゴミ出し	サロンなどの定期的な 通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	(n=524)	8.2	8.0	6.5	5.9	5.3	4.2	3.4	3.2	2.5	3.4	58.6	15.1
前回調査 (R5)	(n=630)	10.2	8.9	6.7	5.7	7.6	3.0	4.3	4.4	3.7	2.5	54.1	16.3
介護者なし	(n=94)	9.6	7.4	8.5	9.6	8.5	7.4	3.2	4.3	1.1	2.1	56.4	12.8
介護者あり	(n=344)	9.0	8.7	6.4	6.1	4.9	3.5	3.8	3.5	3.2	4.1	61.9	10.8

1-14 在宅生活の継続に必要な支援・サービス ○

問12 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（○はいくつでも）

◆ 「特になし」が約3割、最も必要と感じるサービスは「移送サービス」

今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスについて、「特になし」が34.5%と最も多くなっています。必要な支援・サービスとしては、「移送サービス」が25.0%で最も多く、次いで「外出同行」が19.1%、「掃除・洗濯」が15.5%、「見守り、声かけ」が15.1%、「配食」が14.3%となっています。



		移送サービス	外出同行	掃除・洗濯	見守り、声かけ	配食	(宅配は含まない) 買い物	調理	ゴミ出し	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	(n=524)	25.0	19.1	15.5	15.1	14.3	11.8	7.6	7.1	6.7	2.5	34.5	14.1
前回調査 (R5)	(n=630)	25.2	18.3	14.3	15.2	13.2	12.2	7.6	9.2	8.7	2.4	33.7	14.6
介護者なし	(n=94)	18.1	22.3	16.0	12.8	9.6	12.8	7.4	7.4	3.2	3.2	46.8	12.8
介護者あり	(n=344)	27.9	19.2	17.2	18.3	16.9	12.8	8.4	7.6	8.4	2.6	32.8	9.0

### 1-15 訪問診療の利用の有無 ○

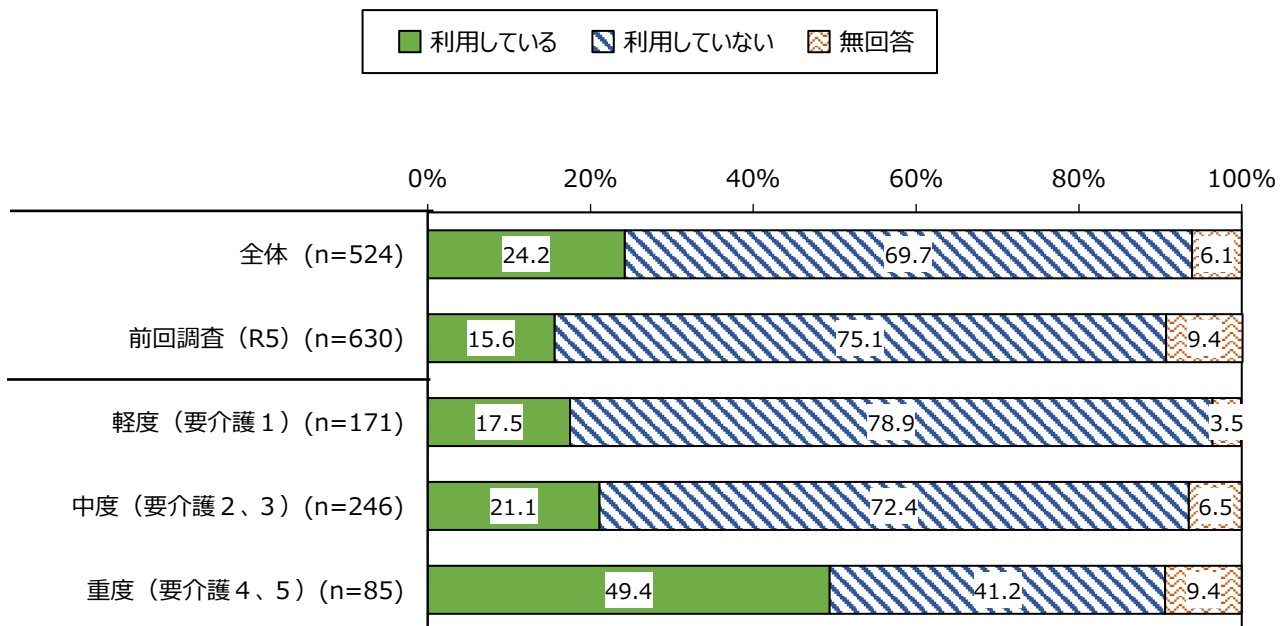
問13 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

#### ◆ 「利用している」が約2割

訪問診療の利用について、「利用している」が24.2%、「利用していない」が69.7%となっています。

要介護度別で見ると、重度（要介護4、5）は「利用している」が軽度（要介護1）より31.9ポイント、中度（要介護2、3）より28.3ポイント多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「利用している」が8.6ポイント多くなっています。



### 1-16 特に力を入れてほしい介護施策

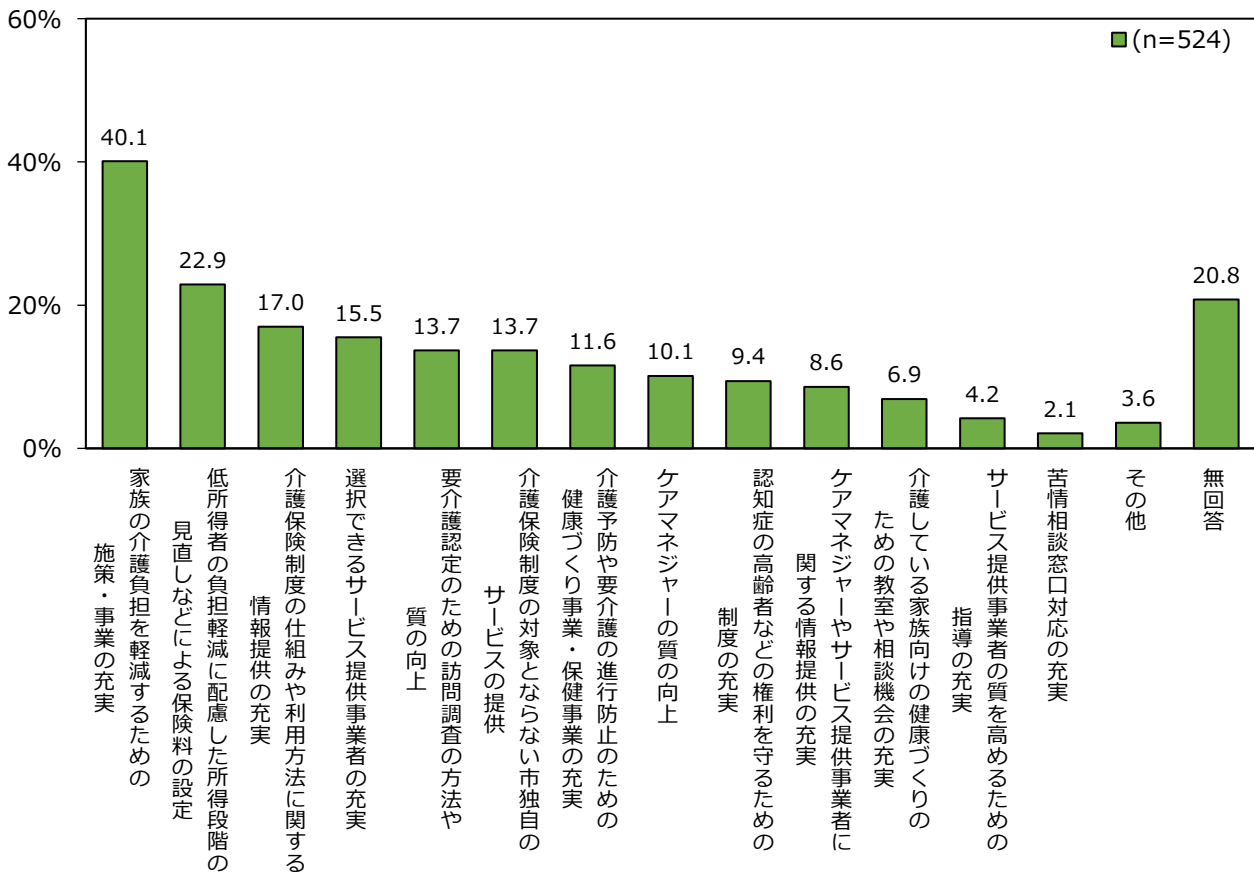
問14 介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

◆ 「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が4割

特に力を入れてほしい介護施策について、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が40.1%で最も多く、次いで「低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の見直しなどによる保険料の設定」が22.9%、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」が17.0%、「選択できるサービス提供事業者の充実」が15.5%、「要介護認定のための訪問調査の方法や質の向上」と「介護保険制度の対象とならない市独自のサービスの提供」が13.7%となっています。

要介護度別でみると、重度（要介護4、5）は「介護保険制度の対象とならない市独自のサービスの提供」が軽度（要介護1）より9.5ポイント、中度（要介護2、3）より14.5ポイント多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「介護予防や要介護の進行防止のための健康づくり事業・保健事業の充実」が2.1ポイント多くなっています。



Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】  
調査票対象者様ご本人について

		家族の介護負担を軽減するための 施策・事業の充実	低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の 見直しなどによる保険料の設定	介護保険制度の仕組みや利用方法に関する 情報提供の充実	選択できるサービス提供事業者の充実	要介護認定のための訪問調査の方法や 質の向上	介護保険制度の対象とならない市独自の サービスの提供	介護予防や要介護の進行防止のための 健康づくり事業・保健事業の充実	ケアマネジャーの質の向上
全体 (n=524)	40.1	22.9	17.0	15.5	13.7	13.7	11.6	10.1	
前回調査 (R5) (n=630)	40.0	24.1	18.6	14.0	16.7	18.1	9.5	10.8	
軽度 (要介護 1) (n=171)	41.5	26.3	18.1	17.5	16.4	15.2	16.4	12.9	
中度 (要介護 2、3) (n=246)	38.6	21.5	15.9	14.2	13.8	10.2	8.9	8.9	
重度 (要介護 4、5) (n=85)	44.7	21.2	20.0	17.6	8.2	24.7	10.6	4.7	
		認知症の高齢者などの権利を守るための 制度の充実	ケアマネジャーやサービス提供事業者に 関する情報提供の充実	介護している家族向けの健康づくりの ための教室や相談機会の充実	サービス提供事業者の質を高めるための 指導の充実	苦情相談窓口対応の充実	その他	無回答	
全体 (n=524)	9.4	8.6	6.9	4.2	2.1	3.6	20.8		
前回調査 (R5) (n=630)	9.0	11.0	6.8	5.1	2.9	3.8	17.5		
軽度 (要介護 1) (n=171)	14.6	7.6	7.0	6.4	0.6	2.9	11.7		
中度 (要介護 2、3) (n=246)	6.9	8.9	6.5	3.3	3.7	3.3	26.0		
重度 (要介護 4、5) (n=85)	7.1	9.4	8.2	1.2	1.2	5.9	18.8		

### 1-17 地域包括支援センターの認知度

問15 地域包括支援センターを知っていますか。(○は1つ)

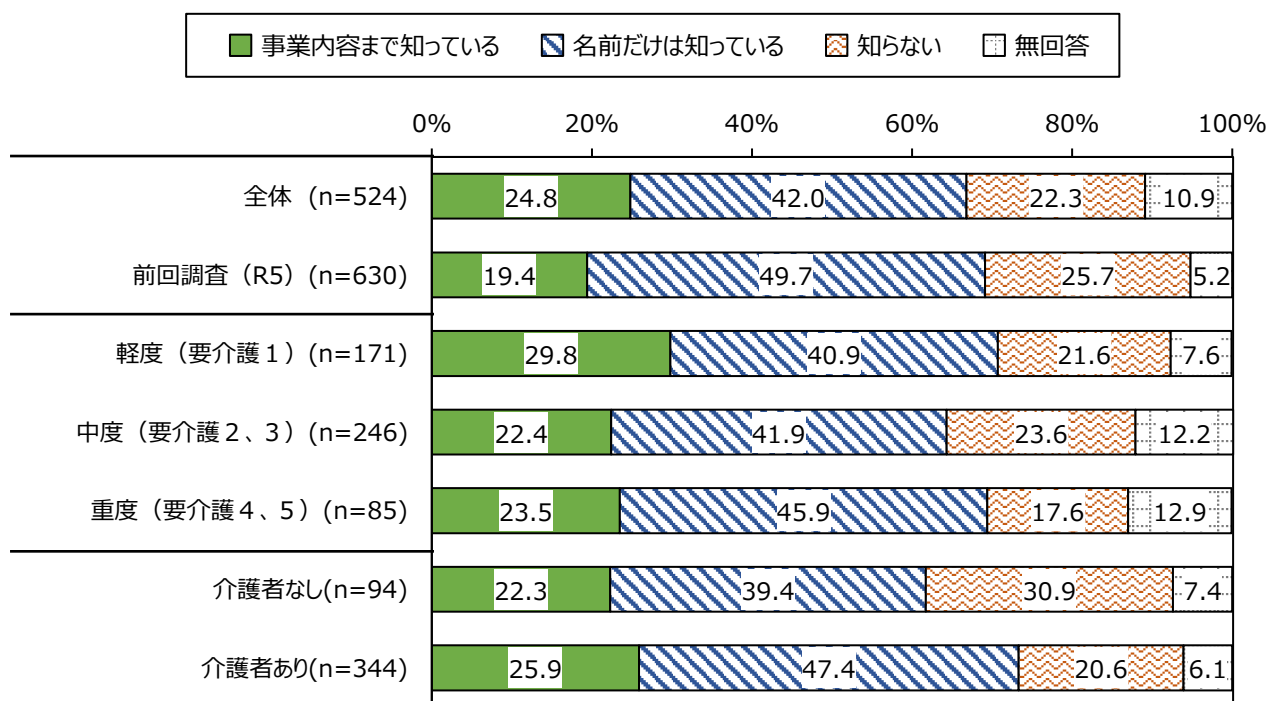
◆ “知っている” 人が約7割

地域包括支援センターについて、「事業内容まで知っている」の24.8%と「名前だけは知っている」の42.0%を合わせた“知っている”人は66.8%となっています。また、「知らない」が22.3%となっています。

要介護度別で見ると、中度（要介護2、3）は“知っている”が軽度（要介護1）より7.4ポイント、重度（要介護4、5）より1.1ポイント少なくなっています。

介護者の有無で見ると、介護者ありのほうが“知っている”が3.6ポイント多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「事業内容まで知っている」が5.4ポイント多くなっています。



### 1-18 知っている地域包括支援センターの事業

問15で「事業内容まで知っている」とお答えの方にお聞きます。

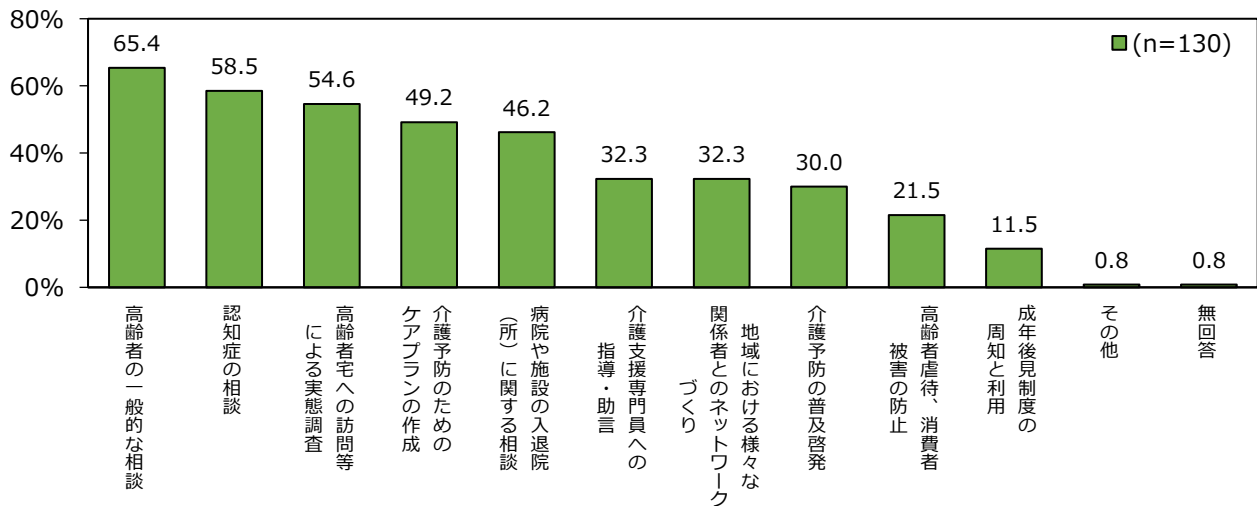
問15-1 地域包括支援センターでは、様々な事業を行っています。地域包括支援センターが行っている事業の中で、知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

◆ 「高齢者の一般的な相談」が約7割

地域包括支援センターが行っている事業の中で知っているものについて、「高齢者の一般的な相談」が65.4%で最も多く、次いで「認知症の相談」が58.5%、「高齢者宅への訪問等による実態調査」が54.6%、「介護予防のためのケアプランの作成」が49.2%、「病院や施設の入退院(所)に関する相談」が46.2%となっています。

要介護度別でみると、重度(要介護4、5)は「高齢者宅への訪問等による実態調査」が軽度(要介護1)より14.2ポイント、中度(要介護2、3)より33.2ポイント多くなっています。

介護者の有無でみると、介護者なしは「高齢者宅への訪問等による実態調査」が多く、介護者ありは「高齢者の一般的な相談」が多くなっています。



		高齢者の一般的な相談	認知症の相談	高齢者宅への訪問等による実態調査	介護予防のためのケアプランの作成	病院や施設の入退院(所)に関する相談	介護支援専門員への指導・助言	地域における様々な関係者とのネットワークづくり	介護予防の普及啓発	高齢者虐待、消費者被害の防止	成年後見制度の周知と利用	その他	無回答
全体 (n=130)		65.4	58.5	54.6	49.2	46.2	32.3	32.3	30.0	21.5	11.5	0.8	0.8
軽度(要介護1) (n=51)		60.8	70.6	60.8	49.0	45.1	35.3	41.2	37.3	23.5	13.7	0.0	0.0
中度(要介護2、3) (n=55)		72.7	45.5	41.8	52.7	47.3	30.9	23.6	21.8	16.4	10.9	1.8	1.8
重度(要介護4、5) (n=20)		60.0	65.0	75.0	40.0	45.0	30.0	35.0	35.0	35.0	10.0	0.0	0.0
介護者なし (n=21)		57.1	61.9	66.7	57.1	38.1	42.9	42.9	33.3	23.8	19.0	0.0	0.0
介護者あり (n=89)		65.2	60.7	51.7	48.3	49.4	33.7	33.7	30.3	21.3	10.1	1.1	1.1

1-19 家族や親族からの介護の頻度 ◎

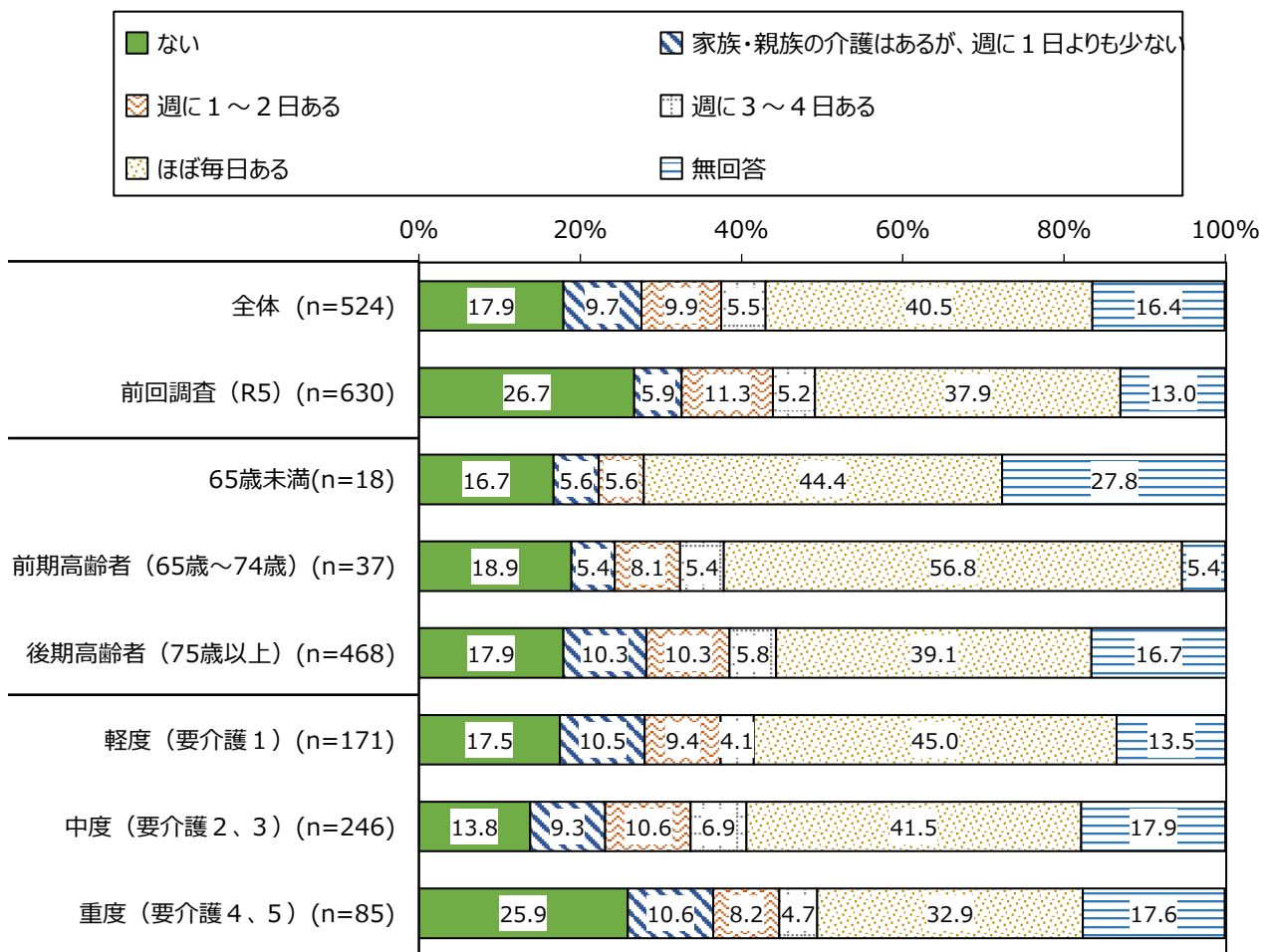
問16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

◆ 「ほぼ毎日ある」が約4割、「ない」が約2割

家族や親族からの介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が40.5%で最も多く、次いで「ない」が17.9%、「週に1～2日ある」が9.9%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が9.7%、「週に3～4日ある」が5.5%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（65歳～74歳）のほうが「ほぼ毎日ある」が65歳未満より12.4ポイント、後期高齢者（75歳以上）より17.7ポイント多くなっています。多くなっています。

要介護度別でみると、重度（要介護4、5）は「ない」が軽度（要介護1）より8.4ポイント、中度（要介護2、3）より12.1ポイント多くなっています。



## 2) 主な介護者の方について

### 2-1 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族の有無 ㊟

問16で「2」～「5」を選択された場合は、「主な介護者」の方に問17以降のご回答・ご記入をお願いします。

「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

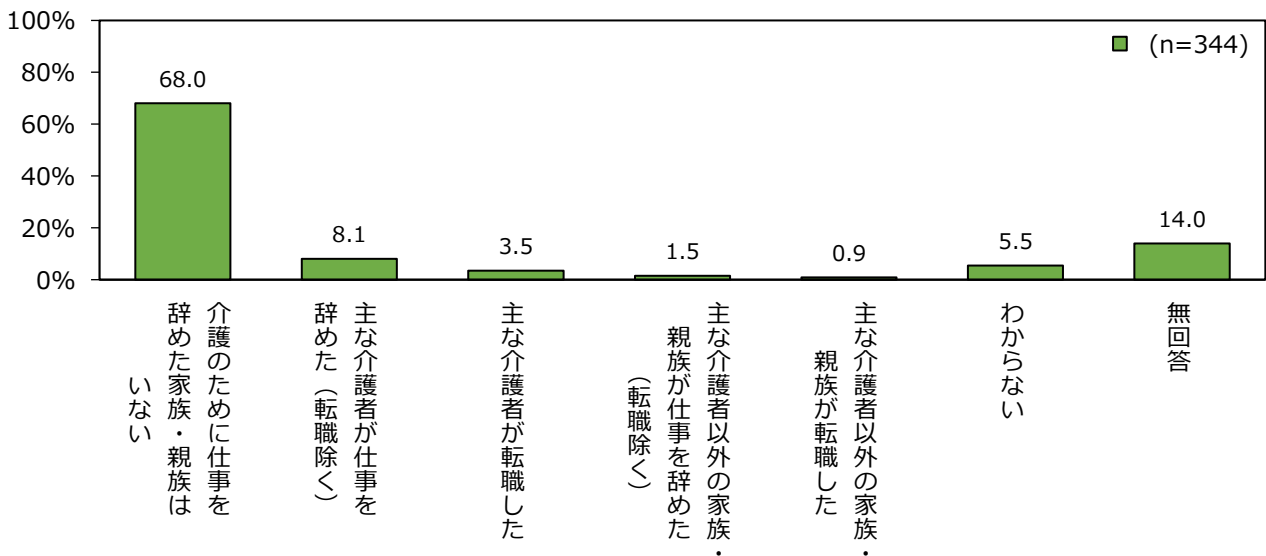
問17 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（〇はいくつでも）

#### ◆ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約7割

介護を主な理由として仕事を辞めた方がいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が68.0%となっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた」は8.1%となっています。

要介護度別でみると、軽度（要介護1）は「主な介護者が仕事を辞めた」が中度（要介護2、3）より2.2ポイント、重度（要介護4、5）より1.0ポイント多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「主な介護者が転職した」が1.7ポイント多くなっています。



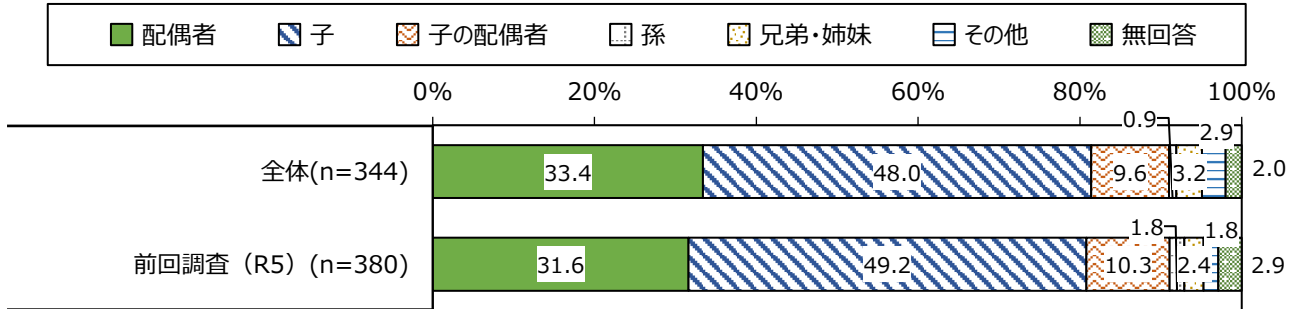
	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が転職した	わからない	無回答
全体 (n=344)	68.0	8.1	3.5	1.5	0.9	5.5	14.0
前回調査 (R5) (n=380)	56.8	9.2	1.8	1.8	0.8	4.7	25.8
軽度（要介護1） (n=118)	72.9	9.3	4.2	0.8	0.0	2.5	11.0
中度（要介護2、3） (n=168)	64.3	7.1	3.6	1.8	1.2	7.7	16.1
重度（要介護4、5） (n=48)	68.8	8.3	2.1	2.1	2.1	4.2	14.6

## 2-2 家族や親族の中の主な介護者 ○

問18 主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

### ◆ 主な介護者は「配偶者」が約3割、「子」が約5割

主な介護者は、「子」が48.0%で最も多く、次いで「配偶者」が33.4%、「子の配偶者」が9.6%、「兄弟・姉妹」が3.2%となっています。

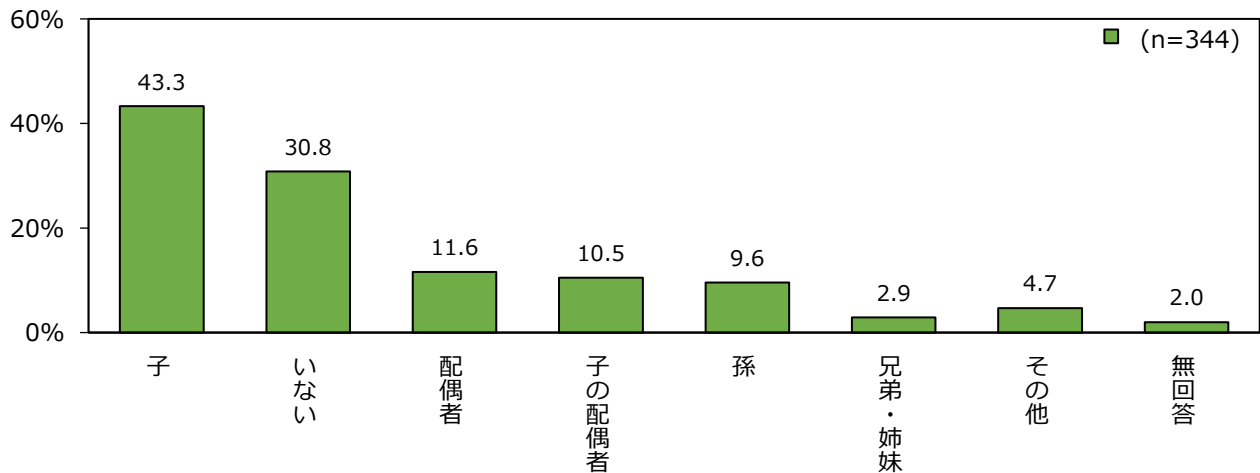


## 2-3 主な介護者以外の介護者

問19 主な介護者の方の他に、ご本人を介護されている方はどなたですか。(○はいくつでも)

### ◆ 「いない」が約3割

主な介護者の方の他に介護されている方について、「子」が43.3%で最も多く、次いで「いない」が30.8%、「配偶者」が11.6%、「子の配偶者」が10.5%、「孫」が9.6%となっています。

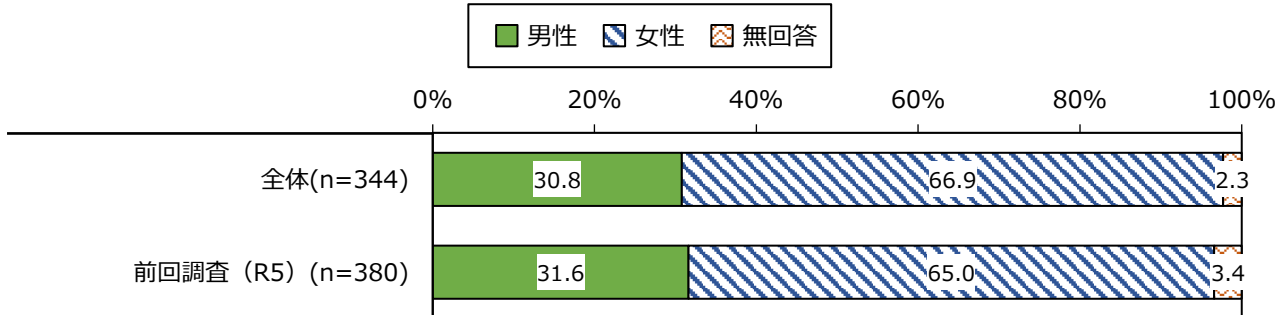


## 2-4 介護者の性別 ○

問20 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ 「男性」が約3割、「女性」が約7割

主な介護者の性別は、「男性」が30.8%、「女性」が66.9%となっています。

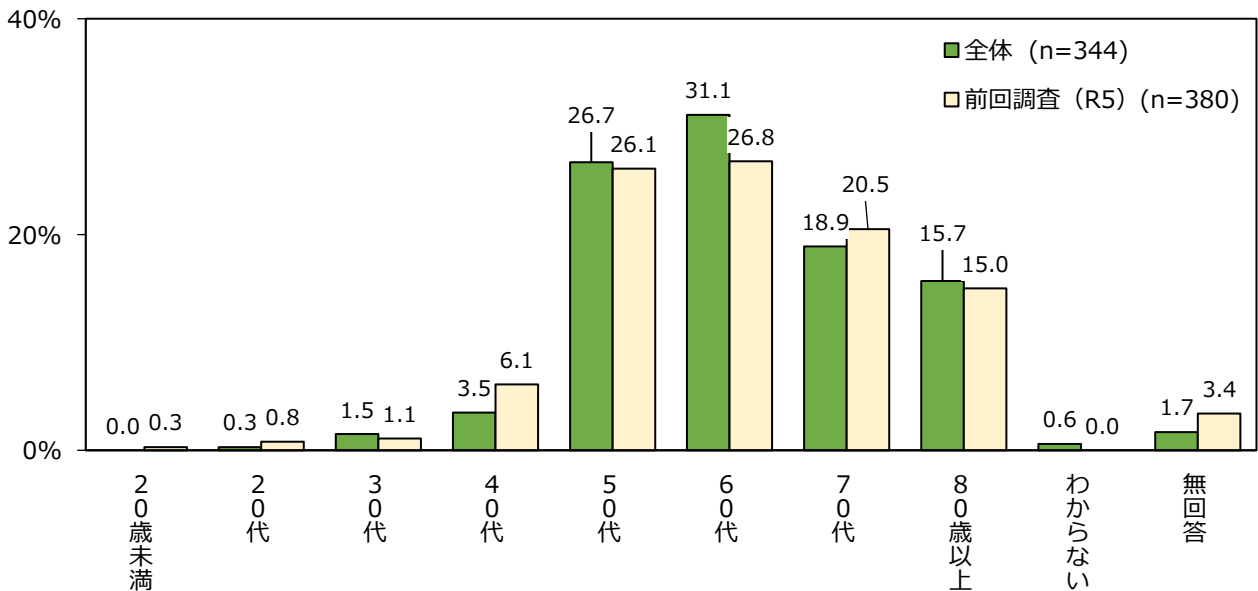


## 2-5 介護者の年齢 ◎

問21 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ 「50代」、「60代」がそれぞれ約3割

主な介護者の年齢は、「60代」が31.1%で最も多く、次いで「50代」が26.7%、「70代」が18.9%、「80歳以上」が15.7%、「40代」が3.5%となっています。

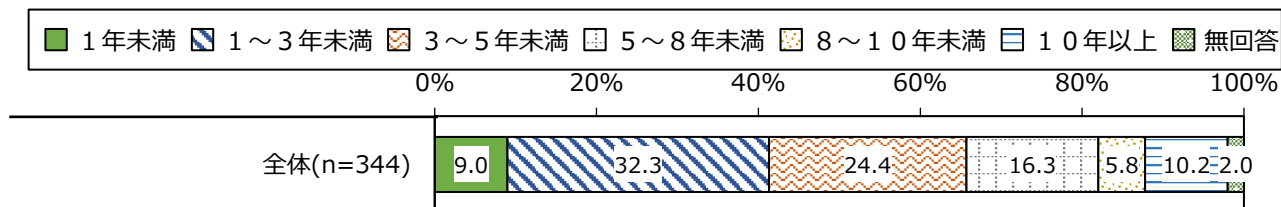


## 2-6 介護の継続年数

問22 ご本人に対しては、どのくらい介護を続けていますか。(○は1つ)

### ◆ “5年以上” が約3割

介護の継続年数は、「1～3年未満」が32.3%で最も多く、次いで「3～5年未満」が24.4%、「5～8年未満」が16.3%、「10年以上」が10.2%、「1年未満」が9.0%となっています。



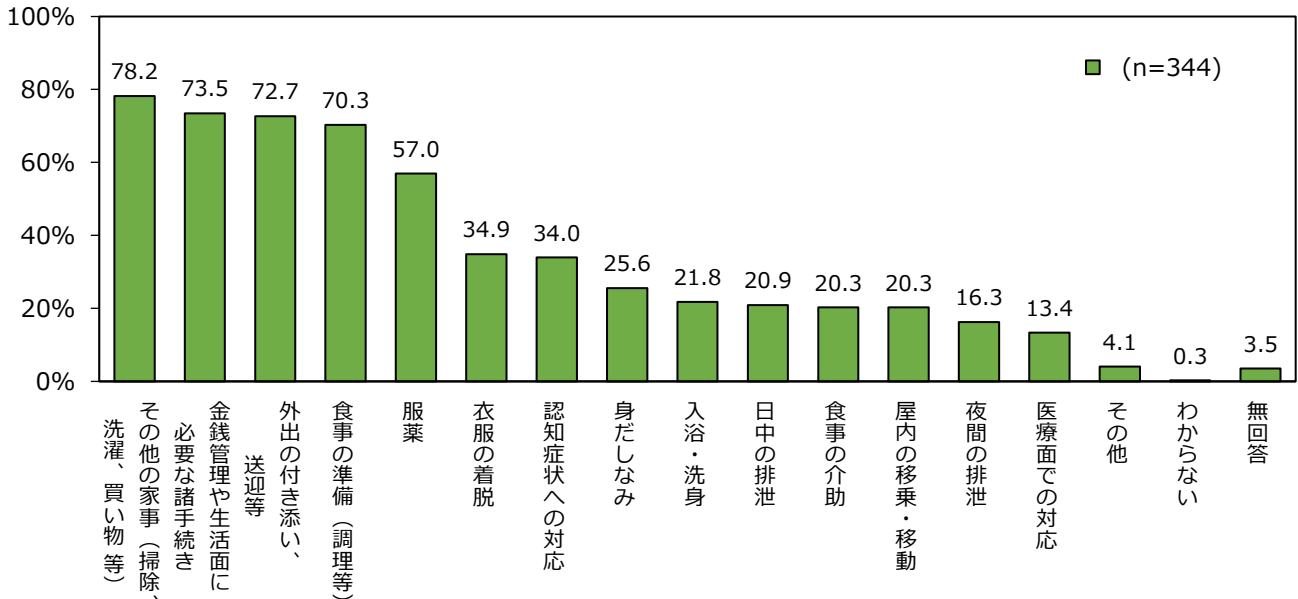
## 2-7 現在行っている介護 ○

問23 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(○はいくつでも)

### ◆ 「その他の家事」が約8割

現在行っている介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が78.2%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.5%、「外出の付き添い、送迎等」が72.7%、「食事の準備（調理等）」が70.3%、「服薬」が57.0%となっています。

要介護度別で見ると、重度（要介護4、5）は「衣服の着脱」、「身だしなみ」、「日中の排泄」、「食事の介助」、「夜間の排泄」が他の要介護度より多くなっています。



		その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	外出の付き添い、送迎等	食事の準備（調理等）	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	身だしなみ	入浴・洗身
全体	(n=344)	78.2	73.5	72.7	70.3	57.0	34.9	34.0	25.6	21.8
前回調査 (R5)	(n=380)	76.3	66.6	72.4	64.2	46.1	30.0	26.3	20.0	25.5
軽度（要介護1）	(n=118)	83.1	72.9	81.4	76.3	62.7	26.3	50.0	18.6	16.9
中度（要介護2、3）	(n=168)	79.2	73.8	74.4	68.5	55.4	37.5	25.6	25.0	25.0
重度（要介護4、5）	(n=48)	68.8	77.1	50.0	66.7	56.3	54.2	29.2	45.8	27.1
		日中の排泄	食事の介助	屋内の移乗・移動	夜間の排泄	医療面での対応	その他	わからない	無回答	
全体	(n=344)	20.9	20.3	20.3	16.3	13.4	4.1	0.3	3.5	
前回調査 (R5)	(n=380)	17.4	16.1	18.2	15.3	7.6	4.2	0.0	5.0	
軽度（要介護1）	(n=118)	9.3	10.2	7.6	8.5	15.3	4.2	0.0	0.8	
中度（要介護2、3）	(n=168)	20.8	19.6	25.0	16.1	10.1	3.6	0.6	4.2	
重度（要介護4、5）	(n=48)	50.0	50.0	35.4	39.6	20.8	6.3	0.0	6.3	

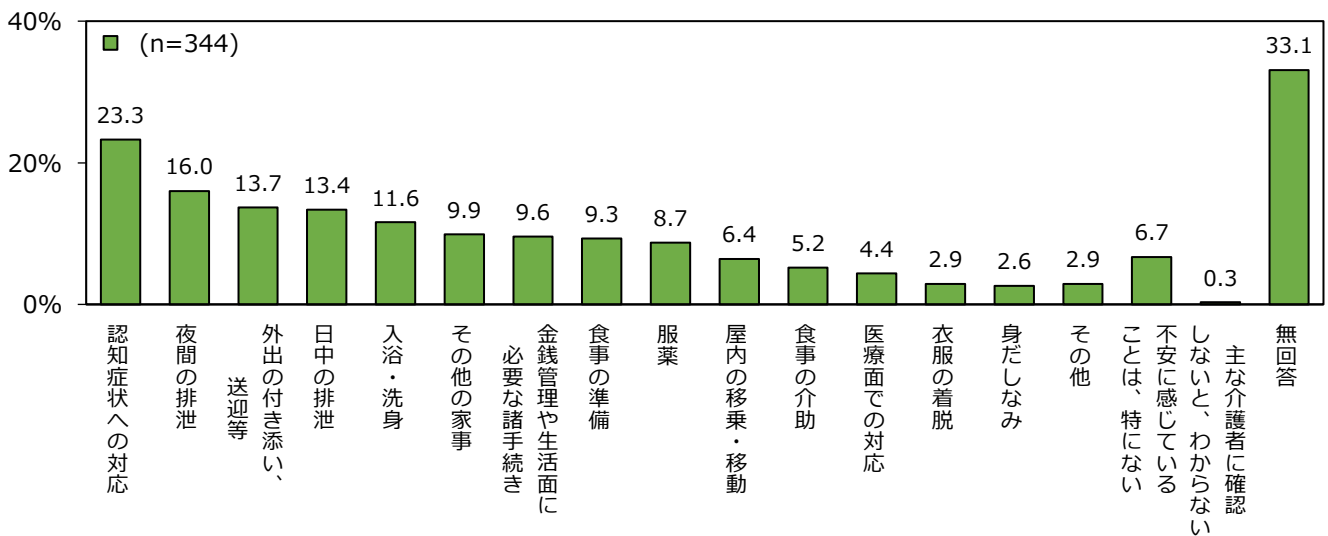
2-8 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護 ◎

問24 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

◆ 「認知症状への対応」が約2割

不安を感じる介護について、「認知症状への対応」が23.3%で最も多く、次いで「夜間の排泄」が16.0%、「外出の付き添い、送迎等」が13.7%、「日中の排泄」が13.4%、「入浴・洗身」が11.6%となっています。

要介護度別で見ると、軽度（要介護1）は「認知症状への対応」が中度（要介護2、3）より10.1ポイント、重度（要介護4、5）より13.0ポイント多くなっています。



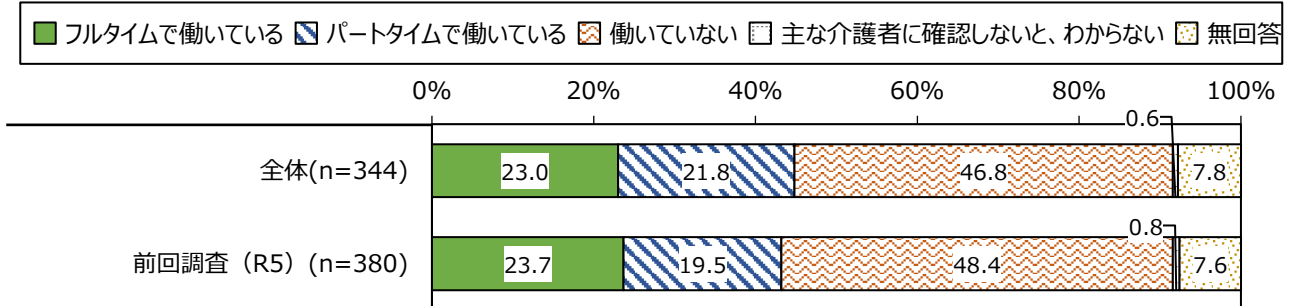
	認知症状への対応	夜間の排泄	外出の付き添い、送迎等	日中の排泄	入浴・洗身	その他の家事	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	食事の準備	服薬	屋内の移乗・移動	食事の介助	医療面での対応	衣服の着脱	身だしなみ	その他	ことは、特にない	不安に感じていることはない、わからない	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全体 (n=344)	23.3	16.0	13.7	13.4	11.6	9.9	9.6	9.3	8.7	6.4	5.2	4.4	2.9	2.6	2.9	6.7	0.3	33.1	
前回調査 (R5) (n=380)	28.4	26.8	29.5	18.2	25.8	23.4	17.4	21.1	15.0	12.4	10.0	6.6	7.1	6.3	7.4	7.6	0.8	9.2	
軽度 (要介護1) (n=118)	29.7	13.6	12.7	11.9	15.3	11.0	11.0	14.4	11.0	5.1	5.1	4.2	2.5	2.5	0.8	5.9	0.8	31.4	
中度 (要介護2、3) (n=168)	19.6	17.9	16.7	14.3	10.1	9.5	5.4	7.7	8.3	8.3	4.8	3.6	4.2	1.8	3.0	7.1	0.0	34.5	
重度 (要介護4、5) (n=48)	16.7	16.7	8.3	10.4	10.4	6.3	18.8	0.0	2.1	4.2	8.3	6.3	0.0	2.1	8.3	8.3	0.0	35.4	
単身世帯 (n=96)	26.0	15.6	15.6	13.5	11.5	13.5	13.5	12.5	10.4	4.2	6.3	3.1	0.0	1.0	4.2	7.3	1.0	28.1	
夫婦のみ世帯 (n=97)	12.4	13.4	12.4	10.3	9.3	9.3	10.3	9.3	12.4	5.2	2.1	5.2	3.1	4.1	1.0	5.2	0.0	44.3	
その他 (n=148)	29.1	18.2	12.8	15.5	13.5	8.1	6.1	7.4	5.4	8.1	6.8	4.7	4.7	2.7	3.4	7.4	0.0	29.1	

## 2-9 介護者の現在の勤務形態 ㊦

問25 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(〇は1つ)

### ◆ 「働いていない」が約5割

主な介護者の現在の勤務形態について、「働いていない」が46.8%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が23.0%、「パートタイムで働いている」が21.8%となっています。



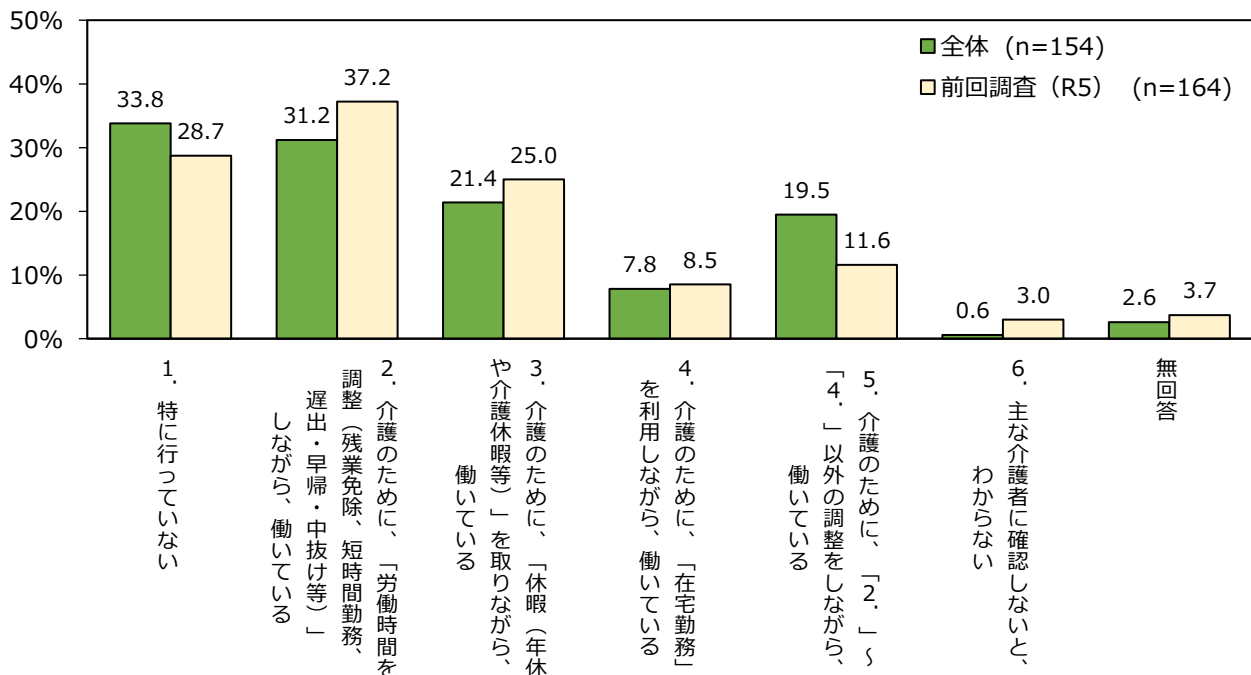
## 2-10 介護をする際の働き方の調整 ㊦

ここから先は、問25で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問26 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「特に行っていない」、「介護のために『労働時間を調整』しながら働いている」が約3割

介護をする際の働き方の調整について、「特に行っていない」が33.8%で最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)』しながら、働いている」が31.2%、「介護のために、『休暇(年休や介護休暇等)』を取りながら、働いている」が21.4%、「介護のために、『2.』～『4.』以外の調整をしながら、働いている」が19.5%、「介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている」が7.8%となっています。

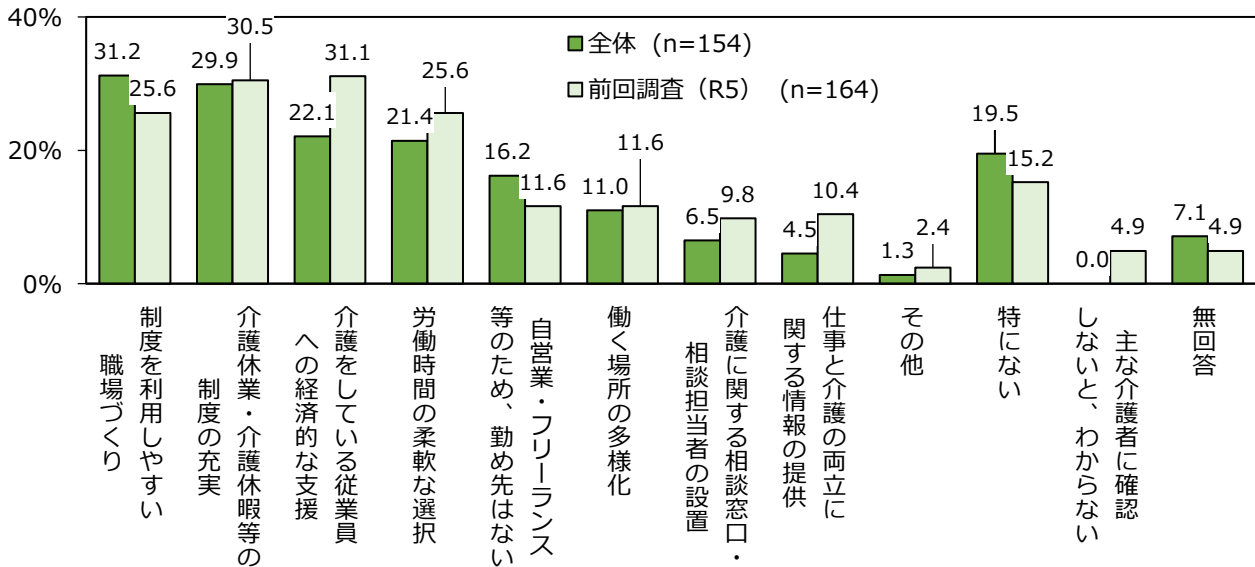


### 2-11 仕事と介護の両立のための勤務先からの支援 ○

問27 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

◆ 「制度を利用しやすい職場づくり」、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が約3割

仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先からの支援について、「制度を利用しやすい職場づくり」が31.2%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.9%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が22.1%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が21.4%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が16.2%となっています。

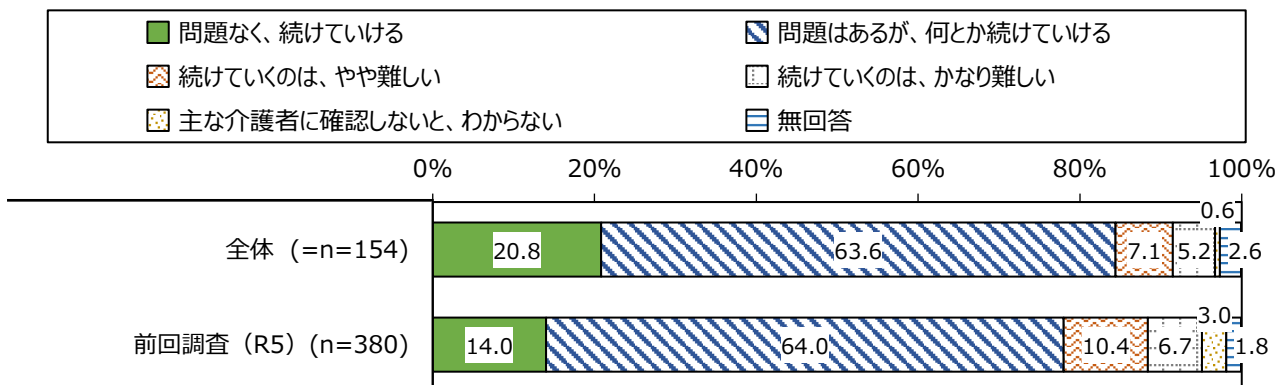


### 2-12 働きながらの介護の継続 ◎

問28 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

◆ “続けていける” が約8割

今後も働きながら介護を続けていけるかについて、「問題なく、続けていける」の20.8%と「問題はあるが、何とか続けていける」の63.6%を合わせた“続けていける”人は84.4%となっています。一方で、「続けていくのは、やや難しい」の7.1%と「続けていくのは、かなり難しい」の5.2%を合わせた“続けていくのは、難しい”人は12.3%となっています。



# IV 調査結果

介護支援専門員調査



## IV 調査結果【介護支援専門員調査】

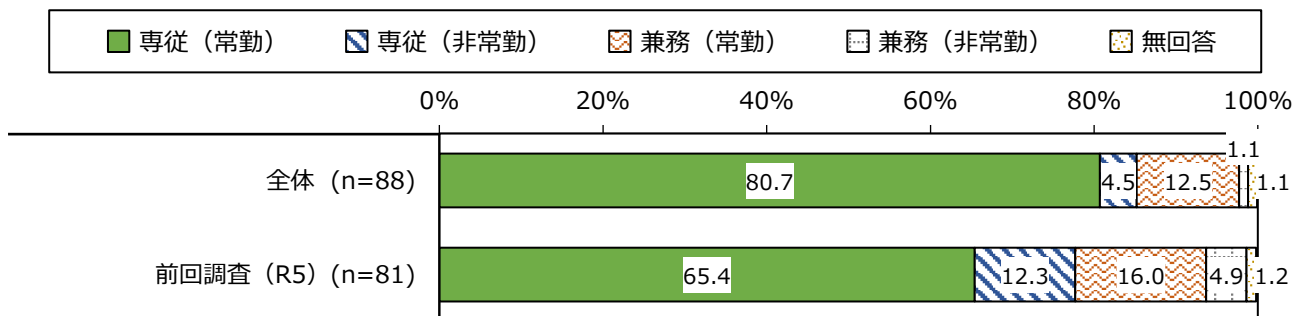
### 1) 調査回答者について

#### 1-1 勤務形態

問1 あなたの勤務形態は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

◆ 専従（常勤）が約8割

対象者の勤務形態について、「専従（常勤）」が80.7%で最も多く、次いで「兼務（常勤）」が12.5%、「専従（非常勤）」が4.5%、「兼務（非常勤）」が1.1%となっています。

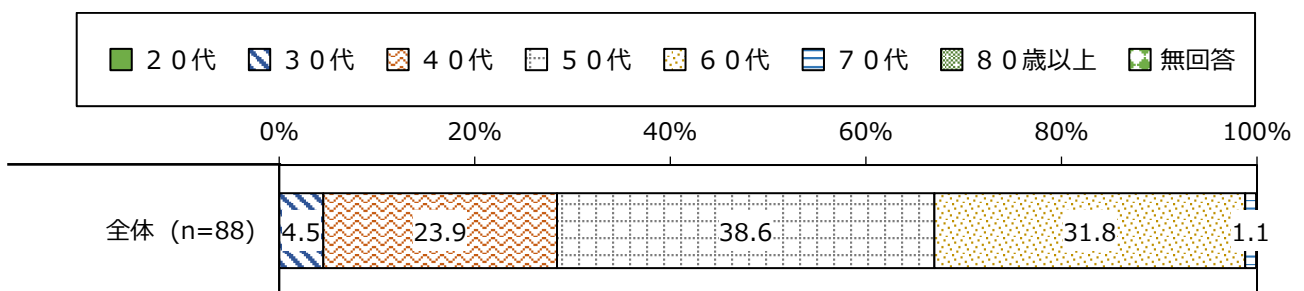


#### 1-2 年齢

問2 年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ “50代以上” が約7割

対象者の年齢は、「50代」が38.6%で最も多く、次いで「60代」が31.8%、「40代」が23.9%、「30代」が4.5%、「70代」が1.1%となっています。

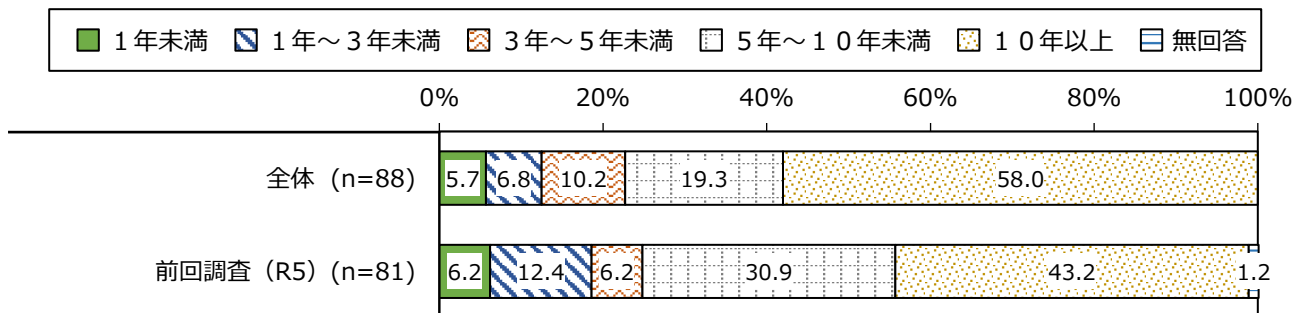


### 1-3 介護支援専門員としての経験年数

問3 介護支援専門員としての経験年数をお答えください。(○は1つ)

◆ 「5年以上」が約8割

対象者の介護支援専門員としての経験年数について、「10年以上」が58.0%で最も多く、次いで「5年～10年未満」が19.3%、「3年～5年未満」が10.2%、「1年～3年未満」が6.8%、「1年未満」が5.7%となっています。「5年～10年未満」と「10年以上」を合わせた“5年以上”は77.3%となっています。

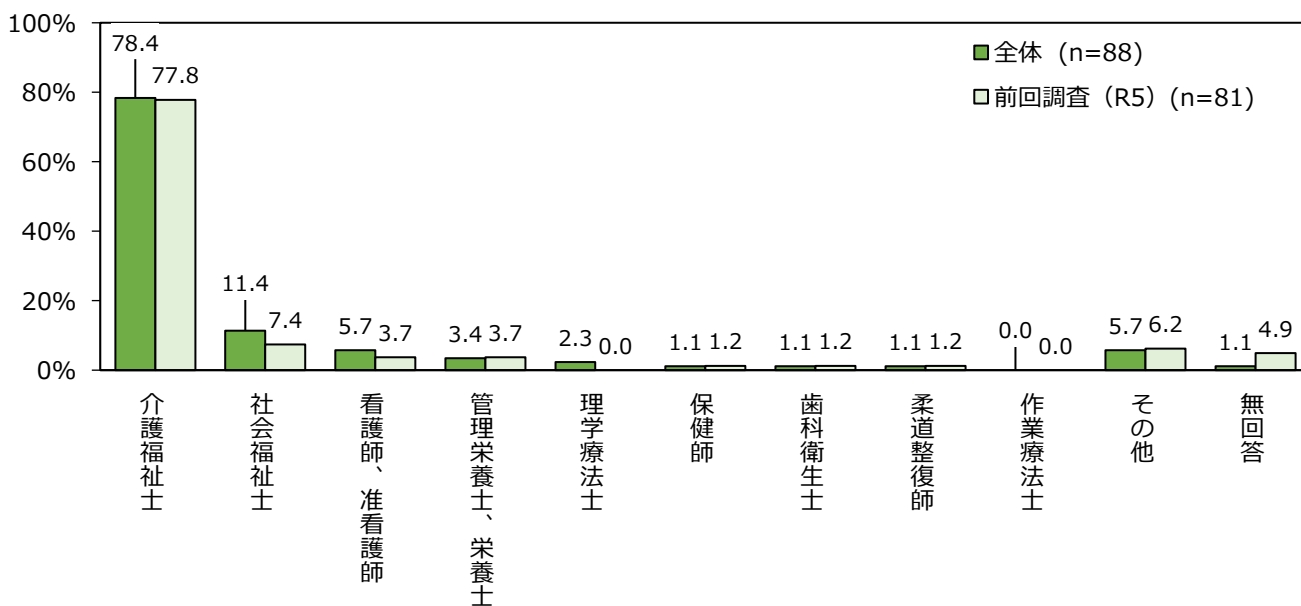


### 1-4 所持している資格

問4 次の資格の中でどれをお持ちですか。(○はいくつでも)

◆ 「介護福祉士」が約8割

対象者が所持している資格は、「介護福祉士」が78.4%で最も多く、次いで「社会福祉士」が11.4%、「看護師、准看護師」が5.7%、「管理栄養士、栄養士」が3.4%、「理学療法士」が2.3%となっています。

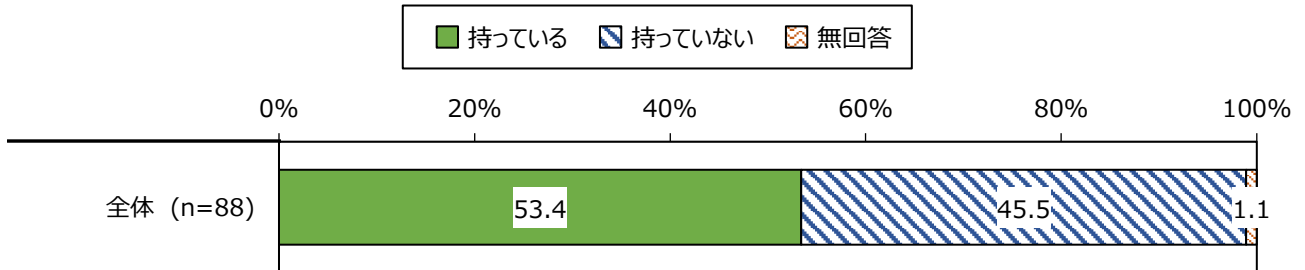


### 1-5 主任介護支援専門員の資格の有無

問5 主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。(○は1つ)

◆ 「持っている」が約5割

主任介護支援専門員の資格を持っているかについて、「持っている」が53.4%、「持っていない」が45.5%となっています。

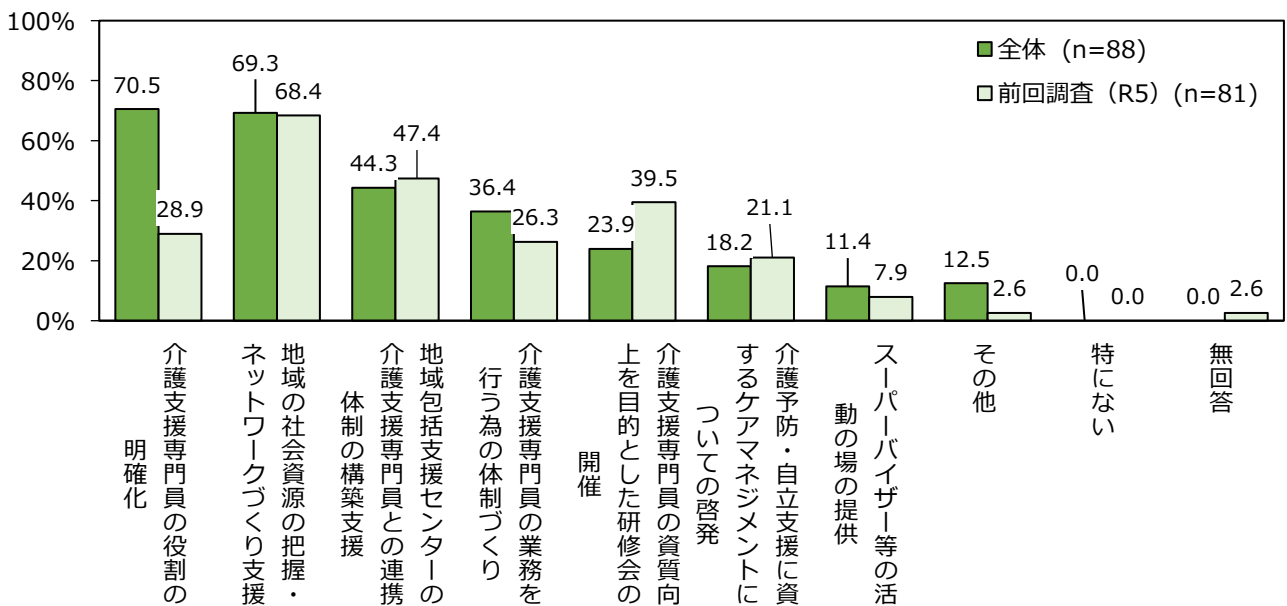


### 1-6 充実が必要な支援

問6 介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要と考えますか。(○はいくつでも)

◆ 「介護支援専門員の役割の明確化」、「地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援」が約7割

介護支援専門員として充実が必要な支援について、「介護支援専門員の役割の明確化」が70.5%で最も多く、次いで「地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援」が69.3%、「地域包括支援センターの介護支援専門員との連携体制の構築支援」が44.3%、「介護支援専門員の業務を行う為の体制づくり」が36.4%、「介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催」が23.9%となっています。



## 2) ケアプランの作成について

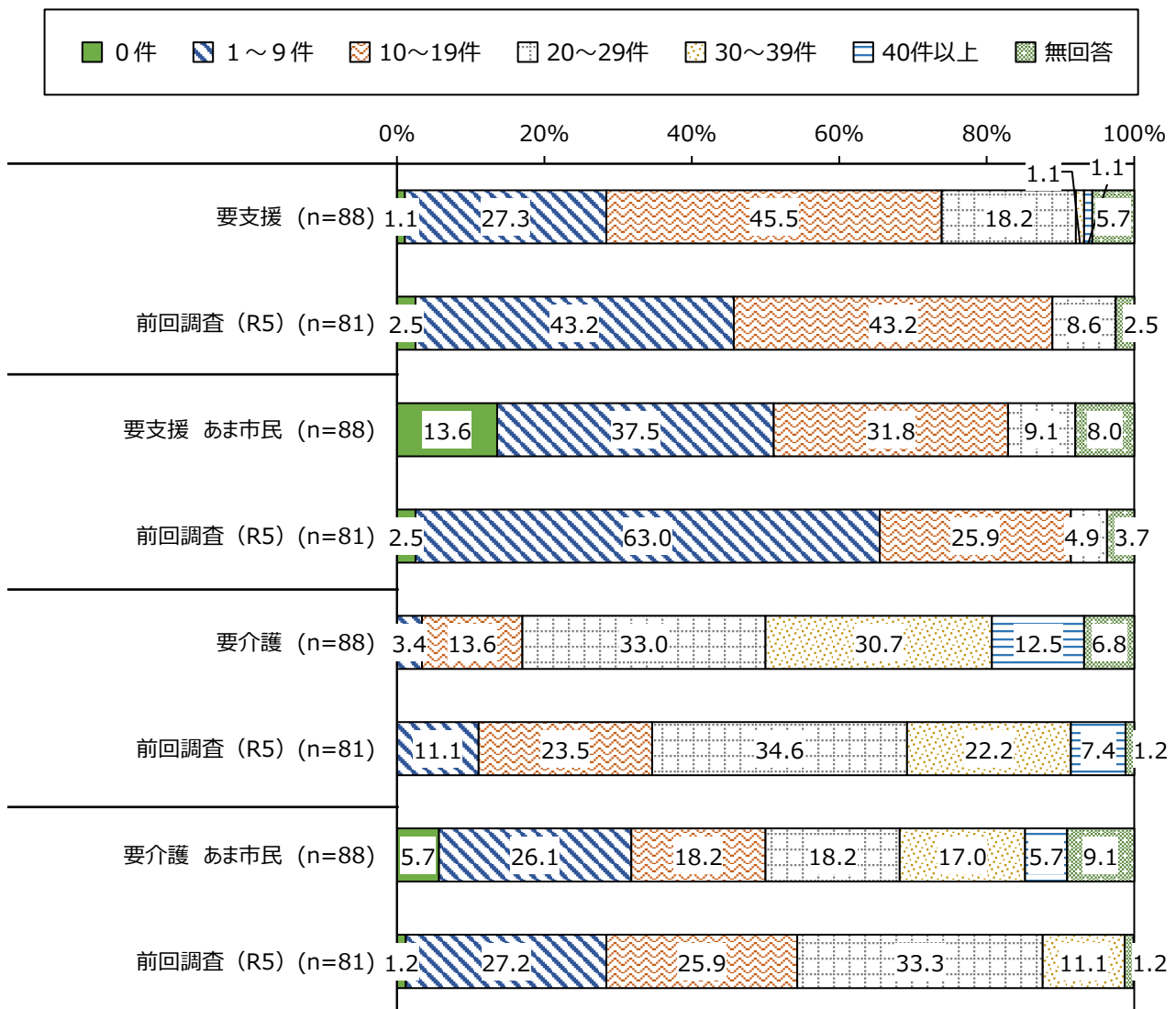
### 2-1 担当しているケアプランの件数

問7 令和7年12月1日現在で担当しているケアプランの件数は何件ですか。(実数で記入)

◆ 要支援は「10～19件」が約4割、要介護は「20～29件」が約3割

対象者が担当しているケアプランの件数について、要支援では「10～19件」が45.5%で最も多く、次いで「1～9件」が27.3%、「20～29件」が18.2%となっています。また、要支援のうち、あま市民は「1～9件」が37.5%で最も多く、次いで「10～19件」が31.8%となっています。

要介護では「20～29件」が33.0%で最も多く、次いで「30～39件」が30.7%、「10～19件」が13.6%、「40件以上」が12.5%となっています。また、要介護のうち、あま市民は「1～9件」が26.1%で最も多く、次いで「10～19件」と「20～29件」が18.2%、「30～39件」が17.0%となっています。

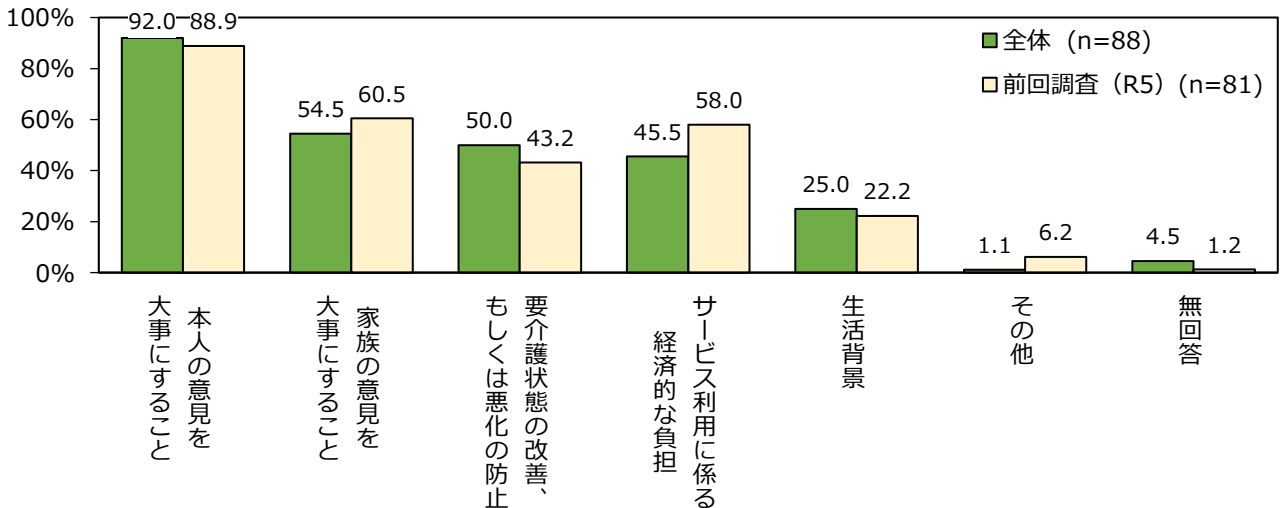


## 2-2 ケアプランを立てるにあたり気をつけていること

問8 ケアプランを立てるにあたり、生活機能の状態のほかに、どのようなことに気をつけていますか。(〇は3つまで)

### ◆ 「本人の意見を大事にすること」が約9割

ケアプランを立てるにあたり気をつけていることについて、「本人の意見を大事にすること」が92.0%で最も多く、次いで「家族の意見を大事にすること」が54.5%、「要介護状態の改善、もしくは悪化の防止」が50.0%、「サービス利用に係る経済的な負担」が45.5%、「生活背景」が25.0%となっています。

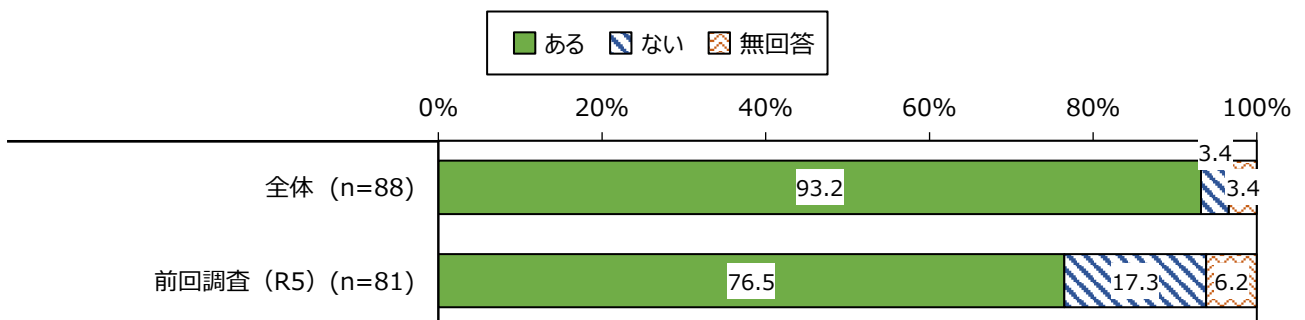


## 2-3 ケアプランの作成で困ることの有無

問9 ケアプランの作成で困ることがありましたか。(〇は1つ)

### ◆ 「ある」が9割以上

ケアプランの作成で困ることについて、「ある」が93.2%、「ない」が3.4%となっています。



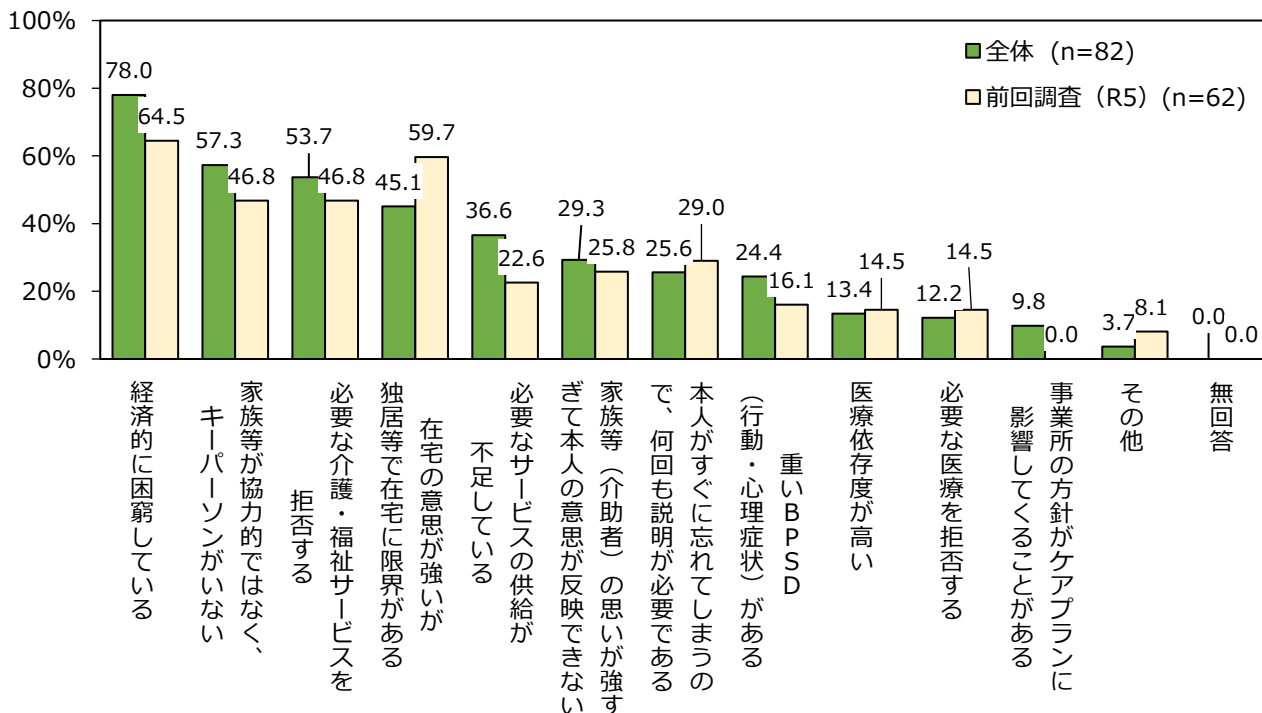
## 2-4 ケアプランの作成で困ること

問9で「ある」と答えた方

問9-1 その内容を教えてください。(〇はいくつでも)

### ◆ 「経済的に困窮している」が約8割

ケアプランの作成で困る内容について、「経済的に困窮している」が78.0%で最も多く、次いで「家族等が協力的ではなく、キーパーソンがいない」が57.3%、「必要な介護・福祉サービスを拒否する」が53.7%、「在宅の意思が強いが独居等で在宅に限界がある」が45.1%、「必要なサービスの供給が不足している」が36.6%となっています。

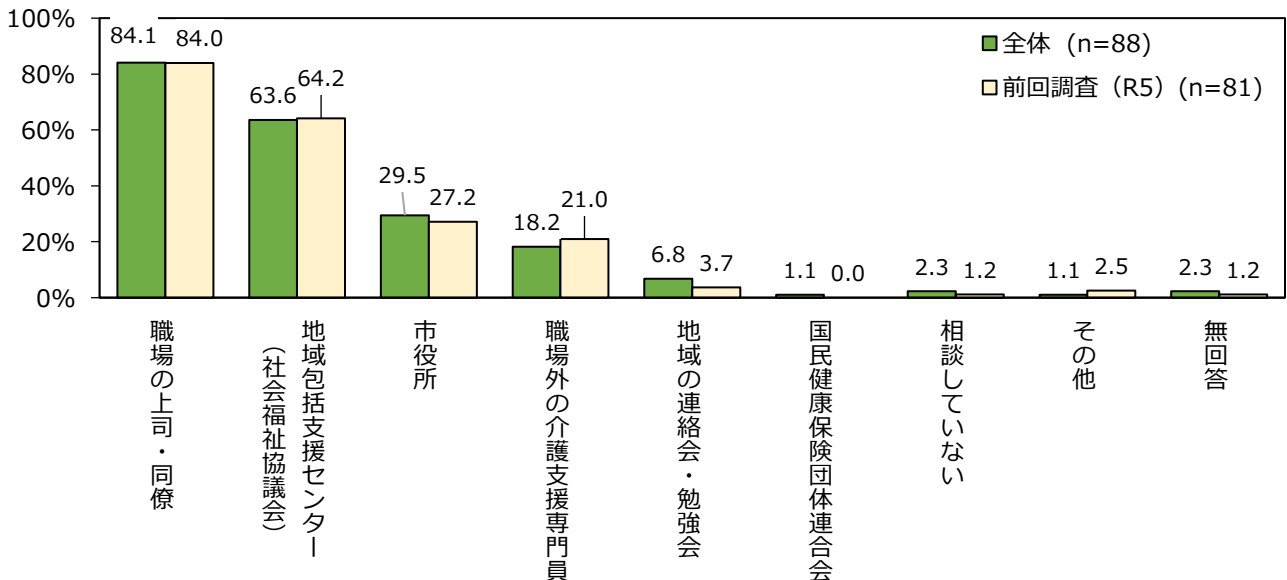


## 2-5 ケアプランに関して悩んだときの相談相手

問10 ケアプランに関して悩んだときなどに、どこに相談しますか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「職場の上司・同僚」が約8割

ケアプランに関して悩んだときの相談相手について、「職場の上司・同僚」が84.1%で最も多く、次いで「地域包括支援センター（社会福祉協議会）」が63.6%、「市役所」が29.5%、「職場外の介護支援専門員」が18.2%、「地域の連絡会・勉強会」が6.8%となっています。

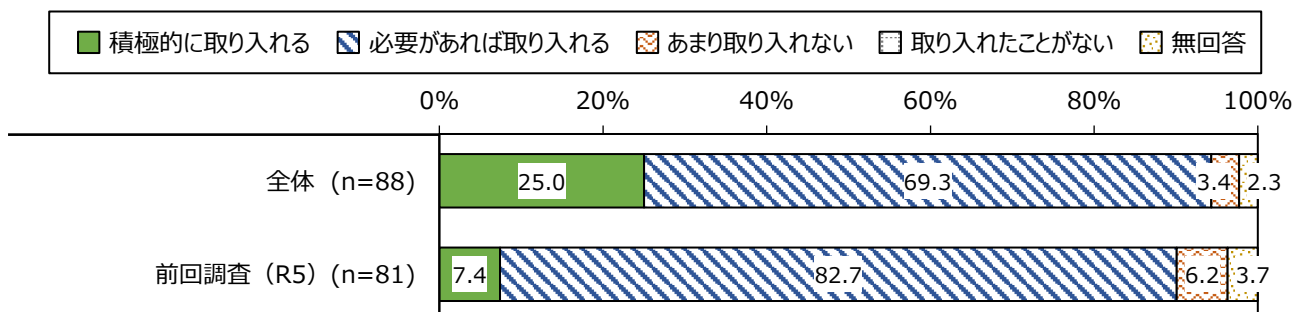


## 2-6 ケアプランに介護保険サービス以外のサービスを取り入れることの有無

問11 ケアプランを立てるときに、介護保険サービス以外のサービス（高齢者福祉サービス等）を取り入れることがありますか。(〇は1つ)

### ◆ 「必要があれば取り入れる」が約7割

ケアプランに介護保険サービス以外のサービスを取り入れることがあるかについて、「積極的に取り入れる」が25.0%、「必要があれば取り入れる」が69.3%、「あまり取り入れない」が3.4%となっています。



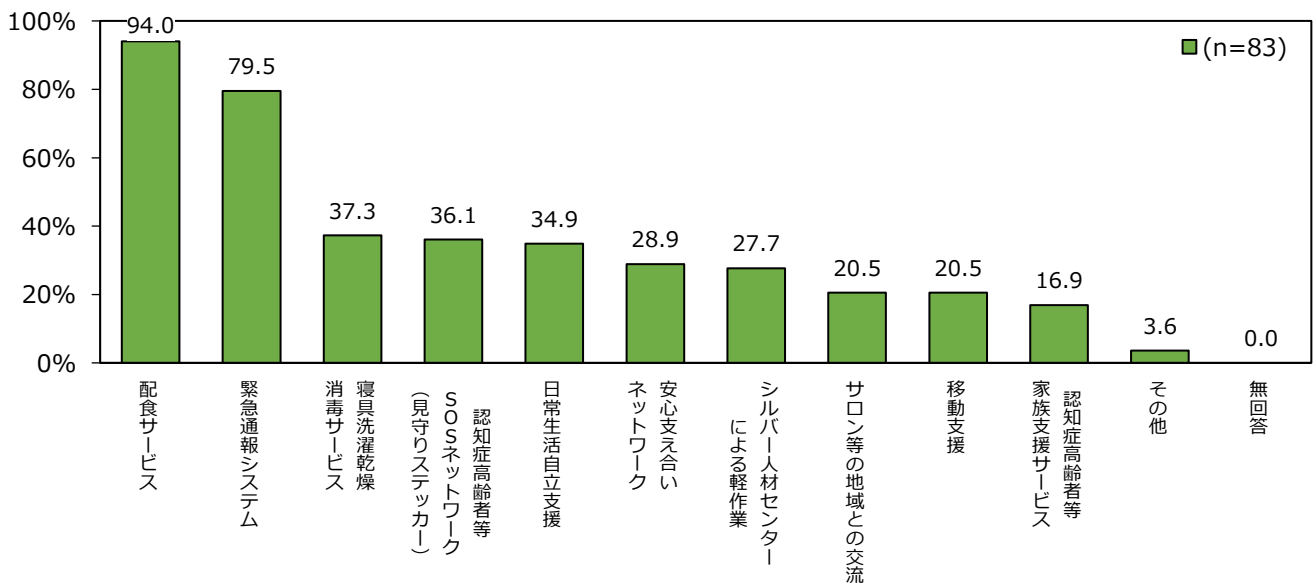
## 2-7 ケアプランを立てるときに取り入れるサービス

問11で「積極的に取り入れるようにしている」、「必要があれば取り入れる」と答えた方にお聞きします。

問11-1 具体的にはどのようなサービスですか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「配食サービス」が9割以上

ケアプランに取り入れるサービスについて、「配食サービス」が94.0%で最も多く、次いで「緊急通報システム」が79.5%、「寝具洗濯乾燥消毒サービス」が37.3%、「認知症高齢者等SOSネットワーク（見守りステッカー）」が36.1%、「日常生活自立支援」が34.9%となっています。

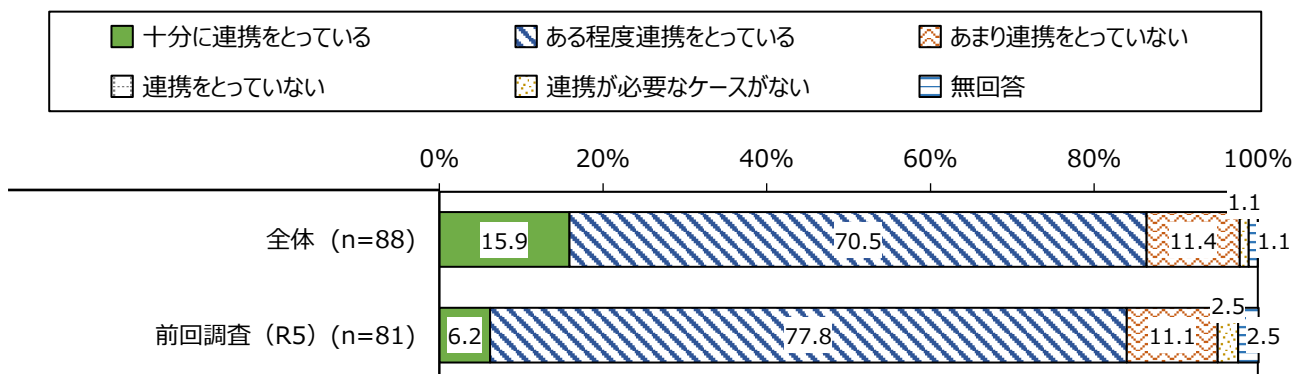


## 2-8 医療機関（主治医）との連携

問12 医療機関（主治医）との連携が必要だと思われるケースでは、連携をとっていますか。(〇は1つ)

### ◆ “連携をとっている”が約9割

医療機関（主治医）との連携について、「十分に連携をとっている」が15.9%、「ある程度連携をとっている」が70.5%、「あまり連携をとっていない」が11.4%、「連携が必要なケースがない」が1.1%となっています。

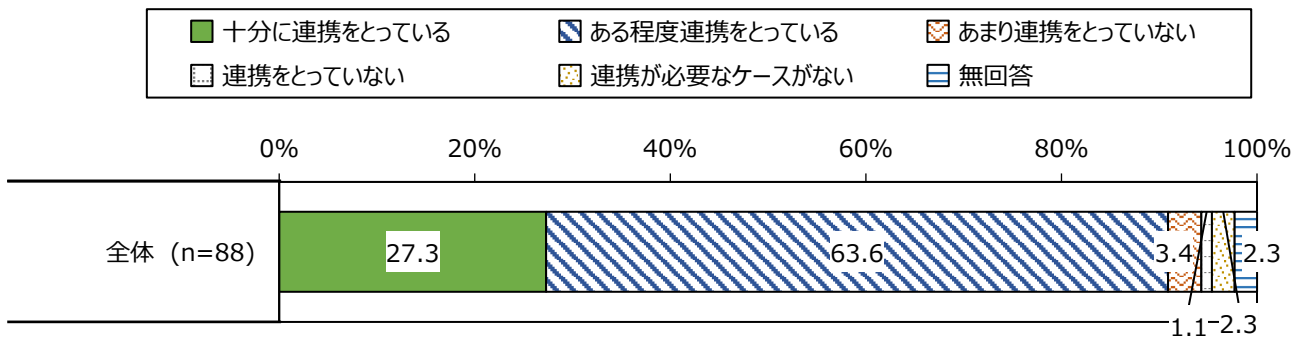


## 2-9 地域包括支援センターとの連携

問13 地域包括支援センターとの連携をとっていますか。(〇は1つ)

### ◆ “連携をとっている” が約9割

地域包括支援センターとの連携について、「十分に連携をとっている」が27.3%、「ある程度連携をとっている」が63.6%、「あまり連携をとっていない」が3.4%、「連携をとっていない」が1.1%、「連携が必要なケースがない」が2.3%となっています。



## 2-10 連携をとっていない理由

問13で「あまり連携をとっていない」または「連携をとっていない」とお答えの方にお聞きます。

問13-1 地域包括支援センターと連携をとっていない理由は何ですか。

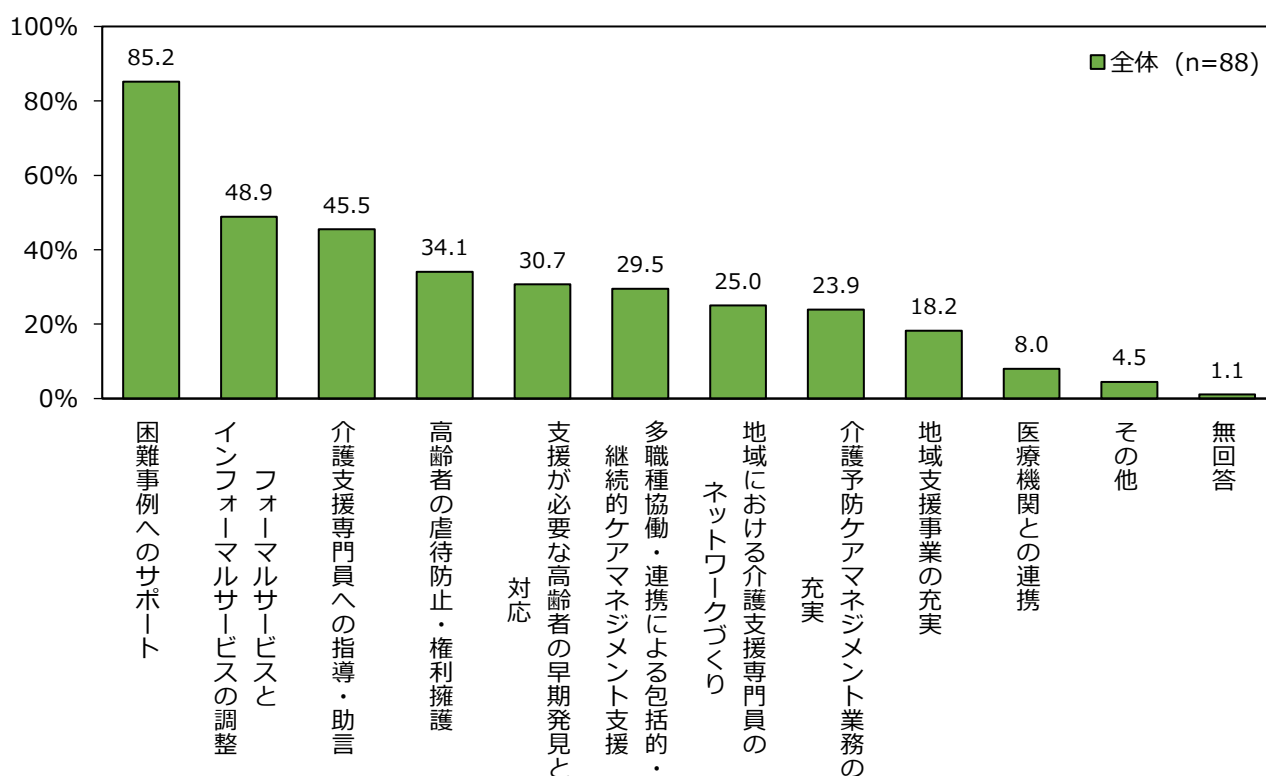
地域包括支援センターと連携をとっていない理由	(n=3)
とっていないのではなく、こちらが相談してもレスポンスが良くない事が多々ある。早急に対応が必要な場面でも中々動いてくれない事がある為、頼れない。	
相談はするが、相談で終わる。家族が直に包括に相談すると動いてくれるが、ケアマネからの相談は口頭で終わる事が多い。	
あま市以外の委託を受けている包括と連携をとっている。	

## 2-11 地域包括支援センターに期待すること

問14 地域包括支援センターに期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「困難事例へのサポート」が約9割

地域包括支援センターに期待することについて、「困難事例へのサポート」が85.2%で最も多く、次いで「フォーマルサービス（公的機関や専門職による介護保険制度に基づくサービスや支援）とインフォーマルサービス（家族や友人、地域住民、ボランティアなどによる介護保険制度に基づかないサービスや支援）の調整」が48.9%、「介護支援専門員への指導・助言」が45.5%、「高齢者の虐待防止・権利擁護」が34.1%、「支援が必要な高齢者の早期発見と対応」が30.7%、「多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援」が29.5%、「地域における介護支援専門員のネットワークづくり」が25.0%、「介護予防ケアマネジメント業務の充実」が23.9%、「地域支援事業の充実」が18.2%、「医療機関との連携」が8.0%、「その他」が4.5%、「無回答」が1.1%となっています。



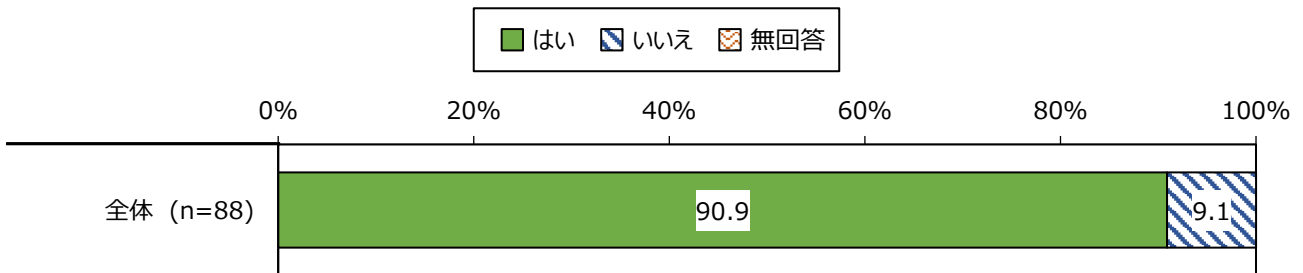
### 3) 介護認定調査について

#### 3-1 介護認定調査員研修の修了状況

問15 都道府県等が行う介護認定調査員研修を修了していますか。(○はひとつ)

◆ 介護認定調査員研修修了者が9割以上

介護認定調査員研修を修了しているかについて、「はい」が90.9%、「いいえ」が9.1%となっています。

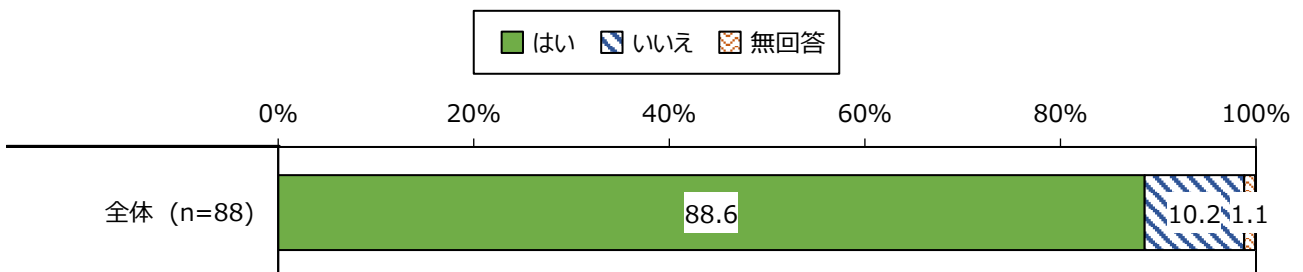


#### 3-2 介護認定調査の委託の有無

問16 今までに介護認定調査の委託を受けたことがありますか。(○はひとつ)

◆ 介護認定調査の委託を受けたことがあるが約9割

介護認定調査の委託を受けたことがあるかについて、「はい」が88.6%、「いいえ」が10.2%となっています。



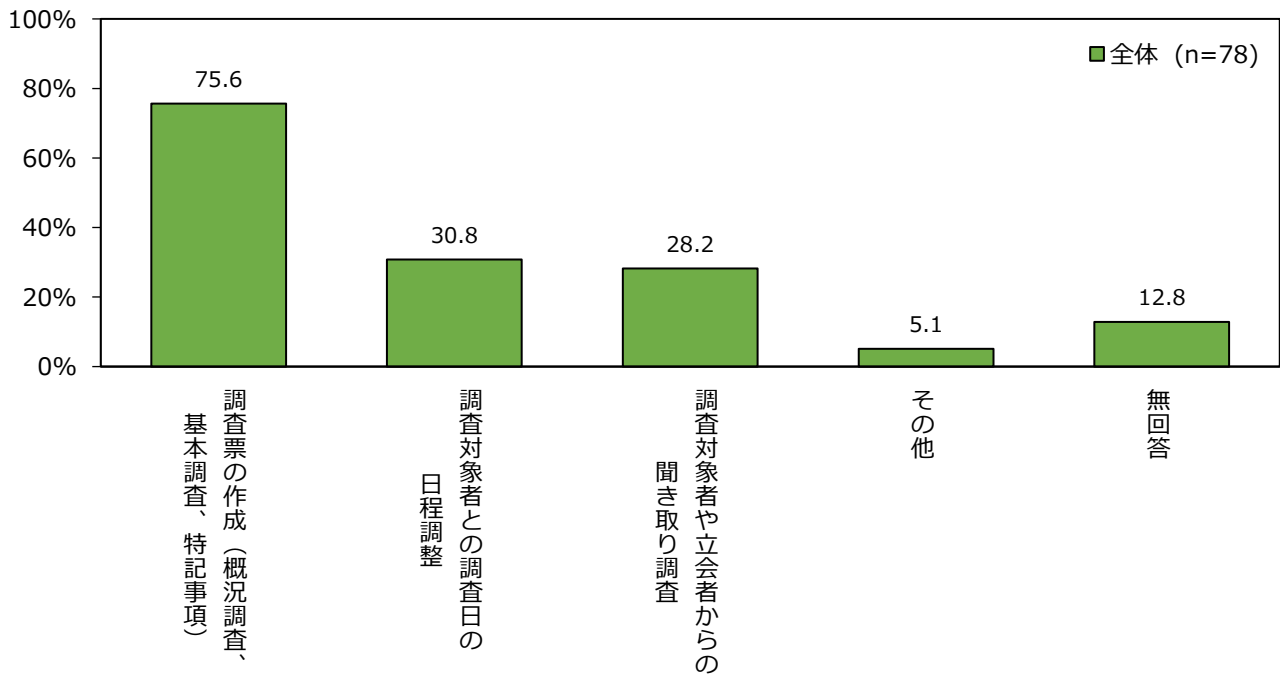
### 3-3 介護認定調査における手間

問16で「はい」とお答えの方にお聞きします。

問16-1 委託を受けた中で手間と思われるのはどれですか。(〇はいくつでも)

#### ◆ 「調査票の作成」が約8割

介護認定調査の委託を受けた中で手間と思われることについて、「調査票の作成（概況調査、基本調査、特記事項）」が75.6%で最も多く、次いで「調査対象者との調査日の日程調整」が30.8%、「調査対象者や立会者からの聞き取り調査」が28.2%となっています。

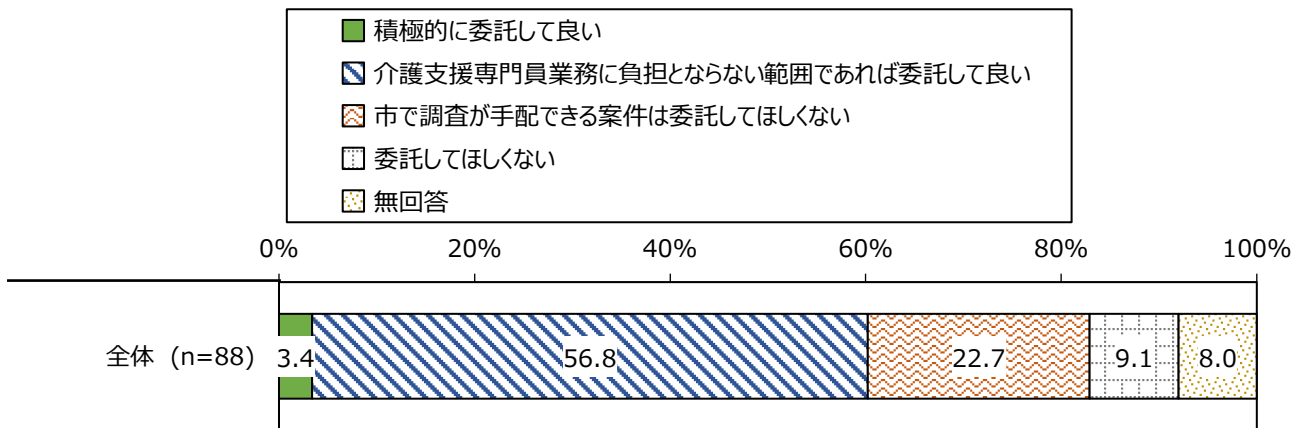


### 3-4 市が認定調査業務を委託することについて

問17 市が民間の居宅介護支援事業所等に認定調査業務を委託することについて、どのように思いますか。(〇はひとつ)

◆ “委託してほしくない” が約3割

市が民間の居宅介護支援事業所等に認定調査業務を委託することについて、「介護支援専門員業務に負担とならない範囲であれば委託して良い」が56.8%で最も多く、次いで「市で調査が手配できる案件は委託してほしくない」が22.7%、「委託してほしくない」が9.1%、「積極的に委託して良い」が3.4%となっています。



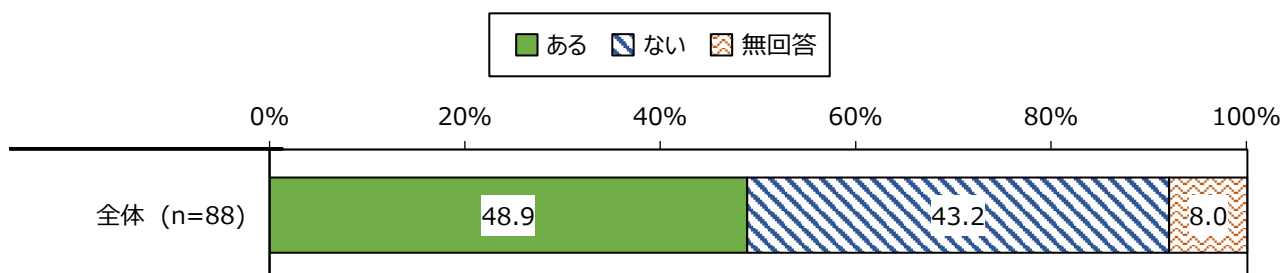
## 4) 8050問題について

### 4-1 8050問題の事例に関わったこと

問18 いわゆる8050問題と思われる事例に関わったことがありますか。(○は1つ)

◆ 8050問題の事例に関わったことがある介護支援専門員が約5割

8050問題と思われる事例に関わったことがあるかについて、「ある」が48.9%、「ない」が43.2%となっています。



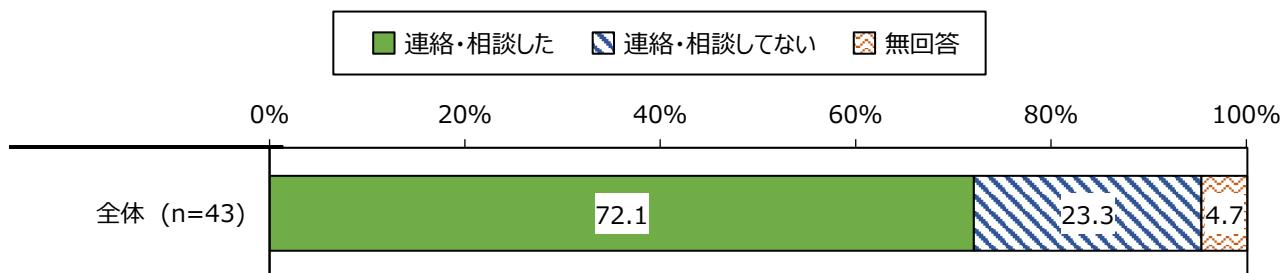
### 4-2 関係機関への連絡・相談

問18で「ある」とお答えの方にお聞きします。

問18-1 関わった際に関係機関に連絡・相談はしましたか。(○は1つ)

◆ 「連絡・相談した」が約7割

8050問題と思われる事例に関わった際に関係機関に連絡・相談はしたかについて、「連絡・相談した」が72.1%、「連絡・相談してない」が23.3%となっています。



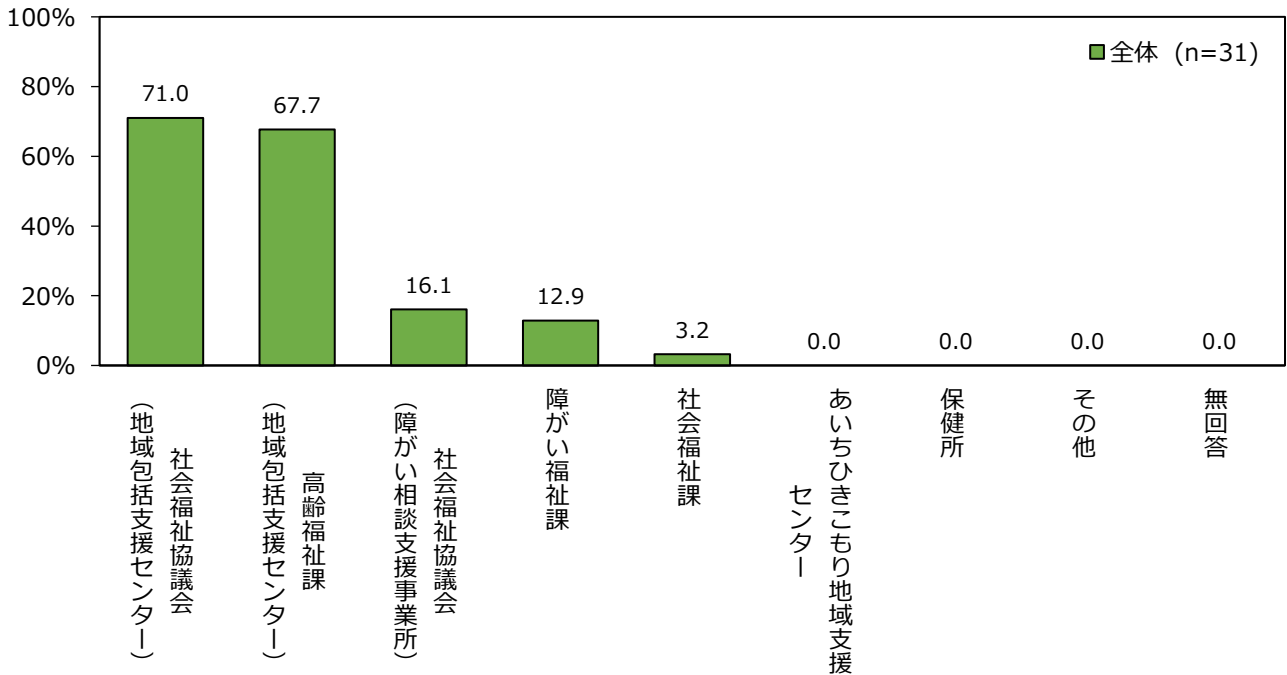
### 4-3 連絡・相談した関係機関

問18-1で「連絡・相談した」とお答えの方にお聞きします。

問18-2 連絡・相談をした機関はどこですか。(〇はいくつでも)

- ◆ 「社会福祉協議会(地域包括支援センター)」、「高齢福祉課(地域包括支援センター)」が約7割

連絡・相談をした機関について、「社会福祉協議会(地域包括支援センター)」が71.0%で最も多く、次いで「高齢福祉課(地域包括支援センター)」が67.7%、「社会福祉協議会(障がい相談支援事業所)」が16.1%、「障がい福祉課」が12.9%、「社会福祉課」が3.2%となっています。



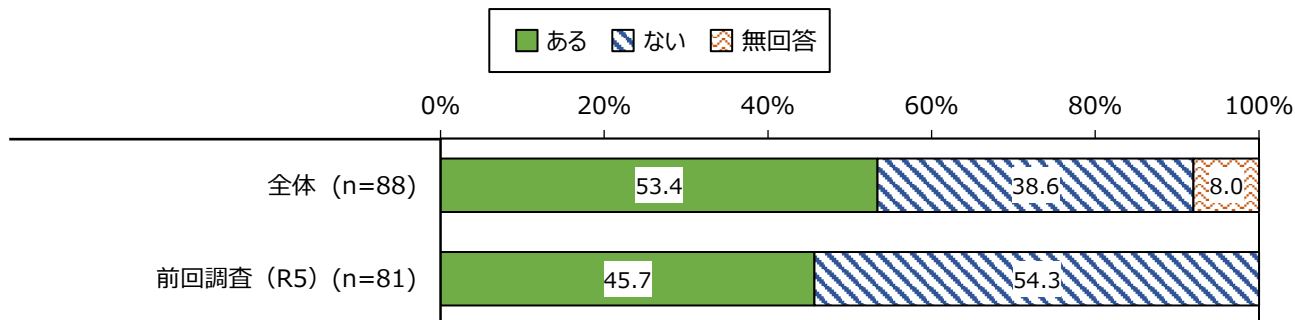
## 5) 高齢者虐待について

### 5-1 家庭内における高齢者虐待の関わりの有無

問19 家庭内における高齢者虐待（疑いを含む）の事例に関わったことがありますか。（○は1つ）

◆ 高齢者虐待の事例に関わったことがある介護支援専門員が約5割

高齢者虐待の事例への関わりについて、「ある」が53.4%、「ない」が38.6%となっています。



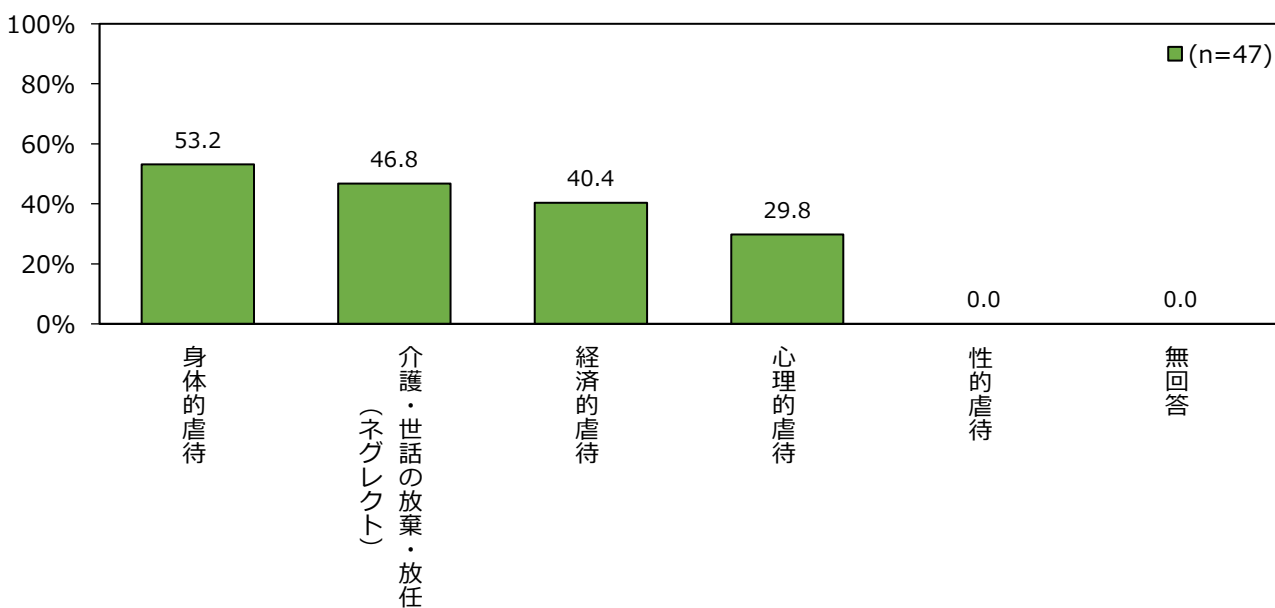
### 5-2 関わった高齢者虐待の類型

問19で「ある」とお答えの方にお聞きします。

問19-1 関わった事例の類型は何でしたか。（○はいくつでも）

◆ 「身体的虐待」が約5割

関わった事例の類型について、「身体的虐待」が53.2%で最も多く、次いで「介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）」が46.8%、「経済的虐待」が40.4%、「心理的虐待」が29.8%となっています。

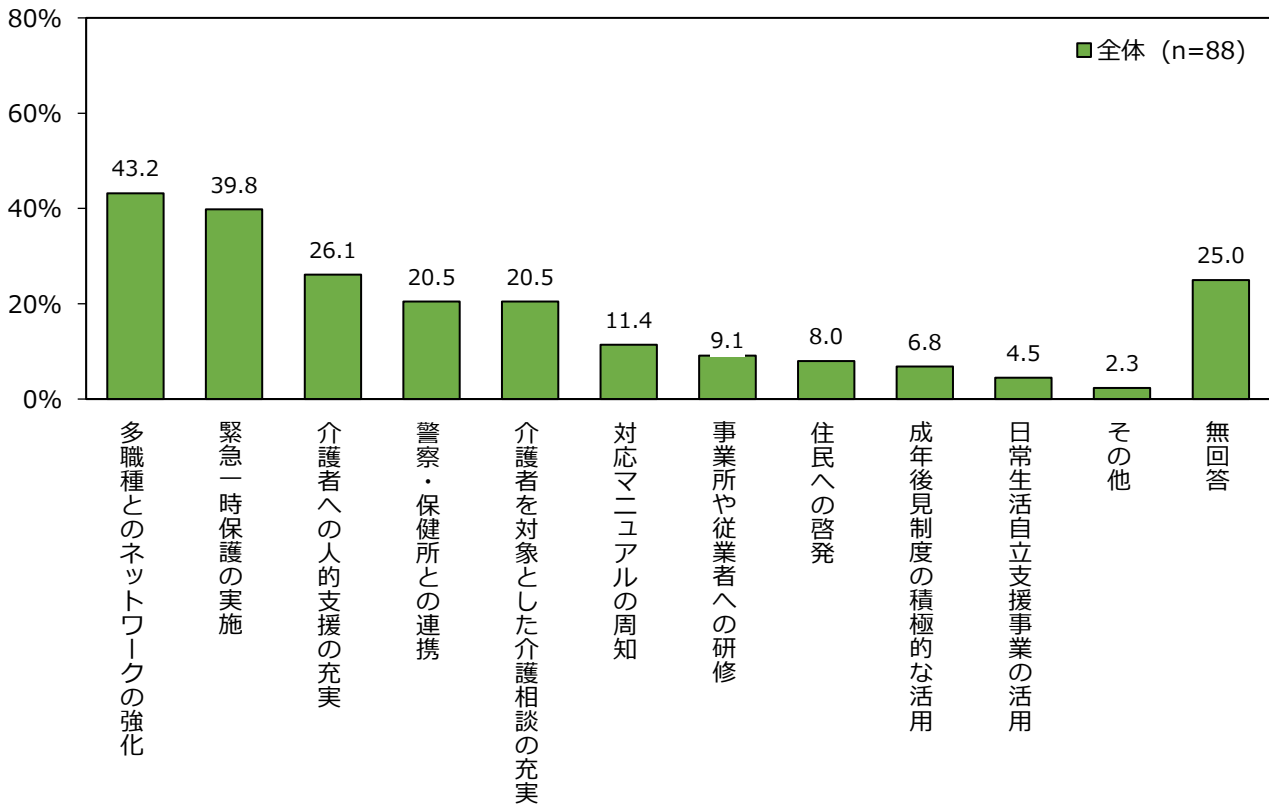


### 5-3 高齢者虐待の対応として必要なこと

問20 高齢者虐待の対応としてどのようなことが必要だと思われますか。(〇は3つまで)

◆ 「多職種とのネットワークの強化」、「緊急一時保護の実施」が約4割

高齢者虐待の対応として必要な制度や仕組みについて、「多職種とのネットワークの強化」が43.2%で最も多く、次いで「緊急一時保護の実施」が39.8%、「介護者への人的支援の充実」が26.1%、「警察・保健所との連携」と「介護者を対象とした介護相談の充実」が20.5%となっています。



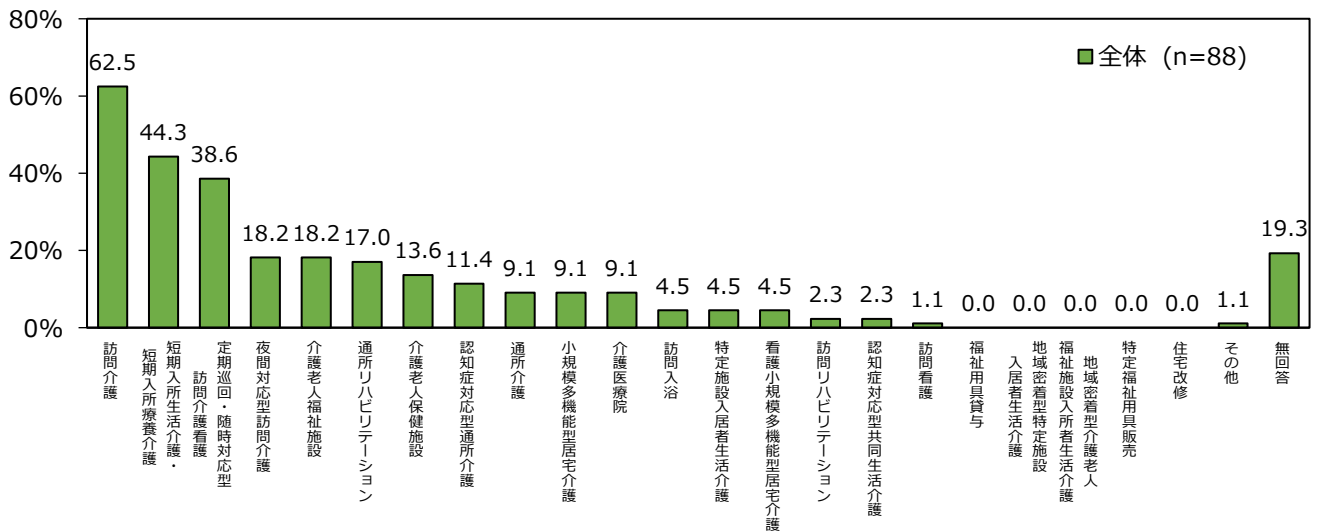
## 6) 高齢者施策について

### 6-1 介護保険サービスの中で供給が不足しているサービス

問21 介護保険サービスの中で、供給が不足していると思われるサービスは何ですか。  
(〇は5つまで)

#### ◆ 「訪問介護」が約6割

供給が不足していると思われるサービスについて、「訪問介護」が62.5%で最も多く、次いで「短期入所生活介護・短期入所療養介護」が44.3%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が38.6%となっています。



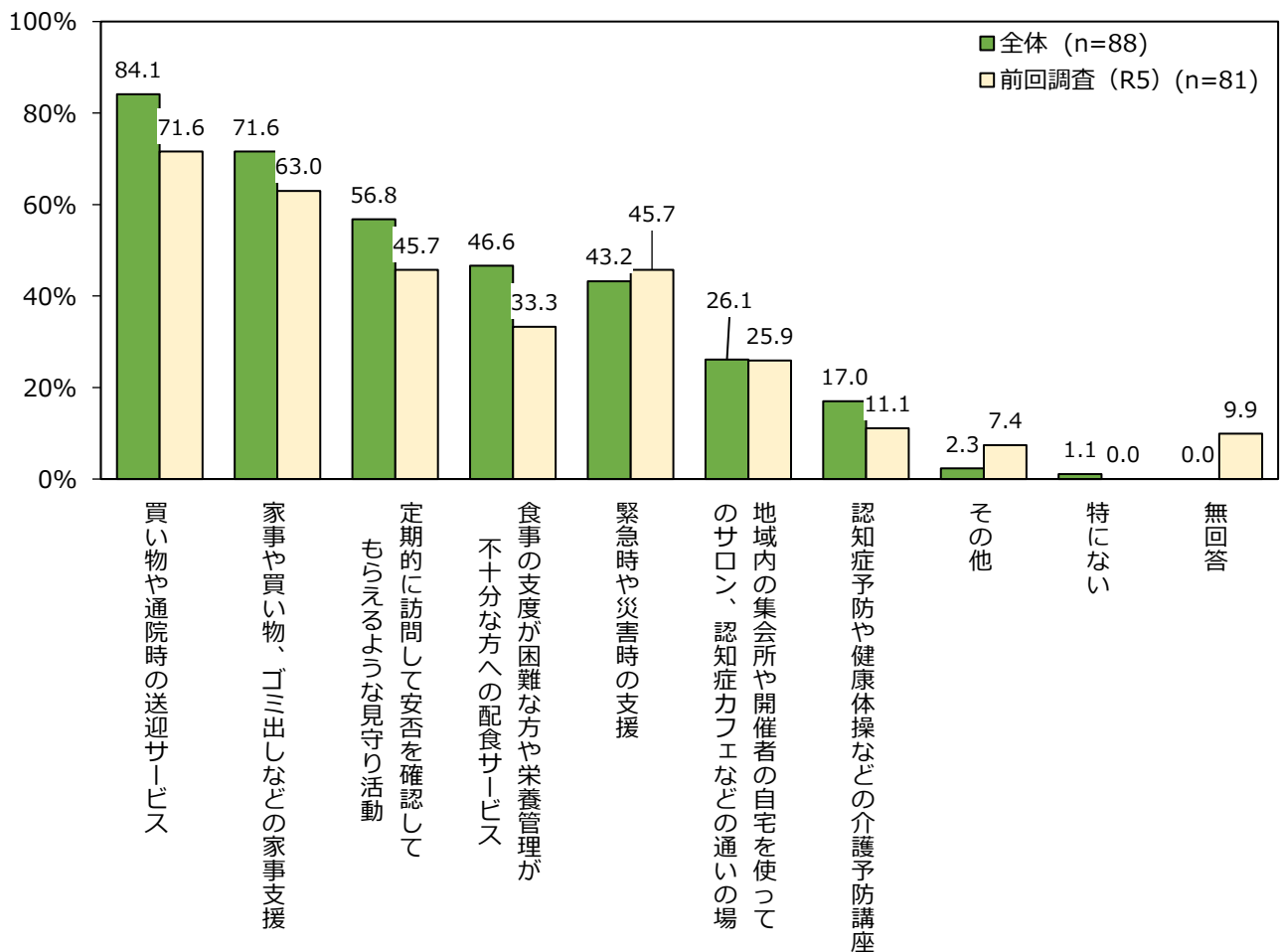
	訪問介護	短期入所生活介護・短期入所療養介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	介護老人福祉施設	通所リハビリテーション	介護老人保健施設	認知症対応型通所介護	通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護医療院	訪問入浴			
全体 (n=88)	62.5	44.3	38.6	18.2	18.2	17.0	13.6	11.4	9.1	9.1	9.1	4.5			
前回調査 (R5) (n=81)	64.2	33.3	32.1	30.9	18.5	23.5	11.1	23.5	7.4	14.8	13.6	14.8			
	特定施設入居者生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	訪問リハビリテーション	介護	認知症対応型共同生活介護	訪問看護	福祉用具貸与	入居者生活介護	地域密着型特定施設	福祉施設入所者生活介護	地域密着型介護老人	特定福祉用具販売	住宅改修	その他	無回答
全体 (n=88)	4.5	4.5	2.3	2.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	19.3
前回調査 (R5) (n=81)	2.5	3.7	8.6	8.6	3.7	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	3.7	6.2	0.0	0.0	0.0

## 6-2 地域の中で活性化を期待するインフォーマルサービス

問22 地域の中で活性化を期待するインフォーマルサービス（家族や友人、地域住民、ボランティアなどによる介護保険制度に基づかないサービスや支援）はありますか。（〇はいくつでも）

### ◆ 「買い物や通院時の送迎サービス」が8割

地域の中で活性化を期待するインフォーマルサービスについて、「買い物や通院時の送迎サービス」が84.1%で最も多く、次いで「家事や買い物、ゴミ出しなどの家事支援」が71.6%、「定期的に訪問して安否を確認してもらえるような見守り活動」が56.8%、「食事の支度が困難な方や栄養管理が不十分な方への配食サービス」が46.6%、「緊急時や災害時の支援」が43.2%となっています。

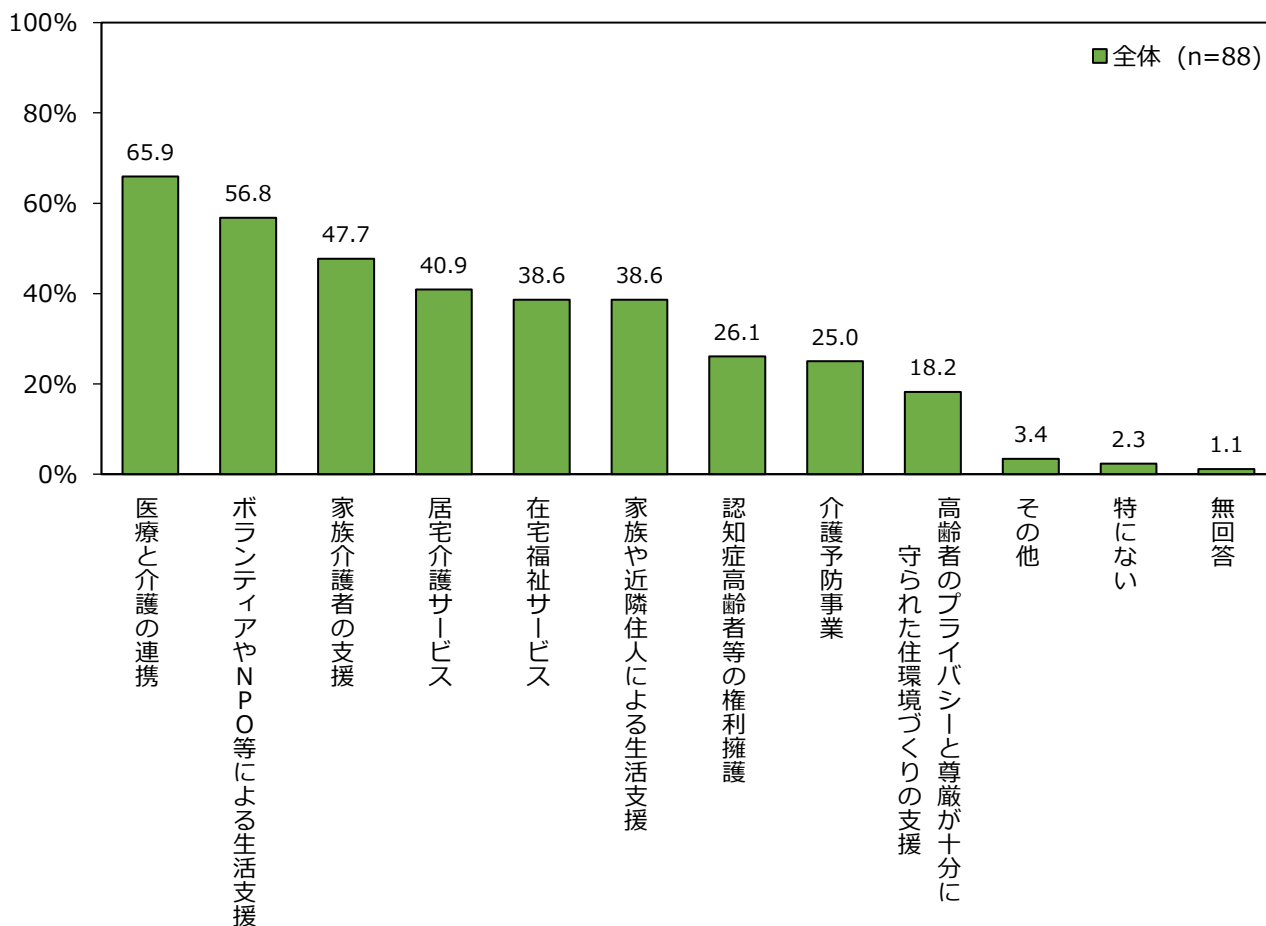


## 6-3 あま市において地域包括ケアシステムを推進するために必要なこと

問23 地域包括ケアシステムの推進にあたり、どのような取組を行うことが重要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

## ◆ 「医療と介護の連携」が約7割

地域包括ケアシステムの推進にあたり重要な取組について、「医療と介護の連携」が65.9%で最も多く、次いで「ボランティアやNPO等による生活支援」が56.8%、「家族介護者の支援」が47.7%、「居宅介護サービス」が40.9%、「在宅福祉サービス」と「家族や近隣住人による生活支援」が38.6%となっています。



# V 調查票



V 調査票

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

はじめに

問1 調査票をご記入いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

- 1. ご本人
- 2. ご家族
- 3. その他 ( )

問2 お住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)

- 1. 七宝地区
- 2. 美和地区
- 3. 基目寺地区

【各地区の住所表示については下記のとおりです。】

地区名	住所
七宝地区	沖之島、遠島、安松、秋竹、桂、下田、川部、伊福、下之森、徳実、鷹屋、鯉橋
美和地区	二ツ寺、東清口、花正、花長、木折、富塚、古道、益岩、木田、森山、中藤、丹波、峰須原、北刈、篠田、小橋方、乙之子
基目寺地区	基目寺、本郷、板敷、下菅津、中菅津、上菅津、栄、西今宿、森、方領、石作、小領、新居屋

問3 ご本人の年齢は何歳ですか。(〇は1つ)

- 1. 65～69歳
- 2. 70～74歳
- 3. 75～79歳
- 4. 80～84歳
- 5. 85～89歳
- 6. 90歳以上

問4 ご本人の性別についてお教えください。(〇は1つ)

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. 回答しない

あなたのご家族や生活状況について

問5 家族構成をお教えください。(〇は1つ)

- 1. 1人暮らし
- 2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- 3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
- 4. 息子・娘との2世帯
- 5. その他 ( )

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

- 1. 介護・介助は必要ない ⇒ 問7A
- 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ 問6-1A
- 3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) ⇒ 問6-1～問6-2A

あま市

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に関する実態調査

～ご協力をお願いします～

日頃から、あま市の福祉行政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。本市では、「あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者福祉事業の計画的な推進に努めています。

現在、令和9年3月を目途に計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、市民の皆様のご意見をお伺いする実態調査を実施することといたしました。

対象となられる方を、令和7年12月1日現在、65歳以上(要介護認定者を除く)の方の中から3,000人を無作為に選ばせていただきました。

この実態調査の結果につきましては、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、ご多用のところ誠に恐れいたしますが、調査の目的、趣旨をご理解いただきましてご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、この実態調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、本市による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。

ただし、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

令和7年12月 あま市長 村上 浩司

ご記入にあたって

- 1 調査票の「ご本人」は、宛名の方を指します。また、調査票はご本人またはご家族の方が記入してください。  
\*質問数が多いため、ご家族の方等のご協力をお願いいたします。
- 2 選択肢がある場合は、あてはまる番号を○印で囲んでください。  
その他の場合は、具体的内容を記述してください。
- 3 鉛筆またはボールペンで記入してください。なお、インクが消えるボールペンの使用は控えください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、令和8年1月9日(金)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、投函してください。
- 5 回答に際してご不明な点やこの調査についてのお問い合わせは下記へお願いいたします。

あま市福祉部高齢福祉課  
〒497-8602 愛知県あま市七宝町沖之島深坪1番地  
電話 052(444)3141

(開庁時間 8:30～17:15 土・日・祝日を除く)

※令和8年1月5日(月)から開庁時間が9:00～16:00に変わります。

問6で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方にお聞きします。

問6-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血、脳梗塞等) | 2. 心臓病              |
| 3. がん (悪性新生物)     | 4. 呼吸器の病気 (肺炎腫、肺炎等) |
| 5. 関節の病気 (リウマチ等)  | 6. 認知症 (アルツハイマー病等)  |
| 7. パーキンソン病        | 8. 糖尿病              |
| 9. 胃疾患 (透折)       | 10. 視覚・聴覚障がい        |
| 11. 骨折、転倒         | 12. 骨格損傷            |
| 13. 高齢による衰弱       | 14. その他 ( )         |
| 15. 不明            |                     |

問6で「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方にお聞きします。

問6-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

- |                |            |          |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者 (夫・妻)   | 2. 息子      | 3. 娘     |
| 4. 子の配偶者       | 5. 孫       | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 ( ) |          |

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

- |             |             |       |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい    | 2. やや苦しい    | 3. ふう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある |       |

問8 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 持家 (一戸建て)     | 2. 持家 (集合住宅)     |
| 3. 公営賃貸住宅        | 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て) |
| 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅) | 6. 借家            |
| 7. その他 ( )       |                  |

からだを動かすことについて

問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(〇は1つ)

- |              |              |         |
|--------------|--------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしてない | 3. できない |
|--------------|--------------|---------|

問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(〇は1つ)

- |              |              |         |
|--------------|--------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしてない | 3. できない |
|--------------|--------------|---------|

問11 15分位続けて歩いていますか。(〇は1つ)

- |              |              |         |
|--------------|--------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしてない | 3. できない |
|--------------|--------------|---------|

問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇は1つ)

- |          |         |       |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問13 転倒に対する不安は大きいですか。(〇は1つ)

- |             |            |             |          |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |
|-------------|------------|-------------|----------|

問14 週に1回以上外出していますか。(〇は1つ)

- |              |        |          |          |
|--------------|--------|----------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 | 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |
|--------------|--------|----------|----------|

問15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

- |             |          |              |           |
|-------------|----------|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている | 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |
|-------------|----------|--------------|-----------|

問16 外出を控えていますか。(〇は1つ)

- |       |               |
|-------|---------------|
| 1. はい | 2. いいえ ⇒ 問17へ |
|-------|---------------|

問16で「1.はい」とお答えの方にお聞きします。

問16-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 病気               | 2. 臆がい (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み          | 4. トイレの心配 (失禁など)   |
| 5. 耳の障がい (聞こえの問題など) | 6. 目の障がい           |
| 7. 外での楽しみがない        | 8. 経済的に出られない       |
| 9. 交通手段がない          | 10. その他 ( )        |

問17 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                 |                   |          |
|-----------------|-------------------|----------|
| 1. 徒歩           | 2. 自転車            | 3. バイク   |
| 4. 自動車 (自分で運転)  | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車    |
| 7. 路線バス         | 8. 病院や施設のバス       | 9. 車いす   |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー    | 12. タクシー |
| 13. その他 ( )     |                   |          |

食べることについて

- 問18 身長と体重をお書きください。  
 身長 ( ) cm      体重 ( ) kg
- 問19 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問20 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問21 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問22 歯磨き（人によってもらう場合も含む）を毎日していますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問23 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。(○は1つ)  
 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用      2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用      4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- 問23-1 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問23で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの列にお願します。
- 問23-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問24 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問25 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)  
 1. 毎日ある      2. 週に何度かある  
 3. 月に何度かある      4. 年に何度かある  
 5. ほとんどない

5

毎日の生活について

- 問26 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問27 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問28 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問29 バスや電車を一人で外出していますか（自家用車でも可）。(○は1つ)  
 1. できるし、している      2. できるけどしていない      3. できない
- 問30 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)  
 1. できるし、している      2. できるけどしていない      3. できない
- 問31 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)  
 1. できるし、している      2. できるけどしていない      3. できない
- 問32 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)  
 1. できるし、している      2. できるけどしていない      3. できない
- 問33 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)  
 1. できるし、している      2. できるけどしていない      3. できない
- 問34 年金などの書類（後所や病院などに出す書類）が書けますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問35 新聞を読んでいますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問36 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ
- 問37 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)  
 1. はい      2. いいえ

6

地域での活動について

問45 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。

※(1)～(8)をそれぞれに回答してください。

項 目	週4回 以上	週2 ～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
(1) ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
(2) スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
(3) 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
(4) 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
(5) 介護予防のための通いの場 (ふれあい・いきいきサロン)	1	2	3	4	5	6
(6) 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
(7) 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
(8) 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問46 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。  
(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

就労について

問48 現在のあなたの就労状態はどれですか。(○はいくつでも)

1. 職に就いたことがない 2. 引退した ⇒ 問48-1、問48-2へ  
3. 常勤(フルタイム) 4. 非常勤(パート・アルバイト等)  
5. 自営業 6. 求職中  
7. その他( )

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問38 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問39 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問40 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問41 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問42 趣味はありますか。(「1. 趣味あり」の方は( )内に趣味を具体的に記入してください)  
(○は1つ)

1. 趣味あり ⇒ ( )  
2. 思いつかない

問43 生きがいがありますか。(「1. 生きがいあり」の方は( )内に生きがいを具体的に記入してください)  
(○は1つ)

1. 生きがいあり ⇒ ( )  
2. 思いつかない

問44 携帯電話やスマートフォンを使用していますか。(○は1つ)

1. 携帯電話を使用している 2. スマートフォンを使用している  
3. 使用していない ⇒ 問45へ

問44で「1. 携帯電話を使用している」または「2. スマートフォンを使用している」とお答えの方にお聞きします。

問44-1 携帯電話やスマートフォンはどのように使用していますか。(○はいくつでも)

1. 音声通話 2. ビデオ通話  
3. メール 4. SNS(LINE・インスタグラム等)  
5. ウェブサイト閲覧(天気・ニュース等) 6. インターネット通販  
7. 動画視聴 8. 動画配信  
9. オンライン手続き(各種申請・確定申告等) 10. その他( )

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問48で「2. 引退した」とお答えの方にお聞きします。

問48-1 あなたはいつ引退しましたか。(○は1つ、数値を記入)

1. 昭和( )年 2. 平成( )年 3. 令和( )年

問48-2 今後、就労の機会があったらどうしたいですか。(○はひとつ)

1. 常勤(フルタイム)で働きたい 2. 非常勤(パート・アルバイト等)で働きたい  
3. 働かない 4. 働きたいが働ける環境・状態にない  
5. その他( )

たすけあいについて

問49 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお聞きします。あてはまる人すべてに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。(それぞれ○はいくつでも)

項目	配偶者	同居のこども	別居のこども	親戚・弟妹・親・孫	近隣	友人	その他	その はい ない 人
(1) あなたの心配事や 感傷を聞いてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
(2) 反対に、あなたが 心配事や感傷を聞いてあげる人	1	2	3	4	5	6	7	8
(3) あなたが病気で教 日問渡込んだとき に、看病や世話を してくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
(4) 反対に、看病や世 話をしてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8

問50 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員  
3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師  
5. 地域包括支援センター・役所 6. その他( )  
7. そのような人はいない

問51 友人関係についてお聞きします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある  
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度か会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

1. 0人(いない) 2. 1~2人 3. 3~5人  
4. 6~9人 5. 10人以上

(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ  
3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚  
5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人  
7. その他( ) 8. いない

問52 家族や友人・知人など、地域で手伝ってもらったら、たすかかと思うことはありますか。(○は3つまで)

1. 外出の際の移動 2. 買い物  
3. コミ出し 4. 家具の移動  
5. 庭の手入れ 6. 掃除・洗濯  
7. 調理 8. 家電・パソコン・スマートフォン等の扱い  
9. 通院などの付き添い 10. 急病など緊急時の手助け  
11. 災害時の手助け 12. 見守り、声かけ  
13. その他( )  
14. 特になし

健康について

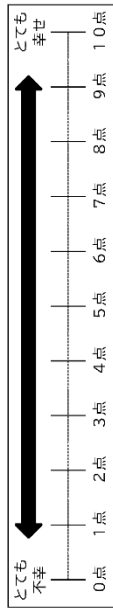
問53 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい  
3. あまりよくない 4. よくない

問54 健康を維持するために運動はしていますか。(○は1つ)

1. ほほ毎日している 2. 時々運動している  
3. ほとんど運動しない 4. その他( )

問55 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。（〇は1つ）



問56 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（〇は1つ）

1. はい  
2. いいえ

問57 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（〇は1つ）

1. はい  
2. いいえ

問58 お酒は飲みますか。（〇は1つ）

1. ほぼ毎日飲む  
2. 時々飲む  
3. ほとんど飲まない  
4. もともと飲まない

問59 タバコは吸っていますか。（〇は1つ）

1. ほぼ毎日吸っている  
2. 時々吸っている  
3. 吸っていたがやめた  
4. もともと吸っていない

問60 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。（〇はいくつでも）

1. ない  
2. 高血圧  
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）  
4. 心臓病  
5. 糖尿病  
6. 高脂血症（脂質異常）  
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）  
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
9. 腎臓・前立腺の病気  
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）  
11. 外傷（転倒・骨折等）  
12. がん（悪性新生物）  
13. 血液・免疫の病気  
14. うつ病  
15. 認知症（アルツハイマー病等）  
16. パーキンソン病  
17. 目の病気  
18. 耳の病気  
19. その他（ ）

問61 フレイル（健康な状態から要介護へ移行する中間の段階を意味する）を知っていますか。（〇は1つ）

1. 知っている  
2. 聞いたことはある  
3. 知らない

問62 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。（〇はいくつでも）

1. かかりつけ医がいる  
2. かかりつけ歯科医がいる  
3. かかりつけ薬剤師がいる  
4. かかりつけはいない  
5. わからない

認知症について

問63 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（〇は1つ）

1. はい  
2. いいえ ⇒ 問64へ

問63で「1. はい」とお答えの方にお聞きします。

問63-1 認知症専門医のいる医療機関を教えてください。（〇は1つ）

1. はい  
2. いいえ ⇒ 問64へ

問63-1で「1. はい」とお答えの方にお聞きします。

問63-2 認知症を疑ってから、認知症専門医のいる医療機関を受診するまでに、どのくらいの期間がかりましたか。（〇は1つ）

1. 1か月未満  
2. 1か月以上～3か月未満  
3. 3か月以上～1年未満  
4. 1年以上～2年未満  
5. 2年以上

問64 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（〇は1つ）

1. はい  
2. いいえ ⇒ 問65へ

問64で「1. はい」とお答えの方にお聞きします。

問64-1 知っている相談窓口はどれですか（〇はいくつでも）

1. 地域包括支援センター  
2. 認知症初期集中支援チーム  
3. 認知症疾患医療センター  
4. 認知症サポート医  
5. 愛知県若年性認知症総合支援センター  
6. 若年性認知症コールセンター  
7. 愛知県認知症電話相談  
8. ふれあいカフェ（認知症カフェ）  
9. その他（ ）

問64-2 利用したことがある相談窓口はどれですか。(〇はいくつでも)

- 1. 地域包括支援センター
- 2. 認知症初期集中支援チーム
- 3. 認知症疾患医療センター
- 4. 認知症サポート医
- 5. 愛知県若年性認知症総合支援センター
- 6. 若年性認知症コールセンター
- 7. 愛知県認知症電話相談
- 8. ふれあいカフェ (認知症カフェ)
- 9. その他 ( )
- 10. 相談窓口を利用したことはない

問65 市では認知症に関する様々な取組を行っています。市が行っている取組の中で知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. ふれあいケアパス
- 2. 認知症月間 (9月) の啓発
- 3. 認知症講演会
- 4. 認知症サポーター養成講座
- 5. 認知症予防の出前講座
- 6. 認知症初期集中支援チーム
- 7. ふれあいカフェ (認知症カフェ)
- 8. ふれあい青空カフェ
- 9. 介護者のつどい
- 10. チームオレレンジ
- 11. 認知症高齢者等家族支援サービス (GPS)
- 12. 認知症高齢者等SOSネットワーク (見守りステッカー)
- 13. その他 ( )
- 14. 知っているものはない ⇒ 問66A

問65で「14. 知っているものはない」とお答えの方以外の方にお聞きします。

問65-1 市が行っている取組の中で参加 (利用) したことがあるものは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. ふれあいケアパス
- 2. 認知症月間 (9月) の啓発
- 3. 認知症講演会
- 4. 認知症サポーター養成講座
- 5. 認知症予防の出前講座
- 6. 認知症初期集中支援チーム
- 7. ふれあいカフェ (認知症カフェ)
- 8. ふれあい青空カフェ
- 9. 介護者のつどい
- 10. チームオレレンジ
- 11. 認知症高齢者等家族支援サービス (GPS)
- 12. 認知症高齢者等SOSネットワーク (見守りステッカー)
- 13. その他 ( )
- 14. 参加 (利用) したものはない

ACPIについて

問66 ACP (アドバンスド・ケア・プランニング) を知っていますか。(〇は1つ)

【ACP (アドバンスド・ケア・プランニング)】  
人生会議とも呼ばれ、もしもの時に望む医療やケアについて、前もって考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者と繰り返し話し合い、共有することです。

- 1. 知っている
- 2. 聞いたことはある
- 3. 知らない

問67 人生の最期を迎える場所について、お考えに最も近いものはどこですか。(〇は1つ)

- 1. 自宅
- 2. 病院
- 3. 介護施設
- 4. その他 ( )

介護予防施設および高齢者福祉施設について

問68 地域包括支援センターを知っていますか。(〇は1つ)

【地域包括支援センター】  
高齢者やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援するための身近な総合窓口です。

- 1. 事業内容まで知っている ⇒ 問68-1A
- 2. 名前だけは知っている ⇒ 問69A
- 3. 知らない

問68で「1. 事業内容まで知っている」とお答えの方にお聞きします。  
問68-1 地域包括支援センターでは、様々な事業を行っています。地域包括支援センターが行っている事業の中で、知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 高齢者宅への訪問等による実地調査
- 2. 高齢者の一般的な相談
- 3. 認知症の相談
- 4. 病院や施設の入退院 (所) に関する相談
- 5. 介護予防の普及啓発
- 6. 介護予防のためのケアプランの作成
- 7. 高齢者虐待、消費者被害の防止
- 8. 成年後見制度の周知と利用
- 9. 介護支援専門員への指導・助言
- 10. 地域における様々な関係者とのネットワークづくり
- 11. その他 ( )

問69 介護予防（できるだけ介護が必要が状態にならないようにする）のための教室等に関心がありますか。（○は1つ）

1. 関心があり参加したことがある ⇒ 問70へ  
2. 関心はあるが参加したことはない  
3. 関心はない

問69で「2. 関心はあるが参加したことはない」または「3. 関心はない」とお答えの方にお聞きします。

問69-1 それはなぜですか。（○はいくつでも）

1. どこで、どのような教室やトレーニングがあるのか知らないから  
2. 参加の方法がよくわからないから  
3. 一緒に参加する友人や仲間がないから  
4. 時間的に余裕がないから  
5. 経済的に余裕がないから  
6. 場所が遠くて、交通手段がないから  
7. 健康・体力に自信がないから  
8. 参加したいものがないから  
9. その他（ ）

問70 どのような介護予防の事業であれば参加したいと思えますか。（○はいくつでも）

1. 筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための運動  
2. 仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室  
3. 食生活についての講義や、調理実習などの栄養教室  
4. 口腔機能向上を目的とする講義や、口回りを動かす体操やゲーム  
5. 近所の人同士で会話やレクリエーションを行う交流会  
6. その他（ ）

問71 あま市の高齢者施策に関して、どのようなことを望みますか。（○は3つまで）

1. できるだけ介護が必要な状態にならないための介護予防事業の充実（介護予防教室はつらつクラブなど）  
2. 高齢者の生きがいや趣味などの活動機会の充実（シルバーカレッジ、生涯学習講座など）  
3. 高齢者の就労の支援（シルバー人材センター、ハローワーク高齢者向け職業紹介など）  
4. 高齢者向け住宅の整備（サービス付き高齢者向け住宅、高齢者向け優良賃貸住宅など）  
5. 生活上の問題や介護の問題などの相談体制の充実（認知症高齢者等SOSネットワーク事業など）  
6. 地域全体で高齢者を見守る基盤づくりの強化（認知症高齢者等SOSネットワーク事業など）  
7. 保健、医療、福祉、介護に関する情報提供の充実（広報あま、市公式LINEなど）  
8. かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制の充実（在宅医療・介護連携支援センターなど）  
9. 訪問指導、相談などの健康づくりの充実（特定保健指導、介護予防リーダー養成講座など）  
10. 健康診査、がん検診などの機会の充実（特定健診、後期高齢者健診、がん検診など）  
11. ボランティア活動などへの参加機会の充実（ボランティアセンター、老人クラブなど）  
12. 高齢者を保護する権利擁護などへの取組の充実（虐待防止、成年後見制度など）  
13. 高齢者が移動しやすい交通手段の利便性の向上（市巡回バス、福祉有償運送など）  
14. 道路の段差の解消など、活動しやすいまちづくり（歩道・公共施設のバリアフリー化など）  
15. 現在実施している高齢者在宅福祉サービスの継続および拡充（補聴器購入費助成など）  
16. その他（ ）  
17. 特になし

問72 高齢者の福祉・介護について、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

## 2 在宅介護実態調査

在宅介護実態調査

### あま市 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に関する実態調査

～ご協力をお願いします～

日頃から、あま市の福祉行政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本市では、「あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとし  
た高齢者福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和9年3月を目途に計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、市民の皆様  
のご意見をお伺いする実態調査を実施することといたしました。

対象となられる方を、令和7年12月1日現在、要介護認定を受けている方の中から1,0  
00人を無作為に選ばせていただきました。

この実態調査の結果につきましては、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を検討する  
際の重要な基礎資料とさせていただきますので、ご多用のところ誠に恐れますが、調査の  
目的、趣旨をご理解いただきましてご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、この実態調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。  
本調査で得られた情報につきましては、本市による介護保険事業計画策定と効果評価の目的  
以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。

ただし、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析す  
るなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

令和7年12月 あま市長 村上 浩司

#### ご記入にあたって

1 調査票の「ご本人」は、宛名の方を指します。また、調査票はご本人またはご家族の方等  
が記入してください。

\*質問数が多いため、ご家族の方等のご協力をお願いいたします。

2 選択肢がある場合は、あてはまる番号を○印で囲んでください。

その他の場合は、具体的内容を記述してください。

3 鉛筆またはボールペンで記入してください。なお、インクが消えるボールペンの使用はお  
控えください。

4 ご記入いただいた調査票は、**令和8年1月9日(金)まで**に同封の返信用封筒(切手不  
要)に入れ、投函してください。

5 回答に際してご不明な点やこの調査についてのお問い合わせは下記へお願いいたします。

あま市福祉部高齢福祉課

〒497-8602 愛知県あま市七宝町沖之島深坪1番地

電話 052(444)3141

(開庁時間 8:30～17:15 土・日・祝日を除く)

※令和8年1月5日(月)から開庁時間が9:00～16:00に変わります。

#### 調査票対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○はいくつでも)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人       | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他( )           |

問2 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満  | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 | 4. 75～79歳 |
| 5. 80～84歳 | 6. 85～89歳 | 7. 90歳以上  |           |

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| 1. 要介護1 | 2. 要介護2 | 3. 要介護3  |
| 4. 要介護4 | 5. 要介護5 | 6. わからない |

問6 お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| 1. 七宝地区 | 2. 美和地区 | 3. 基目寺地区 |
|---------|---------|----------|

【各地区の住所表示については下記のとおりです。】

地区名	住所
七宝地区	沖之島、遠島、安松、秋竹、桂、下田、川部、伊福、下之森、徳美、鷹居、鯉橋 二ツ寺、東浦口、花正、花長、木折、富塚、古道、金岩、木田、森山、中橋、 丹波、蜂須磨、北辺、篠田、小幡方、乙之子
美和地区	基目寺、本郷、坂牧、下萱津、中萱津、土萱津、柴、西今宿、森、方領、石作、 小原、新居屋
基目寺地区	

問7 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 入所・入居は検討していない  
2. 入所・入居を検討している  
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別介護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別介護老人ホームを指します。

問8 ご本人(認定調整対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(○はい/つても)

1. 脳血管疾患 (脳卒中)
2. 心疾患 (心臓病)
3. 悪性新生物 (がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患 (透析)
6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、骨柱管狭窄症等)
7. 膠原病 (関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病 (パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他 ( )
15. なし
16. わからない

問9 令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

1. 利用した ⇒ 問9-1△  
2. 利用していない ⇒ 問9-2△

問9で「1. 利用した」とお答えの方にお伺いします。

問9-1 以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください。(それぞれ1つに○)

項目	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E. 通所介護 (デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
G. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

項目	利用の有無(1つに○)	
	H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

項目	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用して いない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～ 21日程度	月22日 以上
K. ショートステイ	0日	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上

項目	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
L. 居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回

問9で「2. 利用していない」とお答えの方にお伺いします。  
問9-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたが手続きや利用方法が分からない
9. その他 ( )

ここから再び、すべての方にお伺いします。

問10 今後、新たに利用できたら良いと思う介護保険サービスはありますか。(〇は3つまで)

1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護 (デイサービス)
6. 通所リハビリテーション (デイケア)
7. 居宅療養管理指導
8. 短期入所生活介護・短期入所療養介護 (ショートステイ)
9. 福祉用具貸与・購入費支給
10. 住宅改修費支給
11. 介護老人福祉施設 (特養) やグループホームなどの介護保険施設
12. 待っていない (いいままでおとりよい)

問11 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。  
(〇はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 ( )
11. 利用していない

5

問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 ( )
11. 特になし

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

問13 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(〇は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問料診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問14 介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に入力してほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 要介護認定のための訪問調査の方法や質の向上
2. 選択できるサービス提供事業者の充実
3. 介護保険制度の対象とならない市独自のサービスの提供
4. ケアマネジャーの質の向上
5. サービス提供事業者の質を高めるための指導の充実
6. ケアマネジャーやサービス提供事業者に関する情報提供の充実
7. 苦情相談窓口対応の充実
8. 介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実
9. 認知症の高齢者などの権利を守るための制度の充実
10. 低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の見直しなどによる保険料の設定
11. 介護予防や要介護の進行防止のための健康づくり事業・保健事業の充実
12. 家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実
13. 介護している家族向けの健康づくりのための教室や相談機会の充実
14. その他 ( )

問15 地域包括支援センターを知っていますか。(〇は1つ)

1. 地域包括支援センターを知っています。(〇は1つ)
2. 名前だけは知っている
3. 知らない

【地域包括支援センター】  
高齢者やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援するための身近な総合相談窓口です。

1. 事業内容まで知っている ⇒問15-1へ
2. 名前だけは知っている } 問16へ
3. 知らない

6

問15で「1. 事業内容まで知っている」とお答えの方にお聞きします。

問15-1 地域包括支援センターでは、様々な事業を行っています。地域包括支援センターが行っている事業の中で、知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 高齢者宅への訪問等による業務調査         | 2. 高齢者の一般的な相談         |
| 3. 認知症の相談                   | 4. 病院や施設の入退院(併)に関する相談 |
| 5. 介護予防の普及啓発                | 6. 介護予防のためのケアプランの作成   |
| 7. 高齢者虐待、消費者被害の防止           | 8. 成年後見制度の周知と利用       |
| 9. 介護支援専門員への指導・助言           |                       |
| 10. 地域における様々な関係者とのネットワークづくり |                       |
| 11. その他 ( )                 |                       |

問16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していないこともや親族等からの介護を含む)。(〇は1つ)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. ない ⇒ 問29A               |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない |
| 3. 週に1~2日ある                |
| 4. 週に3~4日ある                |
| 5. ほぼ毎日ある                  |

問17A

● 問16で「2」~「5」を選択された場合は、「主な介護者」の方に問17以降のご回答・ご記入をお願いします。

● 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人がご回答・ご記入をお願いします(ご本人のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

主な介護者の方について、お聞きします

問17 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(〇はいくつでも)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)            |
| 2. 主な介護者が仕事以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した                    |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した            |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない         |
| 6. わからない                         |

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

7

問18 主な介護者の方は、どなたですか。(〇は1つ)

- |        |          |            |
|--------|----------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子     | 3. 子の配偶者   |
| 4. 孫   | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 ( ) |

問19 主な介護者の方の他に、ご本人を介護されている方はどなたですか。(〇はいくつでも)

- |        |          |            |
|--------|----------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子     | 3. 子の配偶者   |
| 4. 孫   | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 ( ) |
| 7. いない |          |            |

問20 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問21 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代   | 3. 30代   |
| 4. 40代   | 5. 50代   | 6. 60代   |
| 7. 70代   | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問22 ご本人に対しては、どのくらい介護を続けていますか。(〇は1つ)

- |              |               |              |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 1年未満      | 2. 1年以上~3年未満  | 3. 3年以上~5年未満 |
| 4. 5年以上~8年未満 | 5. 8年以上~10年未満 | 6. 10年以上     |

問23 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 【身体介護】                  |                        |
| 1. 日中の排泄                | 2. 夜間の排泄               |
| 3. 食事の介助(食べる時)          | 4. 入浴・洗身               |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)       | 6. 衣服の着脱               |
| 7. 室内の移乗・移動             | 8. 外出の付き添い、送迎等         |
| 9. 服薬                   | 10. 認知症状態への対応          |
| 11. 医術面での対応(経営栄養、ストーマ等) |                        |
| 【生活援助】                  |                        |
| 12. 食事の準備(調理等)          | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き    |                        |
| 【その他】                   |                        |
| 15. その他 ( )             | 16. わからない              |

8

問24 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（〇は3つまで）

【身体介護】	2. 夜間の排泄
1. 日中の排泄	4. 入浴・洗身
3. 食事の介助（食べる時）	6. 衣服の着脱
5. 身だしなみ（洗髪・歯磨き等）	8. 外出の付き添い、送迎等
7. 屋内の移乗・移動	10. 認知症状への対応
9. 服薬	11. 医療面での対応（経営者、ストマー等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	
【生活援助】	
12. 食事の準備（調理等）	
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
【その他】	16. 不安に感じていることは、特になし
15. その他（ ）	17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問25 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（〇は1つ）

1. フルタイムで働いている	<b>問26～問28へ</b>
2. パートタイム*で働いている	
3. 働いていない	<b>問29へ</b>
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	

\*「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を指します。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

これから先、問25で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」とお答えの方にお伺いします。

問26 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、運出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（生体や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問27 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他（ ）
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問28 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（〇は1つ）

1. 問題なく、続けていける	2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい	4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない	

問29 高齢者の福祉・介護について、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

--

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

### 3 介護支援専門員調査

#### はじめに

～事業所の方針や状況等に関わらず、あなた自身のことについてお答えください～  
(以降の設問すべて)

問1 勤務形態は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

1. 専従 (常勤)      2. 専従 (非常勤)      3. 兼務 (常勤)      4. 兼務 (非常勤)

問2 年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 20代      2. 30代      3. 40代      4. 50代  
5. 60代      6. 70代      7. 80歳以上

問3 介護支援専門員としての経験年数をお答えください。(○は1つ)

1. 1年未満      2. 1年以上～3年未満      3. 3年以上～5年未満  
4. 5年以上～10年未満      5. 10年以上

問4 次の資格の中でどれをお持ちですか。(○はいくつでも)

1. 看護師、准看護師      2. 保健師      3. 介護福祉士  
4. 社会福祉士      5. 理学療法士      6. 作業療法士  
7. 歯科衛生士      8. 柔道整復師      9. 管理栄養士、栄養士  
10. その他 ( )

問5 主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。(○は1つ)

1. 持っている      2. 持っていない

問6 介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要と考えますか。(○はいくつでも)

1. 地域包括支援センターの介護支援専門員との連携体制の構築支援  
2. 介護支援専門員の役割の明確化  
3. 介護支援専門員の業務を行うための体制づくり  
4. 地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援  
5. 介護予防・自立支援に資するケアマネジメントについての啓発  
6. 介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催  
7. スーパーバイザー等の活動の場の提供  
8. その他 ( )  
9. 特になし

介護支援専門員調査

あま市

#### 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に関する実態調査

～ご協力をお願いします～

日頃から、あま市の福祉行政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本市では、「あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者福祉事業の計画的な推進に努めているところであります。

現在、令和9年3月を目途に計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、日頃より本市の介護保険事業を支えていただいております介護支援専門員の皆様へ介護サービスの実態やお考えなどをお伺いする実態調査を実施することといたしました。

この実態調査の結果は高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、ご多用のところ誠に恐れますが、調査の目的、趣旨をご理解いただきましてご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、この実態調査は無記名であり、統計的に処理し、上記の目的以外には一切使用いたしません。

令和7年12月 あま市長 村上 浩司

#### ご記入にあたって

- 1 選択肢がある場合は、あてはまる番号を○印で囲んでください。  
その他の場合は、具体的内容を記述してください。
- 2 鉛筆またはボールペンで記入してください。なお、インクが消えるボールペンの使用はお控えください。
- 3 ご記入いただいた調査票は、**令和8年1月9日(金)まで**に同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、投函してください。
- 4 回答に際してご不明な点やこの調査についてのお問い合わせは下記人お願いいたします。

あま市福祉部高齢福祉課

〒497-8602 愛知県あま市七宝町沖之島深坪1番地

電話 052(444)3141

(開庁時間 8:30～17:15 土・日・祝日を除く)

※令和8年1月5日(月)から開庁時間が9:00～16:00に変わります。

ケアプランの作成について

問7 令和7年12月1日現在で担当しているケアプランの件数は何件ですか。(実数で記入)

【要支援】

( ) 件 内 あま市民 ( ) 件

【要介護】

( ) 件 内 あま市民 ( ) 件

問8 ケアプランを立てるにあたり、生活機能の状態のほかに、どのようなことに気をつけていますか。(〇は3つまで)

1. 本人の意見を大事にすること  
 2. 家族の意見を大事にすること  
 3. 要介護状態の改善、もしくは悪化の防止  
 4. 生活背景  
 5. サービス利用に係る経済的な負担  
 6. その他 ( )

問9 ケアプランの作成で困ることがありましたか。(〇は1つ)

1. ある  
 2. ない ⇒ 問10へ

問9で「1. ある」とお答えの方にお聞きします。

問9-1 その内容を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 経済的に困窮している  
 2. 医療依存度が高い  
 3. 重I P S D (行動・心理症状) がある  
 4. 本人がすぐに忘れてしまうので、何回も説明が必要である  
 5. 在宅の意思が強いが同居等で在宅に限界がある  
 6. 必要な医療を拒否する  
 7. 必要な介護・福祉サービスを拒否する  
 8. 必要なサービスの供給が不足している  
 9. 家族等が協力的ではなく、キーパーソンがない  
 10. 家族等(介助者)の思いが強すぎて本人の意思が反映できない  
 11. 事業所の方針がケアプランに影響してることがある  
 12. その他 ( )

問10 ケアプランに関して悩んだときなどに、どこに相談しますか。(〇はいくつでも)

1. 地域包括支援センター(社会福祉協議会)  
 2. 市役所  
 3. 国民健康保険団体連合会  
 4. 地域の連絡会・勉強会  
 5. 職場の上司・同僚  
 6. 職場外の介護支援専門員  
 7. 相談していない  
 8. その他 ( )

問11 ケアプランを立てるときに、介護保険サービス以外のサービス(高齢者福祉サービス等)を取り入れることがありますか。(〇は1つ)

1. 積極的に取り入れる ⇒ 問12へ  
 2. 必要があれば取り入れる  
 3. あまり取り入れない ⇒ 問12へ  
 4. 取り入れたことがない ⇒ 問12へ

問11で「1. 積極的に取り入れる」または「2. 必要があれば取り入れる」とお答えの方にお聞きします。

問11-1 具体的にはどのようなサービスですか。(〇はいくつでも)

1. 緊急通報システム  
 2. 認知症高齢者等家族支援サービス(GPS)  
 3. 認知症高齢者等SOSネットワーク(見守りステッカー)  
 4. 配食サービス  
 5. 寝具洗濯乾燥消毒サービス  
 6. 安心支え合いネットワーク(安否確認)  
 7. サロン等の地域との交流  
 8. 日常生活自立支援  
 9. シルバー人材センターによる軽作業  
 10. 移動支援  
 11. その他 ( )

問12 医療機関(主治医)との連携が必要だと思われるケースでは、連携をとっていますか。(〇は1つ)

1. 十分に連携をとっている  
 2. ある程度連携をとっている  
 3. あまり連携をとっていない  
 4. 連携をとっていない  
 5. 連携が必要なケースがない

問13 地域包括支援センターとの連携をとっていますか。(〇は1つ)

1. 十分に連携をとっている ⇒ 問14へ  
 2. ある程度連携をとっている ⇒ 問14へ  
 3. あまり連携をとっていない  
 4. 連携をとっていない  
 5. 連携が必要なケースがない ⇒ 問14へ

問13で「3. あまり連携をとっていない」または「4. 連携をとっていない」とお答えの方にお聞きします。

問13-1 地域包括支援センターと連携をとっていない理由は何ですか。

( )

8050問題について

- 問14 地域包括支援センターに期待することは何ですか。(〇はいくつでも)
1. 介護予防ケアマネジメント業務の充実 (ケアプラン作成等)
  2. 地域支援事業の充実 (介護予防教室等)
  3. 医療機関との連携
  4. 介護支援専門員への指導・助言
  5. 地域における介護支援専門員のネットワークづくり
  6. 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援
  7. フォーマルサービス (公的機関や専門職による介護保険制度に基づくサービスや支援) とインフォーマルサービス (家族や友人、地域住民、ボランティアなどによる介護保険制度に基づかないサービスや支援) の調整
  8. 困難事例へのサポート
  9. 支援が必要な高齢者の早期発見と対応
  10. 高齢者の虐待防止・権利擁護
  11. その他 ( )

介護認定調査について

- 問15 都道府県等が行う介護認定調査員研修を修了していますか。(〇はひとつ)
1. はい
  2. いいえ
- 問16 今までに介護認定調査の委託を受けたことがありますか。(〇はひとつ)
1. はい
  2. いいえ ⇒ 問22へ
- 問16で「1. はい」とお答えの方にお聞きします。
- 問16-1 委託を受けた中で手問と思われるのはどれですか。(〇はいくつでも)
1. 調査対象者との調査日の日程調整
  2. 調査対象者や立会者からの聞き取り調査
  3. 調査票の作成 (概況調査、基本調査、特記事項)
  4. その他 ( )

- 問17 市が民間の居宅介護支援事業所等に認定調査業務を委託することについて、どのように思われますか。(〇はひとつ)
1. 積極的に委託して良い
  2. 介護支援専門員業務に負担とならない範囲であれば委託して良い
  3. 市で調査が手配できる案件は委託してほしくない
  4. 委託してほしくない

- 問18 いずれの8050問題と思われる事例に当たったことがありますか。(〇は1つ)
1. ある
  2. ない ⇒ 問19へ
- 問18で「1. ある」とお答えの方にお聞きします。
- 問18-1 関わった際に関係機関に連絡・相談はしましたか。(〇は1つ)
1. 連絡・相談した
  2. 連絡・相談していない ⇒ 問19へ
- 問18-1で「1. 連絡・相談した」とお答えの方にお聞きします。
- 問18-2 連絡・相談をした機関はどこですか。(〇はいくつでも)
1. 高齢福祉課 (地域包括支援センター)
  2. 社会福祉課
  3. 障がい福祉課
  4. 社会福祉協議会 (地域包括支援センター)
  5. 社会福祉協議会 (障がい相談支援事業所)
  6. あいちひきこもり地域支援センター
  7. 保健所
  8. その他 ( )

高齢者虐待について

- 問19 家庭内における高齢者虐待 (疑いを含む) の事例に関わったことがありますか。(〇は1つ)
1. ある
  2. ない ⇒ 問20へ
- 問19で「1. ある」とお答えの方にお聞きします。
- 問19-1 関わった事例の類型は何でしたか。(〇はいくつでも)
1. 身体的虐待
  2. 介護・世話の放棄・放任 (ネグレクト)
  3. 心理的虐待
  4. 性的虐待
  5. 経済的虐待
- 問20 高齢者虐待の対応としてどのようなことが必要だと思われますか。(〇は3つまで)
1. 多職種とのネットワークの強化
  2. 対応マニュアルの周知
  3. 介護者への人的支援の充実
  4. 住民への啓発
  5. 事業所や従業員への研修
  6. 緊急一時保護の実施
  7. 日常生活自立支援事業の活用
  8. 成年後見制度の積極的な活用
  9. 警察・保健所との連携
  10. 介護者を対象とした介護相談の充実
  11. その他 ( )

高齢者施策について

問 2.1 介護保険サービスの中で、供給が不足していると思われるサービスは何ですか。(〇は5つまで)

<b>【居宅介護サービス】</b>	2. 訪問入浴
1. 訪問介護	4. 訪問リハビリテーション
3. 訪問看護	6. 通所リハビリテーション
5. 通所介護	8. 福祉用具貸与
7. 短期入所生活介護・短期入所療養介護	9. 特定施設入居者生活介護
<b>【地域密着型サービス】</b>	11. 夜間対応型訪問介護
10. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	13. 小規模多機能型居宅介護
12. 認知症対応型通所介護	15. 地域密着型特定施設入居者生活介護
14. 認知症対応型共同生活介護	17. 看護小規模多機能型居宅介護
16. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
<b>【施設型サービス】</b>	19. 介護老人保健施設
18. 介護老人福祉施設	20. 介護医療院
<b>【その他】</b>	22. 住宅改修
21. 特定福祉用具販売	23. その他 ( )

問 2.2 地域の中で活性化を期待するインフォーマルサービス(家族や友人、地域住民、ボランティアなど)による介護保険制度に基かないサービスや支援)はありますか。(〇はいくつでも)

1. 地域の集会所や開催者の自宅を借りてのサロン、認知症カフェなどの通いの場
2. 定期的に訪問して安否を確認してもらうような見守り活動
3. 食事の支度が困難な方や栄養管理が十分な方への配食サービス
4. 家事や買い物、ゴミ出しなどの家事支援
5. 買い物や通院時の送迎サービス
6. 認知症予防や健康体操などの介護予防講座
7. 緊急時や災害時の支援
8. その他 ( )
9. 特になし

問 2.3 地域包括ケアシステムの推進にあたり、どのような取組を行うことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

<b>【地域包括ケアシステム】</b>
高齢者が重度な介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が一体的に提供されるシステム
1. 医療と介護の連携
2. 居宅介護サービス
3. 在宅福祉サービス
4. 介護予防事業
5. 高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた住環境づくりの支援
6. ボランティアやNPO等による生活支援
7. 家族や近隣住民による生活支援
8. 家族介護者の支援
9. 認知症高齢者等の権利擁護
10. その他 ( )
11. 特になし

問 2.4 高齢者の福祉・介護について、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

--

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

あま市

高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に関する実態調査  
調査結果報告書

発行年月：令和8年3月

発行：あま市

企画・編集：福祉部 高齢福祉課

〒497-8602

愛知県あま市七宝町沖之島深坪1番地

TEL 052-444-3141

FAX 052-443-2571